

西東京市  
教育計画策定のためのアンケート調査  
報告書（案）

平成 30 年 3 月

西東京市教育委員会



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	回収状況 .....	1
6	調査結果の表示方法 .....	1
<b>II</b>	<b>調査結果概要</b> .....	<b>2</b>
<b>III</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>30</b>
1	小学生調査 .....	30
	(1) 回答者属性 .....	30
	(2) 学校での生活について .....	32
	(3) 学校以外での生活について .....	42
	(4) 携帯電話やインターネット等について .....	48
	(5) 地域の方との関わり方について .....	51
	(6) 公民館と図書館について .....	54
	(7) あなた自身のことについて .....	58
2	中学生調査 .....	67
	(1) 回答者属性 .....	67
	(2) 学校での生活について .....	71
	(3) 学校以外での生活について .....	88
	(4) 携帯電話やインターネット等について .....	95
	(5) 地域の方との関わり方について .....	98
	(6) 公民館と図書館について .....	102
	(7) あなた自身のことについて .....	105

3	青少年調査	114
(1)	回答者属性	114
(2)	普段の生活のことについて	117
(3)	学校以外の学習や活動について	124
(4)	公民館について	142
(5)	図書館について	144
(6)	地域との関わりについて	147
(7)	地域や家庭での教育について	151
(8)	学校のことについて	153
(9)	携帯電話・パソコン等の利用について	156
(10)	一人ひとりに応じた支援について	158
4	一般市民調査	169
(1)	回答者属性	169
(2)	ご自身の学習や活動について	172
(3)	公民館について	191
(4)	図書館について	193
(5)	地域との関わりについて	196
(6)	地域や家庭での教育について	200
(7)	学校での教育について	202
(8)	一人ひとりに応じた支援について	208
(9)	西東京市のことについて	221

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

次期「西東京市教育計画（計画期間：平成 31（2019）年度～平成 35（2023）年度）」を策定するにあたって、市民の方の教育に関する考えや意見を聞き、調査結果を計画策定を進める上での基礎資料として活用するために調査を実施しました。

## 2 調査対象

- 小学生調査：全市立小学校の 4 年生及び 6 年生（各学年 1 クラス）  
中学生調査：全市立中学校の 2 年生（学校規模に応じて 3～4 クラス）  
青少年調査：市内にお住まいの平成 9 年 9 月 3 日～平成 14 年 4 月 1 日生まれの方  
一般市民調査：市内にお住まいの 20 歳以上の方

## 3 調査期間

平成 29 年 10 月 17 日（火）から平成 29 年 11 月 7 日（火）

## 4 調査方法

- 小学生・中学生調査 学校を通じて一斉配布・一斉回収  
青少年・一般市民調査 郵送による配布・回収

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率	回収数
小学生調査	1,260 通	1,168 通	92.7%	1,170 通
中学生調査	1,159 通	1,093 通	94.3%	1,093 通
青少年調査	400 通	119 通	29.8%	1,350 通
一般市民調査	3,000 通	1,246 通	41.5%	

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

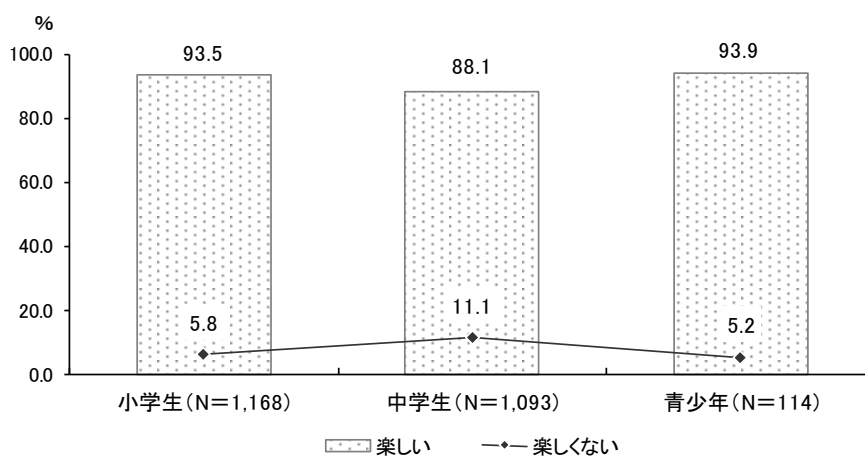
## Ⅱ 調査結果概要

### 1 学校の楽しさ、学校で楽しいところ（小学生・中学生・青少年<sup>(※)</sup>）

学校を楽しいと思う児童・生徒の割合は、小学生 93.5%、中学生 88.1%、青少年 93.9%となっており、9割前後で推移しています。

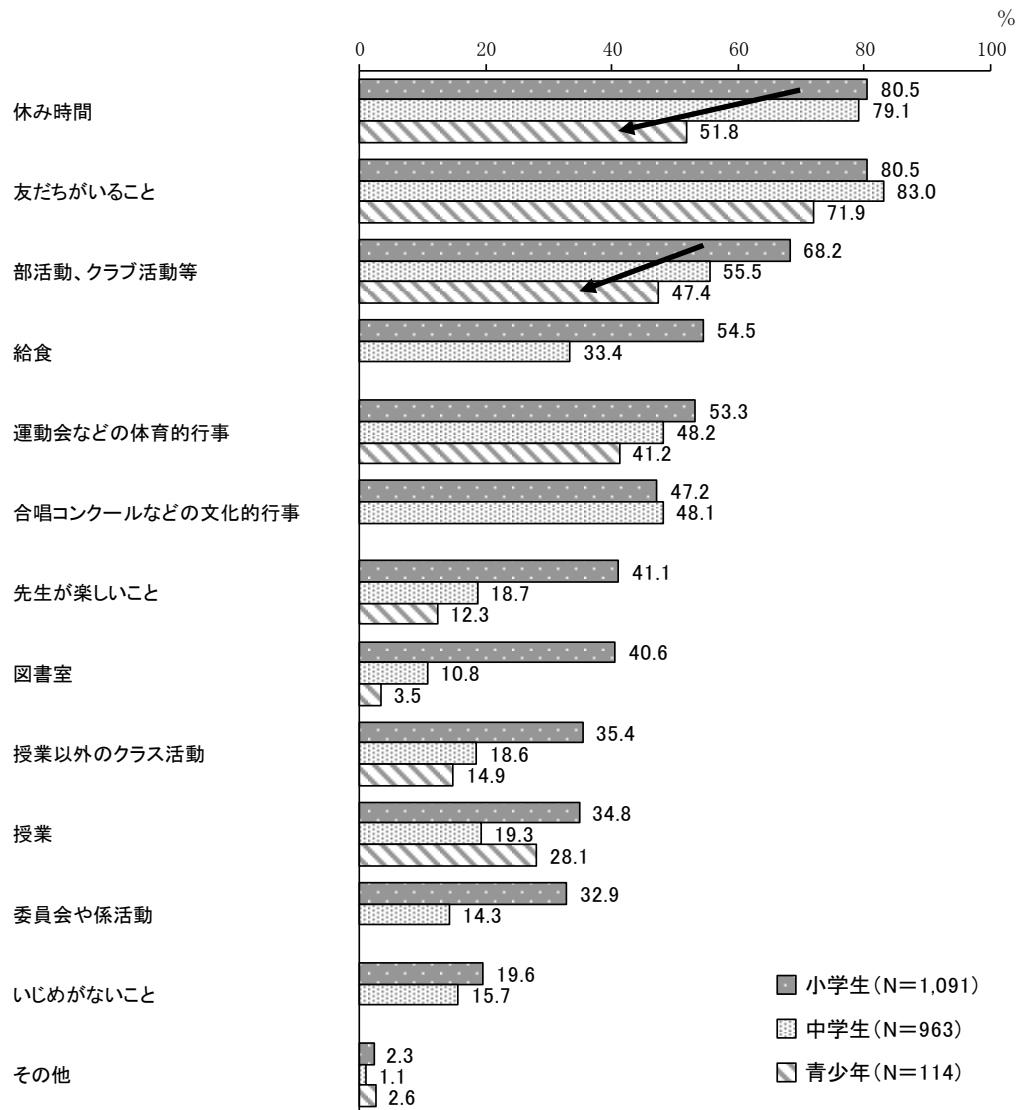
学校で楽しいところは、「休み時間」、「友だちがいること」、「部活動、クラブ活動等」、「運動会などの体育的行事」、「合唱コンクールなどの文化的行事」が上位にあげられています。「休み時間」、「部活動、クラブ活動等」と回答する割合は学年が上がるにつれて低くなっています。

#### 【学校の楽しさ】



※楽しい=「とても楽しい」+「まあまあ楽しい」、楽しくない=「楽しくない」+「あまり楽しくない」  
※青少年調査のうち、「高校生」「短期大学生・高等専門学校生」「専門学校生」「大学生」からの回答を集計しました。

【学校で楽しいところ】



※複数回答のため、各回答割合 (%) の合計は 100% になりません。

※「給食」「合唱コンクールなどの文化的行事」「委員会や係活動」「いじめがないこと」は小学生及び中学生調査のみの選択肢です。

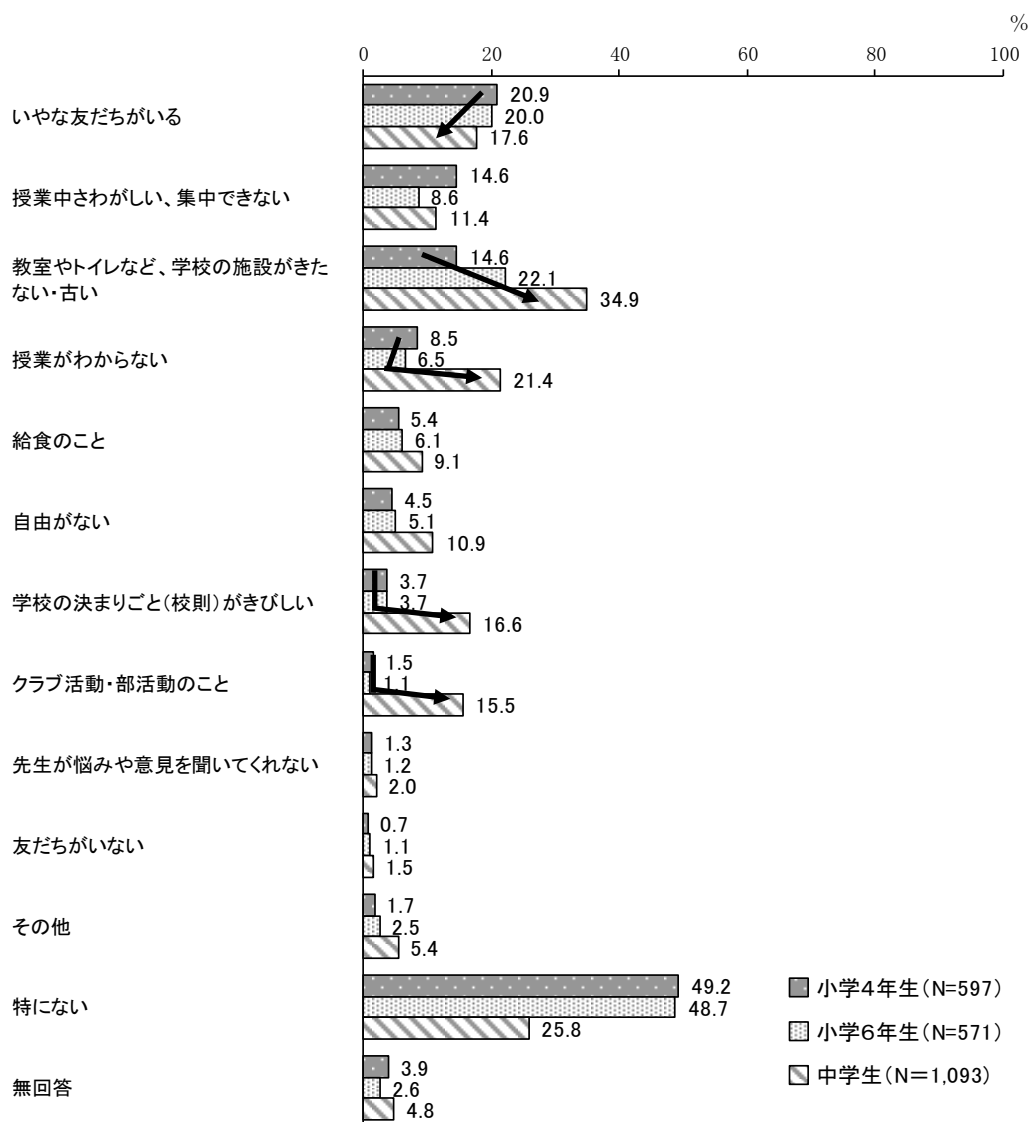
〈調査結果概要〉

## 2 学校で困っていること（小学生・中学生）

学校で困っていることが「特にない」のは、小学4年生 49.2%、小学6年生 48.7%、中学生 25.8%となっており、小学生の約半数、中学生の約7割は何らか困っていることがあると回答しています。

困っていることの上位には、「いやな友だちがいる」、「授業がさわがしい、集中できない」、「教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い」、「授業がわからない」等があげられています。

「いやな友だちがいる」と回答する割合は学年が上がるにつれて低くなり、中学生になると「教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い」、「授業がわからない」、「学校の決まりごと（校則）がきびしい」、「クラブ活動・部活動のこと」の割合が高くなっています。



※複数回答のため、各回答割合（%）の合計は100%になりません。

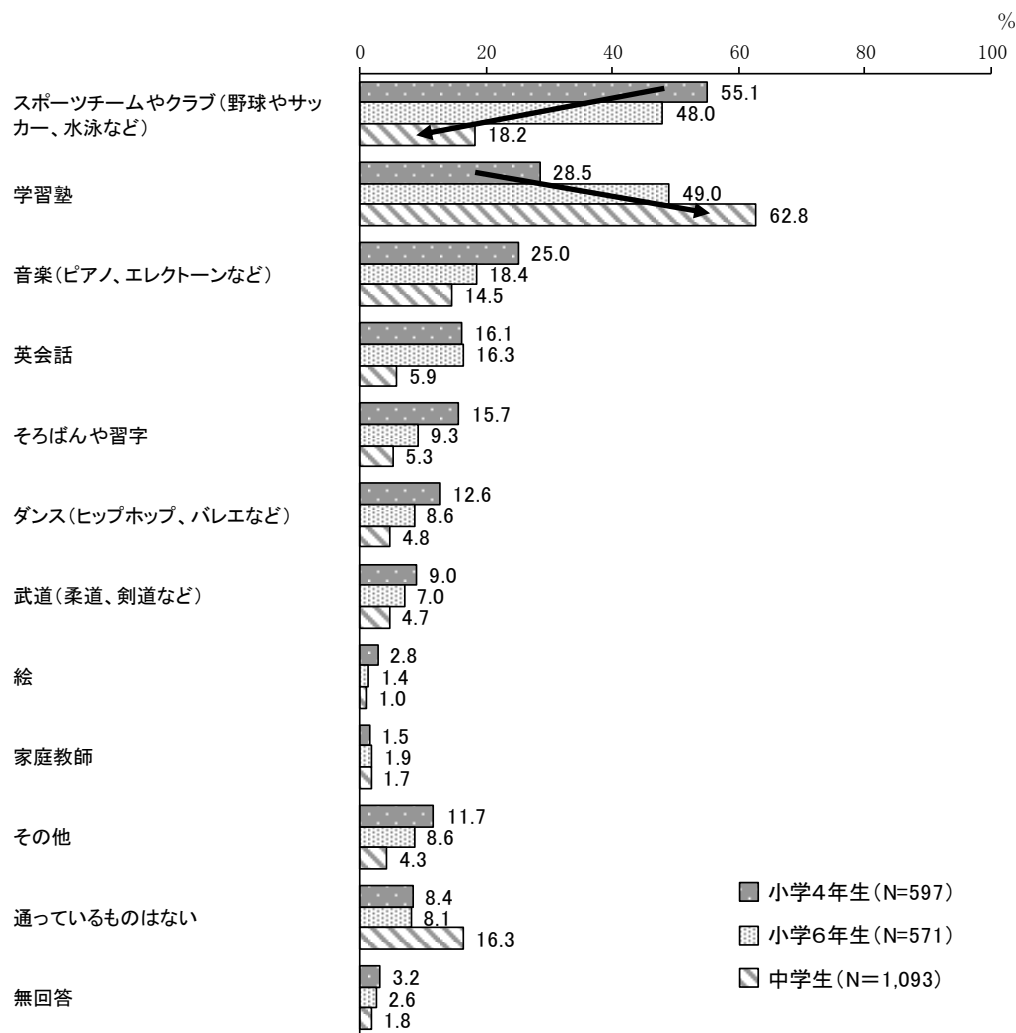


### 3 通っている塾や習い事（小学生・中学生）

小学生の約9割、中学生の約8割は何らかの習い事に通っています。小学4年生では「スポーツチームやクラブ（野球やサッカー、水泳など）」が最も多いが、学年が上がるにつれて割合は低下し、「学習塾」に通う割合が高くなっています。中学生では62.8%が「学習塾」に通っていると回答しています。

	小学4年生(N=597)	小学6年生(N=571)	中学生(N=1,093)
習い事をしている割合	88.4%	89.3%	81.9%

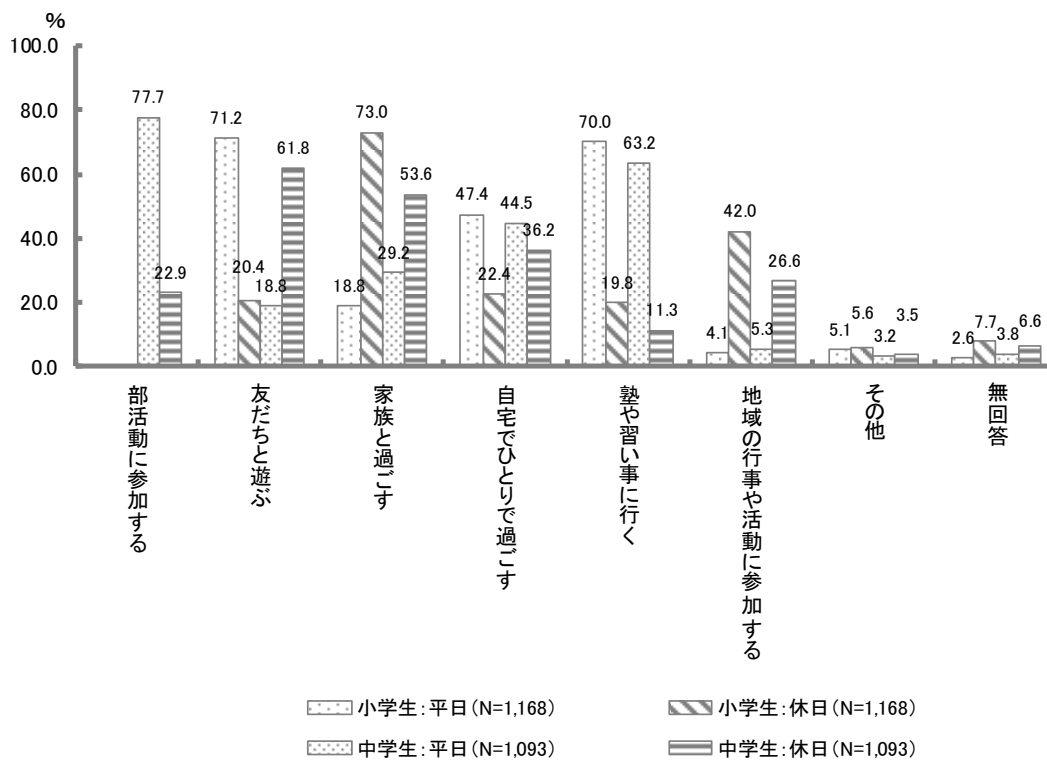
※「習い事をしている割合」は、「特に通っているものはない」と「無回答」を除いた割合。



※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%になりません。

## 4 学校以外の過ごし方（小学生・中学生）

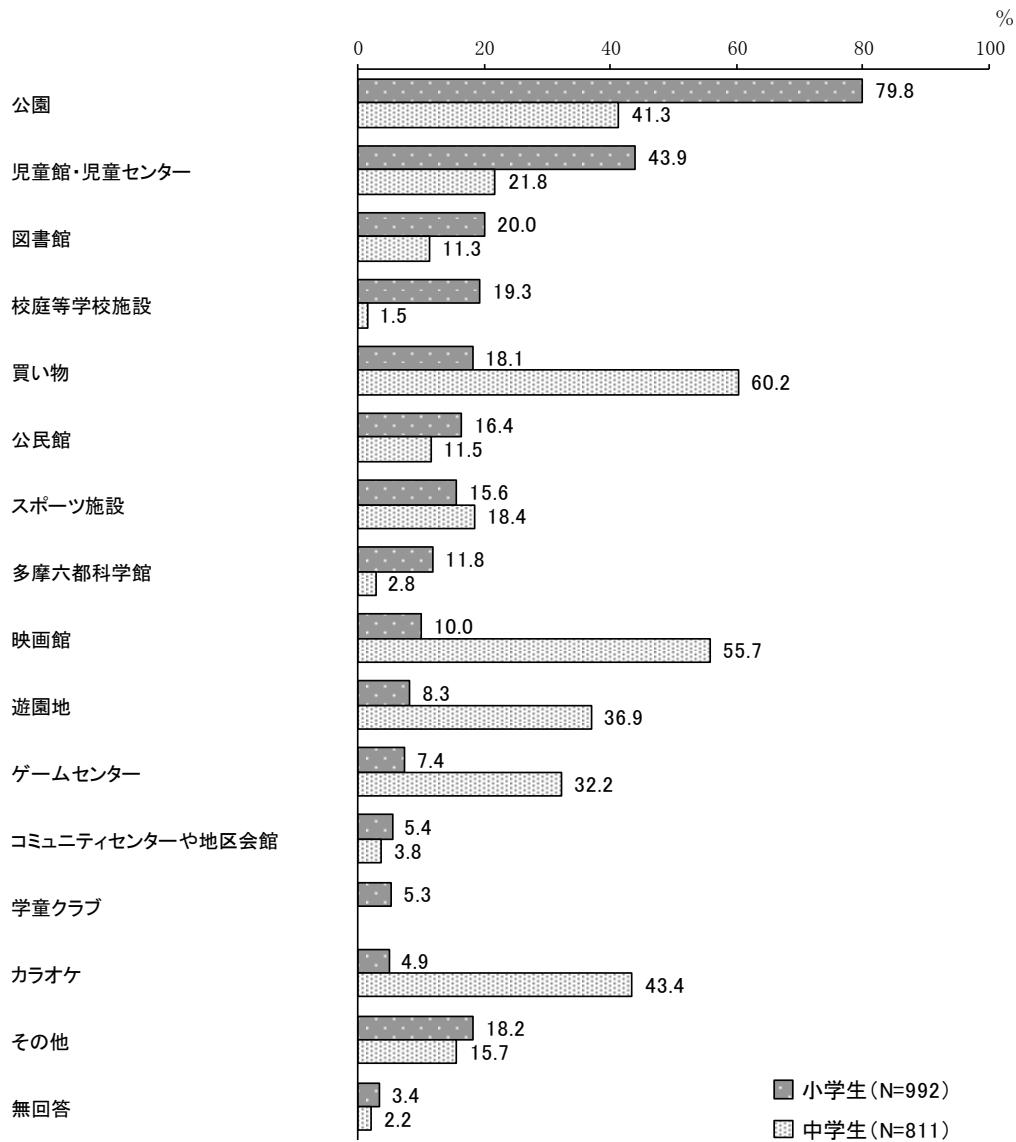
平日の学校以外の過ごし方は、小学生では「友だちと遊ぶ」、「塾や習い事に行く」が多く、中学生では「部活動に参加する」、「塾や習い事に行く」が多くなっています。休日の過ごし方は、小学生では「家族と過ごす」、中学生では「友だちと遊ぶ」、「家族と過ごす」が多くなっています。



※複数回答のため、各回答割合（％）の合計は100%になりません。

※「部活動に参加する」は中学生調査のみの選択肢です。

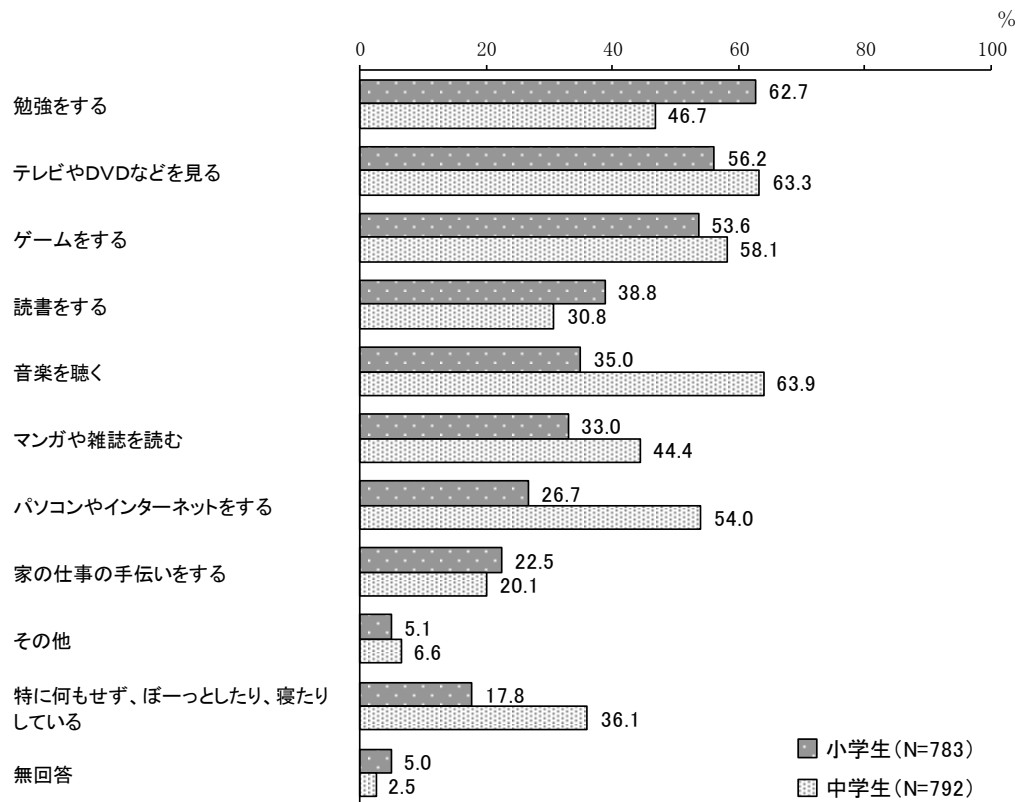
【友だちと外出するところ】



※複数回答のため、各回答割合 (%) の合計は 100% になりません。

〈調査結果概要〉

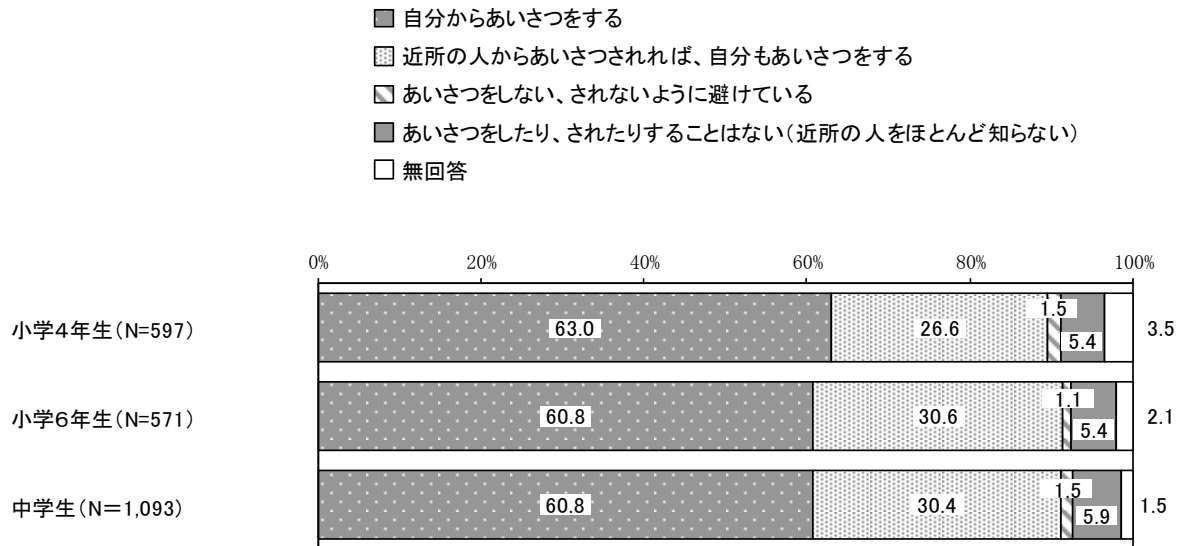
【自宅での過ごし方】



※複数回答のため、各回答割合 (%) の合計は 100% になりません。

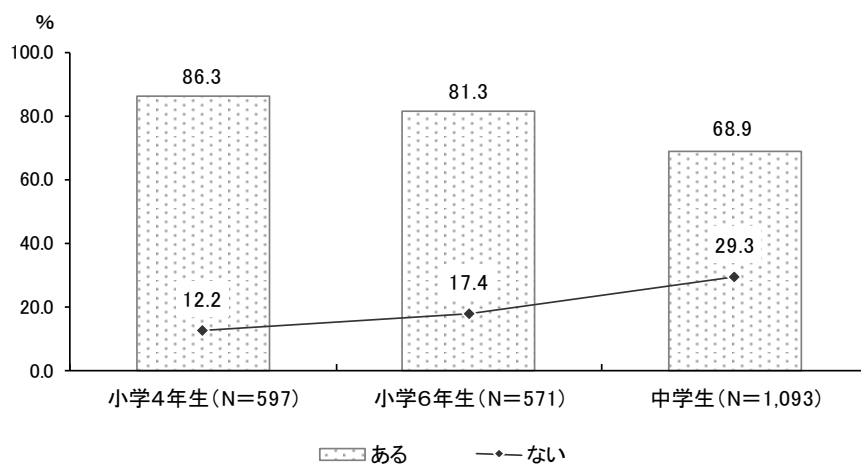
## 5 近所の人とのあいさつ（小学生・中学生）

小学生、中学生ともに「自分からあいさつをする」のは約6割を占めており、「近所の人からあいさつされれば、自分もあいさつをする」割合が約3割となっています。



## 6 自分に自信のもてるどころ（小学生・中学生）

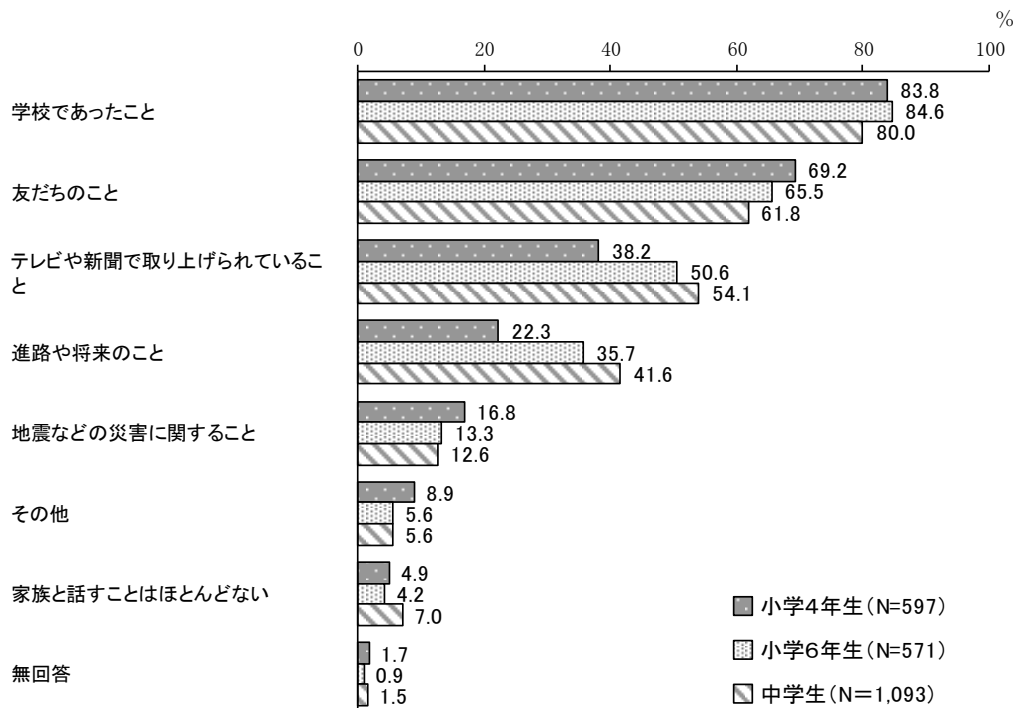
自分に自信のもてるどころが「ある」と回答する割合は、学年が上がるにつれて低下しており、中学生では自分に自信のもてるどころが「ない」生徒が約3割を占めています。



※「ある」＝「あると思う」＋「どちらかといえばあると思う」  
 「ない」＝「ないと思う」＋「どちらかといえばないと思う」

## 7 家族と話す内容（小学生・中学生）

小学生・中学生ともに9割以上は家族と会話をしており、主な内容は「学校であったこと」、「友だちのこと」、「テレビや新聞で取り上げられていること」等となっています。また、中学生になると「家族と話すことはほとんどない」の割合がやや増加しています。

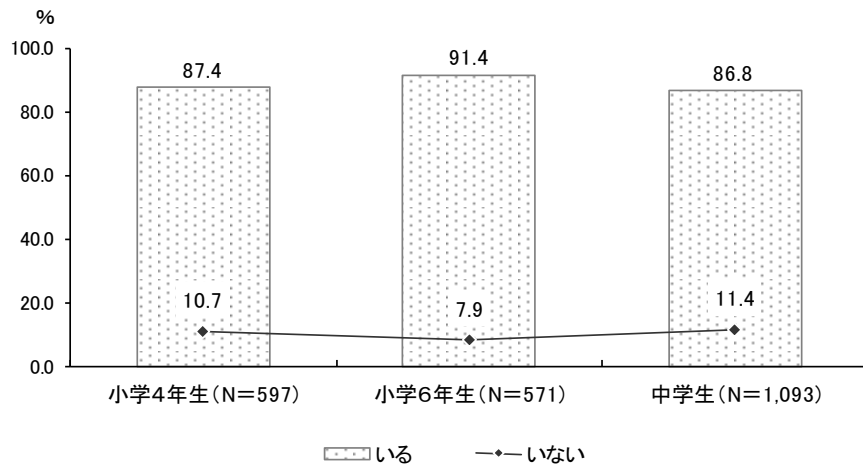


※複数回答のため、各回答割合（％）の合計は100%になりません。

## 8 相談相手の有無、相談できる相手（小学生・中学生）

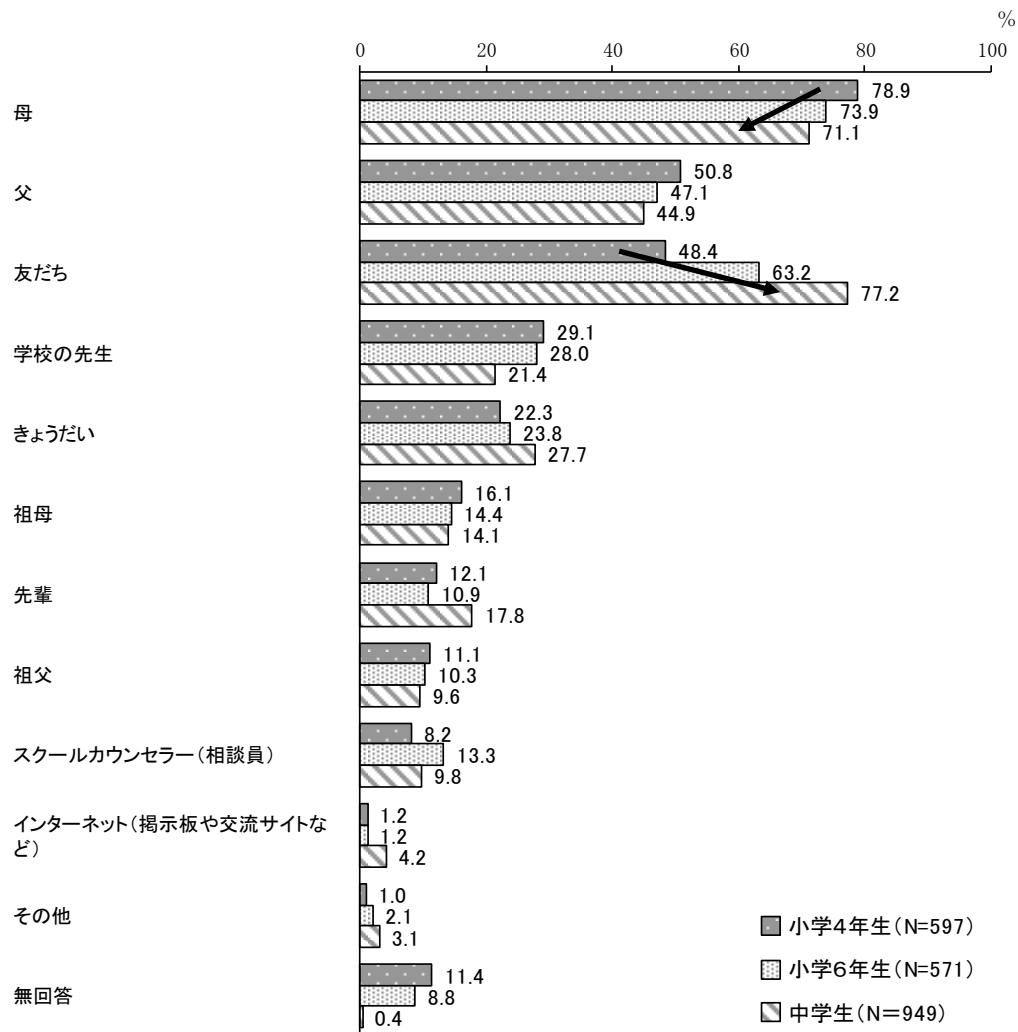
小学6年生では、いやなことやつらいことがあったときに相談できる人が「いる」割合は91.4%となっています。一方、中学生では相談できる人が「いる」割合は86.8%となっており、小学6年生よりもやや低い割合となっています。

相談相手としては「母」をあげる意見が多いが、学年が上がるにつれて「友だち」の割合が高くなっています。また、「インターネット（掲示板や交流サイト）」に相談するという小学生・中学生も、低い割合ですが存在しています。



〈調査結果概要〉

【相談できる相手】



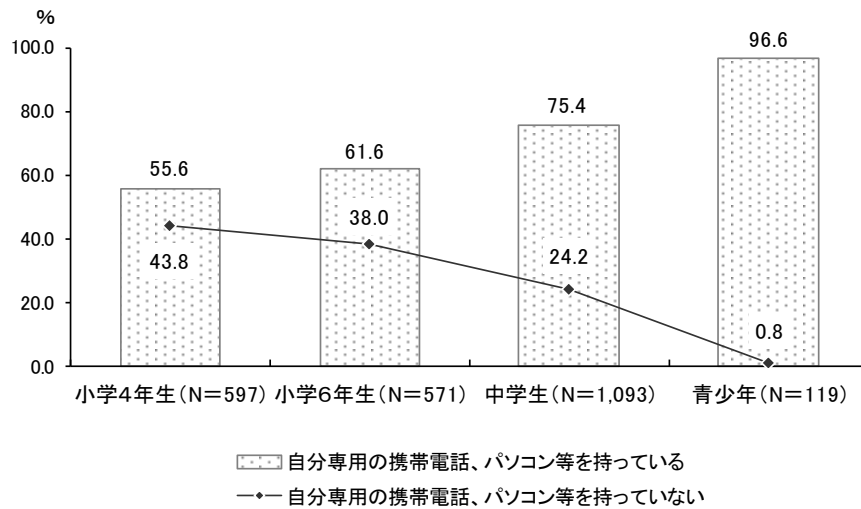
※複数回答のため、各回答割合 (%) の合計は100%になりません。



## 9 携帯電話やパソコンの利用状況（小学生・中学生・青少年<sup>※</sup>）

自分専用の携帯電話またはパソコン等を持っている割合は、小学生で6割前後、中学生では75.4%、青少年では96.6%となっています。

1日の使用時間は、平日よりも休日の方が長く、学年が上がるにつれて長くなっていく傾向にあります。

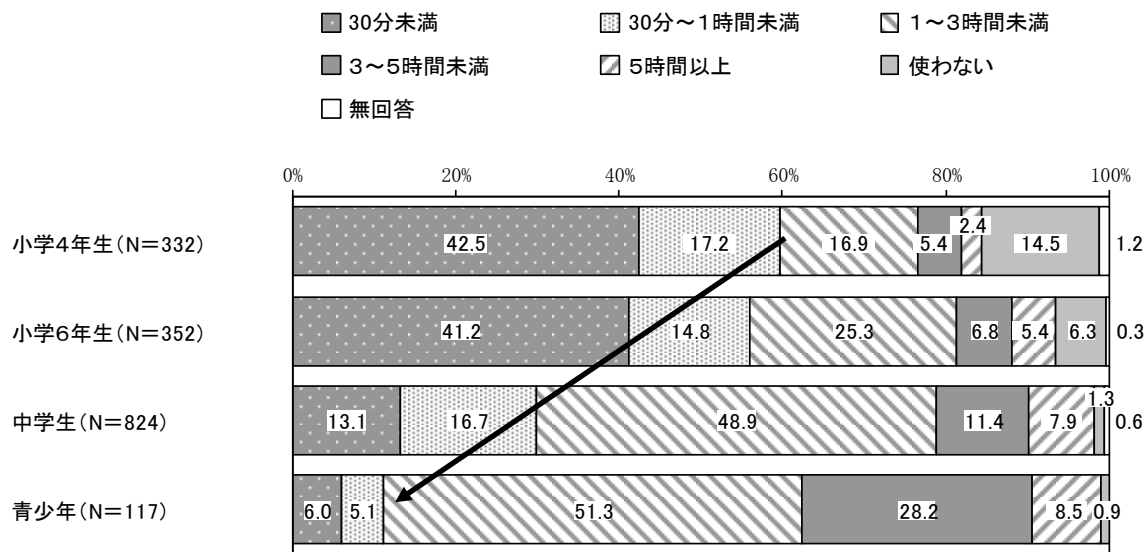


※青少年調査のうち、「高校生」「短期大学生・高等専門学校生」「専門学校生」「大学生」からの回答を集計しました。

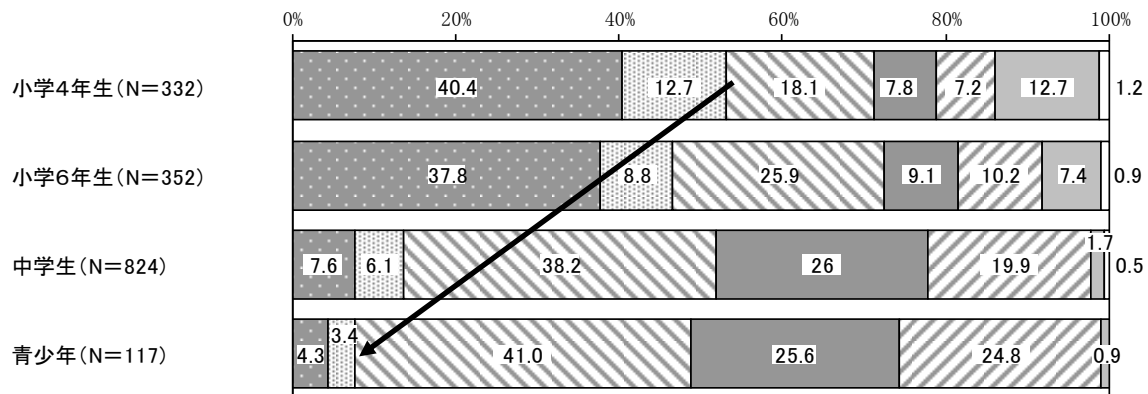
※青少年では、携帯電話とパソコンのそれぞれについて所持状況を聴取しています。ここでは、自分専用の携帯電話またはパソコンを所持している割合を示します。

〈調査結果概要〉

【平日の使用時間】



【休日の使用時間】



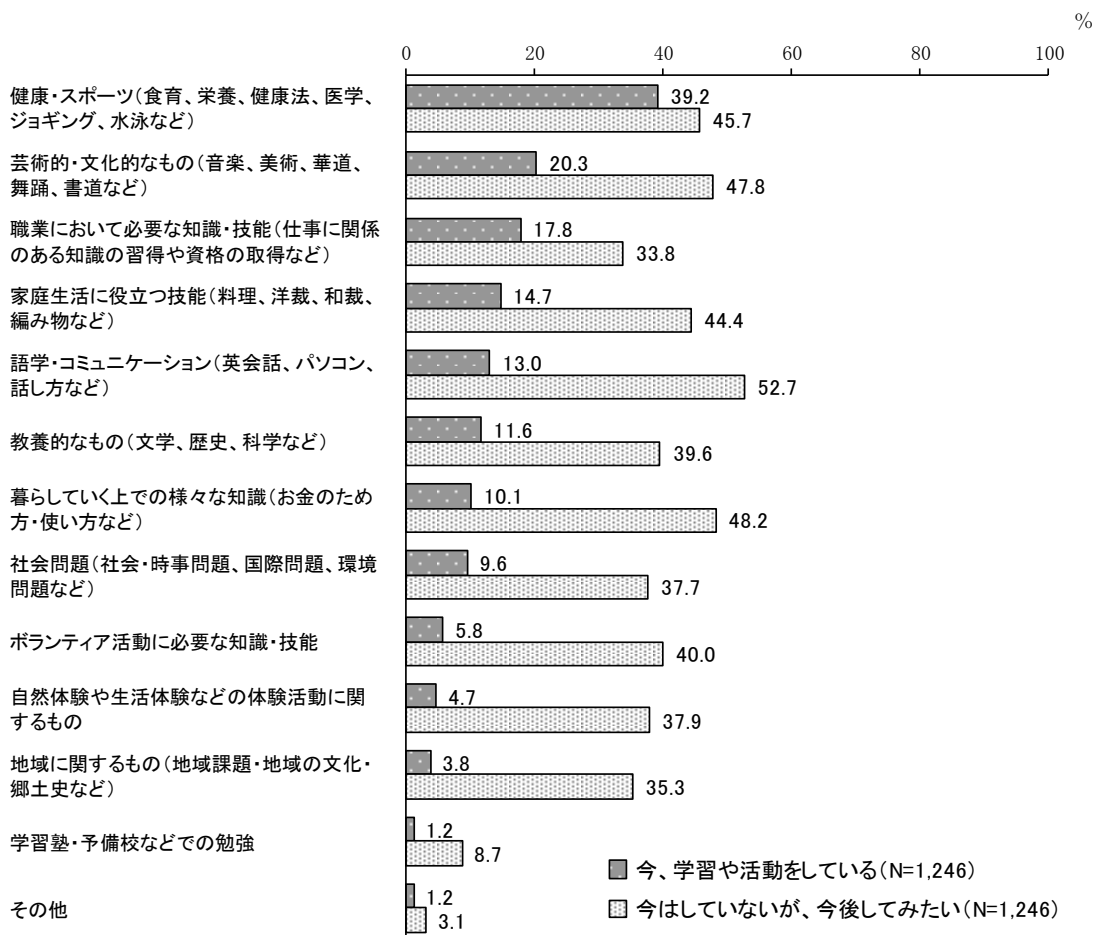
※小・中学生の使用時間は、自分専用の携帯電話またはパソコン等を持っている者を対象に集計しました。  
 ※青少年では、自分専用かどうかを問わず、携帯電話またはパソコン等を持っている者を対象に集計しました。

## 10 学習や活動の内容（一般市民・青少年）

現在している学習や活動の内容は、一般市民では「健康・スポーツ（食育、栄養、健康法、医学、ジョギング、水泳など）」や「芸術的・文化的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」が多く、青少年では「芸術的・文化的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」、「教養的なもの（文学、歴史、科学など）」、「健康・スポーツ（食育、栄養、健康法、医学、ジョギング、水泳など）」、「学習塾・予備校などでの勉強」が多くなっています。

青少年は、今後してみたいものとして「職業において必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」、「暮らしていく上での様々な知識（お金のため方・使い方など）」、「語学・コミュニケーション（英会話、パソコン、話し方など）」や「家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」を上位にあげており、今後社会に出て行く上で必要になると思われる内容を学びたいと考えていることがうかがえます。

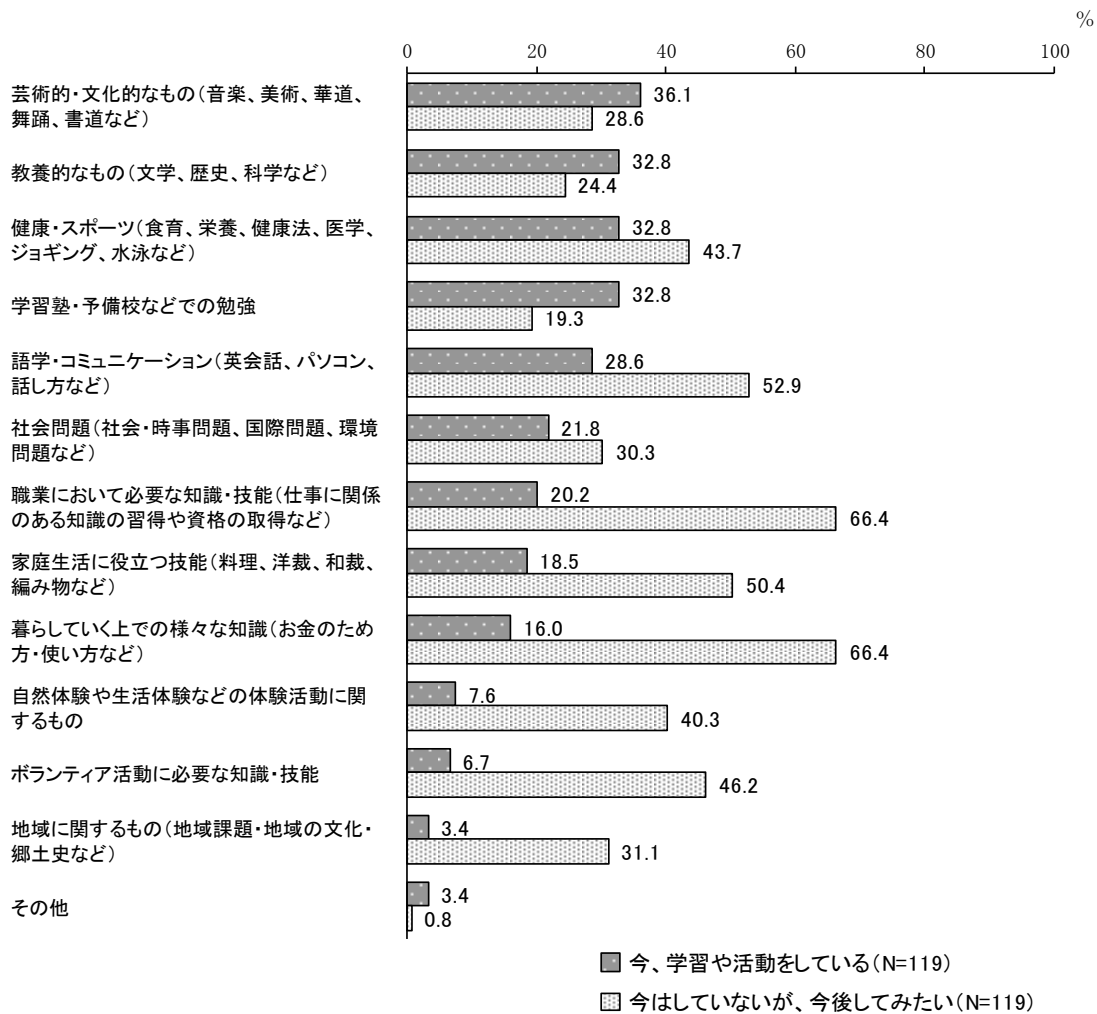
### 【一般市民】



※複数回答のため、各回答割合（％）の合計は100%になりません。

〈調査結果概要〉

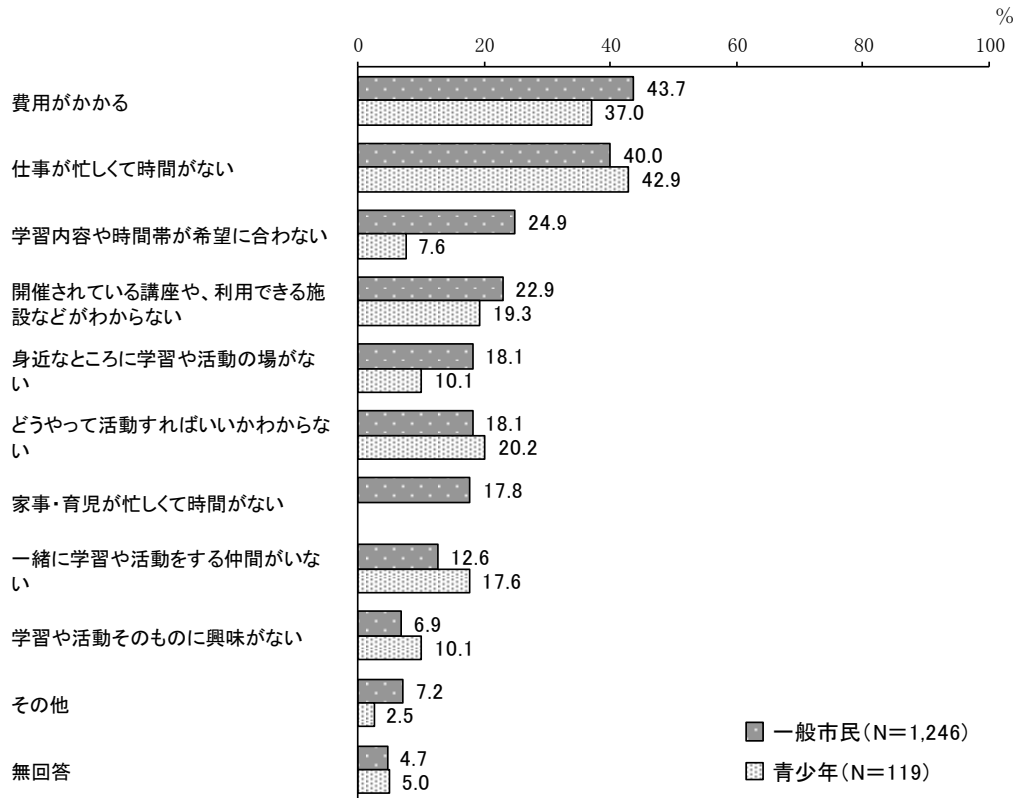
【青少年】



※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%になりません。

## 11 生涯学習を行うにあたって困っている点（一般市民・青少年）

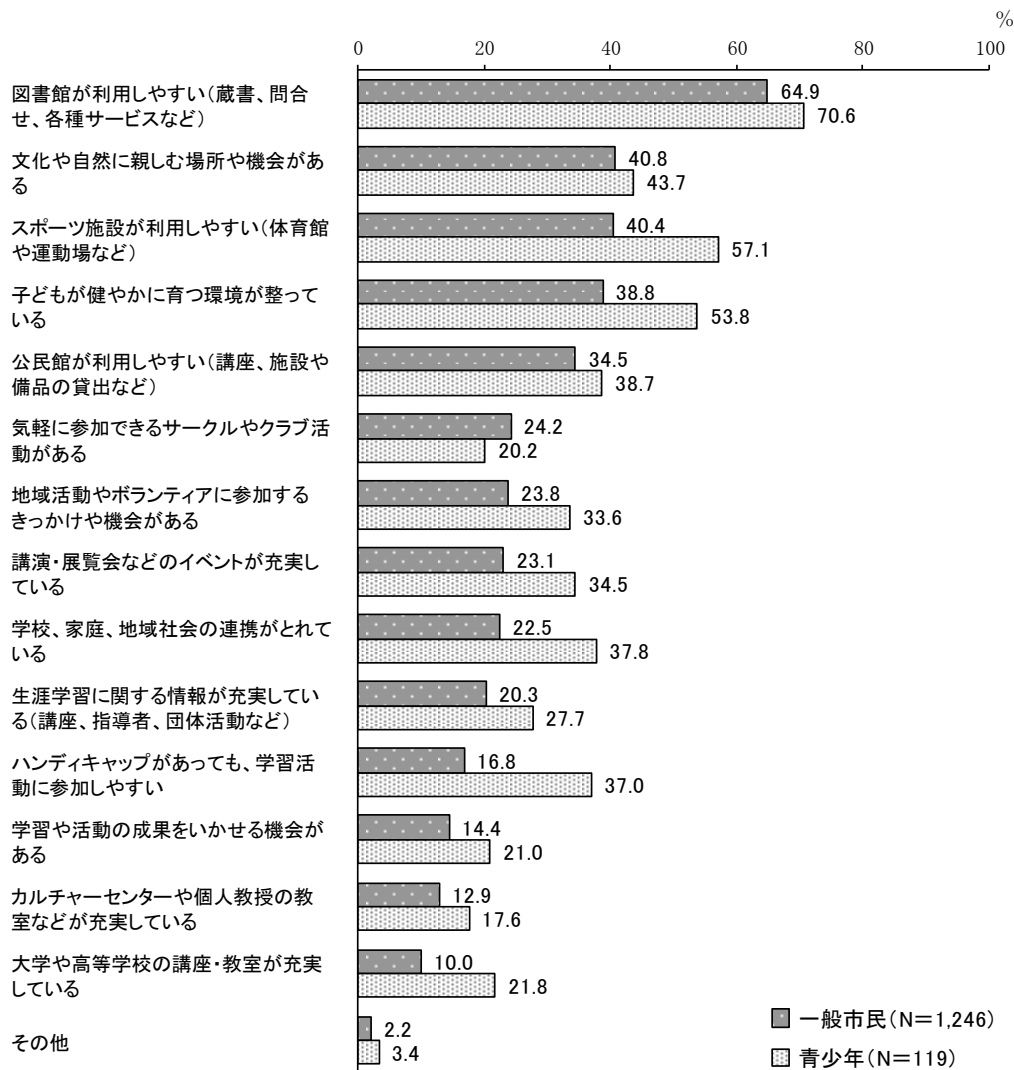
生涯学習を行うにあたって困っている点として多かったのは「費用がかかる」や「仕事が忙しくて時間がない」で、一般市民、青少年のそれぞれ約4割を占めています。



※複数回答のため、各回答割合（%）の合計は100%になりません。

## 12 西東京市の学習環境（一般市民・青少年）

西東京市の学習環境としては、「図書館が利用しやすい（蔵書、問合せ、各種サービスなど）」という意見が6割以上と最も多くなっています。次いで「文化や自然に親しむ場所や機会がある」、「スポーツ施設が利用しやすい（体育館や運動場など）」、「子どもが健やかに育つ環境が整っている」、「公民館が利用しやすい（講座、施設や備品の貸出など）」等となっています。

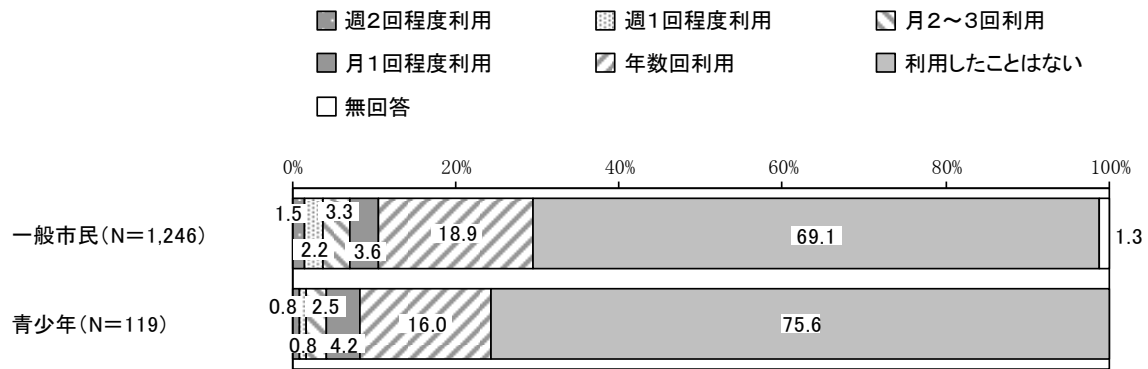


※複数回答のため、各回答割合（％）の合計は100％になりません。

### 13 公民館の利用状況（一般市民・青少年）

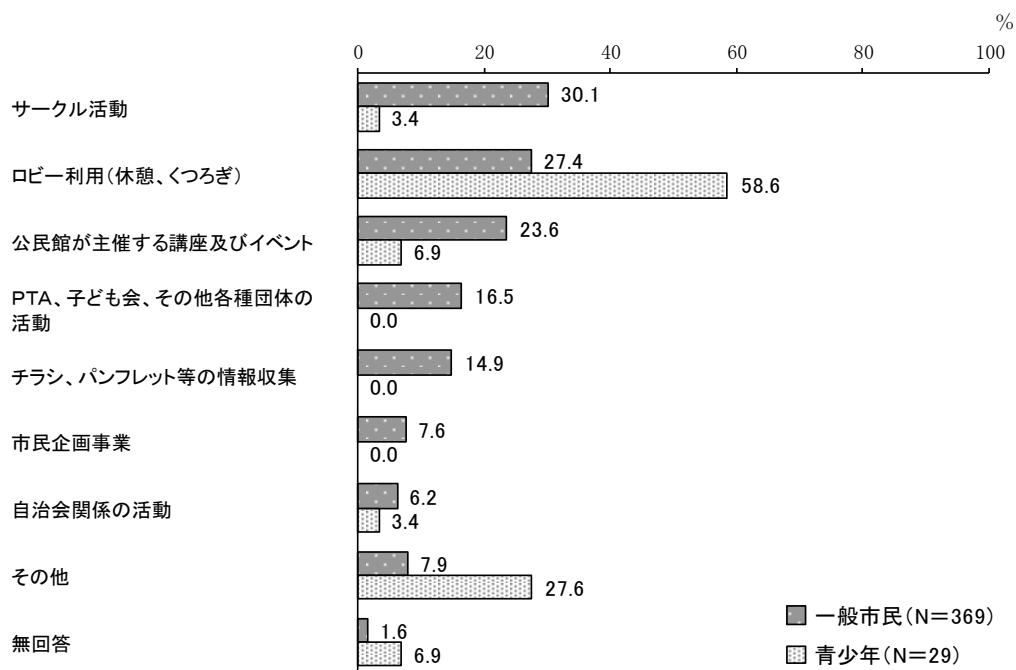
一般市民の 29.5%、青少年の 24.3%は、この1年間に公民館を利用したことがあると回答しています。

利用者の主な目的は「サークル活動」、「ロビー利用（休憩、くつろぎ）」等であり、未利用者は「利用する時間がないから」を利用しない理由にあげています。



※「週2回以上利用」は、実際の調査では「ほぼ毎日利用」「週4～5回利用」「週2～3回利用」として聴取。割合が低いため、まとめて表記しています。

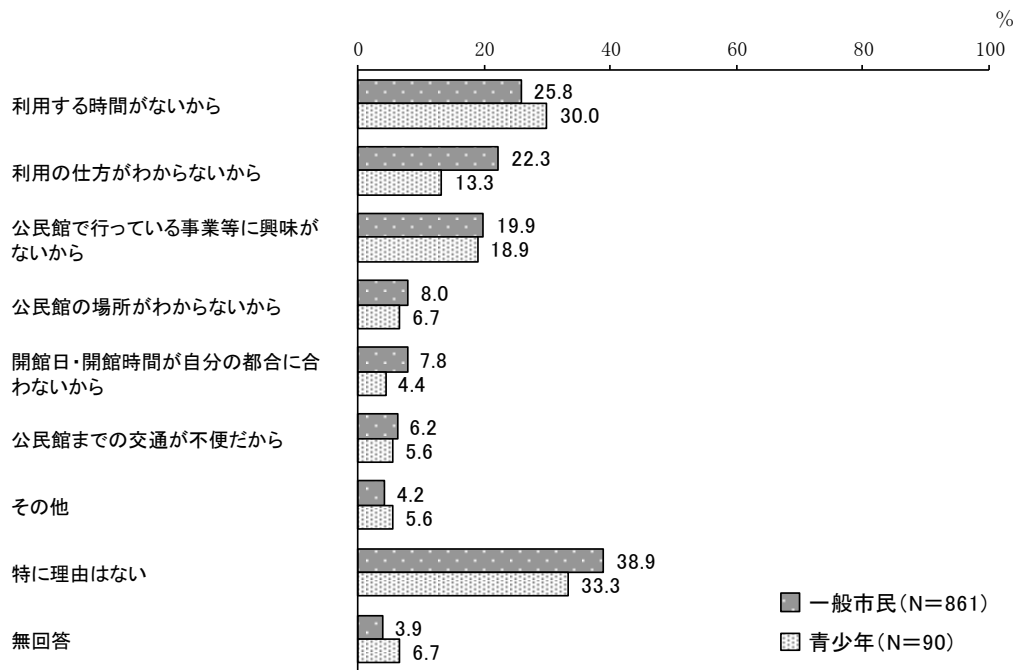
#### 【主な利用目的】



※複数回答のため、各回答割合（%）の合計は100%になりません。

〈調査結果概要〉

【利用しない理由】



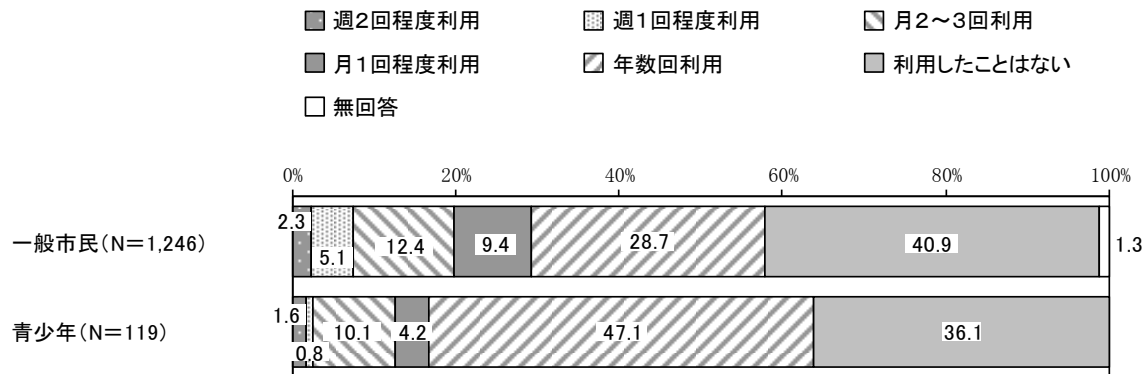
※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%になりません。



## 14 図書館の利用状況（一般市民・青少年）

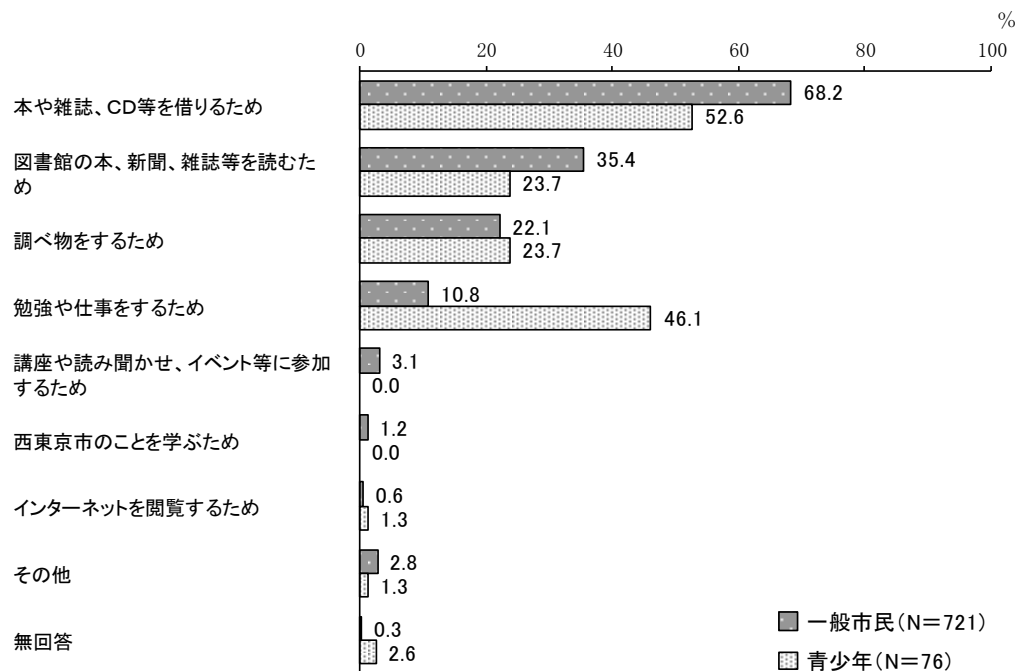
一般市民の 57.9%、青少年の 63.8%は、この1年間に図書館を利用したことがあると回答しています。

利用者の主な目的は「本や雑誌、CD等を借りるため」、「図書館の本、新聞、雑誌等を読むため」、「調べ物をするため」等のほか、青少年は「勉強や仕事をするため」と回答する割合が高くなっています。未利用者は「本や雑誌は自分で買うようにしているから」、「利用する時間がないから」を利用しない理由にあげています。



※「週2回以上利用」は、実際の調査では「ほぼ毎日利用」「週4～5回利用」「週2～3回利用」として聴取。割合が低いため、まとめて表記しています。

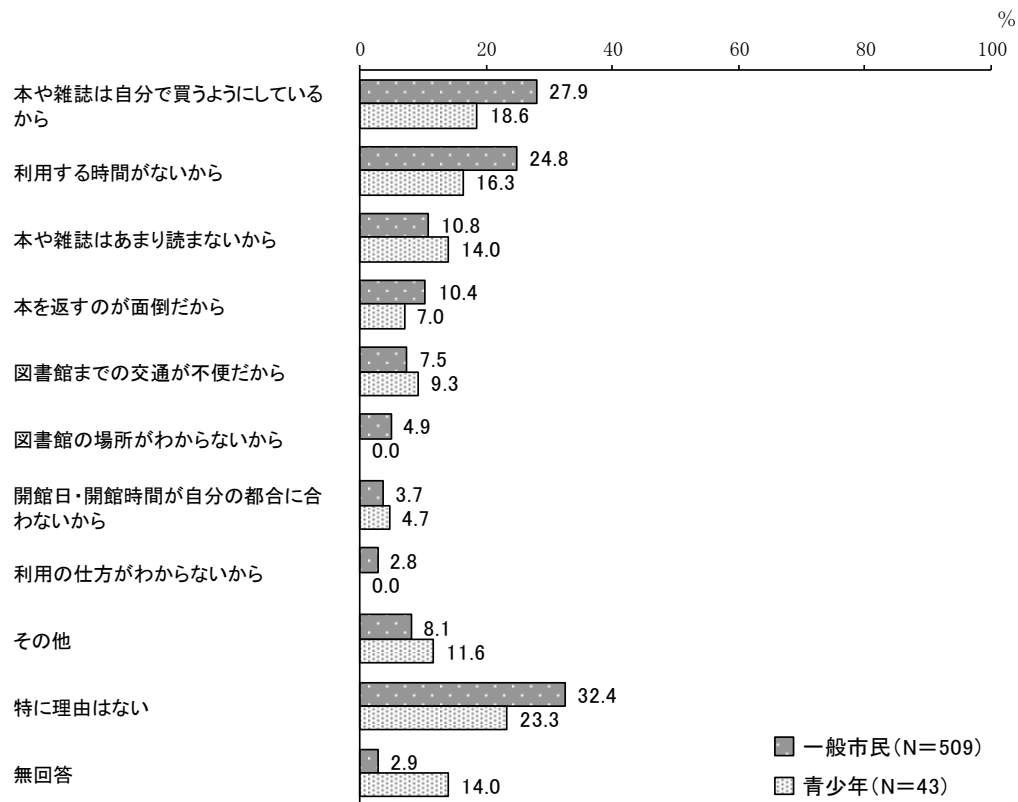
### 【主な利用目的】



※複数回答のため、各回答割合（%）の合計は100%になりません。

## 〈調査結果概要〉

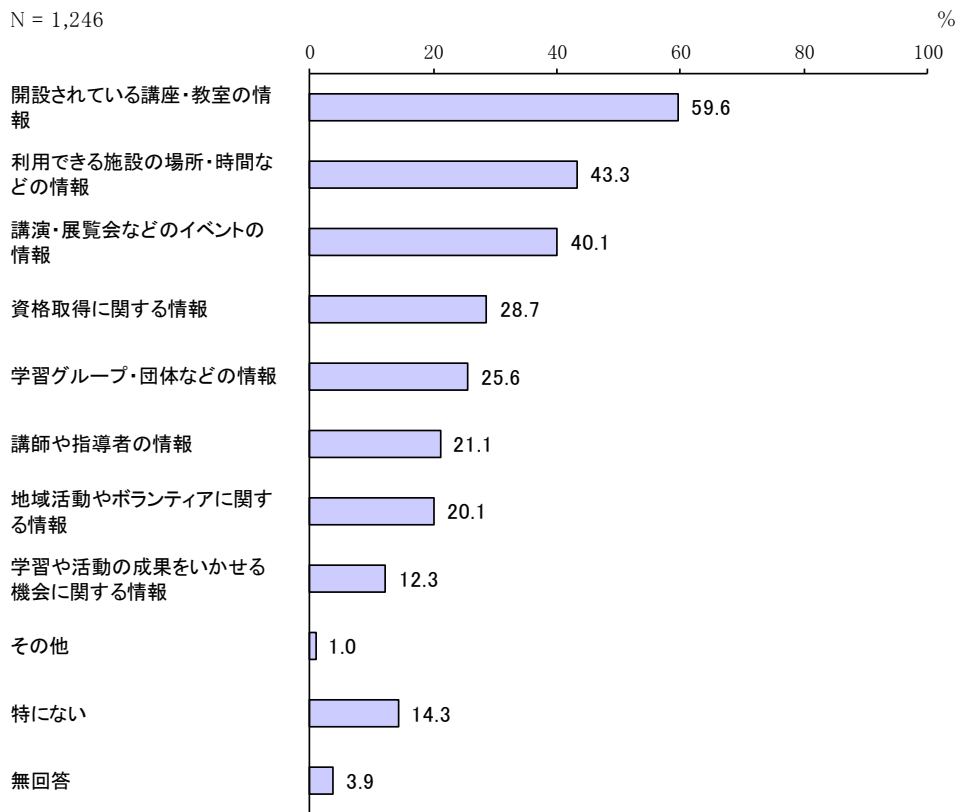
### 【利用しない理由】



※複数回答のため、各回答割合 (%) の合計は 100% になりません。

## 15 生涯学習に関して知りたい情報（一般市民）

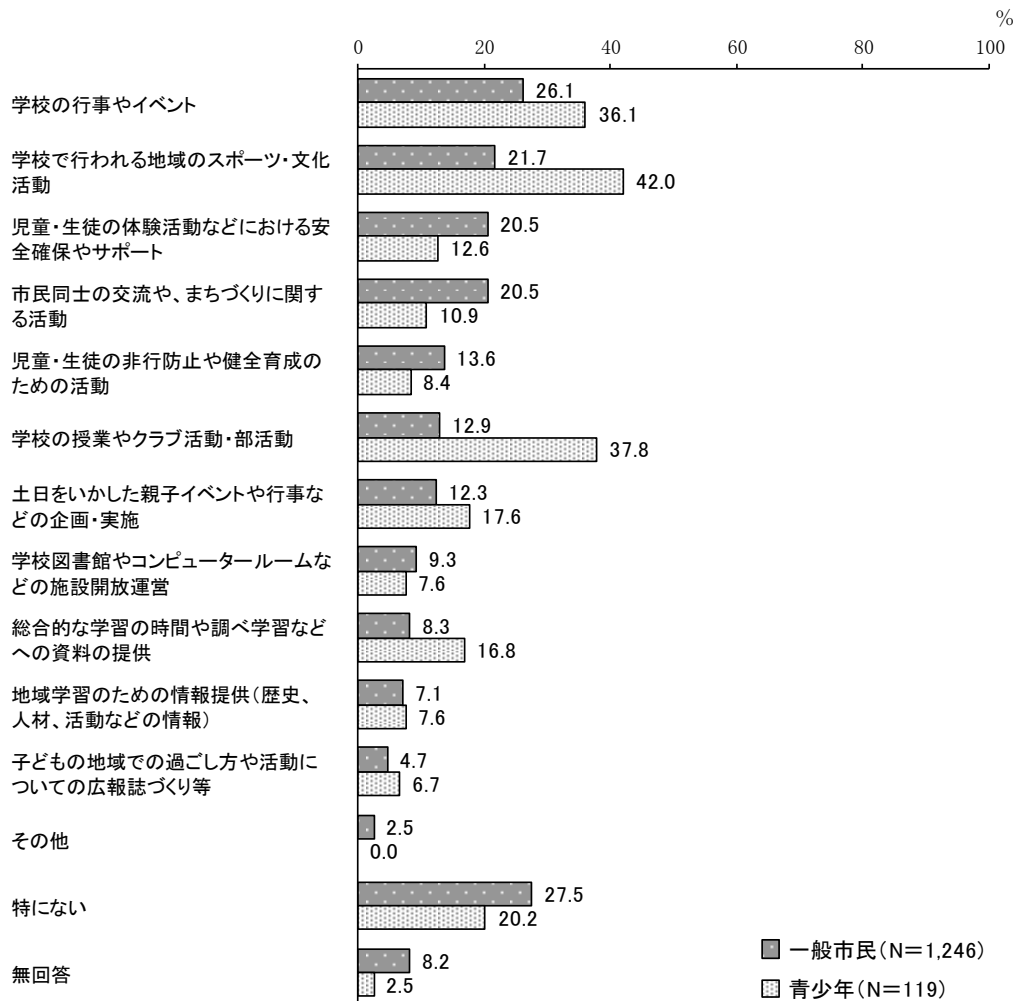
生涯学習に関して知りたいこととしては、「開設されている講座・教室の情報」、「利用できる施設の場所・時間などの情報」、「講演・展覧会などのイベントの情報」等があげられており、どこに行けば何を学ぶことができるのか、市民への周知が十分でないことがうかがえます。



※複数回答のため、各回答割合 (%) の合計は 100% になりません。

## 16 地域・社会活動への参加意向（一般市民・青少年）

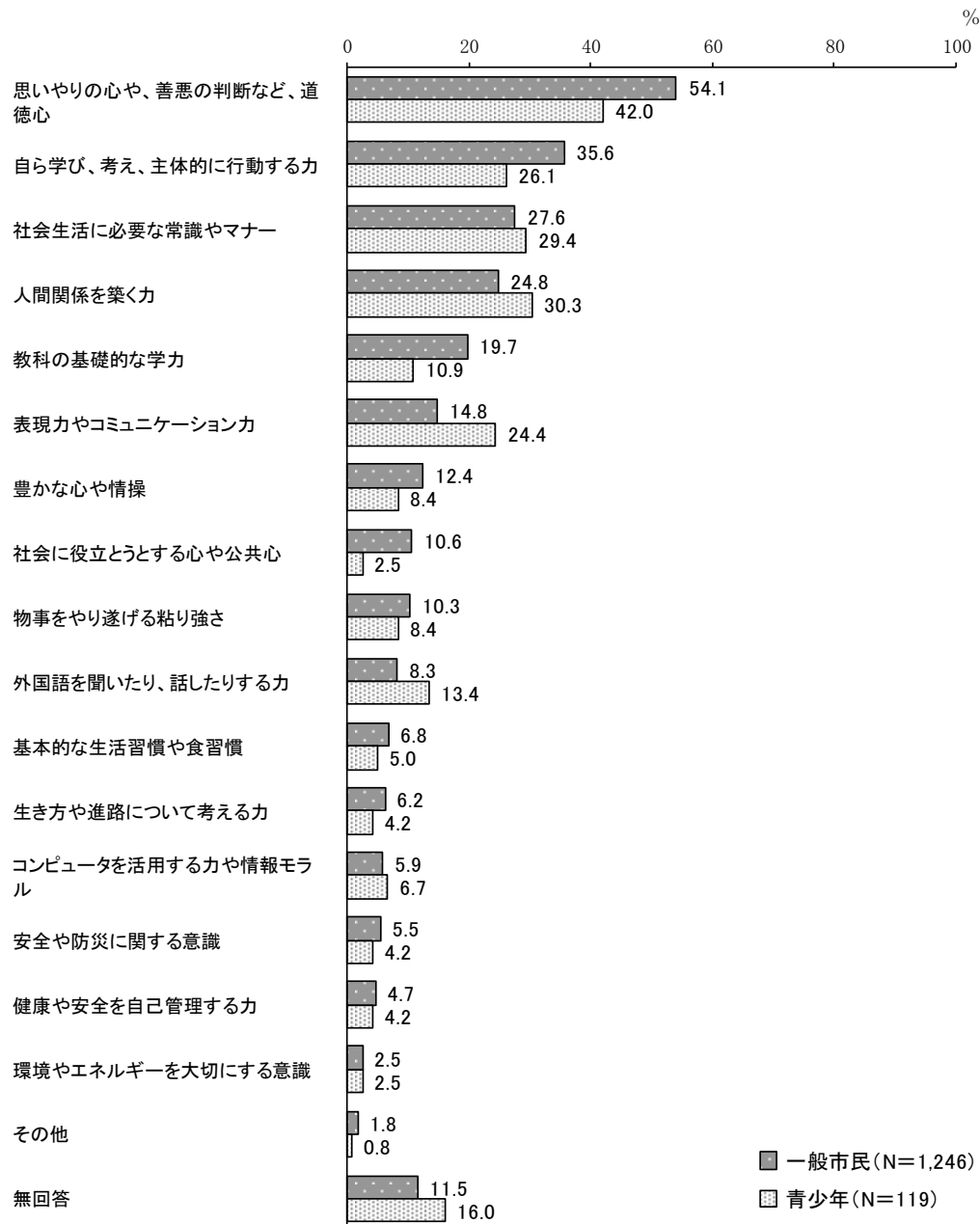
参加・協力してもよいと思う活動としては、一般市民では「学校の行事やイベント」、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」、「児童・生徒の体験活動などにおける安全確保やサポート」、「市民同士の交流や、まちづくりに関する活動」等が上位にあげられています。青少年においては、「学校の行事やイベント」、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」、「学校の授業やクラブ活動・部活動」等の学校に関わる活動への参加意向が高くなっています。



※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%になりません。

## 17 小学校・中学校で教えることで重要なこと（一般市民・青少年）

小学校・中学校で教えることで重要なことは、一般市民では「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」、「社会生活に必要な常識やマナー」、「人間関係を築く力」等があげられています。青少年では、加えて「人間関係を築く力」、「表現力やコミュニケーション力」等が重要であるという意見が多くなっています。

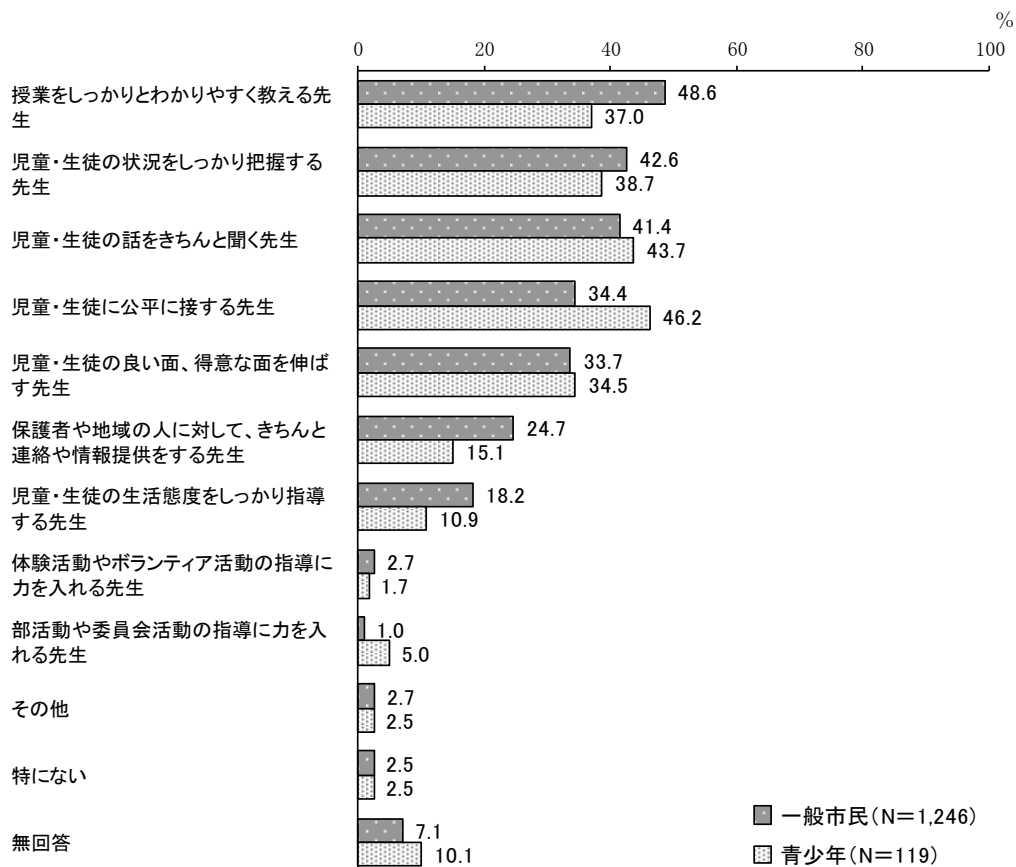


※複数回答のため、各回答割合（％）の合計は100%になりません。

## 18 望ましい小学校・中学校の教師像（一般市民・青少年）

望ましい小学校・中学校の教師像としては、一般市民では「授業をしっかりとわかりやすく教える先生」、「児童・生徒の状況をしっかりと把握する先生」、「児童・生徒の話をきちんと聞く先生」等があげられています。

一般市民に比べ、青少年は「児童・生徒に公平に接する先生」と回答する割合が高くなっています。

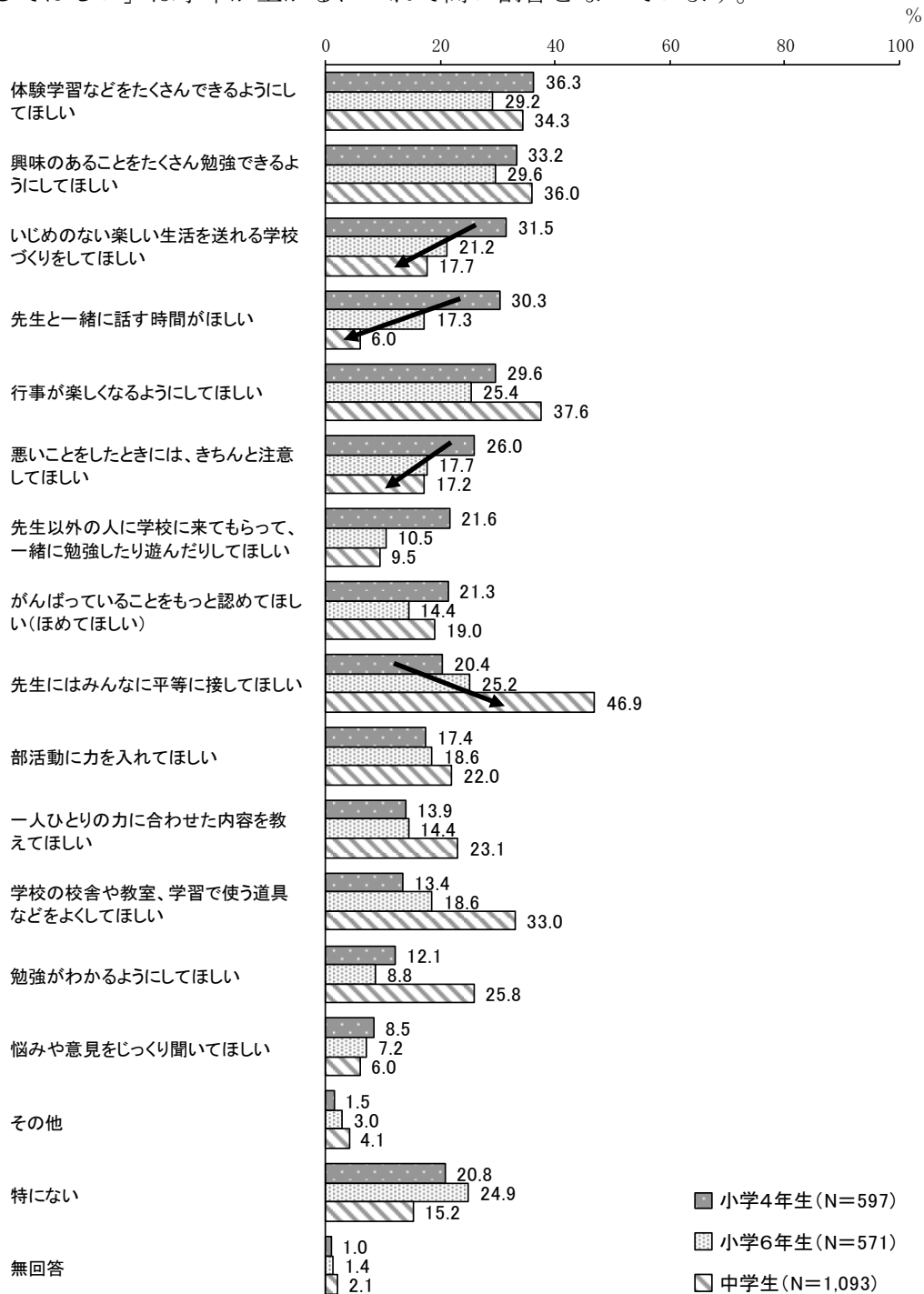


※複数回答のため、各回答割合（％）の合計は100％になりません。

## 19 学校や先生に望むこと（小学生・中学生）

学校や先生に望むこととしては、「体験学習などをたくさんできるようにしてほしい」、「興味のあることをたくさん勉強できるようにしてほしい」、「いじめのない楽しい生活を送れる学校づくりをしてほしい」、「先生と一緒に話す時間がほしい」、「行事が楽しくなるようにしてほしい」等が上位にあげられています。

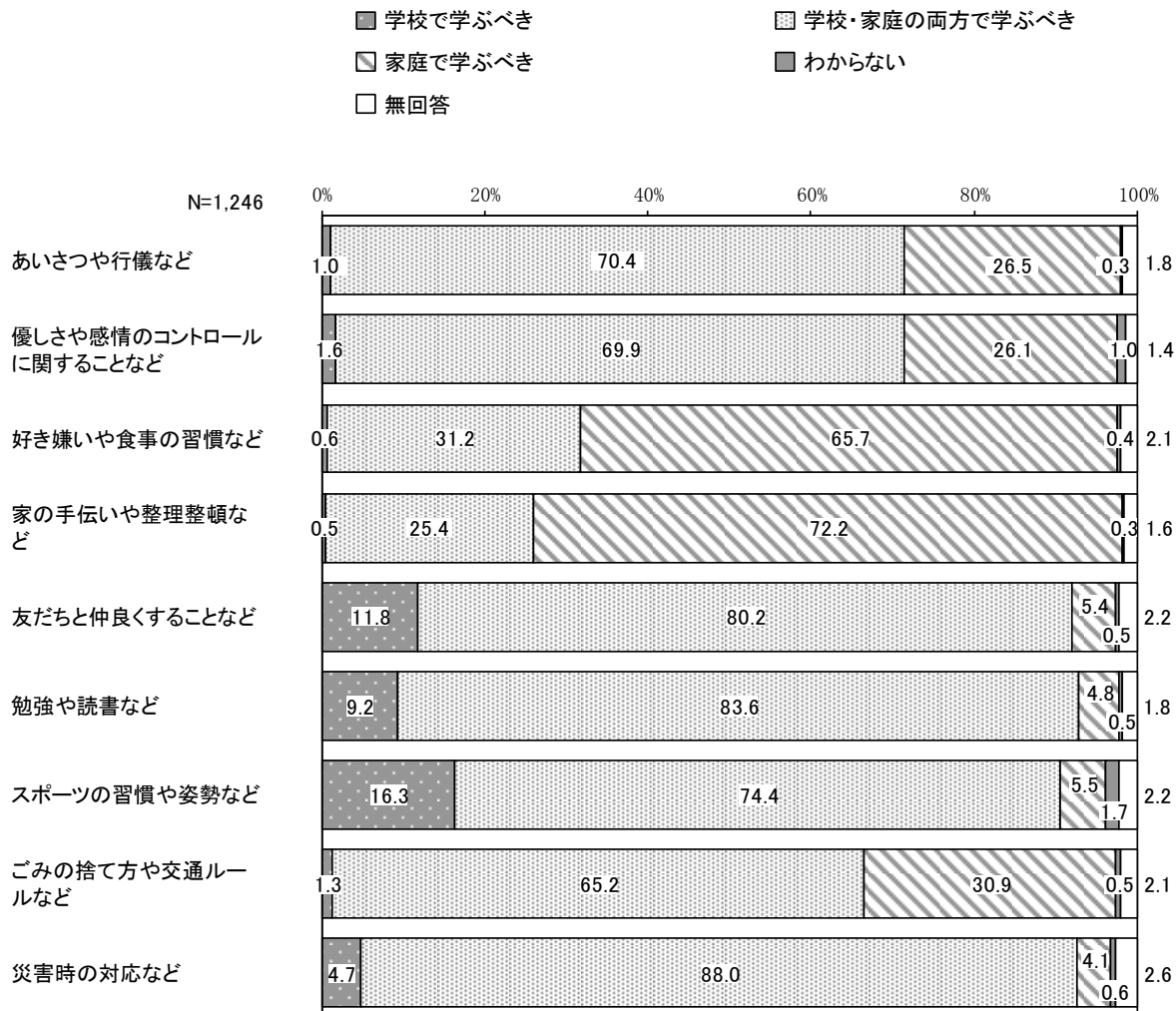
学年による違いを見ると、「いじめのない楽しい生活を送れる学校づくりをしてほしい」、「先生と一緒に話す時間がほしい」、「悪いことをしたときには、きちんと注意してほしい」は小学4年生で最も高く、学年が上がるにつれて割合が低くなっています。一方、「先生にはみんなに平等に接してほしい」は学年が上がるにつれて高い割合となっています。



※複数回答のため、各回答割合（％）の合計は100%になりません。

## 20 学校と家庭の役割（一般市民）

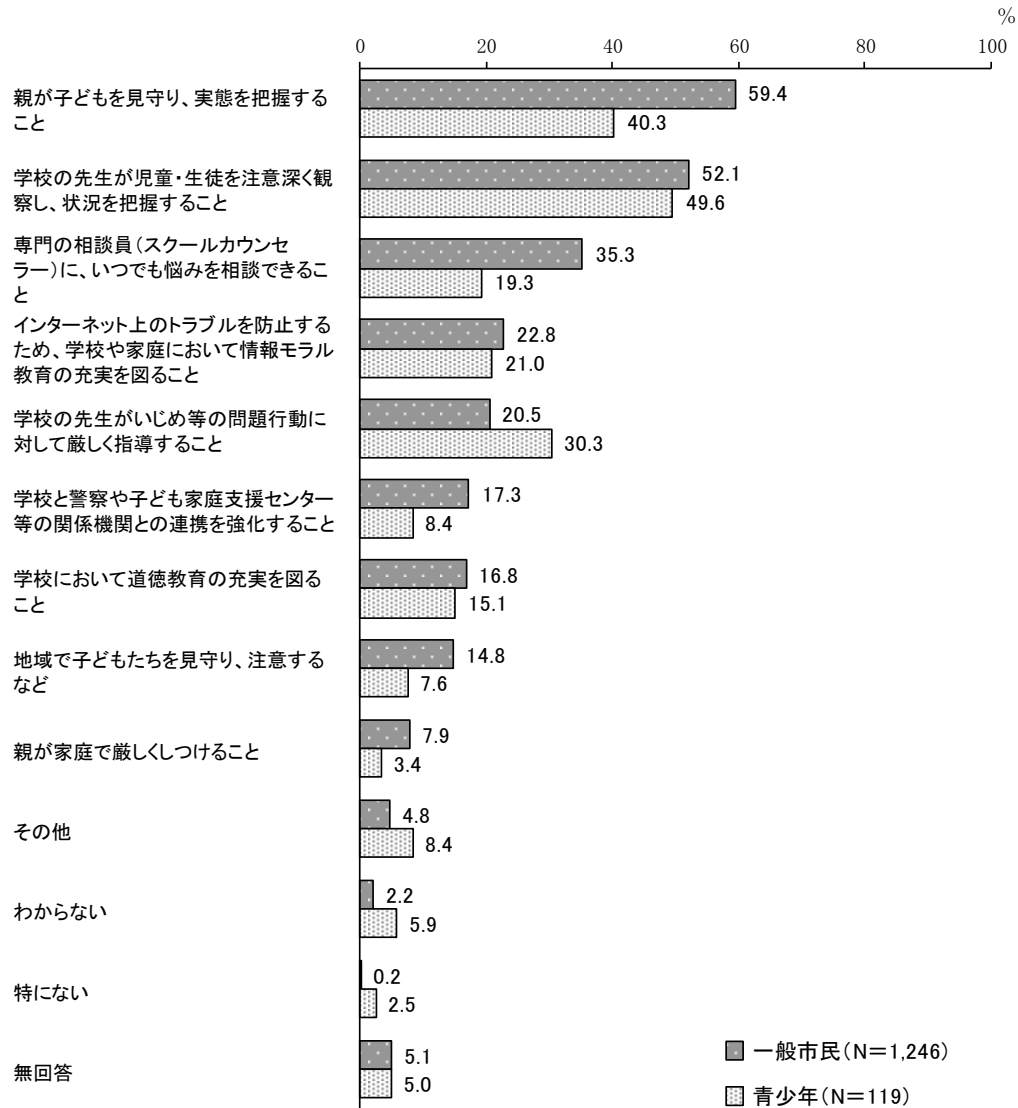
好き嫌いや食事の習慣など、家の手伝いや整理整頓などに関しては、家庭で学ぶべきであるという意見が多く、スポーツの習慣や姿勢など、友だちと仲良くすることなどに関しては、学校で学ぶべきであるという意見が多くなっています。





## 21 いじめや不登校防止のために必要な対策（一般市民・青少年）

いじめや不登校防止のために必要なこととして、一般市民は「親が子どもを見守り、実態を把握すること」と回答する割合が最も高くなっています。一方、青少年は「学校の先生が児童・生徒を注意深く観察し、状況を把握すること」、「学校の先生がいじめ等の問題行動に対して厳しく指導すること」と回答する割合が高く、学校内で教員が対策にあたることが重要だととらえています。



※複数回答のため、各回答割合 (%) の合計は 100% になりません。

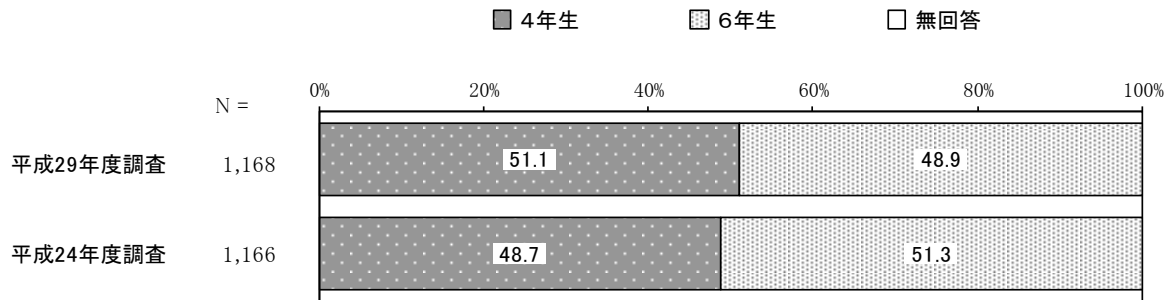
### Ⅲ 調査結果

#### 1 小学生調査

##### (1) 回答者属性

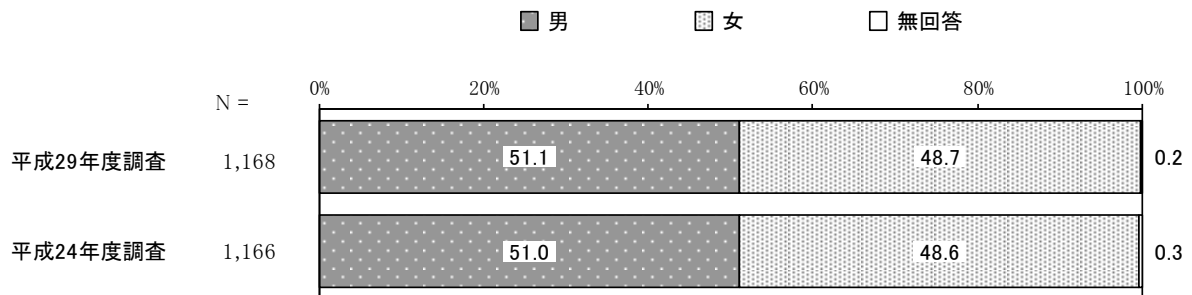
###### 問1 何年生ですか。(〇は1つ)

「4年生」の割合が51.1%、「6年生」の割合が48.9%となっています。



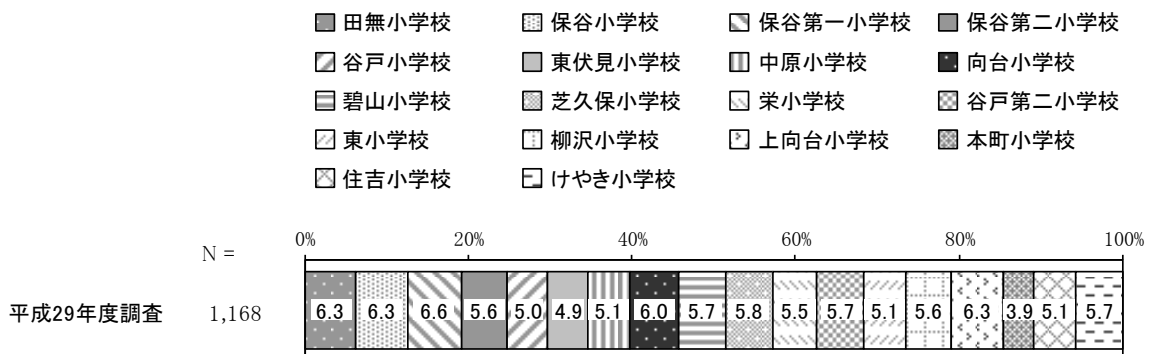
###### 問2 性別はどちらですか。(〇は1つ)

「男」の割合が51.1%、「女」の割合が48.7%となっています。



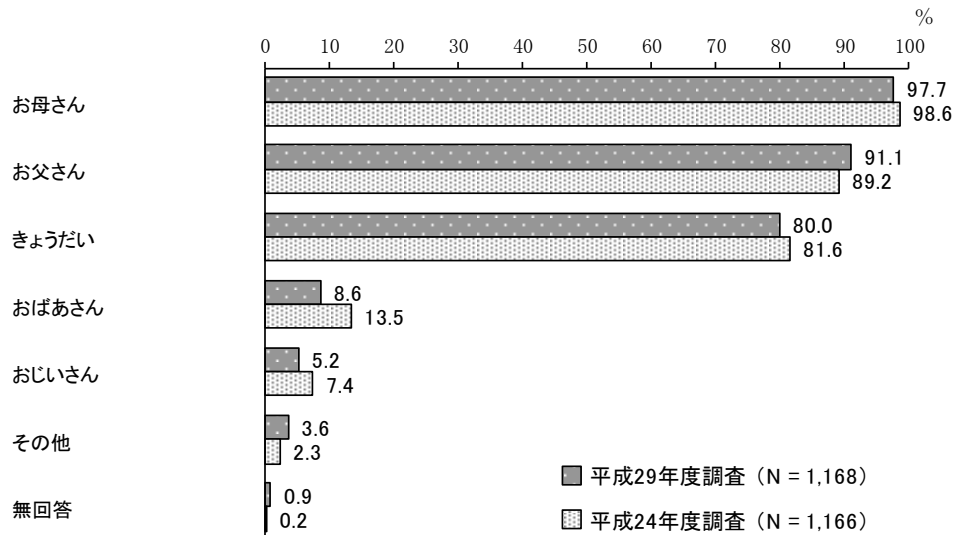
###### 問3 どの小学校に通っていますか。(〇は1つ)

「保谷第一小学校」の割合が6.6%と最も高くなっています。



問4 一緒に住んでいる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

「お母さん」の割合が97.7%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が91.1%、「きょうだい」の割合が80.0%となっています。

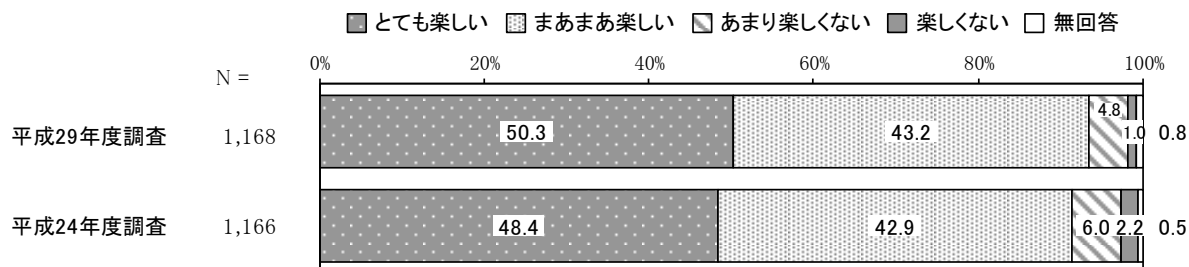


## (2) 学校での生活について

### 問5 学校は楽しいですか。(〇は1つ)

「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が93.5%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が5.8%となっています。

平成24年度調査と比較すると、“楽しい”の割合が増加しています。



### 参考 平成20年調査結果

単位：%

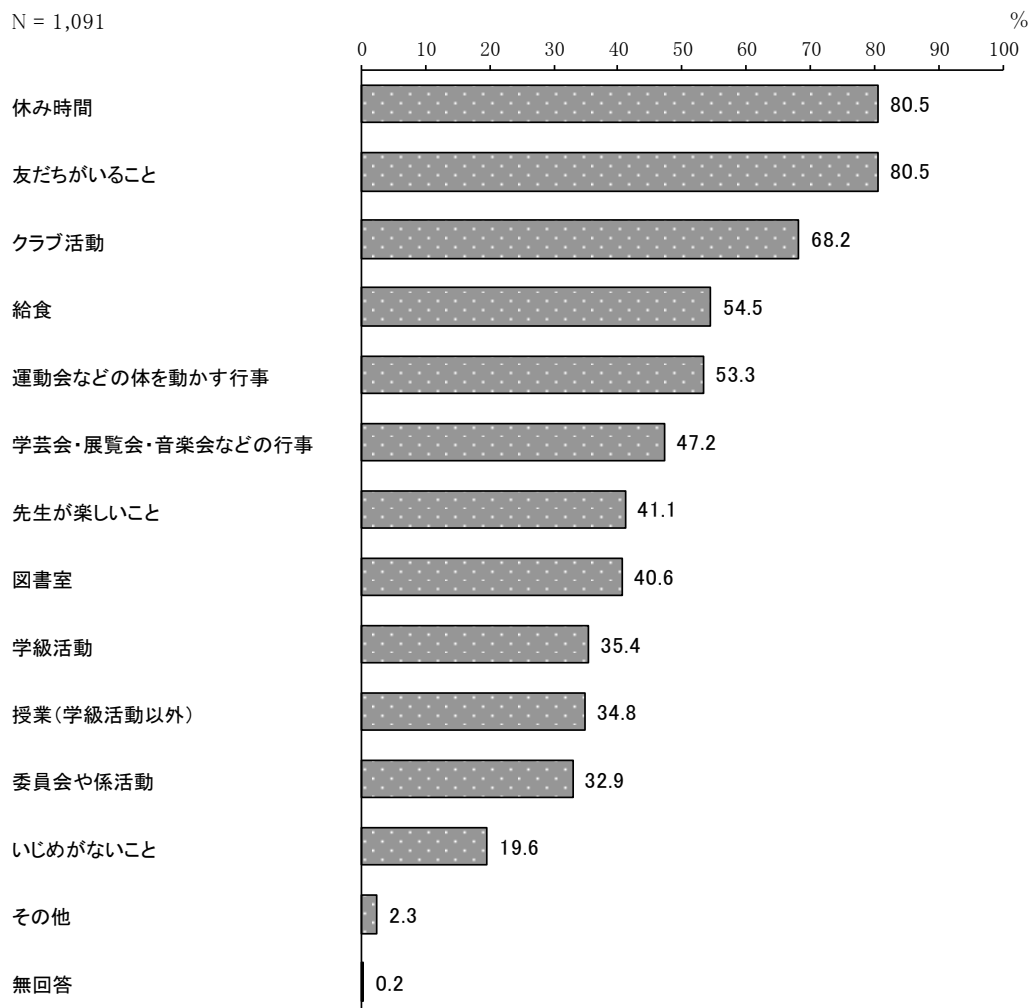
	有効回答数 (件)	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	無回答
全体	1,112	45.2	41.5	7.5	2.6	3.1
4年生	545	49.7	36.0	8.4	1.8	4.0
6年生	563	40.9	46.9	6.6	3.4	2.3

「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた人にたずねます。

**問6 学校のどんなところが楽しいですか。(〇はいくつでも)**

「休み時間」、「友だちがいること」の割合が80.5%と最も高く、次いで、「クラブ活動」の割合が68.2%となっています。

N = 1,091



**参考** 平成20年調査結果 (複数回答)

単位：%

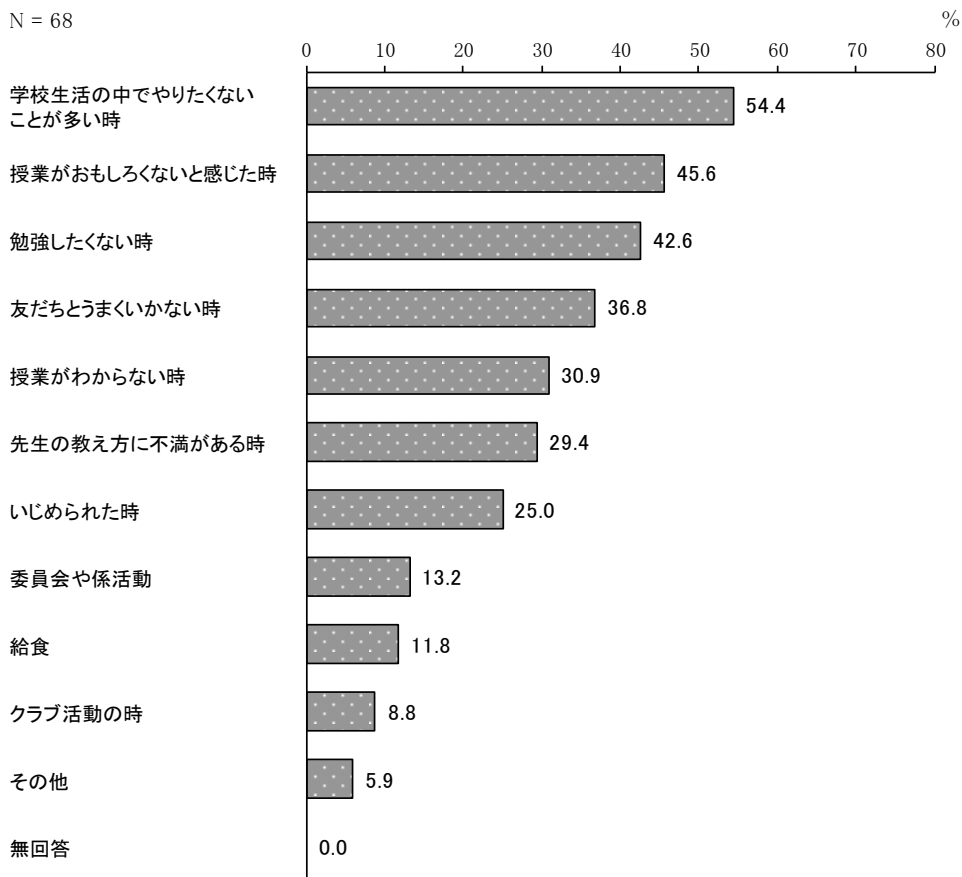
	有効回答数 (件)	授業	休み時間	授業以外の クラス活動	友だちがいること	先生	遠足や運動会などの 行事	図書室	クラブ活動	給食	その他	無回答
全体	1,112	19.5	69.4	26.0	60.8	19.4	54.3	29.2	60.3	33.7	3.3	2.5
4年生	545	21.7	67.7	21.7	55.0	21.3	57.6	33.2	65.0	37.2	2.4	2.9
6年生	563	17.6	70.9	30.2	66.3	17.8	51.2	25.6	56.0	30.2	4.3	2.1

〈小学生調査〉

「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた人にたずねます。

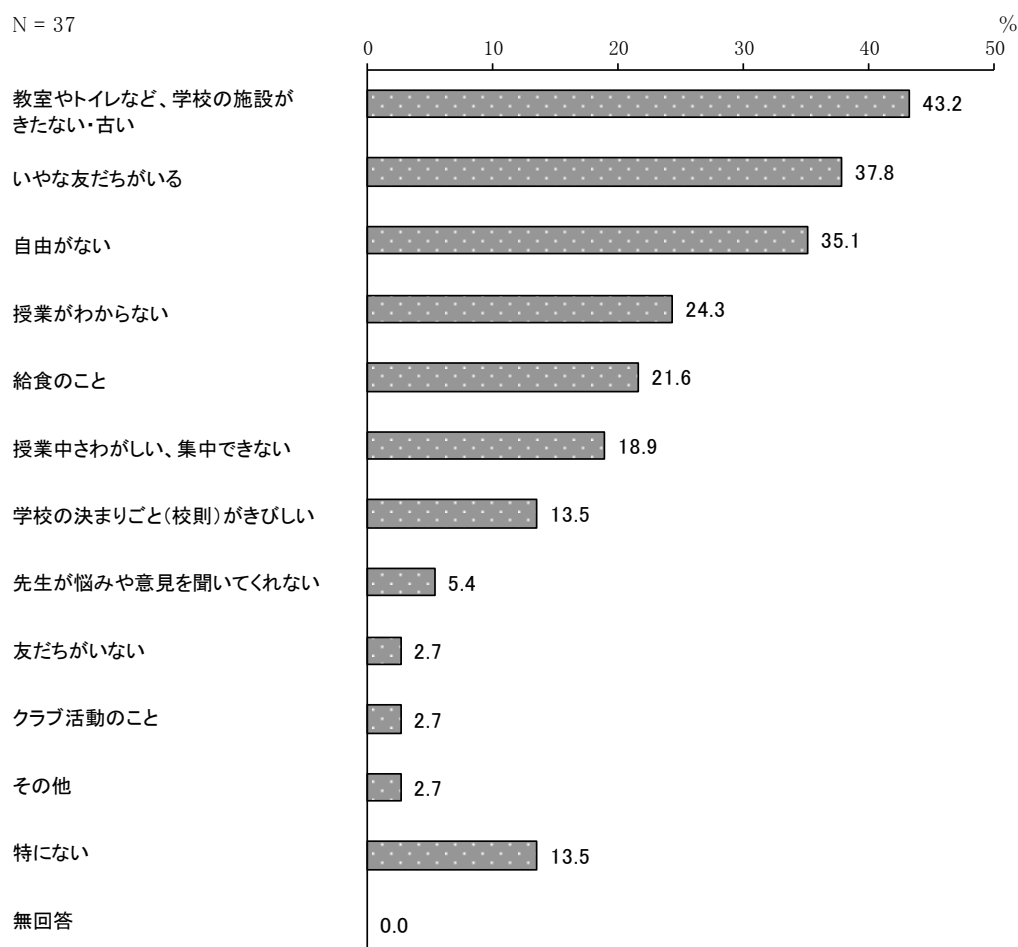
問7 楽しくないと思ったのはどんな時ですか。(〇はいくつでも)

「学校生活の中でやりたくないことが多い時」の割合が54.4%と最も高く、次いで「授業がおもしろくないと感じた時」の割合が45.6%、「勉強したくない時」の割合が42.6%となっています。



【学校生活の中でやりたくないことが多い時に、学校が楽しくないと感じる人が学校で困っていること】

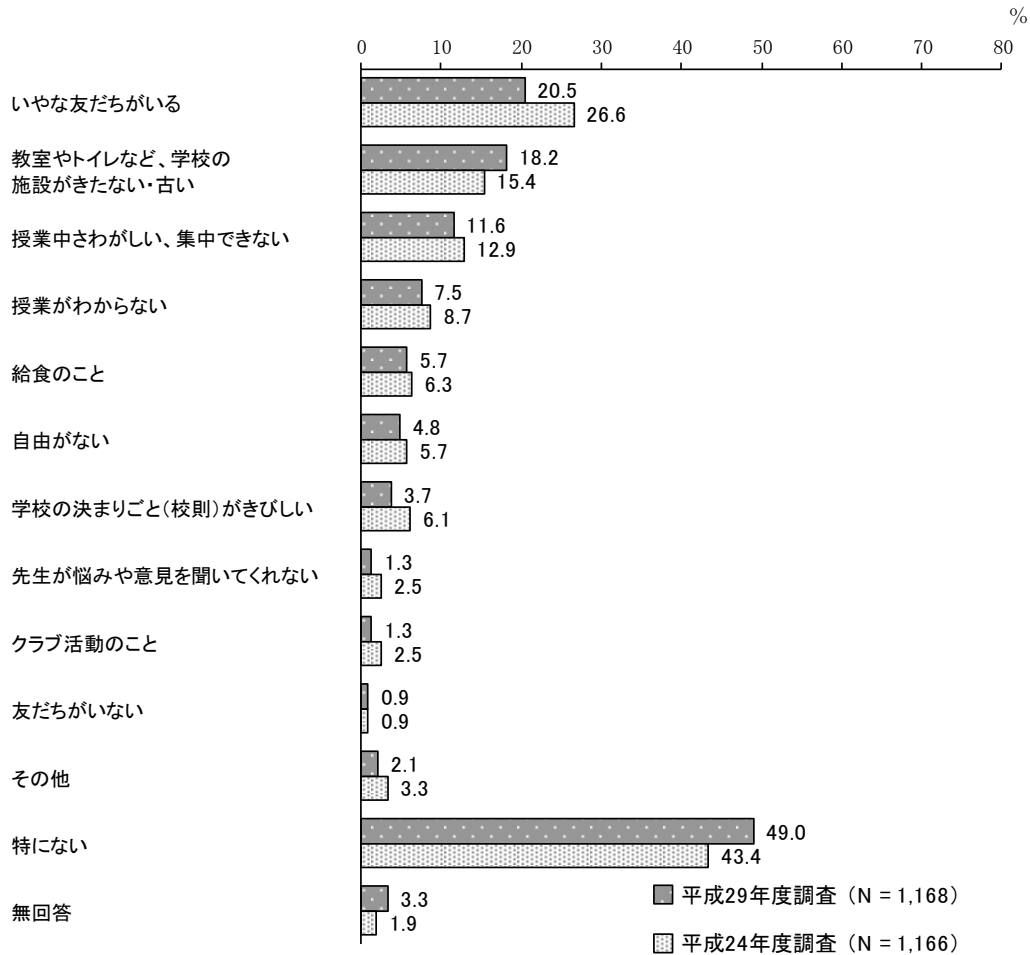
「教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い」「いやな友だちがいる」「自由がない」の割合が高くなっています。



問8 学校で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

「特にない」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「いやな友だちがいる」の割合が 20.5%、「教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い」の割合が 18.2%となっています。

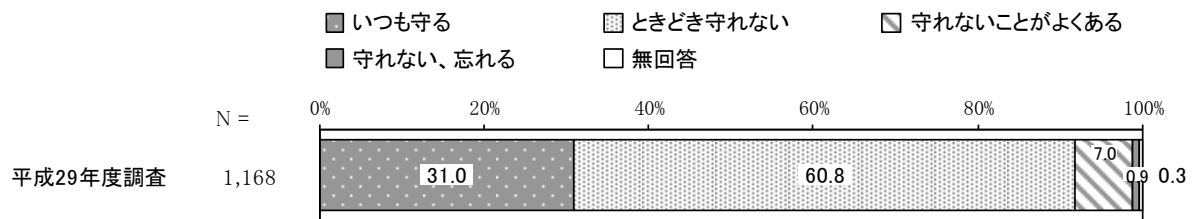
平成 24 年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。一方、「いやな友だちがいる」の割合が減少しています。





問9 学校のきまり・規則を守って生活していますか。(○は1つ)

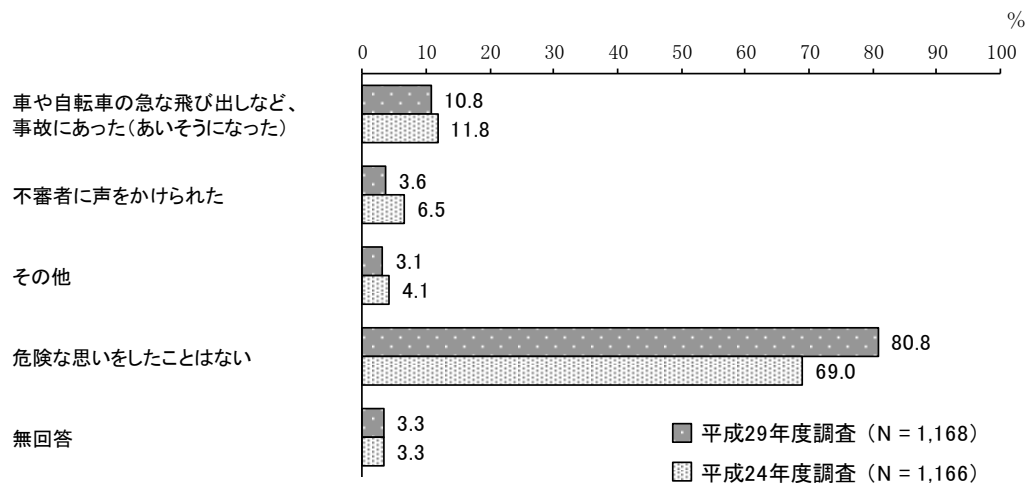
「ときどき守れない」の割合が60.8%と最も高く、次いで「いつも守る」の割合が31.0%となっています。



問10 この1年くらいの間に、学校に通うときや学校から帰るとき（登下校時）に危険な思いをしたことはありますか。(○はいくつでも)

「危険な思いをしたことはない」の割合が80.8%と最も高く、次いで「車や自転車の急な飛び出しなど、事故にあった(あいそうになった)」の割合が10.8%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「危険な思いをしたことはない」の割合が増加しています。

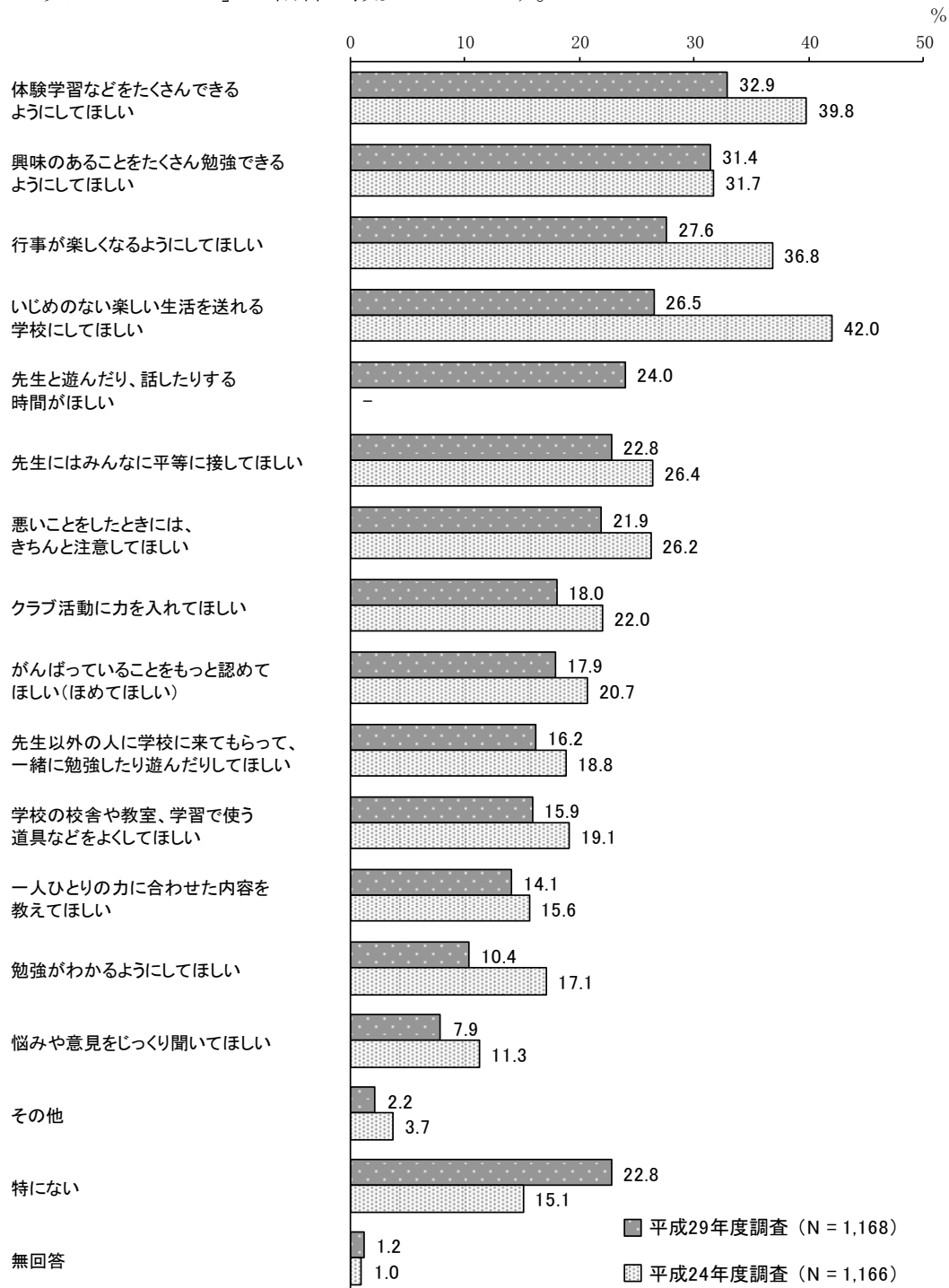


※平成24年度調査には「遊具で遊んでいてケガをした(しそうになった)」の選択肢がありました。

問 11 学校や先生に望むこと（してほしいこと）は何ですか。（〇はいくつでも）

「体験学習などをたくさんできるようにしてほしい」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「興味のあることをたくさん勉強できるようにしてほしい」の割合が 31.4%、「行事が楽しくなるようにしてほしい」の割合が 27.6%となっています。

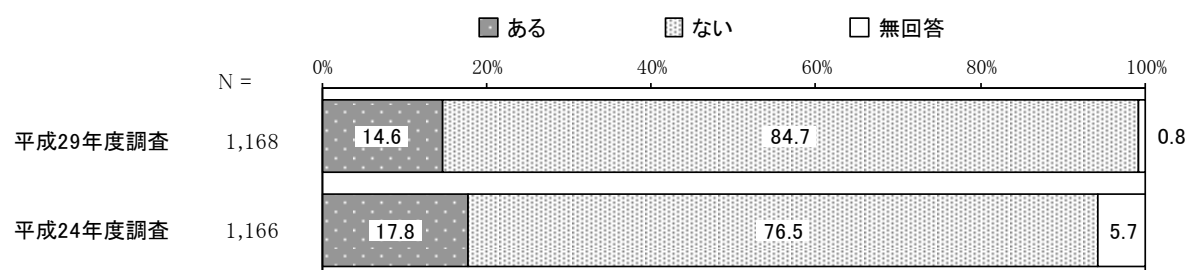
平成 24 年度調査と比較すると、「体験学習などをたくさんできるようにしてほしい」「行事が楽しくなるようにしてほしい」「いじめのない楽しい生活を送れる学校にほしい」「勉強がわかるようにしてほしい」の割合が減少しています。



※平成 24 年度調査には「先生と遊んだり、話したりする時間がほしい」の選択肢はありません。

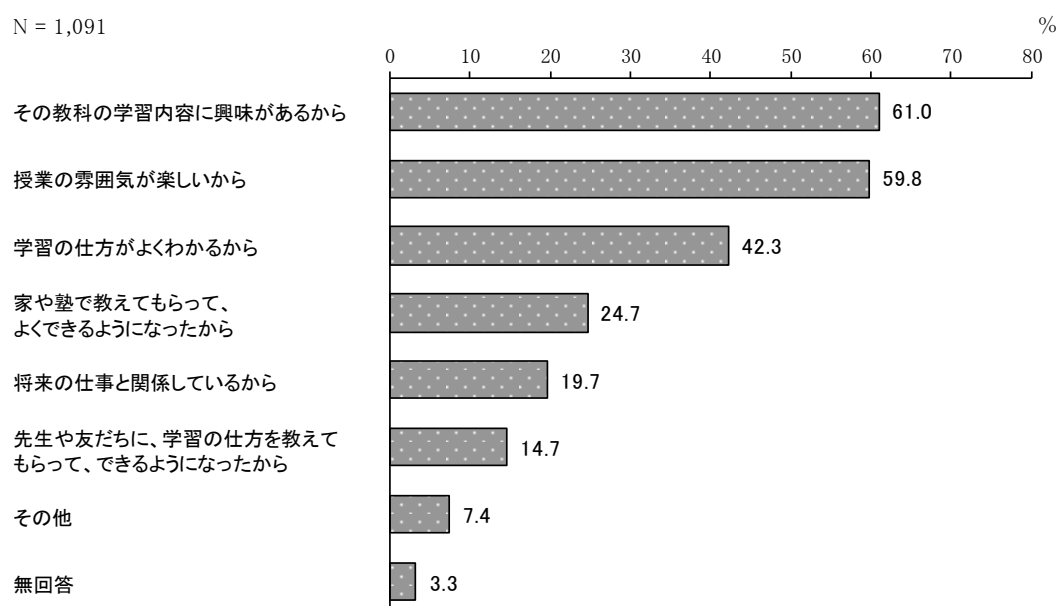
問 12 ふだんの授業以外に、自分の苦手なことや困っていることについて、個別に先生に教えてほしいと思ったことはありますか。(〇は1つ)

「ある」の割合が14.6%、「ない」の割合が84.7%となっています。  
平成24年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



問 14 好きな教科について、好きになった理由はどんなことですか。(〇はいくつでも)

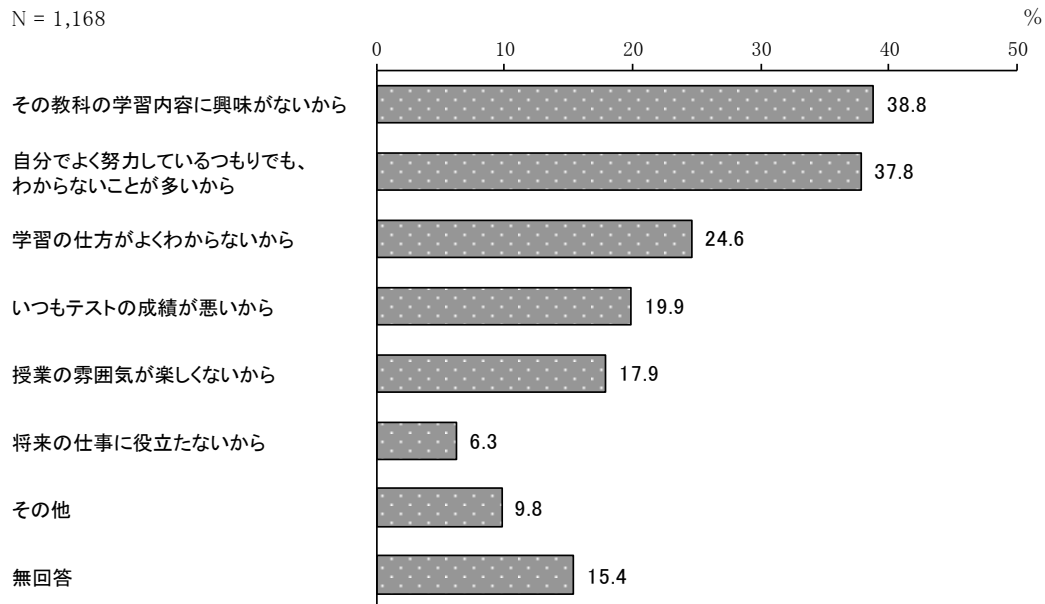
「その教科の学習内容に興味があるから」の割合が61.0%と最も高く、次いで「授業の雰囲気を楽しんでいるから」の割合が59.8%、「学習の仕方がよくわかるから」の割合が42.3%となっています。



〈小学生調査〉

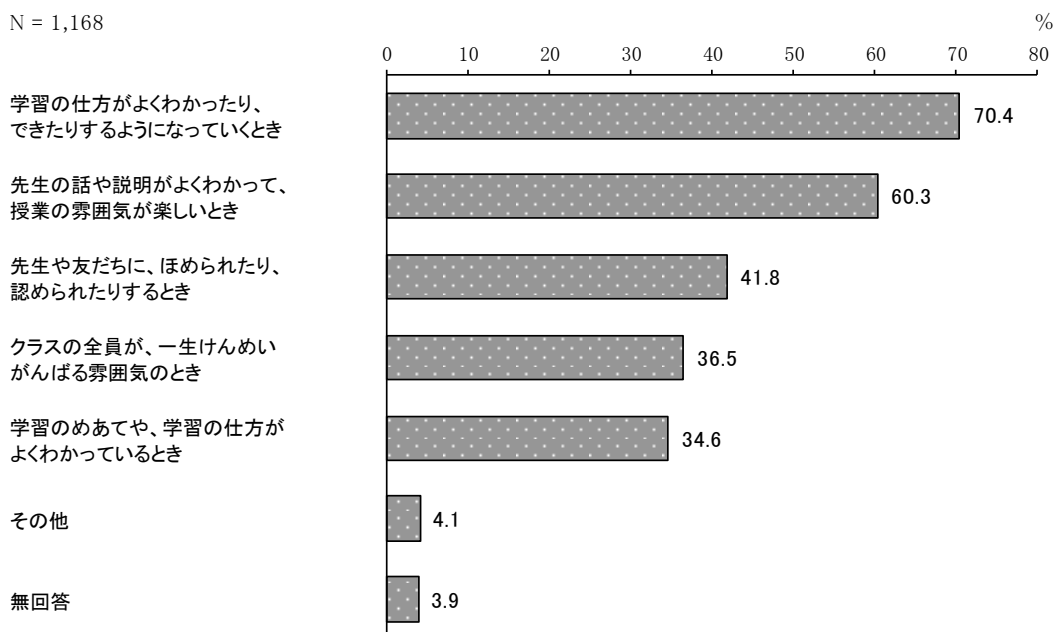
問 15 きらいな教科について、きれいになった理由はどんなことですか。  
(○はいくつでも)

「その教科の学習内容に興味がなから」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「自分でよく努力しているつもりでも、わからないことが多いから」の割合が 37.8%、「学習の仕方がよくわからないから」の割合が 24.6%となっています。



問 16 授業中にやる気が出てくるのは、どんなときですか。(○はいくつでも)

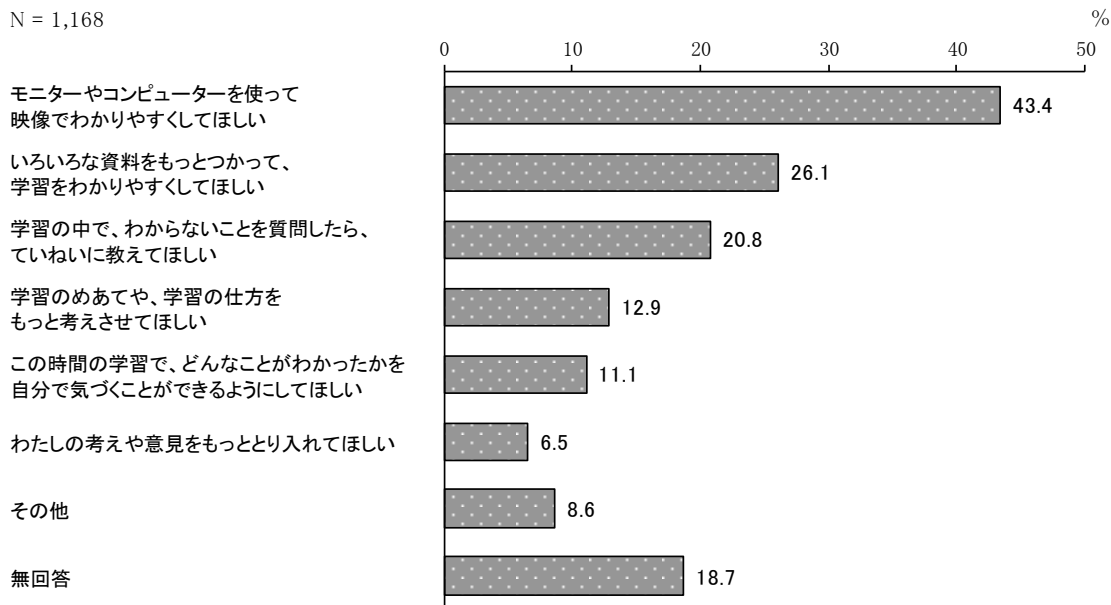
「学習の仕方がよくわかったり、できたりするようになっていくとき」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「先生の話や説明がよくわかって、授業の雰囲気が楽しいとき」の割合が 60.3%、「先生や友だちに、ほめられたり、認められたりするとき」の割合が 41.8%となっています。



問 17 学習の仕方について、もっとこうしてほしいと思うことがありますか。  
(〇はいくつでも)

「モニターやコンピューターを使って映像でわかりやすくしてほしい」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「いろいろな資料をもっとつかって、学習をわかりやすくしてほしい」の割合が 26.1%、「学習の中で、わからないことを質問したら、ていねいに教えてほしい」の割合が 20.8%となっています。

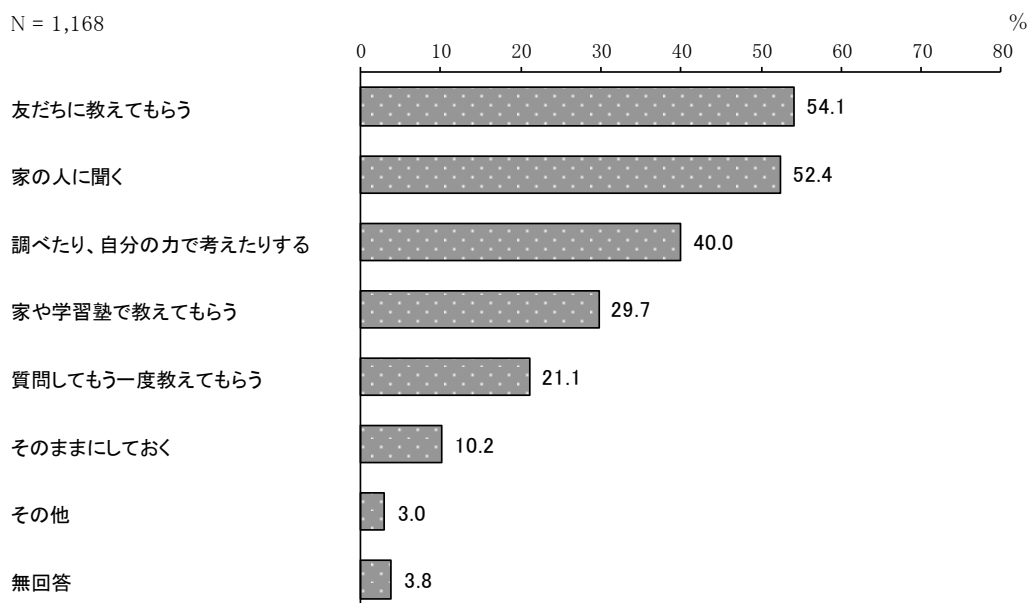
N = 1,168



問 18 学習内容がよくわからなかったり、できなかったときはどうしていますか。  
(〇はいくつでも)

「友だちに教えてもらう」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「家の人に聞く」の割合が 52.4%、「調べたり、自分の力で考えたりする」の割合が 40.0%となっています。

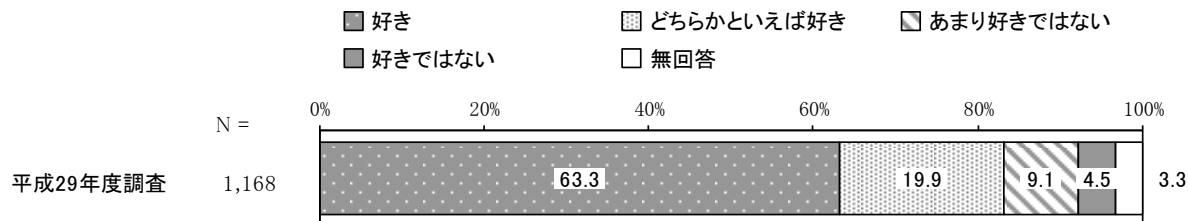
N = 1,168



### (3) 学校以外での生活について

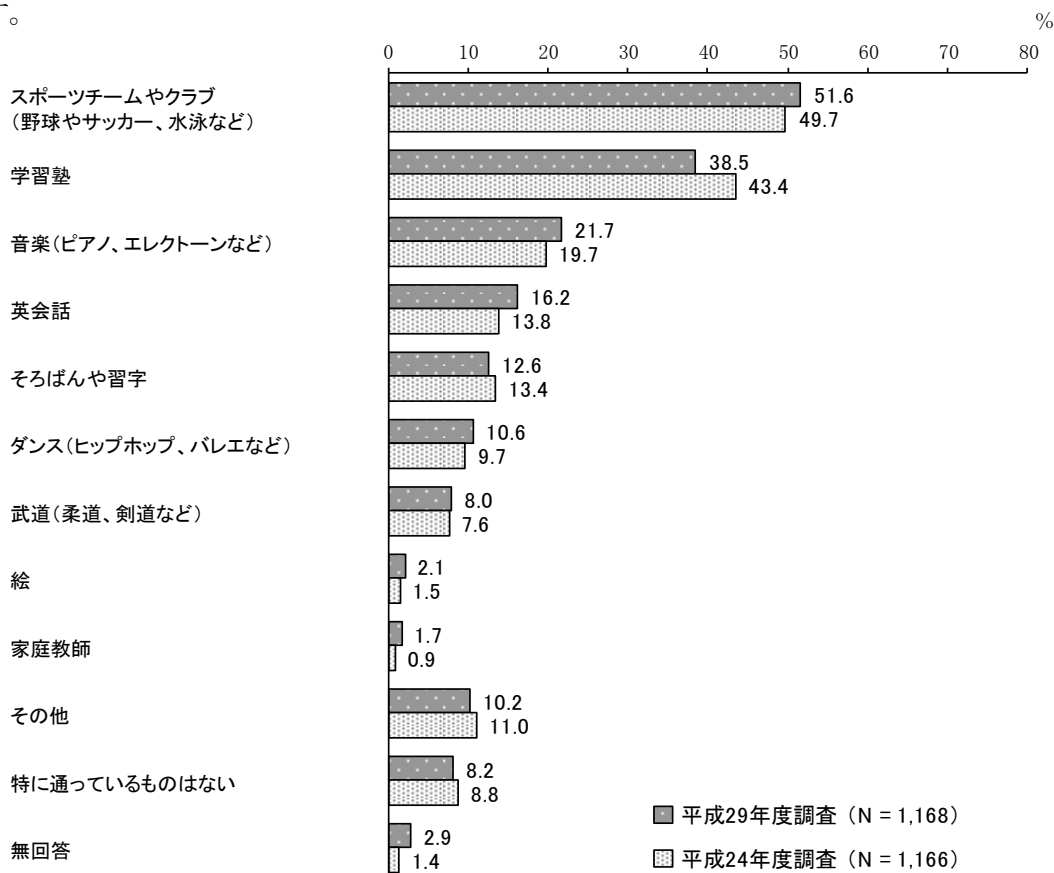
#### 問 19 運動することが好きですか。(○は1つ)

「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が 83.2%、「あまり好きではない」と「好きではない」をあわせた“好きではない”の割合が 13.6%となっています。



#### 問 20 習い事や塾に通っていますか。(○はいくつでも)

「スポーツチームやクラブ (野球やサッカー、水泳など)」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「学習塾」の割合が 38.5%、「音楽 (ピアノ、エレクトーンなど)」の割合が 21.7%となっています。



参考 平成 20 年調査結果 (複数回答)

単位：%

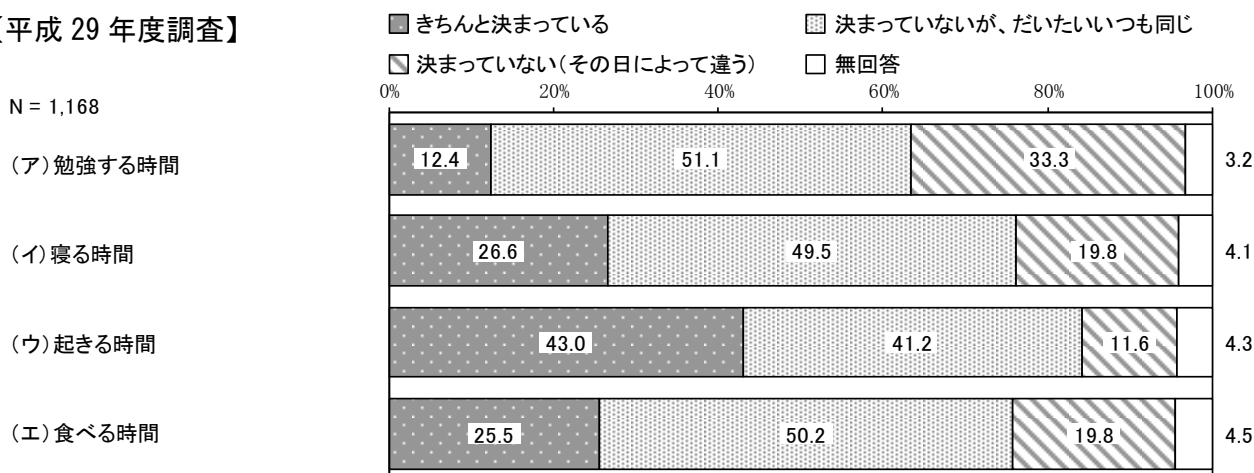
	有効回答数 (件)	スポーツ チームや クラブ	ピアノ、エレ クトーン その他の音楽	学習塾	家庭教師	そろばんや習字	英会話	絵	特 に な い	そ 他	無 回 答
全 体	1,112	54.5	22.1	39.8	0.7	13.9	13.6	2.7	9.5	9.3	1.4
4年生	545	59.8	25.7	30.3	0.6	15.0	15.0	3.3	9.9	11.2	2.0
6年生	563	49.4	18.8	49.2	0.9	13.0	12.1	2.1	8.9	7.5	0.9

問 21 家では、勉強する時間・寝る時間・起きる時間・食べる時間はそれぞれ決まっていますか。(○は (ア) ~ (エ) ごとに1つつ)

(ア) 勉強する時間では、「きちんと決まっている」と「決まっていないが、だいたいいつも同じ」をあわせた“決まっている”の割合が63.5%、「決まっていない(その日によって違う)」の割合が33.3%となっています。(イ) 寝る時間では、“決まっている”の割合が76.1%、「決まっていない(その日によって違う)」の割合が19.8%となっています。(ウ) 起きる時間では、“決まっている”の割合が84.2%、「決まっていない(その日によって違う)」の割合が11.6%となっています。(エ) 食べる時間では、“決まっている”の割合が75.7%、「決まっていない(その日によって違う)」の割合が19.8%となっています。

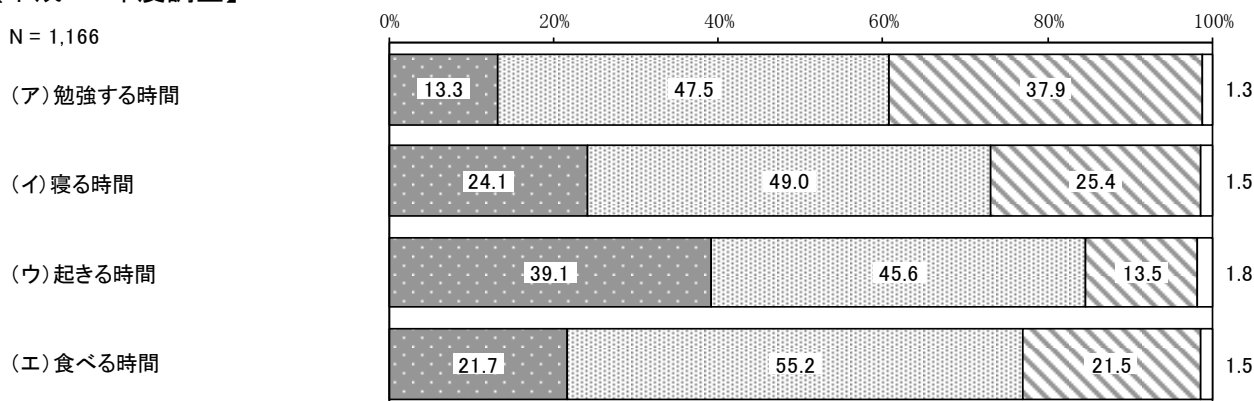
【平成 29 年度調査】

N = 1,168



【平成 24 年度調査】

N = 1,166



**参考** 平成 20 年調査結果

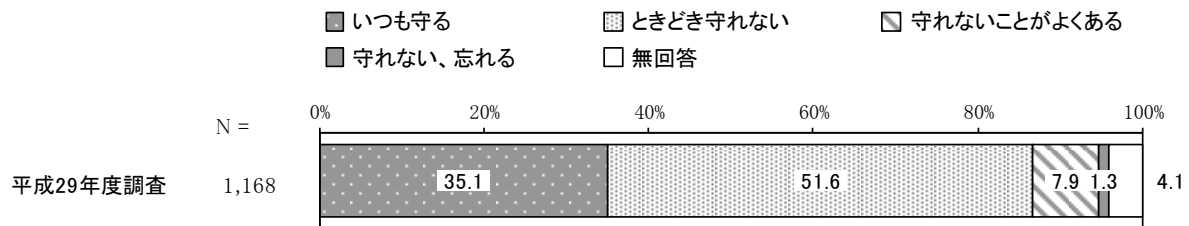
単位：％

	有効回答数 (件)	勉強する時間				寝る時間			
		きちんと 決まっている	決まっていないが、 大体いつも同じ	決まっていない (その日によって 違う)	無回答	きちんと 決まっている	決まっていないが、 大体いつも同じ	決まっていない (その日によって 違う)	無回答
全 体	1,112	12.7	40.7	42.6	4.0	23.5	47.2	25.3	4.0
4年生	545	15.0	38.0	42.2	4.8	30.8	38.7	25.3	5.1
6年生	563	10.3	43.5	43.2	3.0	16.5	55.8	24.9	2.8

	有効回答数 (件)	起きる時間				食べる時間			
		きちんと 決まっている	決まっていないが、 大体いつも同じ	決まっていない (その日によって 違う)	無回答	きちんと 決まっている	決まっていないが、 大体いつも同じ	決まっていない (その日によって 違う)	無回答
全 体	1,112	40.6	42.4	12.8	4.1	21.8	50.2	23.2	4.9
4年生	545	47.7	33.6	13.6	5.1	24.8	47.0	21.7	6.6
6年生	563	33.9	51.2	11.9	3.0	18.7	53.6	24.7	3.0

**問 22 家での決まりや約束を守っていますか。(○は1つ)**

「ときどき守れない」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「いつも守る」の割合が 35.1%となっています。



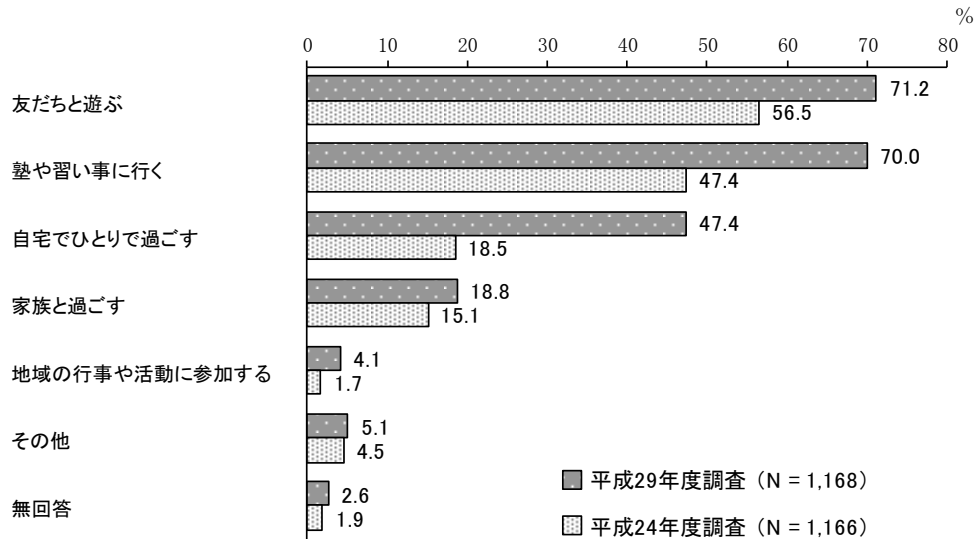


問 23 学校の授業以外では、主にどうやって過ごすことが多いですか。  
 (〇は (ア)～ (カ) ごとに1つずつ)

【平日 (学校が終わってから)】

「友だちと遊ぶ」の割合が71.2%と最も高く、次いで「塾や習い事に行く」の割合が70.0%、「自宅でひとりで過ごす」の割合が47.4%となっています。

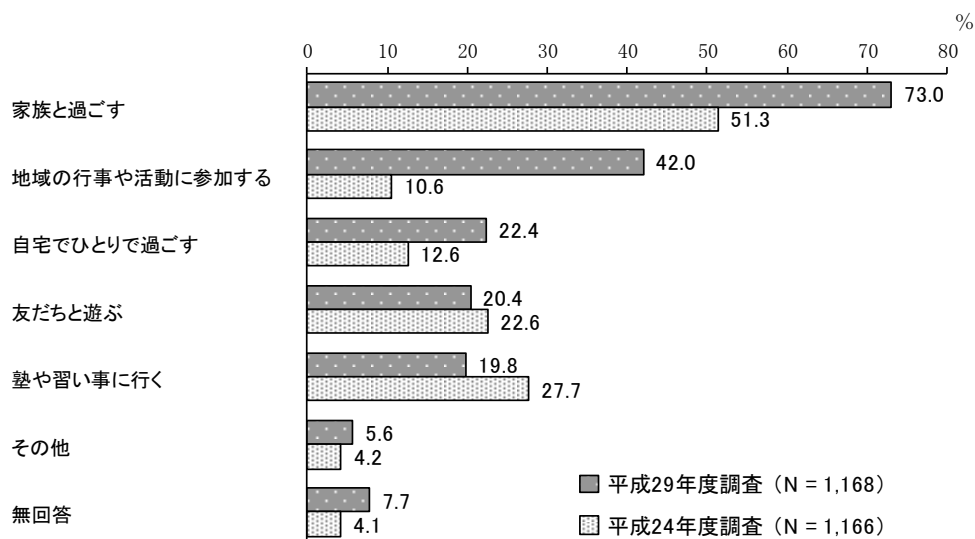
平成24年度調査と比較すると、「友だちと遊ぶ」「塾や習い事に行く」「自宅でひとりで過ごす」の割合が増加しています。



【休日 (学校が休みの日)】

「家族と過ごす」の割合が73.0%と最も高く、次いで「地域の行事や活動に参加する」の割合が42.0%、「自宅でひとりで過ごす」の割合が22.4%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「家族と過ごす」「地域の行事や活動に参加する」「自宅でひとりで過ごす」の割合が増加し、「塾や習い事に行く」の割合が減少しています。



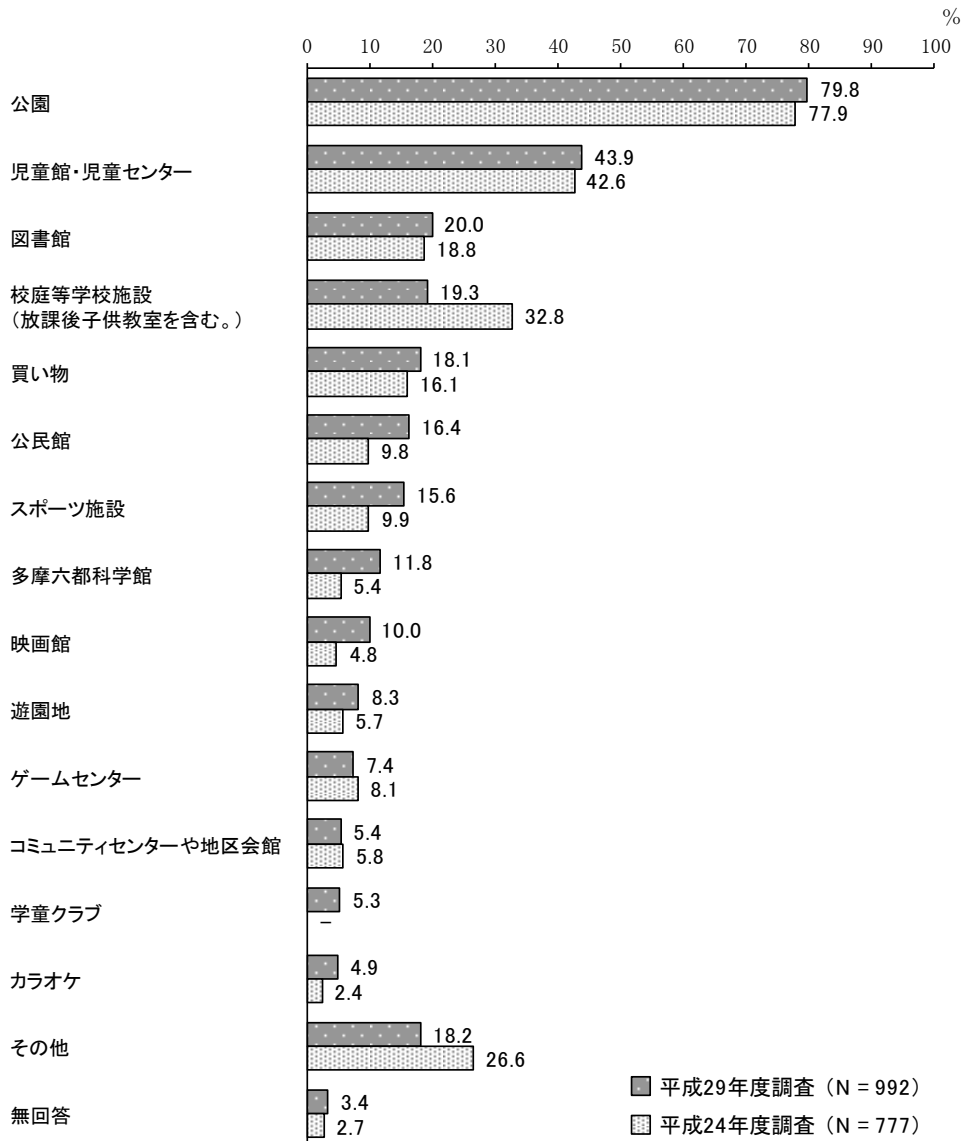
〈小学生調査〉

平日または休日に「友だちと遊ぶ」と答えた人にたずねます。

問 24 友だち同士で外出するときは、どのようなところに行きますか。  
(〇はいくつでも)

「公園」の割合が79.8%と最も高く、次いで「児童館・児童センター」の割合が43.9%、「図書館」の割合が20.0%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「公民館」「スポーツ施設」「多摩六都科学館」「映画館」の割合が増加しています。一方、「校庭等学校施設（放課後子供教室を含む。）」の割合が減少しています。



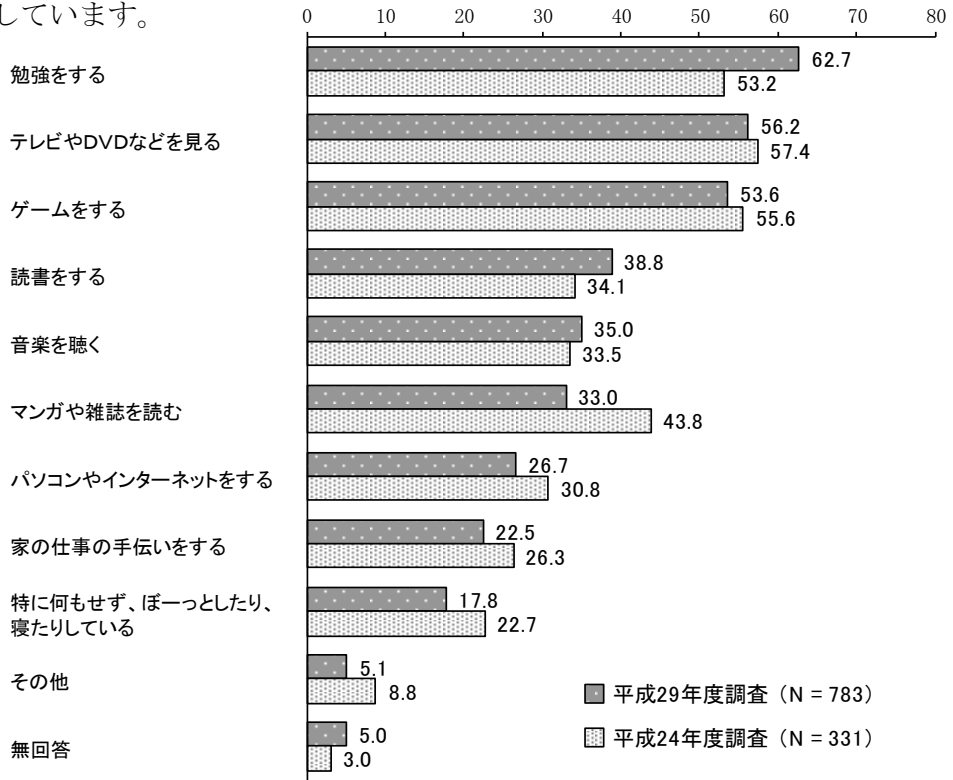
※平成24年度調査には「学童クラブ」の選択肢はありません。

平日または休日に「自宅でひとりで過ごす」と答えた人にたずねます。

**問 25 何をして過ごしていますか。(〇はいくつでも)**

「勉強をする」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「テレビやDVDなどを見る」の割合が 56.2%、「ゲームをする」の割合が 53.6%となっています。

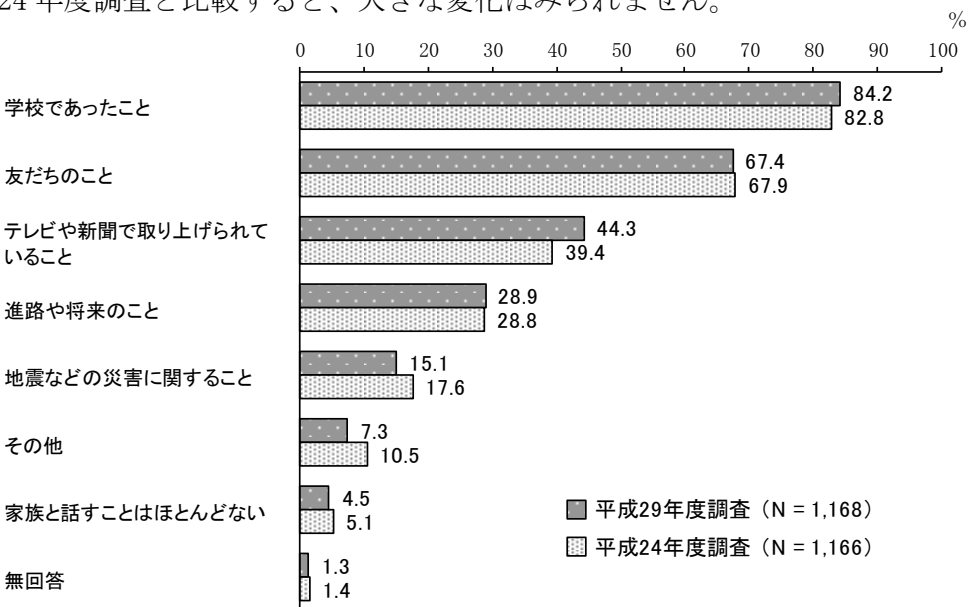
平成 24 年度調査と比較すると、「勉強をする」「読書をする」の割合が増加しています。一方、「マンガや雑誌を読む」「パソコンやインターネットをする」「家の仕事の手伝いをする」の割合が減少しています。



**問 26 次のような内容について家族と話すことがありますか。(〇はいくつでも)**

「学校であったこと」の割合が 84.2%と最も高く、次いで「友だちのこと」の割合が 67.4%、「テレビや新聞で取り上げられていること」の割合が 44.3%となっています。

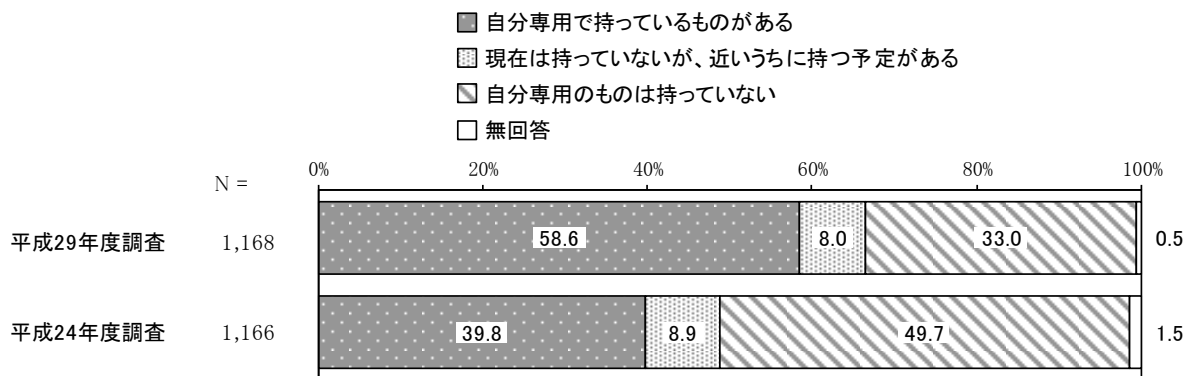
平成 24 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### (4) 携帯電話やインターネット等について

問 27 自分専用の携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。  
(○は1つ)

「自分専用で持っているものがある」の割合が 58.6%となっており、平成 24 年度調査と比較すると、増加しています。



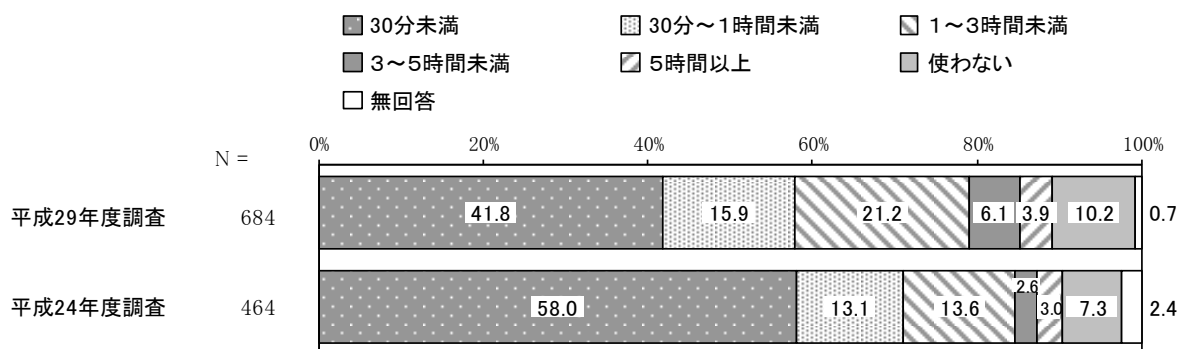
「自分専用で持っているものがある」と答えた人にたずねます。

問 28 1日にどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使いますか。  
「平日」「休日」それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

#### 【平日】

「30分未満」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「1～3時間未満」の割合が 21.2%、「30分～1時間未満」の割合が 15.9%となっています。

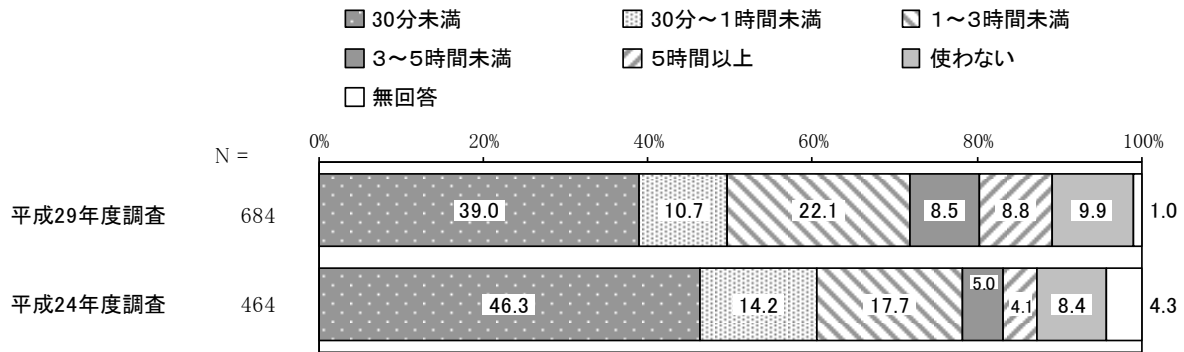
平成 24 年度調査と比較すると、「1～3時間未満」の割合が増加しています。一方、「30分未満」の割合が減少しています。



【休日】

「30分未満」の割合が39.0%と最も高く、次いで「1～3時間未満」の割合が22.1%、「30分～1時間未満」の割合が10.7%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「30分未満」の割合が減少しています。

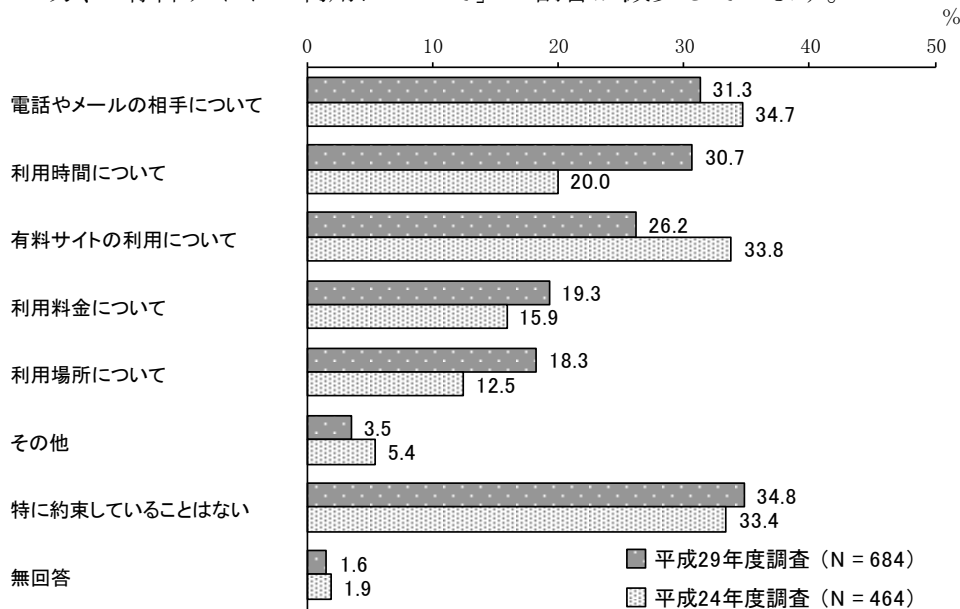


「自分専用で持っているものがある」と答えた人にたずねます。

問29 使い方について、家族と約束をしていることはありますか。(〇はいくつでも)

「特に約束していることはない」の割合が34.8%と最も高く、次いで「電話やメールの相手について」の割合が31.3%、「利用時間について」の割合が30.7%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「利用時間について」「利用場所について」の割合が増加しています。一方、「有料サイトの利用について」の割合が減少しています。



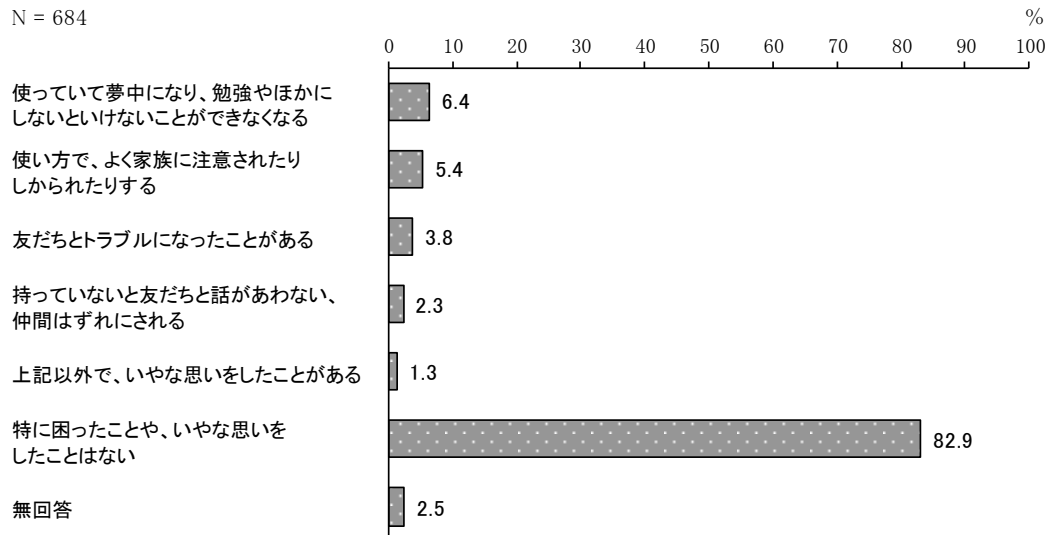
〈小学生調査〉

「自分専用で持っているものがある」と答えた人にたずねます。

問 30 携帯電話（スマートフォン含む）やパソコンでインターネットを利用して、次のようなことがありましたか。（○はいくつでも）

「特に困ったことや、いやな思いをしたことはない」の割合が 82.9%と最も高くなっています。

N = 684

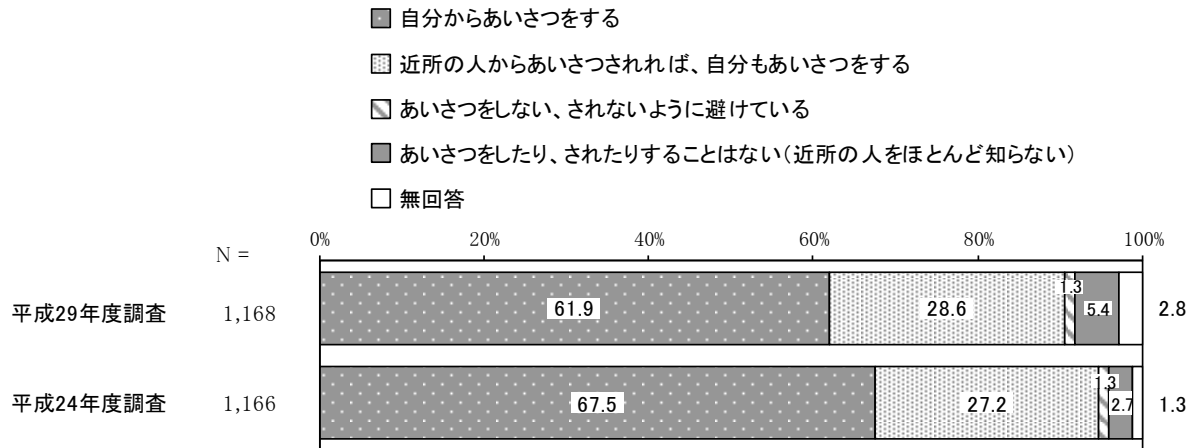


(5) 地域の方との関わり方について

問 31 ふだん、近所の人とはあいさつをしますか。(○は1つ)

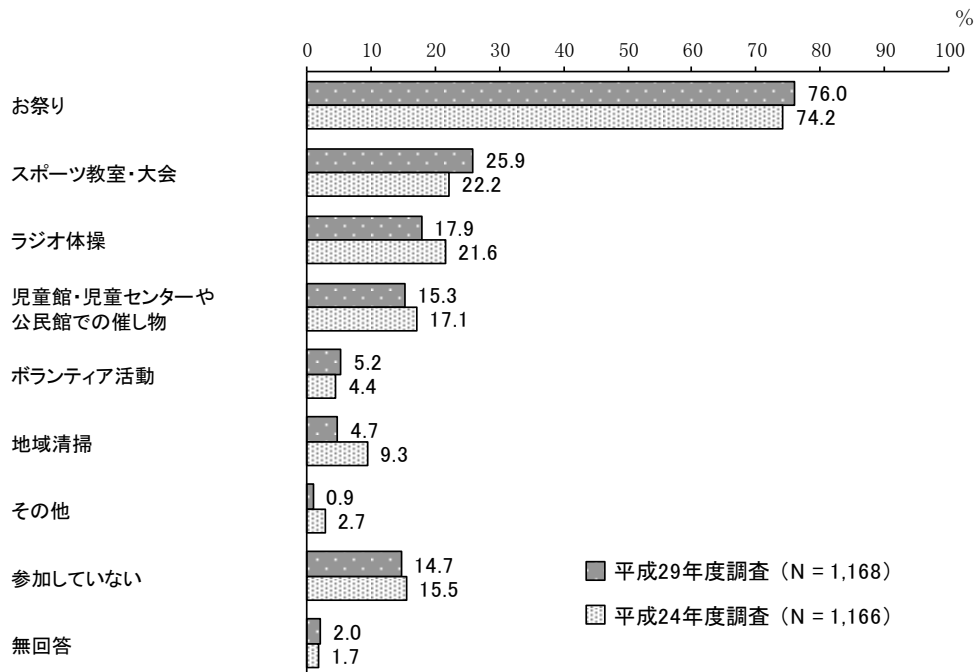
「自分からあいさつをする」の割合が61.9%と最も高く、次いで「近所の人からあいさつされれば、自分もあいさつをする」の割合が28.6%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「自分からあいさつをする」の割合が減少しています。



問 32 以下のような地域の行事などに参加していますか。(○はいくつでも)

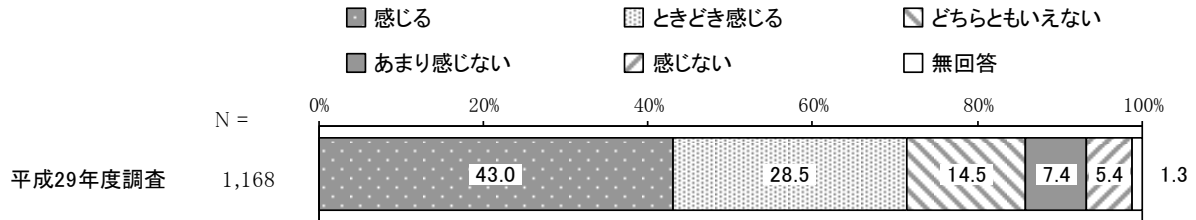
「お祭り」の割合が76.0%と最も高く、次いで「スポーツ教室・大会」の割合が25.9%、「ラジオ体操」の割合が17.9%となっています。



〈小学生調査〉

問 33 あなたの住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(〇は1つ)

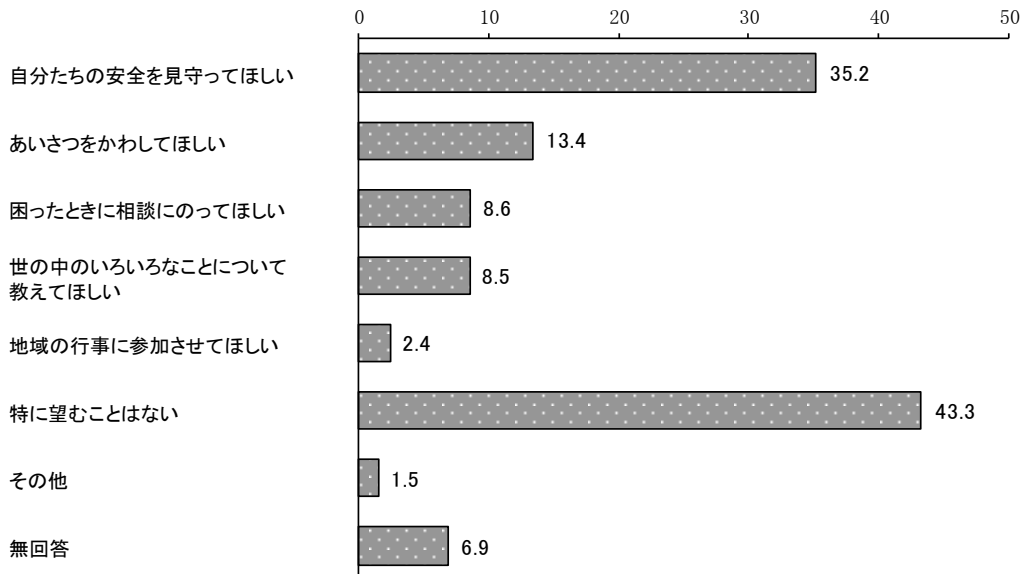
「感じる」と「ときどき感じる」をあわせた“感じる”の割合が71.5%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が12.8%となっています。



問 34 あなたの住んでいる地域の大人に望むことは何ですか。(〇は2つまで)

「特に望むことはない」の割合が43.3%と最も高く、次いで「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が35.2%、「あいさつをかわしてほしい」の割合が13.4%となっています。

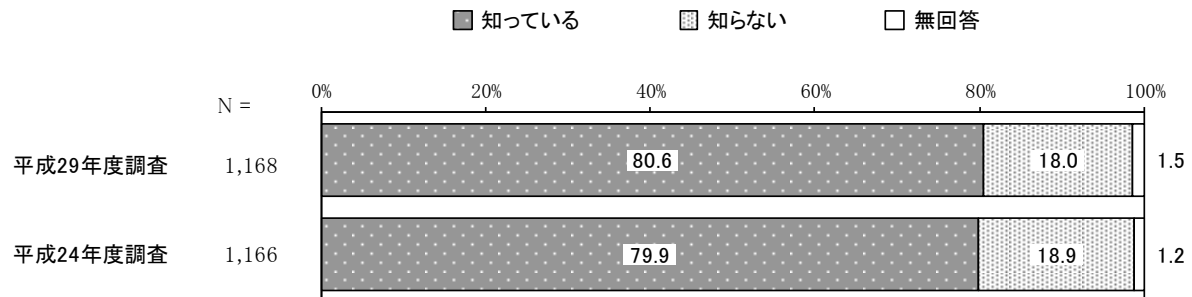
N = 1,168





**問 35 登下校の途中などに地震などの災害が起きたときに、どこに避難すればいいか知っていますか。(〇は1つ)**

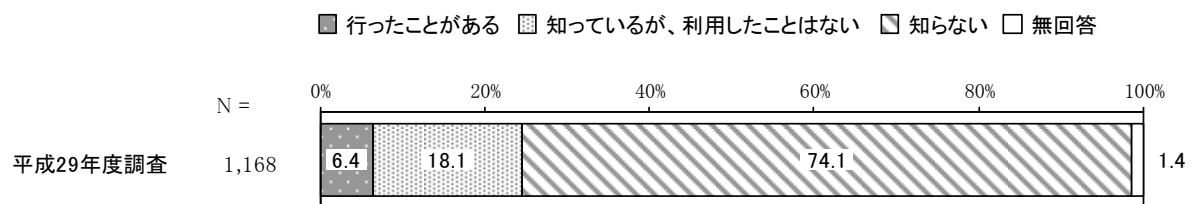
「知っている」の割合が80.6%、「知らない」の割合が18.0%となっています。  
平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問 36 市内には、地域の人々が運営する、子どもが一人でも利用できる「子ども食堂」という取組がありますが、この取組を知っていますか。(〇は1つ)**

(しばくぼ〜の、ねんりん子ども食堂、放課後キッチン・ごろごろ、飯もり山、木・々 子ども食堂、やぎさわ子ども食堂、わいわいクッキング 等 (50音順))

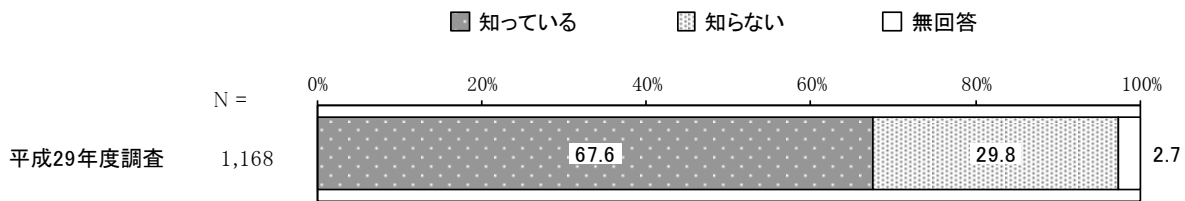
「知らない」の割合が74.1%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が18.1%となっています。



(6) 公民館と図書館について

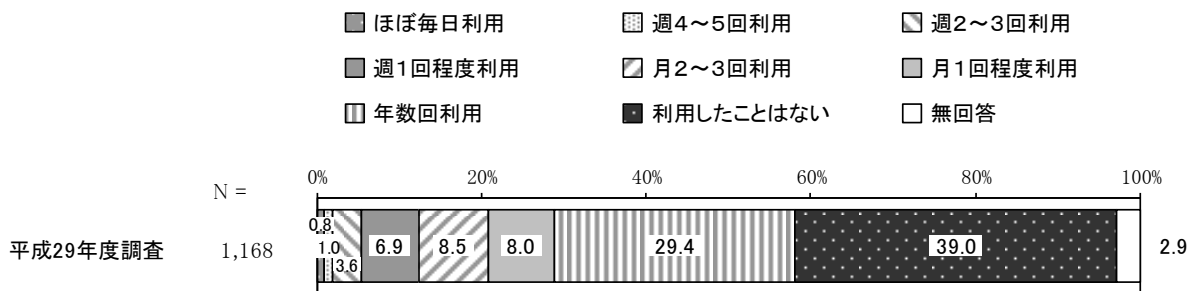
問 37 公民館がどんなところか知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が 67.6%、「知らない」の割合が 29.8%となっています。



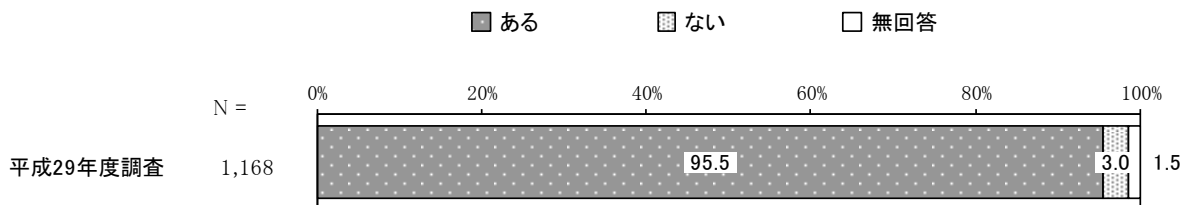
問 38 この1年間に、市の公民館を利用しましたか。また、利用した人は、どの程度利用しましたか。(○は1つ)

「利用したことはない」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「年数回利用」の割合が 29.4%となっています。



問 39 図書館に行ったことがありますか。(○は1つ)

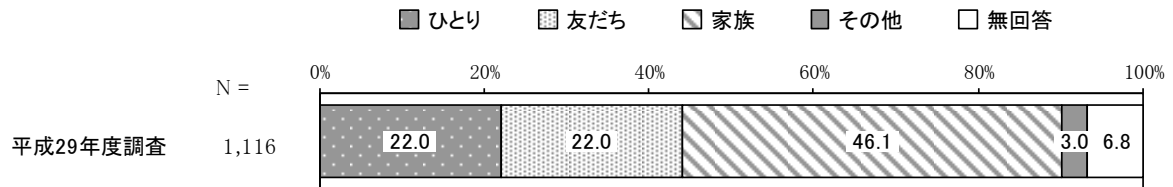
「ある」の割合が 95.5%、「ない」の割合が 3.0%となっています。



「ある」と答えた人にたずねます。

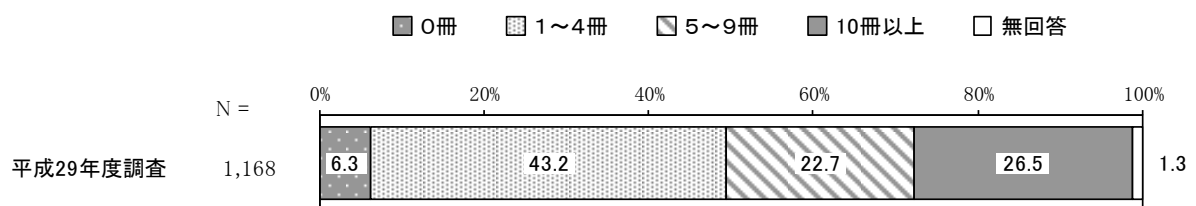
問 40 図書館にはだれと行きますか。(○は1つ)

「家族」の割合が46.1%と最も高く、次いで「ひとり」、「友だち」の割合が22.0%となっています。



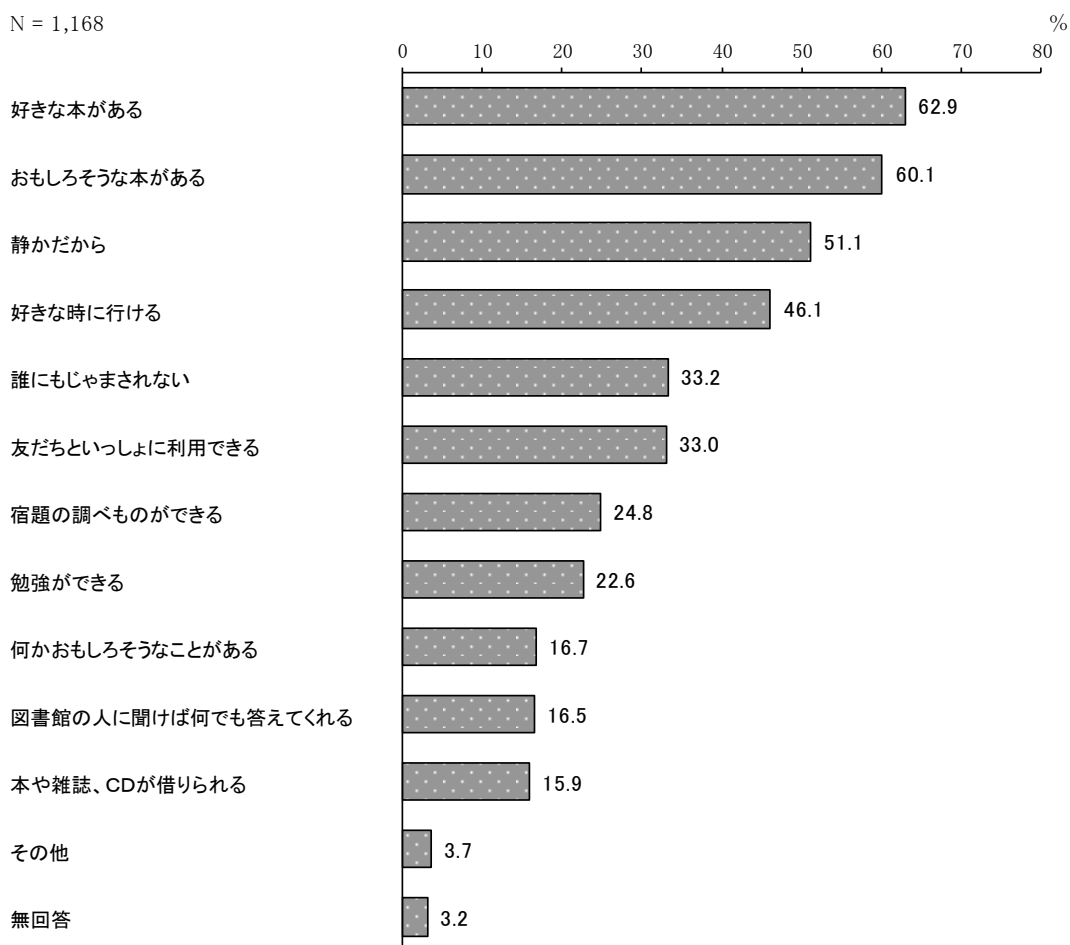
問 41 1ヶ月に平均何冊ぐらい本を読みますか。(○は1つ)

「1～4冊」の割合が43.2%と最も高く、次いで「10冊以上」の割合が26.5%、「5～9冊」の割合が22.7%となっています。



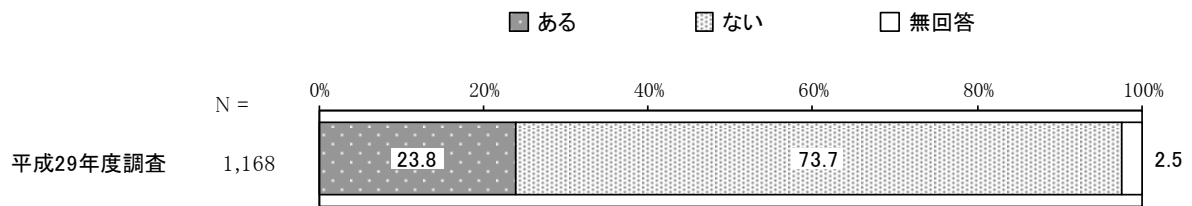
問 42 図書館のどんなところが好きですか。(〇はいくつでも)

「好きな本がある」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「おもしろそうな本がある」の割合が 60.1%、「静かだから」の割合が 51.1%となっています。



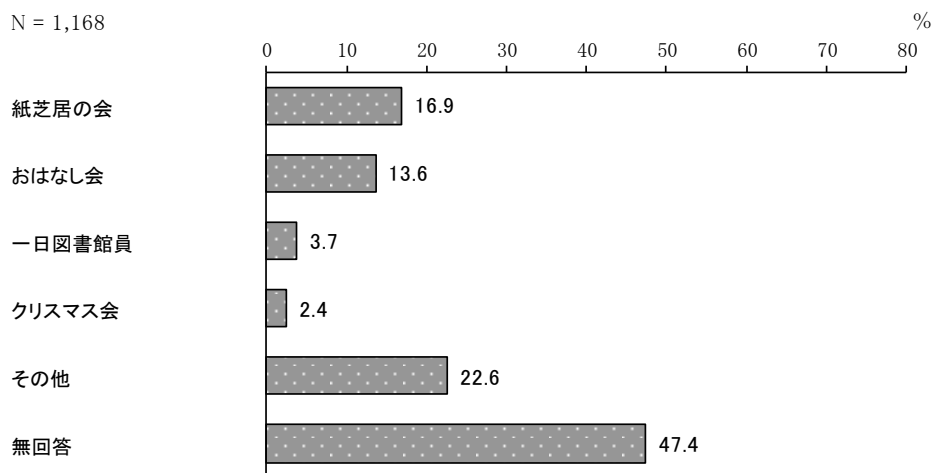
問 43 図書館のホームページを見たことがありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が23.8%、「ない」の割合が73.7%となっています。



問 44 図書館で参加したことのある行事はどれですか。(○はいくつでも)

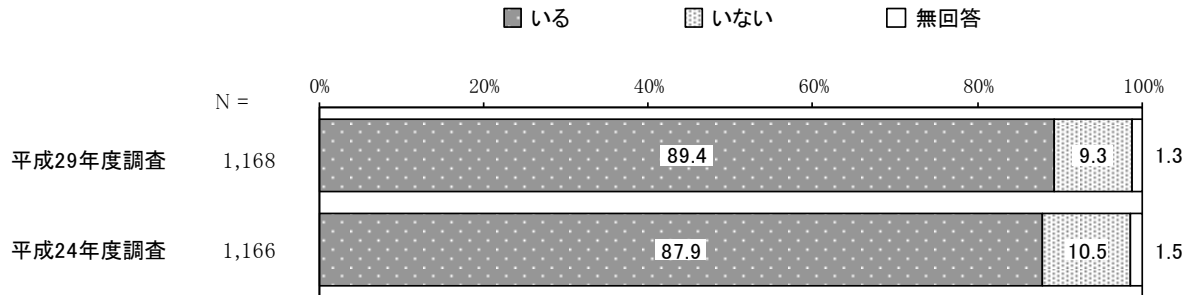
「紙芝居の会」の割合が16.9%と最も高く、次いで「おはなし会」の割合が13.6%となっています。



(7) あなた自身のことについて

問 45 いやなことやつらいことがあったとき、相談できる人がいますか。(○は1つ)

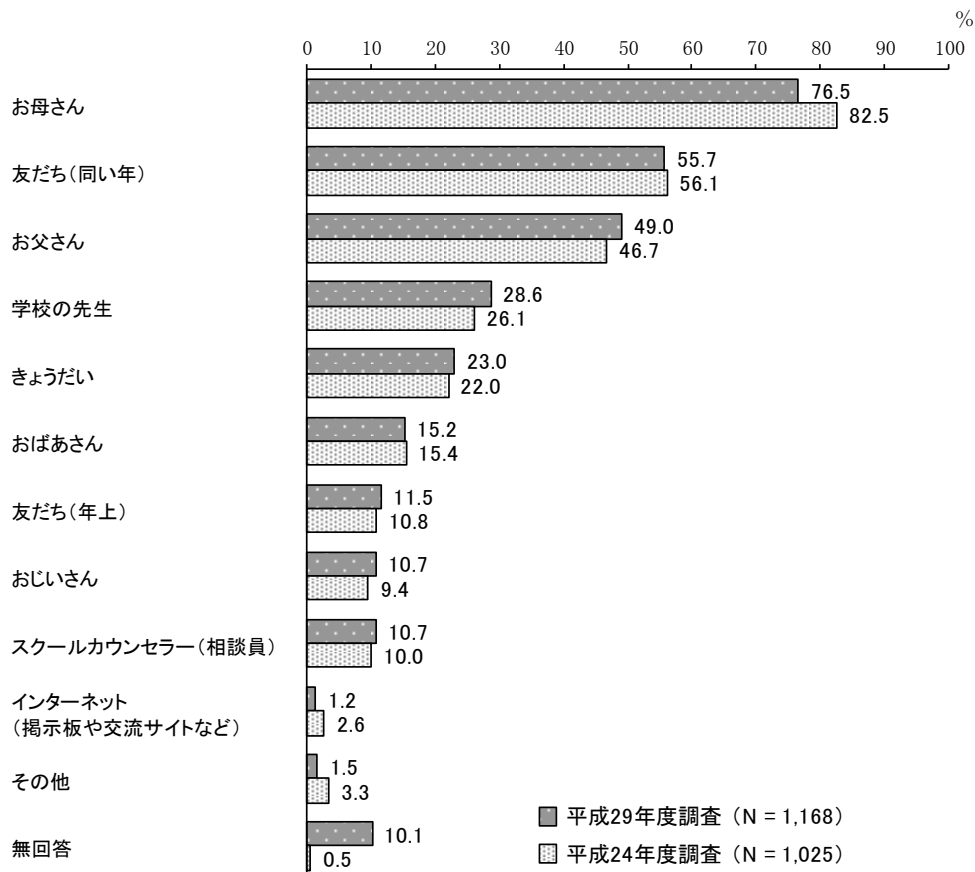
「いる」の割合が89.4%、「いない」の割合が9.3%となっています。  
平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



「いる」と答えた人にたずねます。

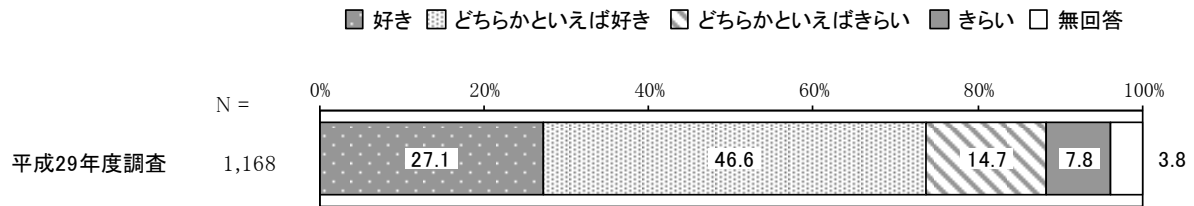
問 46 相談できる人は誰ですか。(○はいくつでも)

「お母さん」の割合が76.5%と最も高く、次いで「友だち(同い年)」の割合が55.7%、「お父さん」の割合が49.0%となっています。



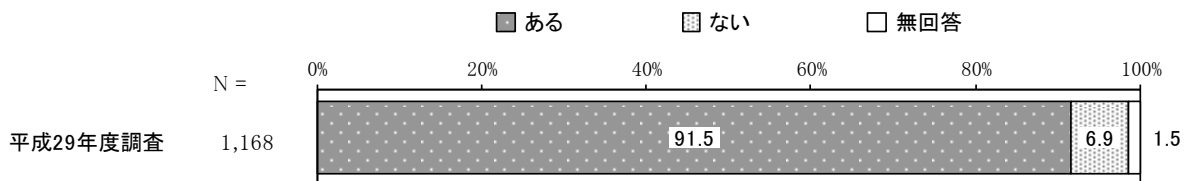
問 47 自分のことが好きですか。(○は1つ)

「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が73.7%、「どちらかといえ  
ばきらい」と「きらい」をあわせた“きらい”の割合が22.5%となっています。



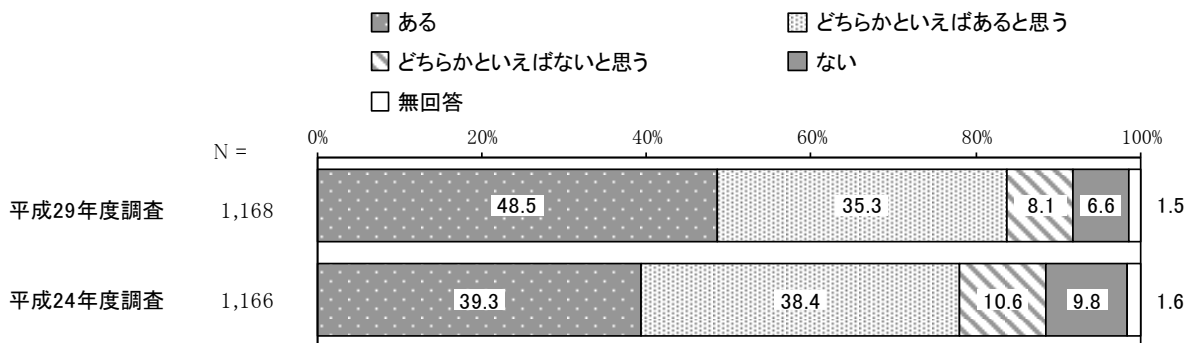
問 48 得意なことがありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が91.5%、「ない」の割合が6.9%となっています。



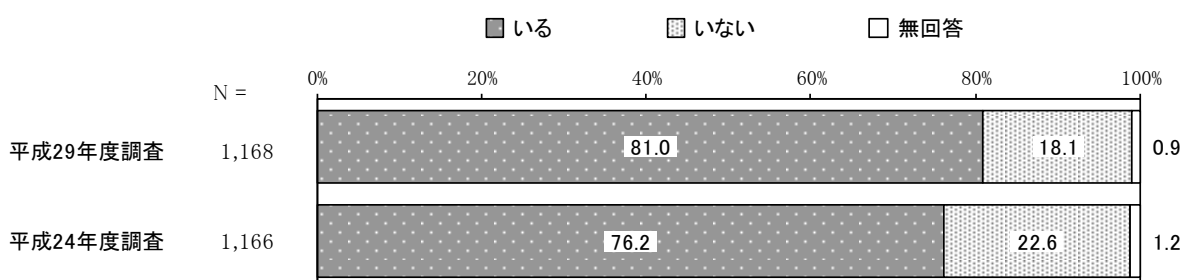
問 49 自分に自信のもてること(よいところ)はありますか。(○は1つ)

「ある」と「どちらかといえばあると思う」をあわせた“あると思う”の割合が83.8%、「ど  
ちらかといえはないと思う」と「ない」をあわせた“ないと思う”の割合が14.7%となっ  
ています。平成24年度調査と比較すると、“あると思う”の割合が増加しています。



問 50 尊敬する人や目標にしている人はいますか。(○は1つ)

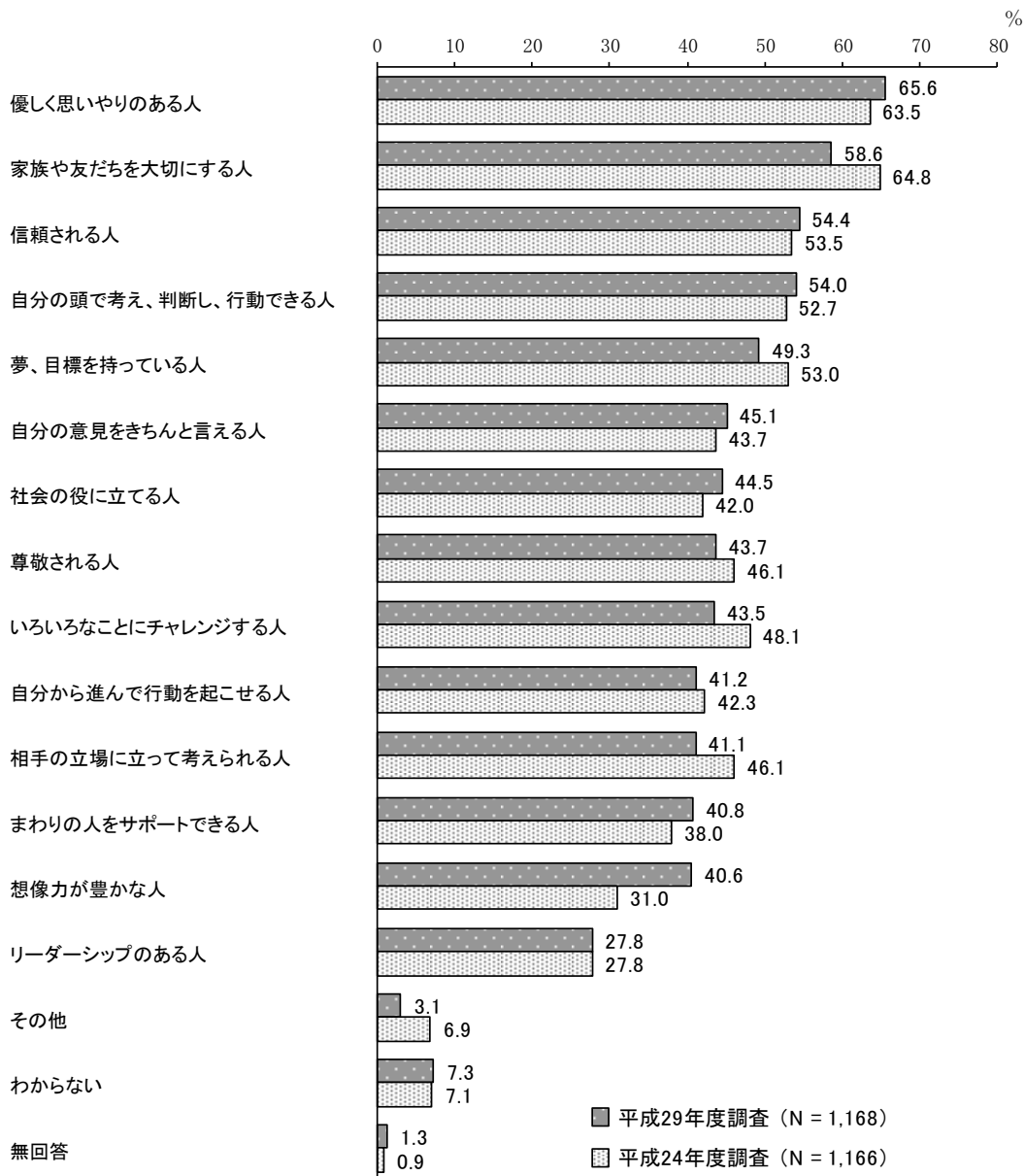
「いる」の割合が81.0%、「いない」の割合が18.1%となっています。  
平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 51 将来はどのような人になりたいですか。(〇はいくつでも)

「優しく思いやりのある人」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「家族や友だちを大切に  
する人」の割合が 58.6%、「信頼される人」の割合が 54.4%となっています。

平成 24 年度調査と比較すると、「想像力が豊かな人」の割合が増加しています。

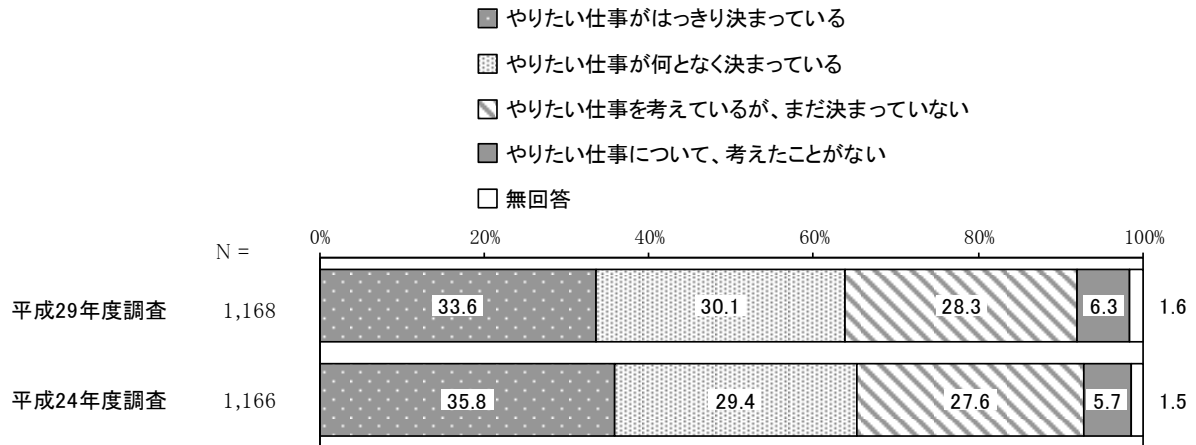




問 52 将来やりたい仕事はありますか。(〇は1つ)

「やりたい仕事ははっきり決まっている」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「やりたい仕事は何となく決まっている」の割合が 30.1%、「やりたい仕事を考えているが、まだ決まっていない」の割合が 28.3%となっています。

平成 24 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



〈小学生調査〉

「やりたい仕事が決まっている」「やりたい仕事が何となく決まっている」と答えた人にたずねます。

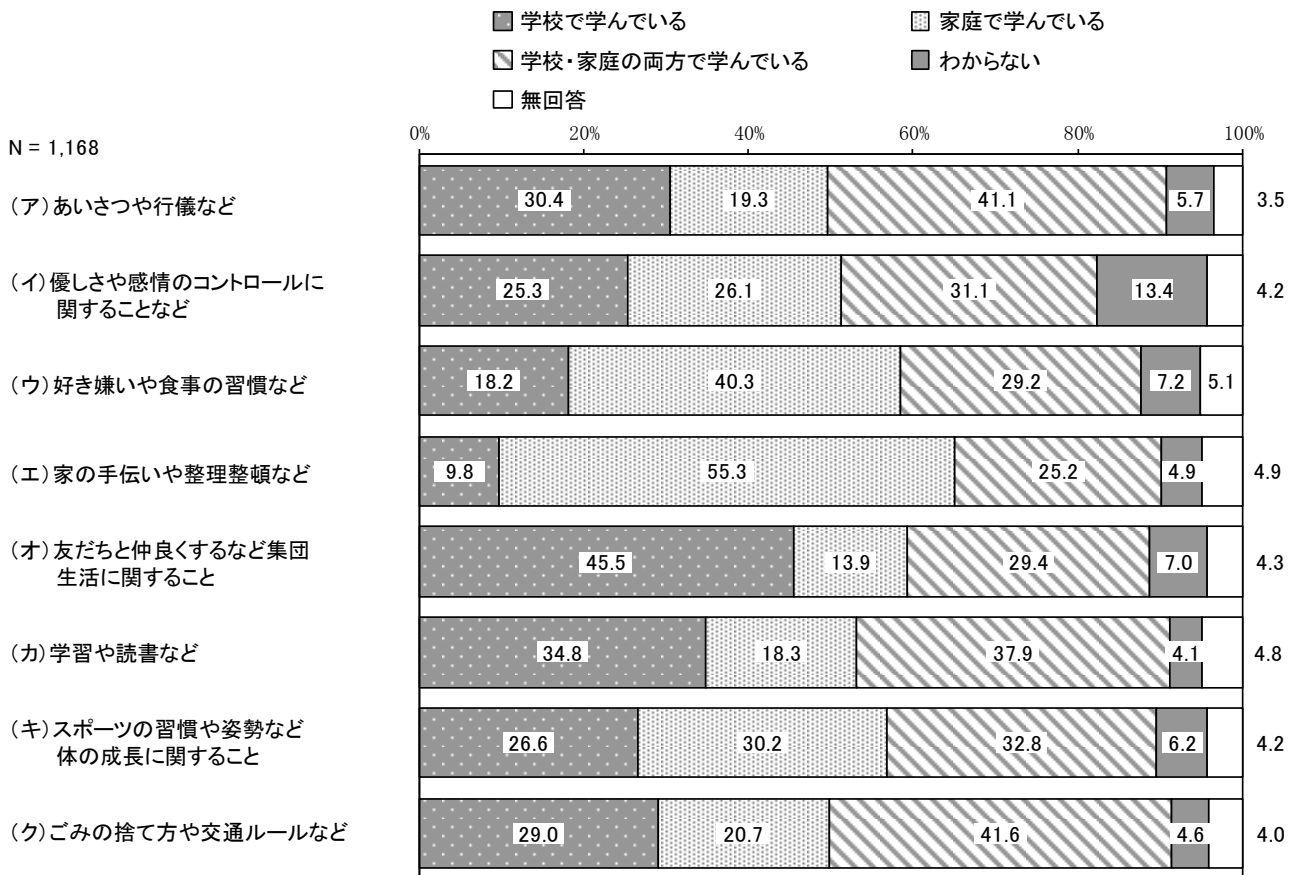
問 53 どのような仕事をしたいと考えていますか。

やりたい仕事についての自由記入欄を設けたところ、744 人の記入がありました。1 人で複数の仕事を記入している児童もいました。

スポーツ関係の仕事（サッカー・野球を除く） 59 件  
サッカー関係の仕事 55 件  
野球関係の仕事 42 件  
医療関係の仕事 74 件  
デザイン、ファッション、美容・理容関係の仕事 67 件  
動物に関する仕事 66 件  
子どもに関する仕事 52 件  
料理や菓子づくり等に関する仕事 46 件  
学校等の先生 43 件  
漫画・アニメ・イラストに関する仕事 43 件  
芸能・テレビに出演する仕事 30 件  
公務員 29 件  
学者・研究者 28 件  
ダンス・劇団等に関する仕事 26 件  
エンジニア、プログラマー 20 件  
ゲーム関係の仕事 19 件  
建築等に関する仕事 17 件  
音楽関係の仕事 16 件  
鉄道関係の仕事 12 件  
弁護士・検察官等 12 件  
Y o u T u b e r（動画投稿者） 11 件  
飲食店に関する仕事 11 件  
航空・宇宙に関する仕事 11 件  
映像等を制作する仕事、声優、アナウンサー 11 件

他に、具体的な仕事の内容ではありませんが、「人・社会の役に立つ仕事」「人を助ける仕事」という回答が 18 件ありました。

問 54 次の（ア）～（ク）の項目はそれぞれ、学校か家庭のどちらで学んでいると思いますか。（〇は（ア）～（ク）ごとに1つずつ）



最後に、ふだんの生活について感じていることや、このアンケートの感想などがありましたら、自由に記入してください

調査票の最後に、ふだんの生活で感じていることや、アンケートの感想などについての自由記入欄を設けたところ、425人の記入がありました。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできませんが、その一部を紹介します。(原文どおりに掲載しています。)

### 《学校について》

- わたしは、学校にいと友達がたくさんいて、分からない問題など、友達に聞けるので、そこが、学校のよい所だと思っています。(4年生 女子)
- 学校でいろいろなことをまなびたいと思いました。(4年生 男子)
- すこしべんきょうをやらないといけないきがある。しゅくだいを、もっとはやめにやる。(4年生 男子)
- きらいな教科は全部勉強などだけれど、すきになりたい。体育や体を動かすことが好き。(4年生 女子)
- 土曜日の学校が多いからもっとすくなくしてほしい。(1年に5回くらい)(6年生 男子)
- 学校では休み時間がすごくたのしみでチャイムがなったときとてもうれしいです。でも土曜日に学校がある日は15分休みで5分へってしまうのが悲しいです。(6年生 女子)
- 理科のじゅぎょうが、きびしすぎる。(もっとやさしくしてほしい)。(4年生 女子)

### 《友だちについて》

- 自分のなやみを相手の立場に立って考えてくれる大切な友達がいるから、学校に行くときとても安心できる。地域の人もすごく優しくしてくれて、とても明るくて自満の町だと感じている。(6年生 男子)
- 友達がいて、遊んだりできるから、勉強もできる。友達がいるから楽しい。(6年生 女子)
- 毎日楽しいことがあるけれどケンカをしてしまうとあまり楽しくならないきがします。(6年生 女子)
- もう少し友達と遊んだり話す時間がほしいと思う。多分むりだけど、6時間授業がもう少し減るといいなとたまに思う。(6年生 女子)
- ふだんの生活で、友達だと年上の友達と年下の友だちと仲良くなれるが、同い年の子だと仲良くなりづらい。(6年生 女子)

### 《家族や家のことについて》

- 家でお手つだいあまりできていないのでこれからはしっかりお手つだいがしたい。(4年生 女子)
- もう4年生なのに自分でやることができなかつたりしてしまう。お母さんにさからいたいわけじゃないのに、はむかってしまう。(4年生 女子)
- 私はふだんの生活で、ねる時間がバラバラです。それは、親にも言われていて、わたしも直したいと毎日感じています。それと、親には、相談ができるから、毎日楽しく感じています。(6年生 女子)

- ふだんの生活について感じることは、もっとお母さんやおばあちゃんがこまっているときか、手伝ってほしいときに、やくに立ってあげたい。(4年生 女子)
- 家庭で、お父さんやお母さん、お姉ちゃんがいなかったら、大変なことになることが分かりました。りょう理も大変だし、お金もかせげないし、せんたくも出来ないし、勉強も教えてくれないから。(4年生 女子)

### 《いじめについて》

- わたしは3年生のときに、ともだちにいやなことをずうっとされて、何日がっこうを、やすんだことがあります。だからわたしはもういやな思いをしたくないと思ったので、これからイジメなどをなくしたいと思いました。(4年生 女子)
- いやがらせをしている人やされている人を見たことがある。(6年生 男子)
- やっぱりいじめがないといいです。そして、すぐ相談できる人がいると、さらに安心します。(4年生 女子)
- 1年のころいじめられていたのでそこそ話が気になる(ネガティブ思考) いじめられているのを見るのは、先生がいない時。(4年生 女子)

### 《心配ごとや困りごとについて》

- ならいごとが、多すぎて、やすむひまもない。(4年生 女子)
- つうがくろで、よく信号むしや、おうだんほどうを車にふさがれるなどのことがないようにしてほしい(6年生 男子)
- たまに私の友達は、私の事を友達と思ってくれているのか不安になる。でも6年生になってから、担任の先生のおかげで前よりもっと学校に行くのが楽しくなった。(前も楽しかったけれど)(6年生 女子)
- 学校で先生がじゅぎょう中にそうじをしていると児童がそうじをしているのが全くいみのないかんじに見えて不満になる。たまに先生がこくぼんに、ざつに文字をかいたり字が小さくしたり大きくなったりして見にくい(4年生 男子)
- 大人が、子どもの意けんをきかないで、大人できめてしまっている。(4年生 女子)
- さいきんはイライラすることがふえてきたからそうだんあいてがほしい。(4年生 女子)
- ふだん、学校の先生や家の人は、いつも優しく、いろいろなことをしてくれるのですが、一つ、学校をもう少しキレイにしてほしいです。例えば、トイレや、かべなどをもう少しキレイにして、学校をもっと過ごしやすくしてもらえたらなと思っています。(6年生 女子)

### 《今回のアンケートについて》

- わたしはこう言うアンケートをやってみると幸せな生活をしているなと思いました。なぜなら学校では休み時間などとてもたのしく、すごせているし、家でも、なやみなどをきいてくれる人がいるからです。あととっても大切なしん友が1人いるからです。このアンケートを作ってくれた人にはかんしゃです。(4年生 女子)
- みんなには、なかなかいえないことを書いて、すっきりしました。(4年生 女子)
- ふだんいえないことがよくいえた。(4年生 男子)
- このアンケートで「相談できる人」などを改めて、考えることが出来ました。(6年生 男子)
- アンケートが少し分かりにくいところなどがあって、少し難しかったです。(6年生 女子)

## 《将来について》

- みんなにしんようしてもらえる、そんけいされる人になりたいです。(4年生 女子)
- ふだん、ふつうに過ごしているけれど今、もう一度ふり返ってみるとまだ、出来てないところや、出来ている事たくさん、あったと感じました。まだ、人生の1/3か1/4しか過ごしていないのでもっともっといろいろな事に気付けるようにしたい。周りの人を見てしっかりと取り組める人間になりたいと思いました。(6年生 男子)
- 将来の自分のなりたい姿が意外とたくさんあった。(6年生 男子)

## 《その他》

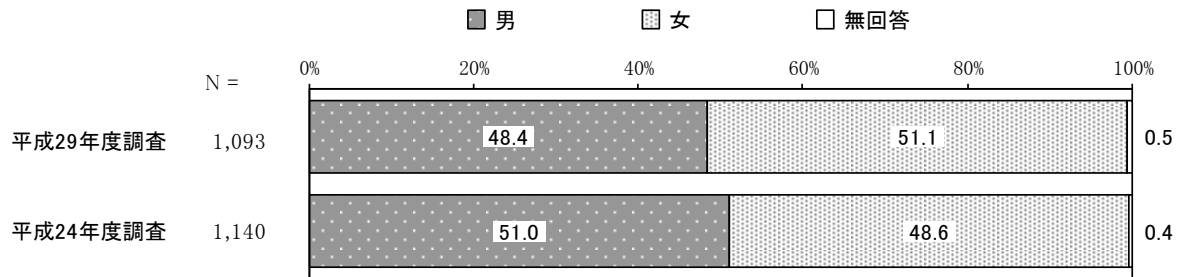
- 毎日楽しい。(一応)(6年生 女子)
- 運動をあまりしていないので、体を動かしたい。(6年生 女子)
- 私は授業でざわざわしていたら、もっときっぱり怒ってほしいと思った。このアンケートをやって、いろんな質問があって、全部答ええることができた。(6年生 女子)
- ちいきの人もやさしくて、いやなこともあまりなくて、とくに「どうしても」のことは、ないです。(4年生 女子)
- ふだんから生活が楽しく感じている。(4年生 男子)
- 授業以外で、地域の人と交流などがあるといいと思います。(6年生 女子)
- ボールあそびのせいげんをなくしてほしい。(4年生 男子)
- 公園に水道を増やしてほしい。(6年生 男子)
- 衆議院選挙に興味をもった。(6年生 男子)

## 2 中学生調査

### (1) 回答者属性

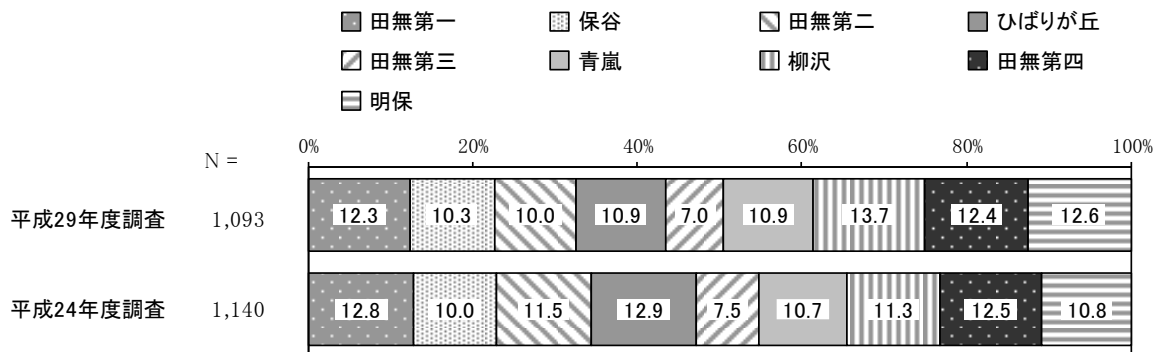
#### 問1 性別はどちらですか。(〇は1つ)

「男」の割合が48.4%、「女」の割合が51.1%となっています。



#### 問2 どの中学校に通っていますか。(〇は1つ)

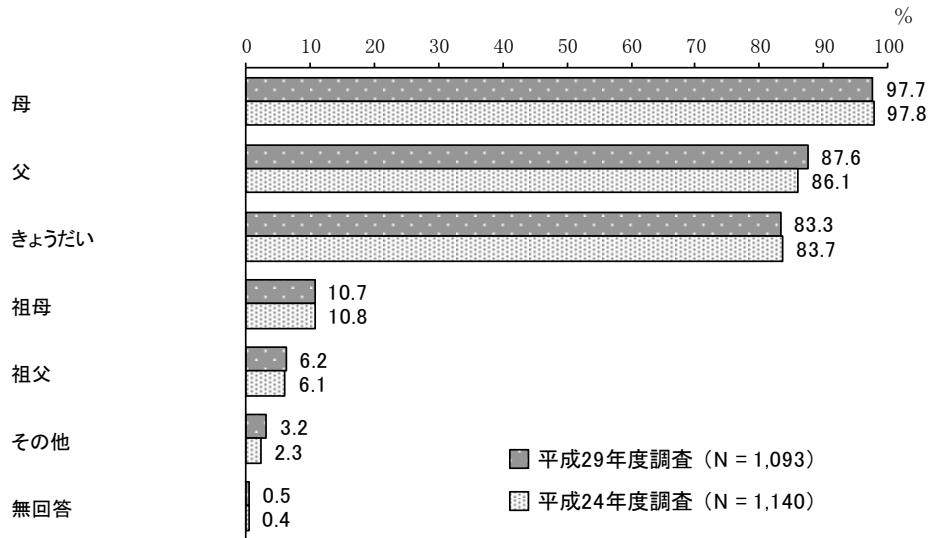
「ひばりが丘中学校」の割合が13.7%と最も高く、次いで「保谷中学校」の割合が12.6%、「田無第四中学校」の割合が12.4%となっています。



〈中学生調査〉

問3 一緒に住んでいる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

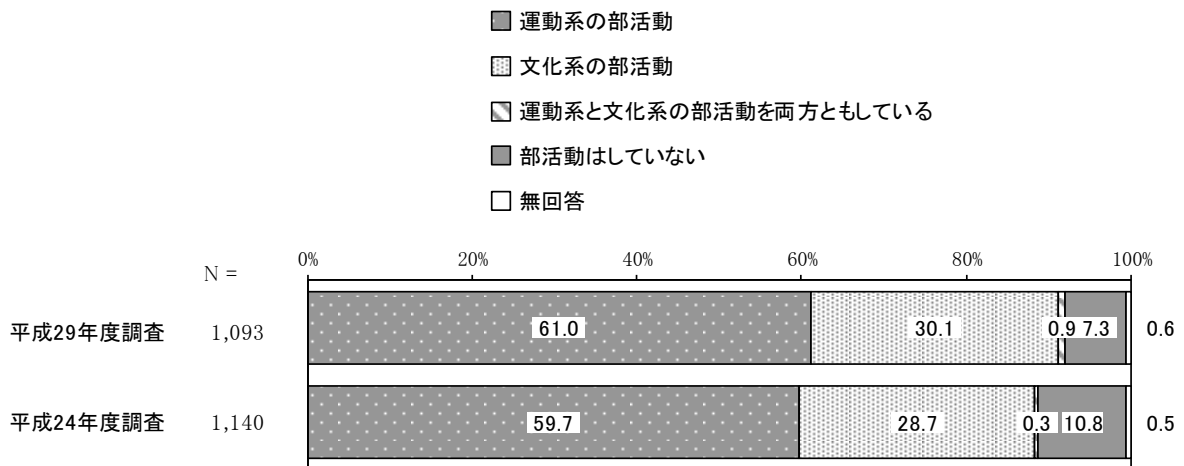
「母」の割合が97.7%と最も高く、次いで「父」の割合が87.6%、「きょうだい」の割合が83.3%となっています。



問4 部活動は何をしていますか。(〇は1つ)

「運動系の部活動」の割合が61.0%と最も高く、次いで「文化系の部活動」の割合が30.1%となっています。

平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。





部活動をしている人にたずねます。

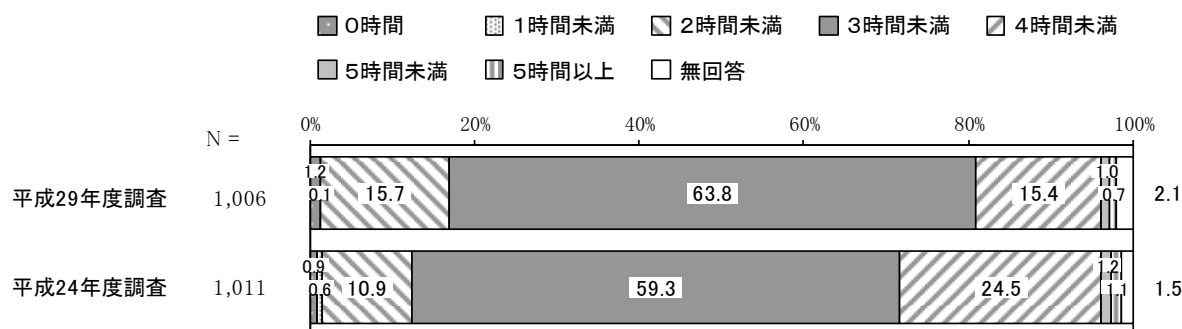
問5 一日何時間くらい部活動をしていますか。

【平日】

活動時間

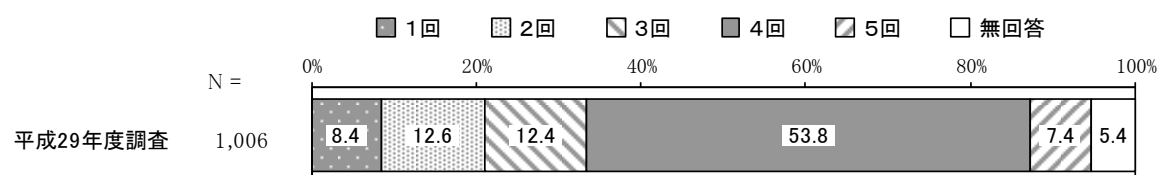
「3時間未満」の割合が63.8%と最も高く、次いで「2時間未満」の割合が15.7%、「4時間未満」の割合が15.4%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「4時間未満」の割合が減少しています。



活動日数

「週4回」の割合が53.8%と最も高く、次いで「週2回」の割合が12.6%、「週3回」の割合が12.4%となっています。



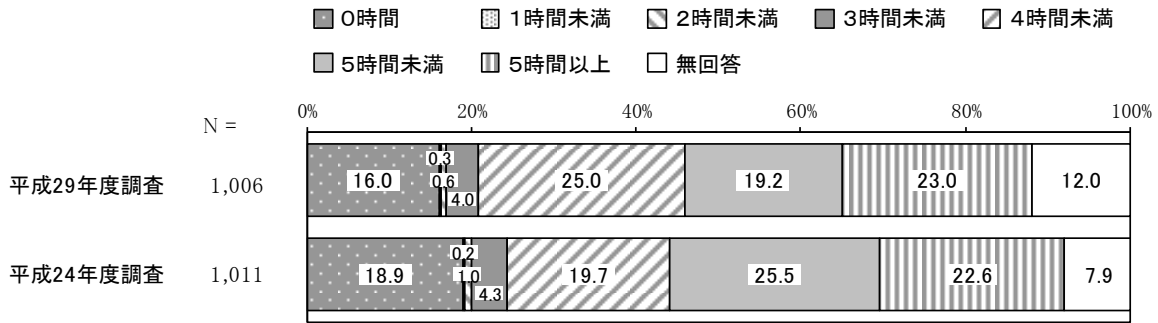
〈中学生調査〉

【休日】

活動時間

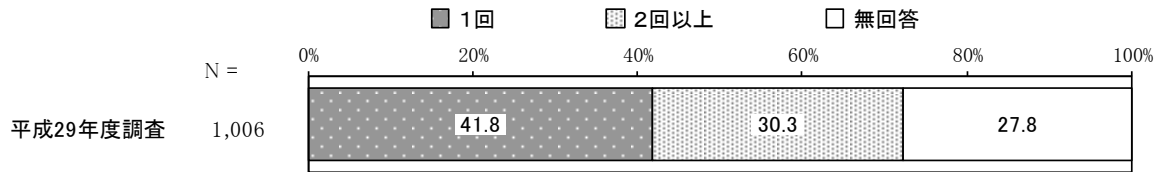
「4時間未満」の割合が25.0%と最も高く、次いで「5時間以上」の割合が23.0%、「5時間未満」の割合が19.2%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「4時間未満」の割合が増加しています。一方、「5時間未満」の割合が減少しています。



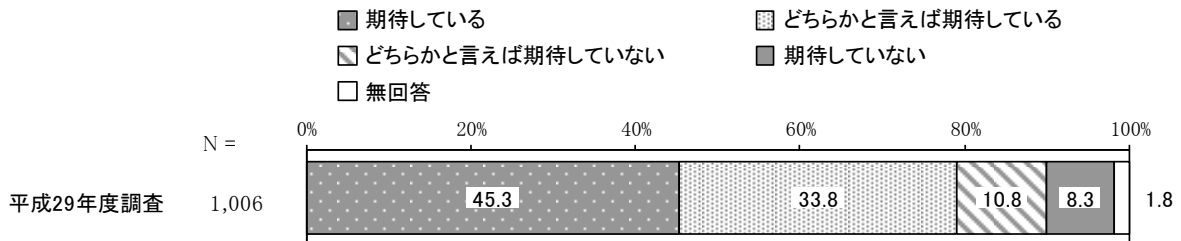
活動日数

「週1回」の割合が41.8%、「週2回以上」の割合が30.3%となっています。



問6 先生ではなく、専門的な技術力をもった地域の方が部活動の指導者となることをどう思いますか。(○は1つ)

「期待している」と「どちらかと言えば期待している」をあわせた“期待している”の割合が79.1%、「どちらかと言えば期待していない」と「期待していない」をあわせた“期待していない”の割合が19.1%となっています。

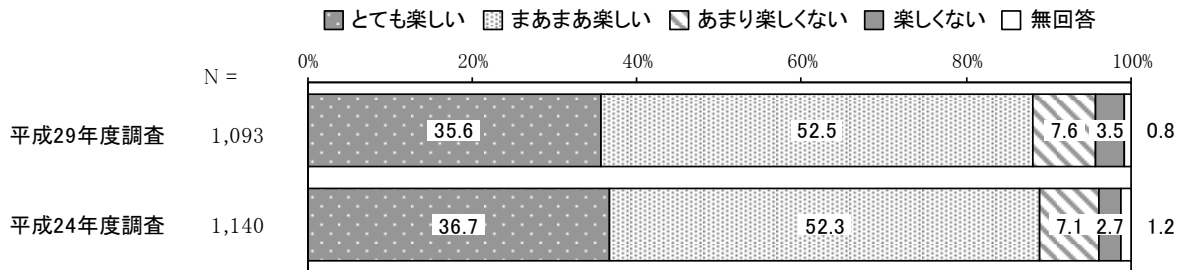


## (2) 学校での生活について

### 問7 学校は楽しいですか。(〇は1つ)

「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が88.1%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が11.1%となっています。

平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 参考 平成20年調査結果

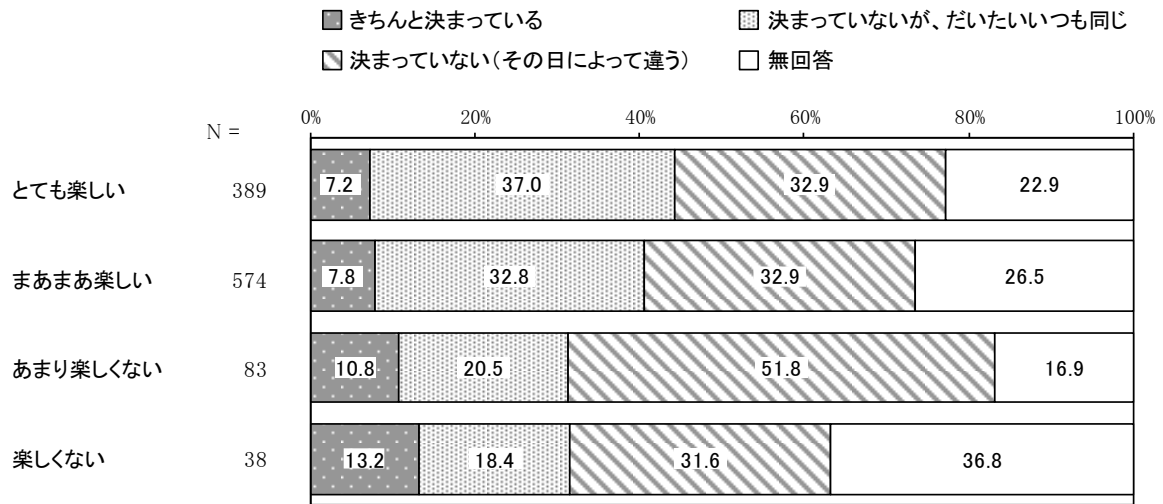
単位：%

	有効回答数 (件)	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	無回答
全体	428	27.6	52.3	11.2	5.1	3.7

〈中学生調査〉

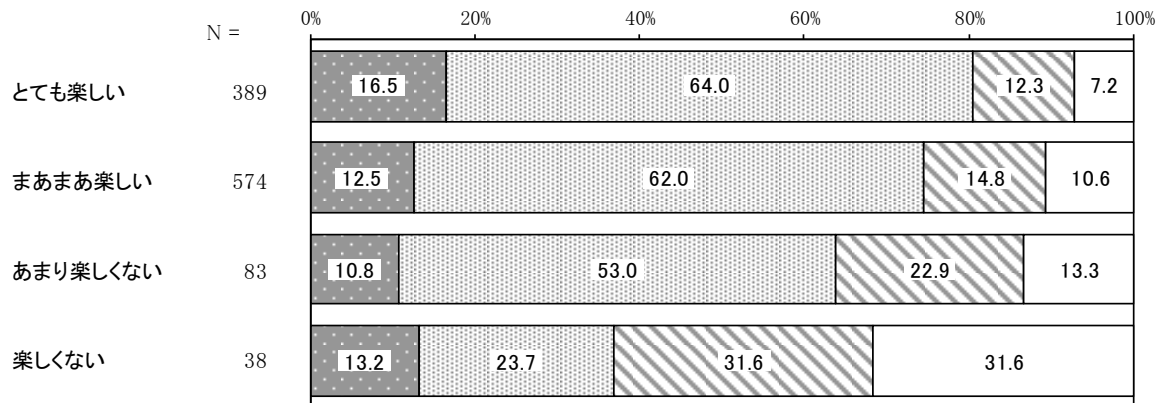
【学校の楽しさ別の生活の規則正しさ（ア）勉強する時間】

「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた人のほうが、勉強する時間が決まっている割合が高くなっています。



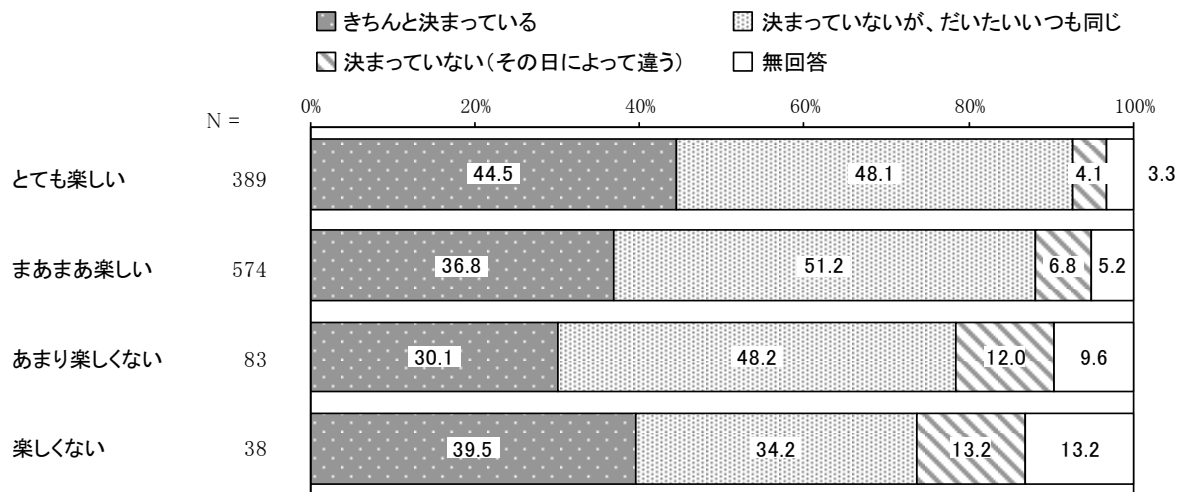
【学校の楽しさ別の生活の規則正しさ（イ）寝る時間】

「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた人のほうが、寝る時間が決まっている割合が高くなっています。



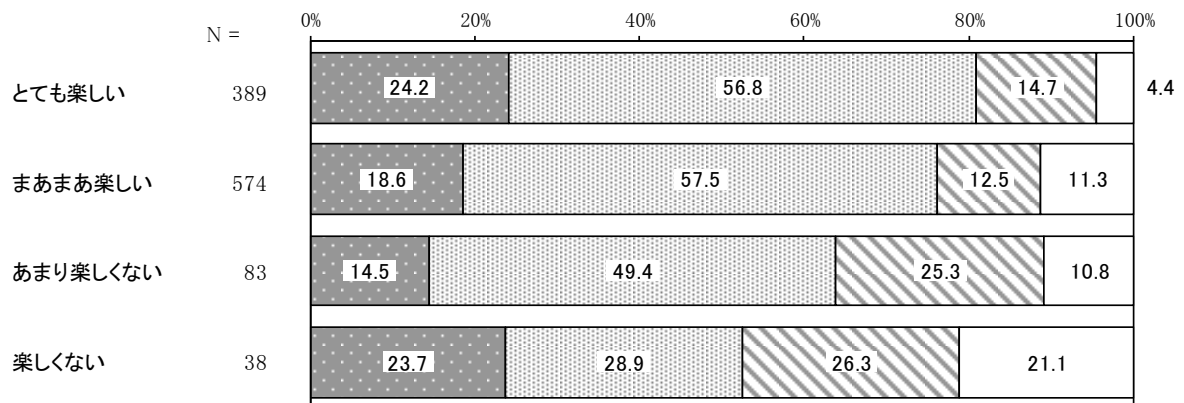
【学校の楽しさ別の生活の規則正しさ（ウ） 起きる時間】

「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた人のほうが、起きる時間が決まっている割合が高くなっています。



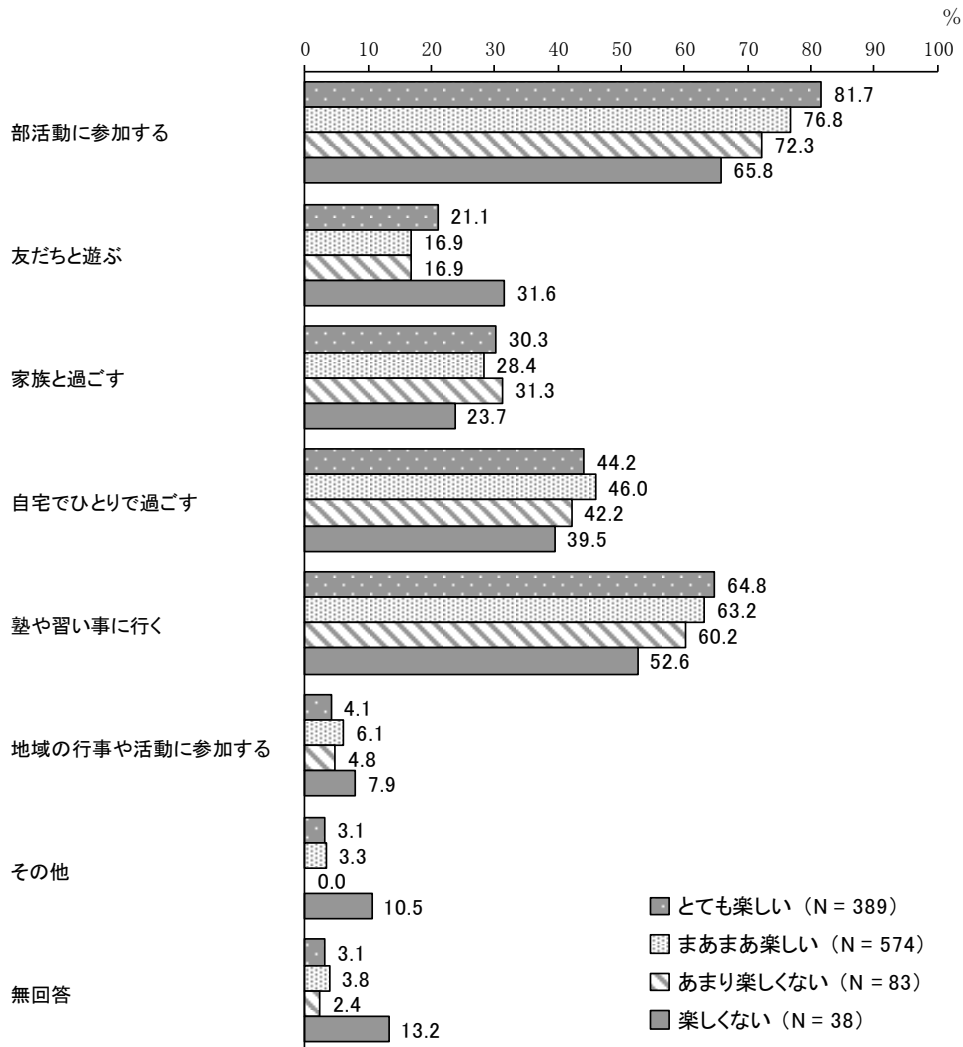
【学校の楽しさ別の生活の規則正しさ（エ） 食べる時間】

「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた人のほうが、食べる時間が決まっている割合が高くなっています。



【学校の楽しさ別の平日の授業以外の過ごし方】

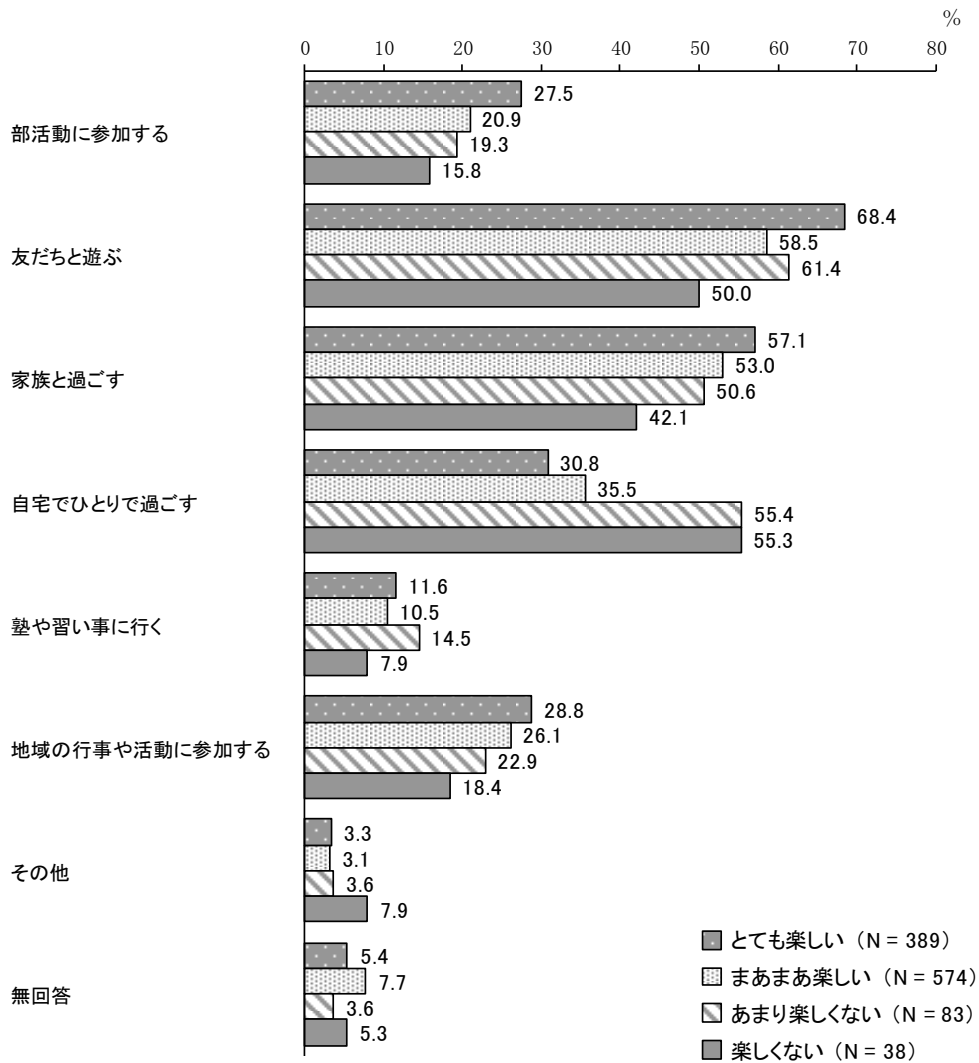
「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた人のほうが、「部活動に参加する」「塾や習い事に行く」の割合が高くなっています。



【学校の楽しさ別の休日の授業以外の過ごし方】

「とても楽しい」と答えた人で、「友だちと遊ぶ」の割合が高くなっています。また、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた人のほうが、「家族と過ごす」の割合が高くなっています。

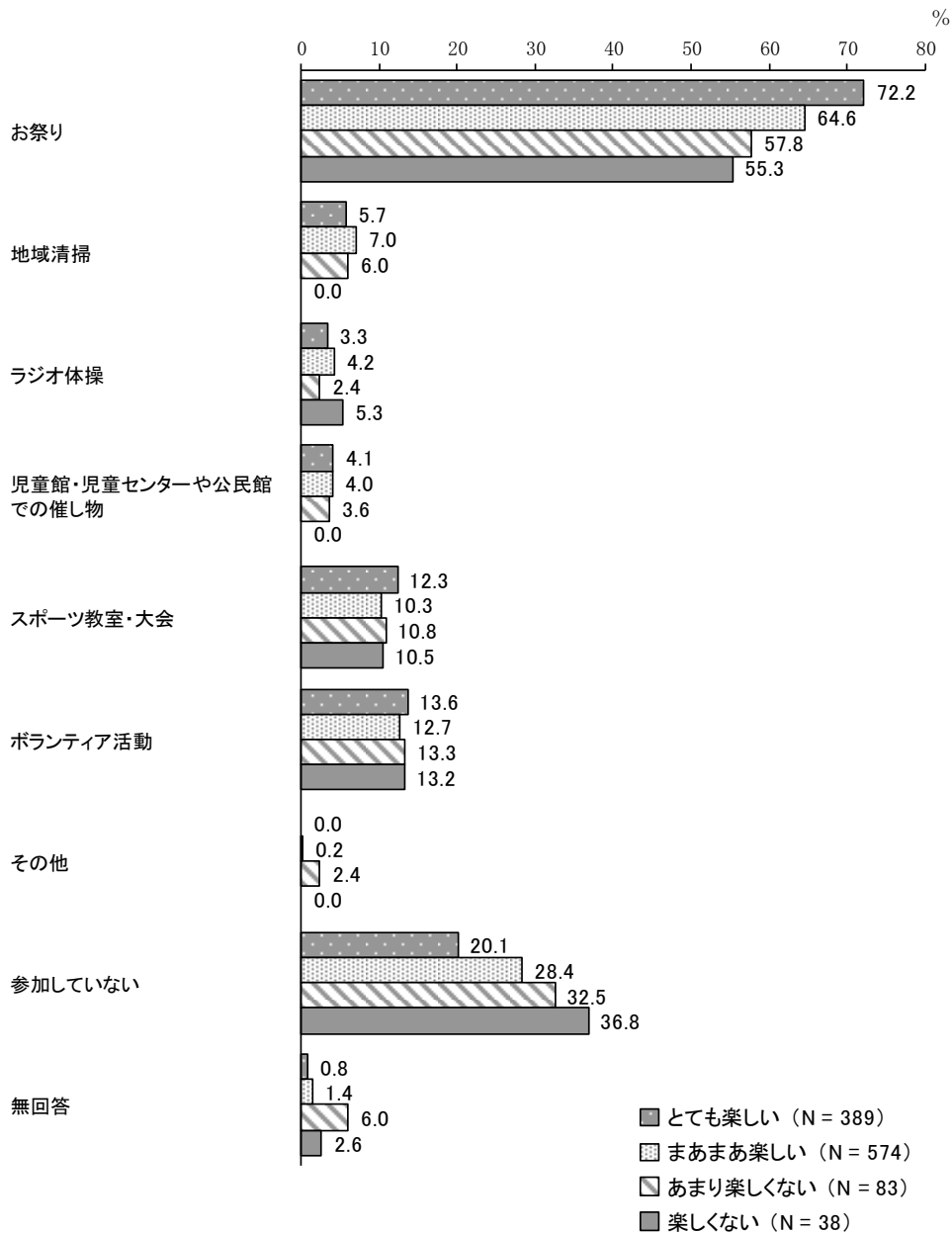
「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた人のほうが、「自宅でひとりで過ごす」の割合が高くなっています。



【学校の楽しさ別の地域行事への参加】

「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた人のほうが、「お祭り」の割合が高くなっています。

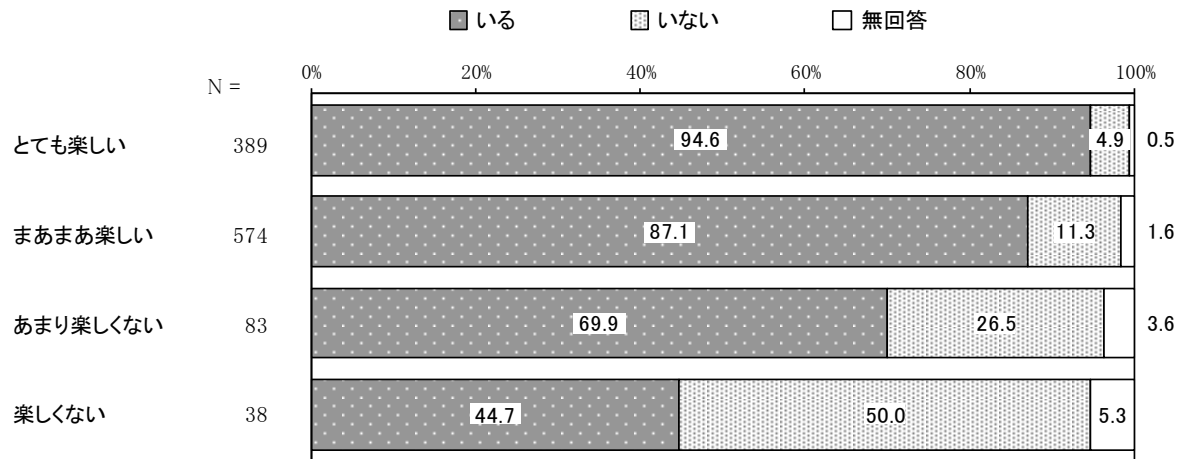
「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた人のほうが、「参加していない」の割合が高くなっています。





【学校の楽しさ別の相談相手の有無】

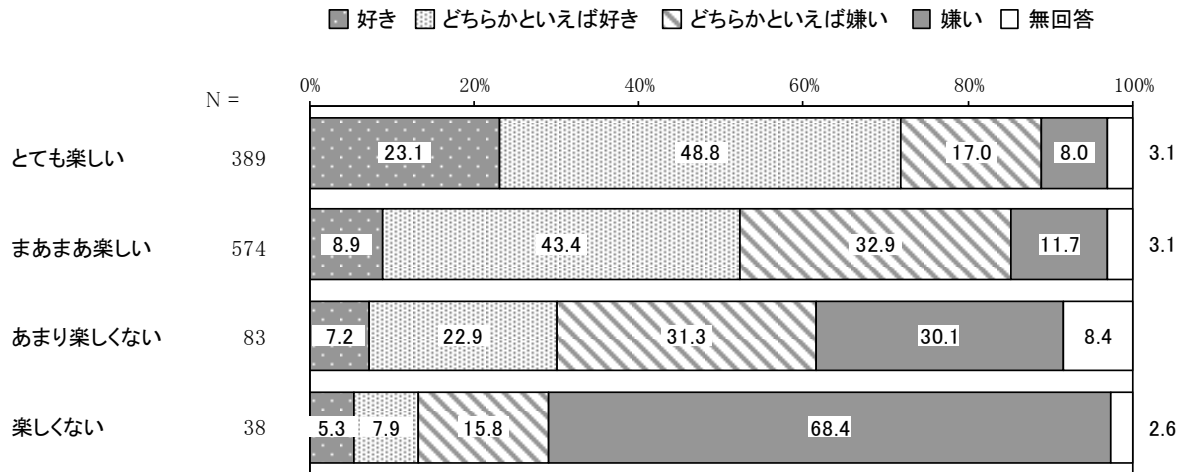
「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えた人のほうが、相談相手のいる割合が高くなっています。



〈中学生調査〉

【学校の楽しさ別の自己肯定感】

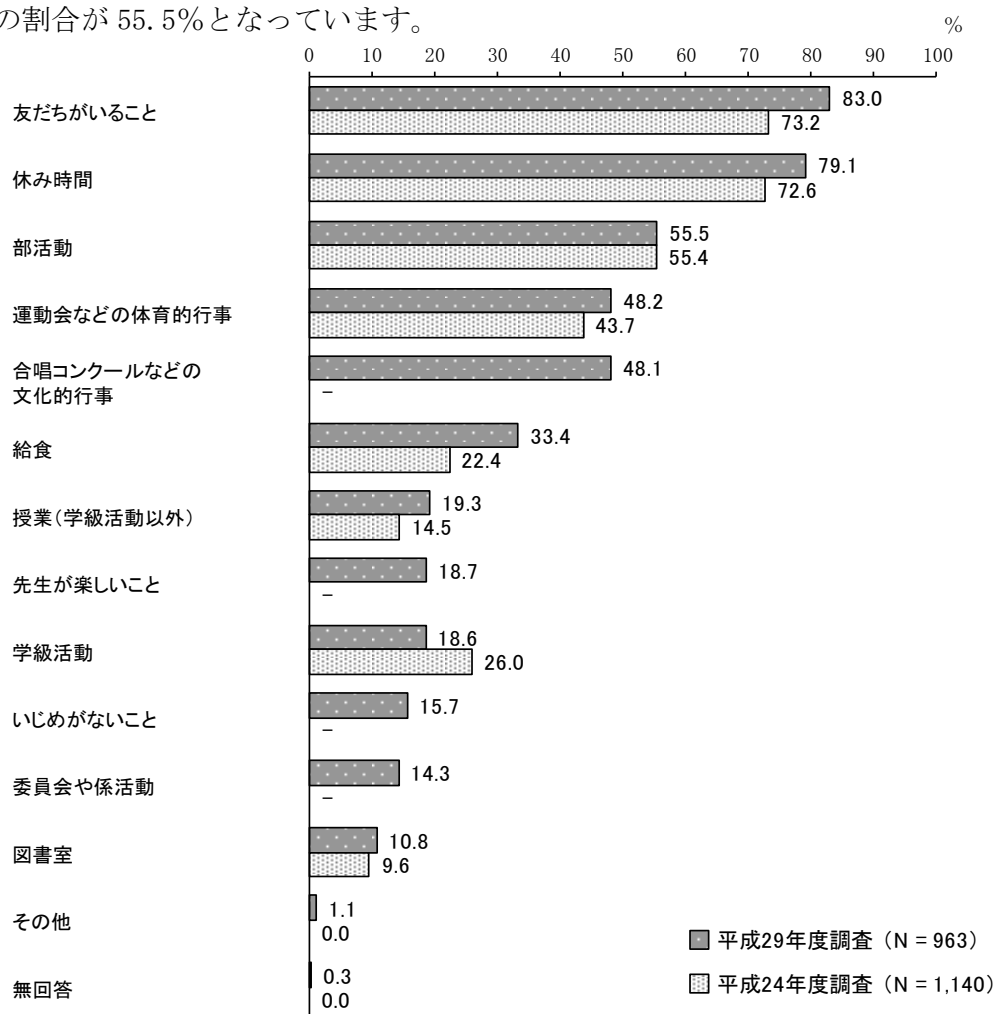
「とても楽しい」、「まあまあ楽しい」と答えた人のほうが、自分のことが好きな割合が高くなっています。



「1 とても楽しい」「2 まあまあ楽しい」と答えた人にたずねます。

問8 学校のどんなところが楽しいですか。(〇はいくつでも)

「友だちがいること」の割合が83.0%と最も高く、次いで「休み時間」の割合が79.1%、「部活動」の割合が55.5%となっています。



※平成24年度調査には「合唱コンクールなどの文化的行事」「先生が楽しいこと」「いじめがないこと」「委員会や係活動」の選択肢はありません。

参考 平成20年調査結果 (複数回答)

単位：%

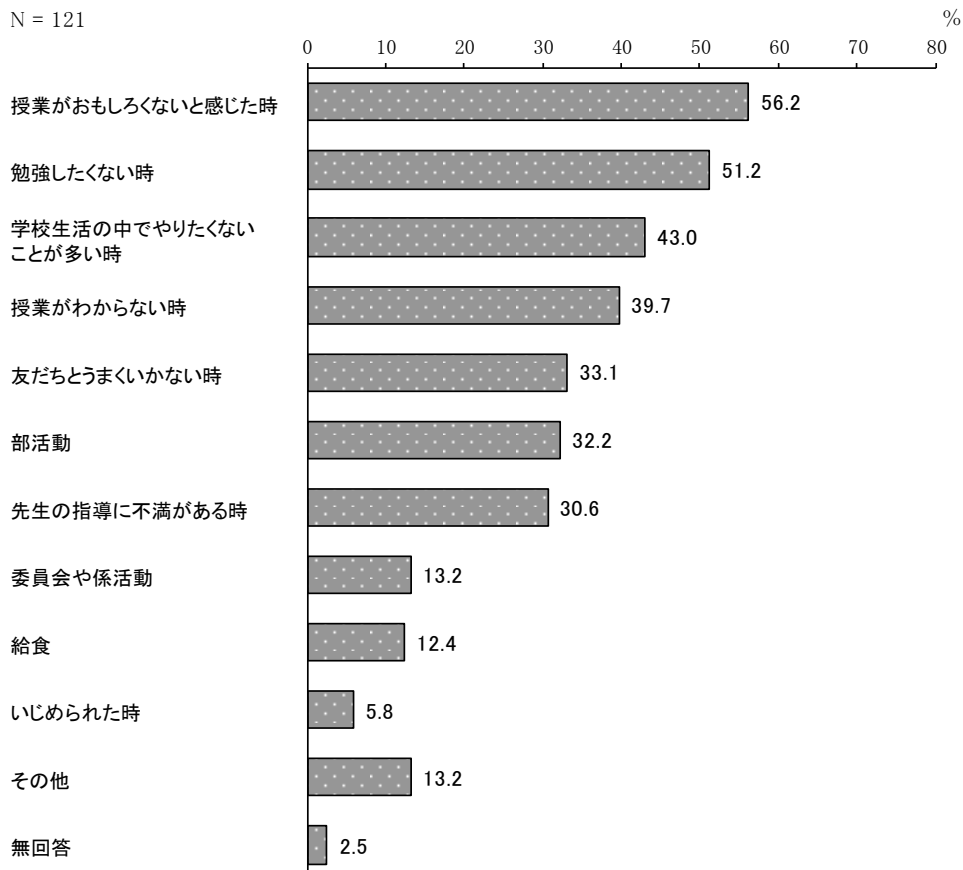
	有効回答数(件)	授業	休み時間	課外活動	友だちがいること	先生	行事	図書室	クラブ活動	給食	その他	無回答
全体	428	10.5	66.1	17.3	68.7	6.3	33.2	12.1	50.0	4.0	1.6	3.0

〈中学生調査〉

「3 あまり楽しくない」「4 楽しくない」と答えた人にたずねます。

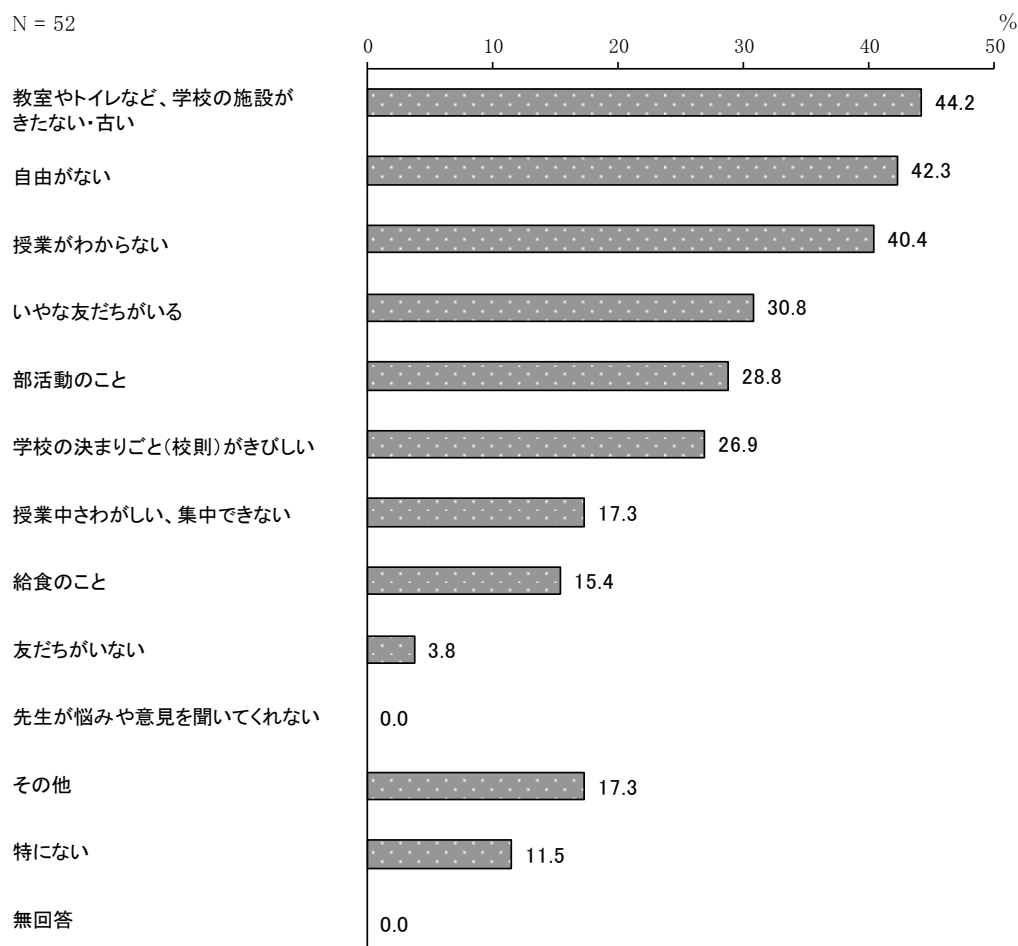
問9 楽しくないと思ったのはどんな時ですか。(〇はいくつでも)

「授業がおもしろくないと感じた時」の割合が56.2%と最も高く、次いで「勉強したくない時」の割合が51.2%、「学校生活の中でやりたくないことが多い時」の割合が43.0%となっています。



【学校生活の中でやりたくないことが多い時に、学校が楽しくないと感じる人が学校で困っていること】

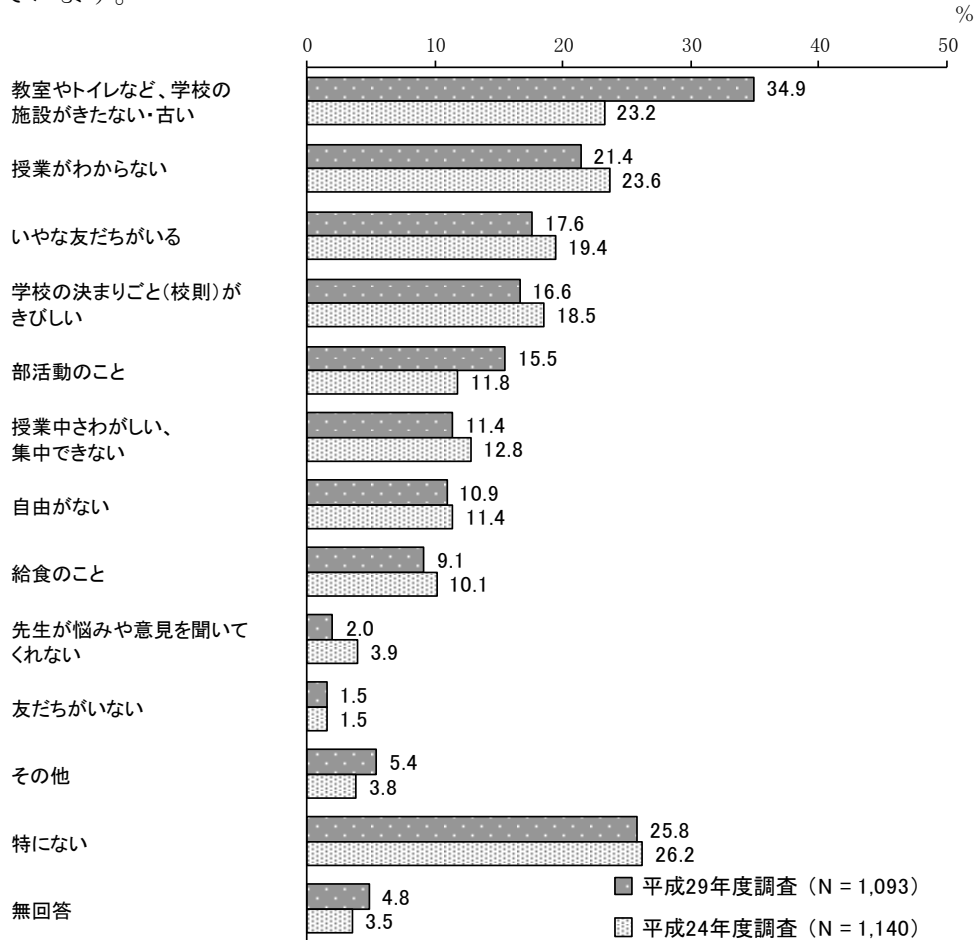
「教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い」「自由がない」「授業がわからない」の割合が高くなっています。



問 10 学校で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

「教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い」の割合が34.9%と最も高く、次いで「特にない」の割合が25.8%、「授業がわからない」の割合が21.4%となっています。

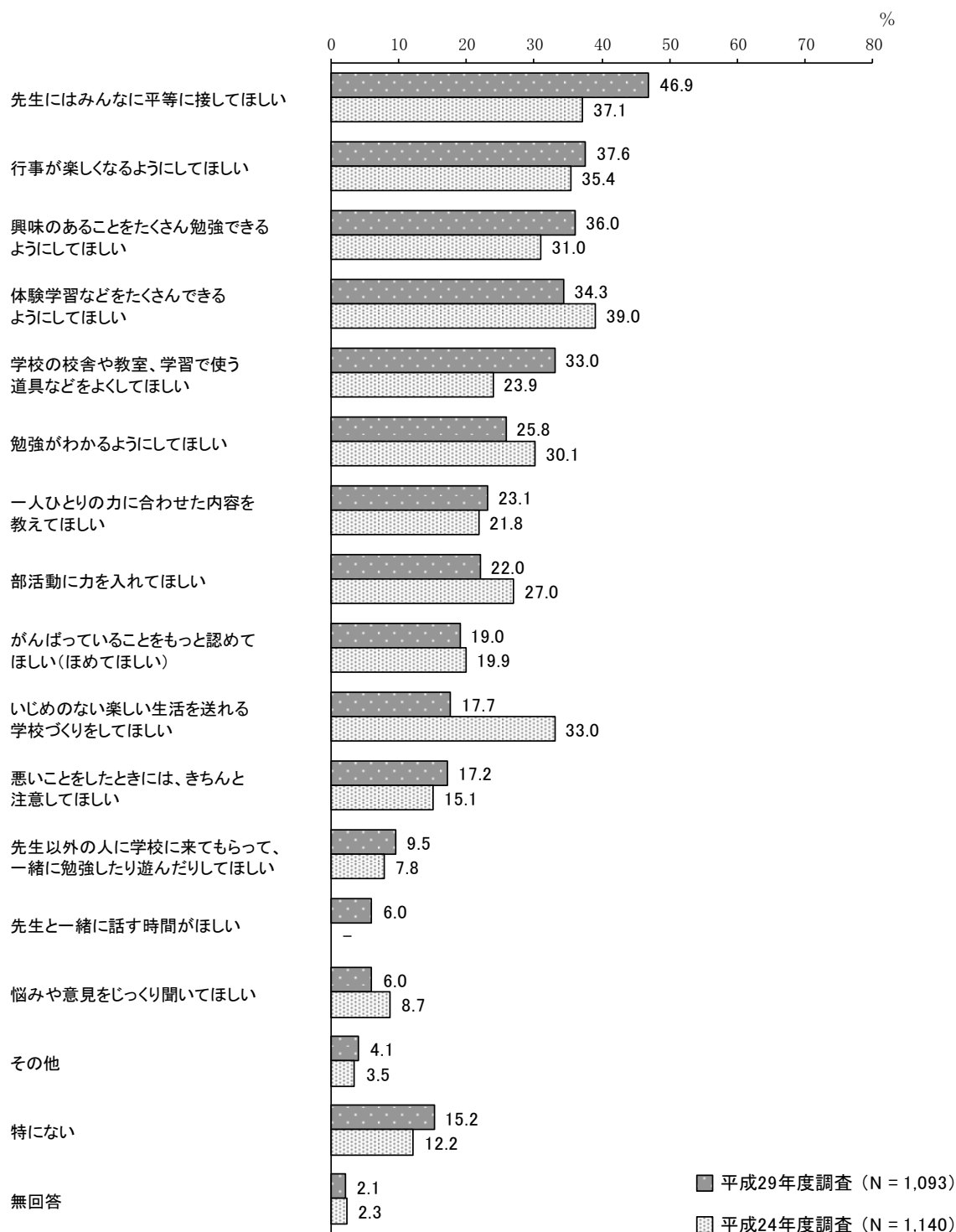
平成24年度調査と比較すると、「教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い」の割合が増加しています。



問 11 学校や先生に望むこと（してほしいこと）は何ですか。（〇はいくつでも）

「先生にはみんなに平等に接してほしい」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「行事が楽しくなるようにしてほしい」の割合が 37.6%、「興味のあることをたくさん勉強できるようにしてほしい」の割合が 36.0%となっています。

平成 24 年度調査と比較すると、「先生にはみんなに平等に接してほしい」「学校の校舎や教室、学習で使う道具などをよくしてほしい」の割合が増加しています。一方、「いじめのない楽しい生活を送れる学校づくりをしてほしい」の割合が減少しています。

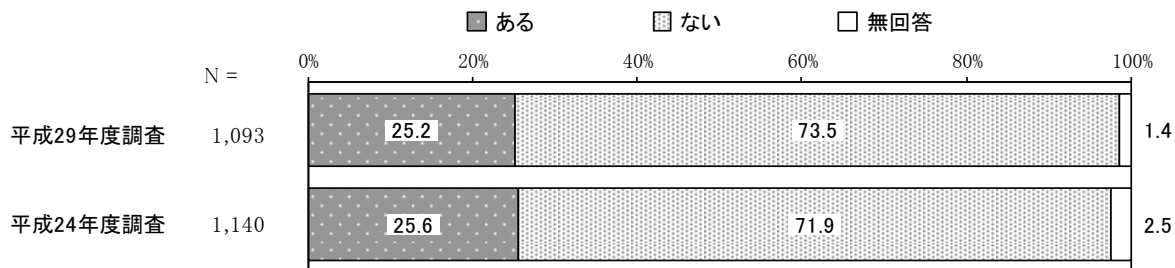


※平成 24 年度調査には「先生と一緒に話す時間がほしい」の選択肢がありません。

〈中学生調査〉

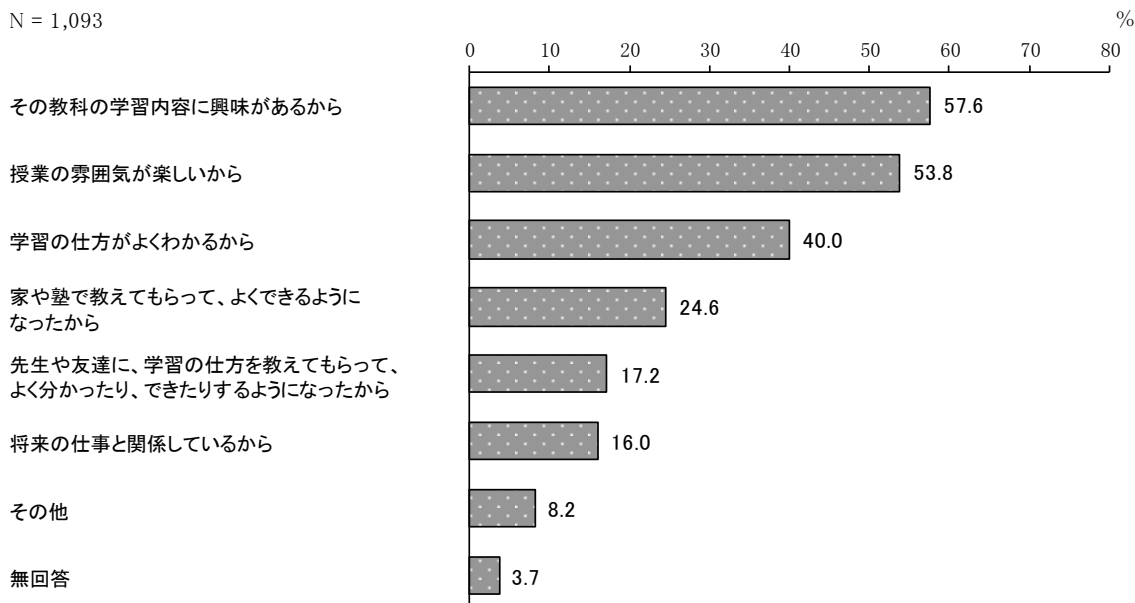
問 12 ふだんの授業以外に、自分の苦手なことや困っていることについて、個別に先生に教えてほしいと思ったことはありますか。(〇は1つ)

「ある」の割合が25.2%、「ない」の割合が73.5%となっています。  
平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 14 好きな教科について、好きになった理由はどんなことですか。(〇はいくつでも)

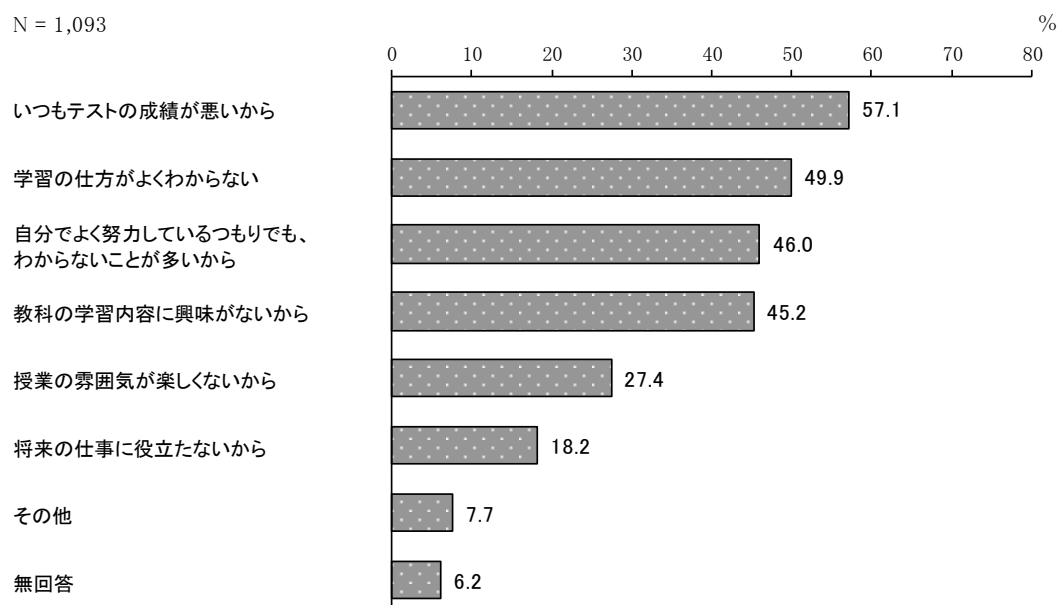
「その教科の学習内容に興味があるから」の割合が57.6%と最も高く、次いで「授業の雰囲気が楽しいから」の割合が53.8%、「学習の仕方がよくわかるから」の割合が40.0%となっています。





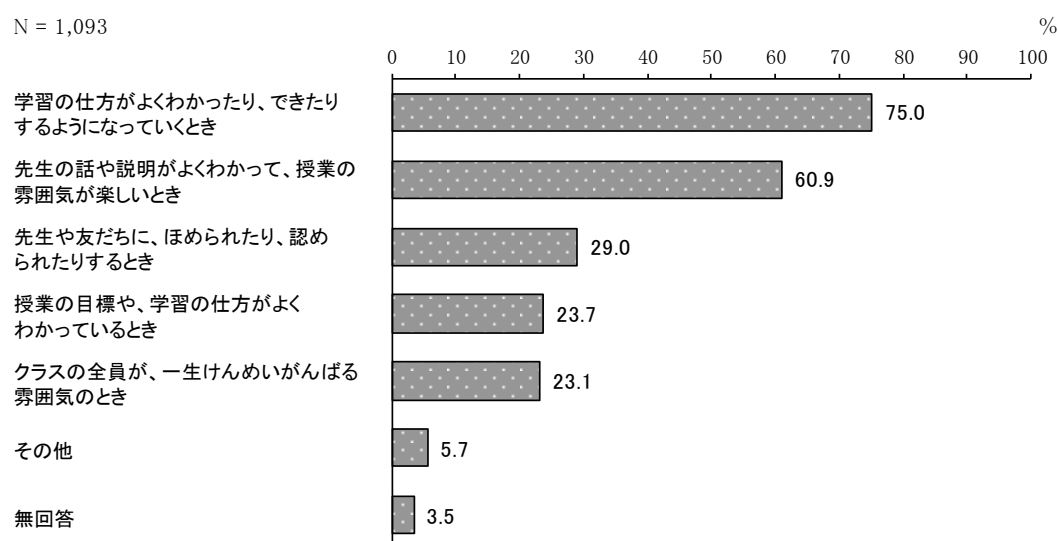
**問 15 嫌いな教科について、嫌いになった理由はどんなことですか。**  
(○はいくつでも)

「いつもテストの成績が悪いから」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「学習の仕方がよくわからない」の割合が 49.9%、「自分でよく努力しているつもりでも、わからないことが多いから」の割合が 46.0%となっています。



**問 16 授業中にやる気が出てくるのは、どんなときですか。**(○はいくつでも)

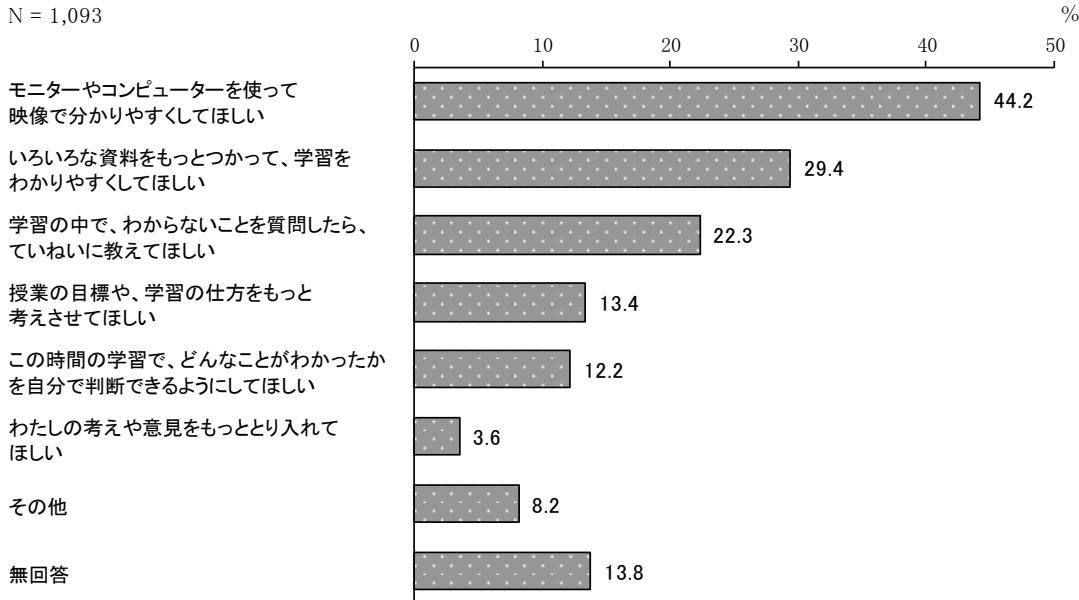
「学習の仕方がよくわかったり、できたりするようになっていくとき」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「先生の話や説明がよくわかって、授業の雰囲気が楽しいとき」の割合が 60.9%となっています。



〈中学生調査〉

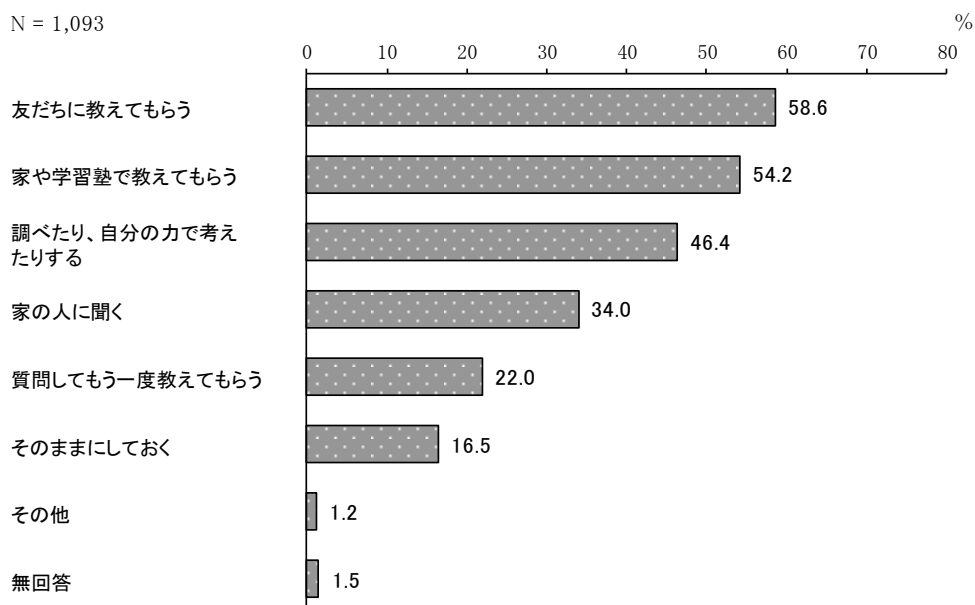
問 17 学習の仕方について、もっとこうしてほしいなあと思うことがありますか。  
(〇はいくつでも)

「モニターやコンピューターを使って映像で分かりやすくしてほしい」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「いろいろな資料をもっとつかって、学習をわかりやすくしてほしい」の割合が 29.4%、「学習の中で、わからないことを質問したら、ていねいに教えてほしい」の割合が 22.3%となっています。



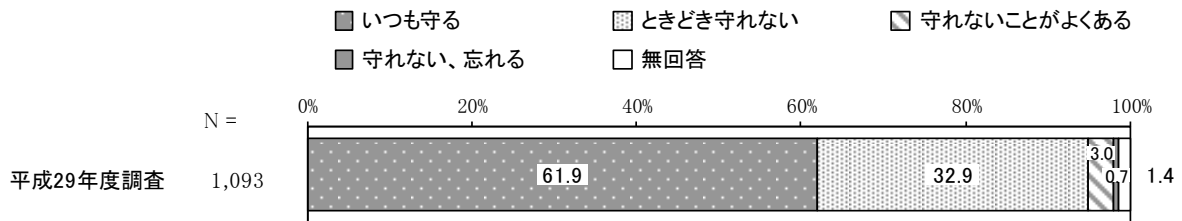
問 18 学習内容がよくわからなかったり、できなかったときはどうしていますか。  
(〇はいくつでも)

「友だちに教えてもらう」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「家や学習塾で教えてもらう」の割合が 54.2%、「調べたり、自分の力で考えたりする」の割合が 46.4%となっています。



問 19 学校のきまり・規則を守って生活していますか。(○は1つ)

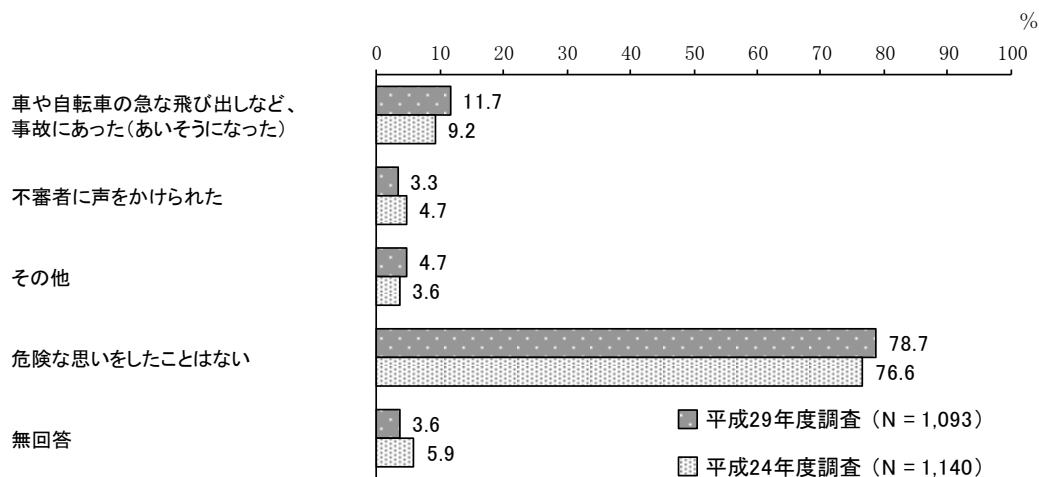
「いつも守る」の割合が61.9%と最も高く、次いで「ときどき守れない」の割合が32.9%となっています。



問 20 この1年くらいの間に、学校に通うときや学校から帰るとき（登下校時）に危険な思いをしたことはありますか。(○はいくつでも)

「危険な思いをしたことはない」の割合が78.7%と最も高く、次いで「車や自転車の急な飛び出しなど、事故にあった(あいそになった)」の割合が11.7%となっています。

平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

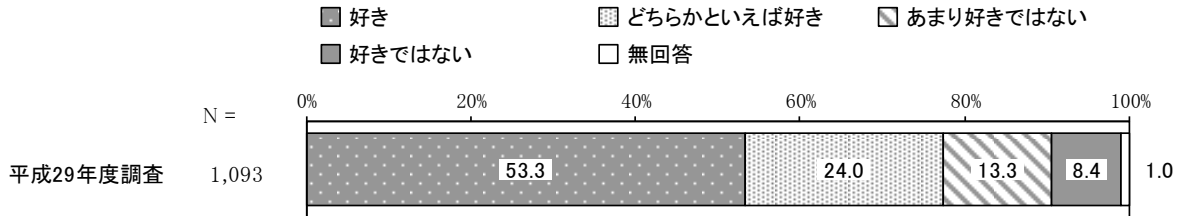


※平成24年度調査には「遊具で遊んでいてケガをした(しそになった)」の選択肢がありました。

(3) 学校以外での生活について

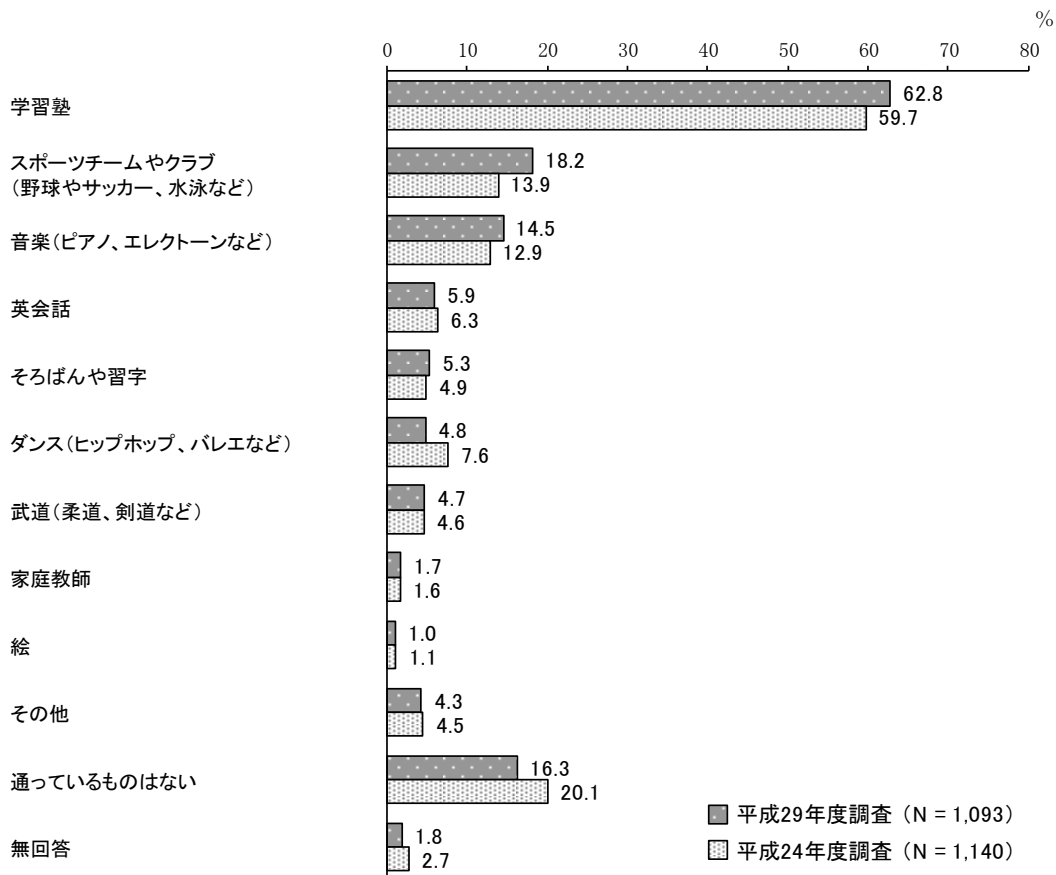
問 21 運動することが好きですか。(○は1つ)

「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が 77.3%、「あまり好きではない」と「好きではない」をあわせた“好きではない”の割合が 21.7%となっています。



問 22 習い事や塾に通っていますか。(○はいくつでも)

「学習塾」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「スポーツチームやクラブ (野球やサッカー、水泳など)」の割合が 18.2%、「通っているものはない」の割合が 16.3%となっています。



参考 平成 20 年調査結果 (複数回答)

単位：%

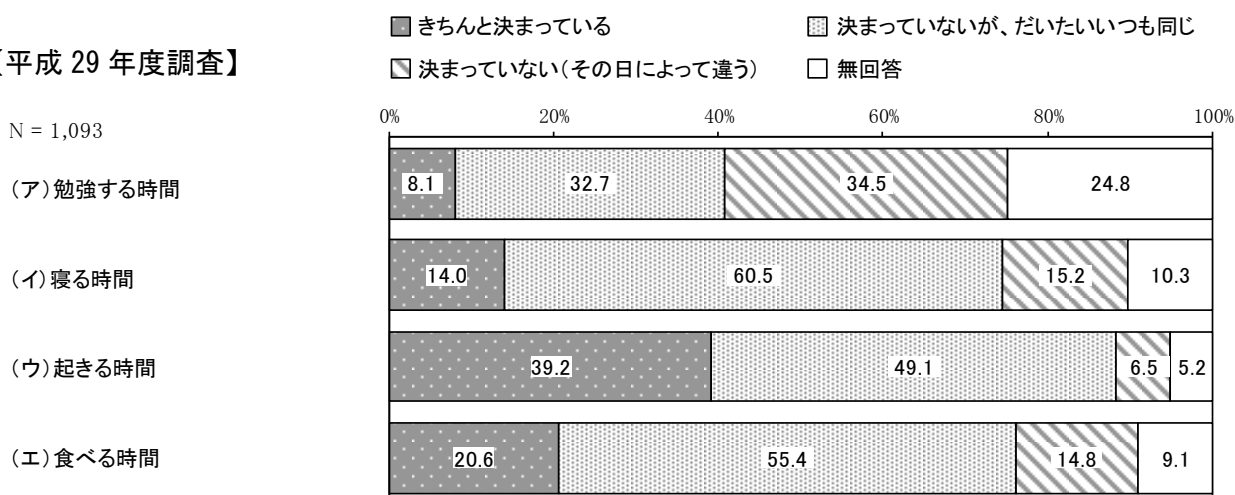
	有効回答数(件)	スポーツチームやクラブ	ピアノ、エレキトーン その他の音楽	学習塾	家庭教師	そろばんや習字	英会話	絵画など	特にない	その他	無回答
全体	428	22.2	16.8	47.2	1.6	3.5	6.3	0.5	24.8	5.6	4.4

問 23 家では、勉強する時間・寝る時間・起きる時間・食べる時間はそれぞれ決まっていますか。(○は(ア)～(エ)ごとに1つずつ)

(ア) 勉強する時間では、「きちんと決まっている」と「決まっていないが、だいたいいつも同じ」をあわせた“決まっている”の割合が40.8%、「決まっていない(その日によって違う)」の割合が34.5%となっています。(イ) 寝る時間では、“決まっている”の割合が74.5%、「決まっていない(その日によって違う)」の割合が15.2%となっています。(ウ) 起きる時間では、“決まっている”の割合が88.3%、「決まっていない(その日によって違う)」の割合が6.5%となっています。(エ) 食べる時間では、“決まっている”の割合が76.0%、「決まっていない(その日によって違う)」の割合が14.8%となっています。

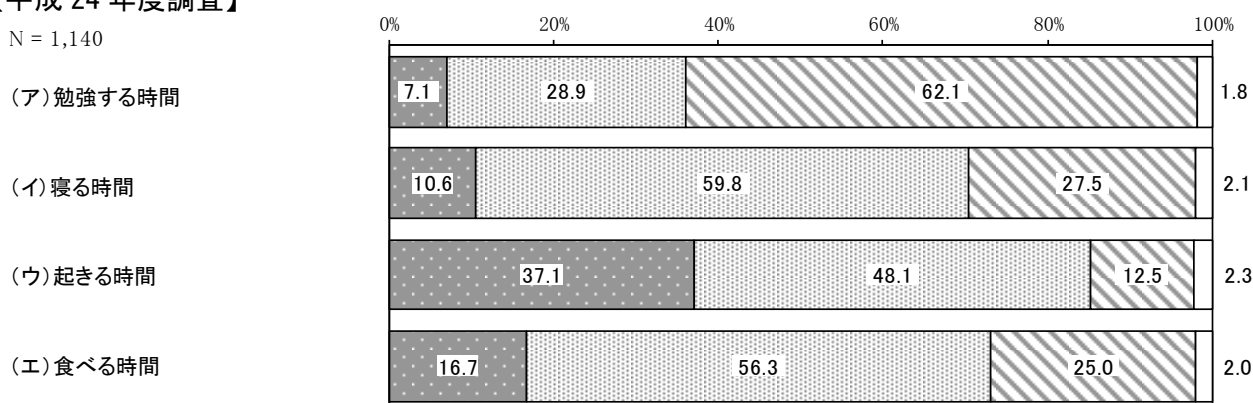
【平成 29 年度調査】

N = 1,093



【平成 24 年度調査】

N = 1,140



**参考** 平成 20 年調査結果

単位：％

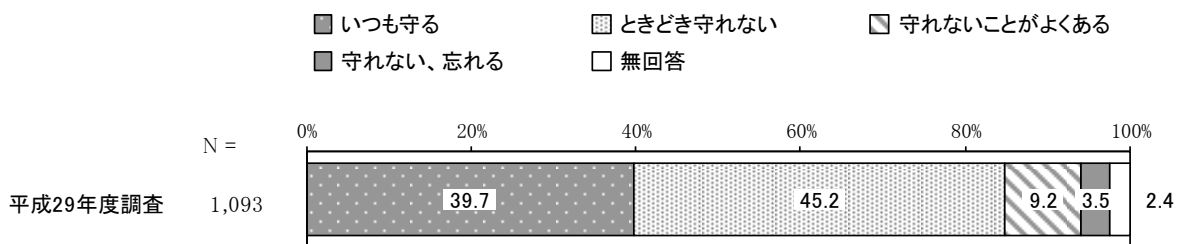
	有効回答数 (件)	勉強する時間				寝る時間			
		きちんと決まっている	決まっているが、大体いつも同じ	決まっていない (その日によって違う)	無回答	きちんと決まっている	決まっているが、大体いつも同じ	決まっていない (その日によって違う)	無回答
全 体	428	6.8	23.6	63.1	6.5	9.3	56.8	27.3	6.5

	有効回答数 (件)	起きる時間				食べる時間			
		きちんと決まっている	決まっているが、大体いつも同じ	決まっていない (その日によって違う)	無回答	きちんと決まっている	決まっているが、大体いつも同じ	決まっていない (その日によって違う)	無回答
全 体	428	33.4	49.3	10.7	6.5	15.4	52.8	24.8	7.0

**問 24 家での決まりや約束を守っていますか。(○は1つ)**

「ときどき守れない」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「いつも守る」の割合が 39.7%となっています。

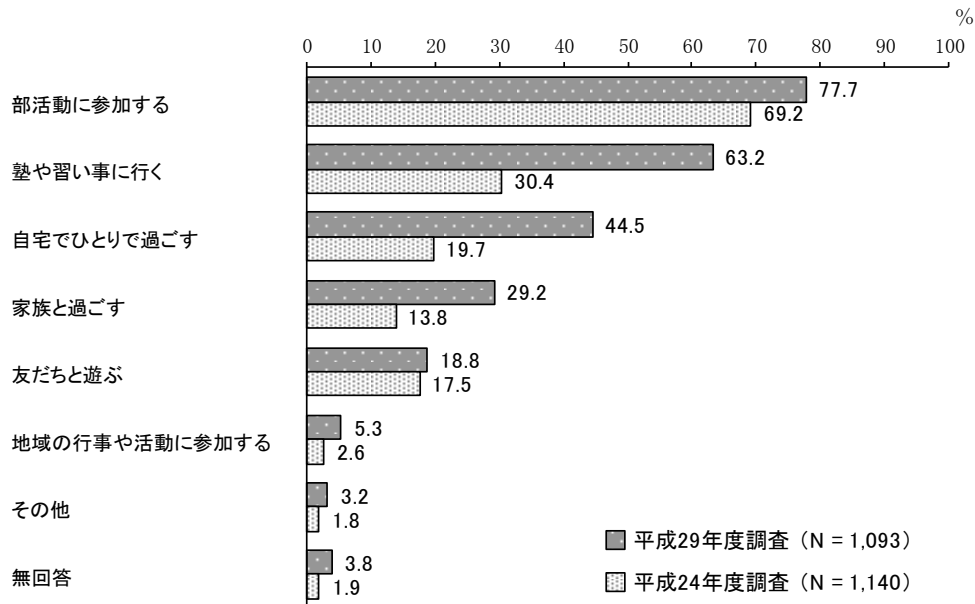


問 25 学校の授業以外では、主にどうやって過ごすことが多いですか。  
 (〇は(ア)～(キ)ごとに1つ)

平日 (学校が終わってから)

「部活動に参加する」の割合が77.7%と最も高く、次いで「塾や習い事に行く」の割合が63.2%、「自宅でひとりで過ごす」の割合が44.5%となっています。

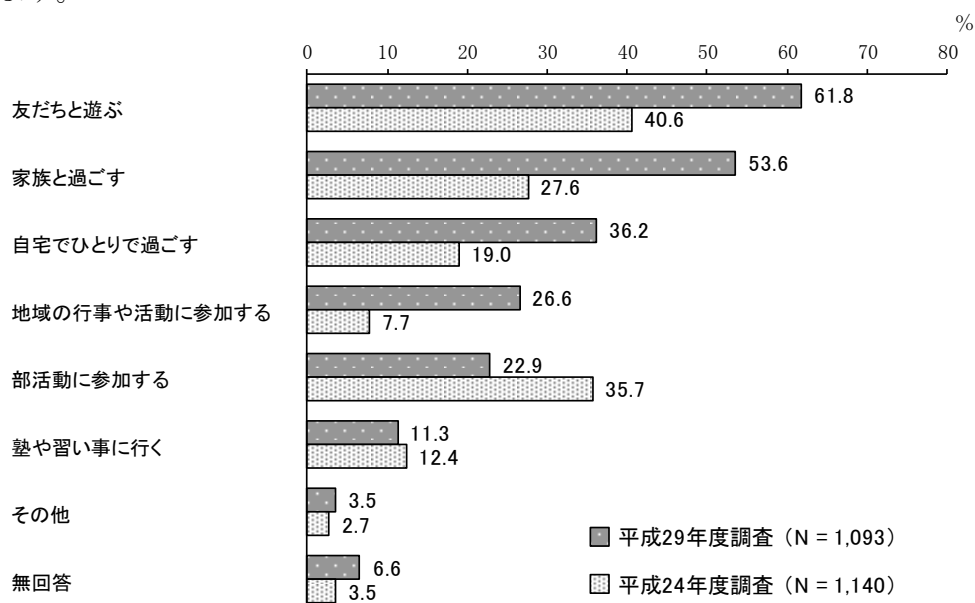
平成24年度調査と比較すると、「部活動に参加する」「塾や習い事に行く」「自宅でひとりで過ごす」「家族と過ごす」の割合が増加しています。



休日 (学校が休みの日)

「友だちと遊ぶ」の割合が61.8%と最も高く、次いで「家族と過ごす」の割合が53.6%、「自宅でひとりで過ごす」の割合が36.2%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「友だちと遊ぶ」「家族と過ごす」「自宅でひとりで過ごす」「地域の行事や活動に参加する」の割合が増加しています。一方、「部活動に参加する」の割合が減少しています。



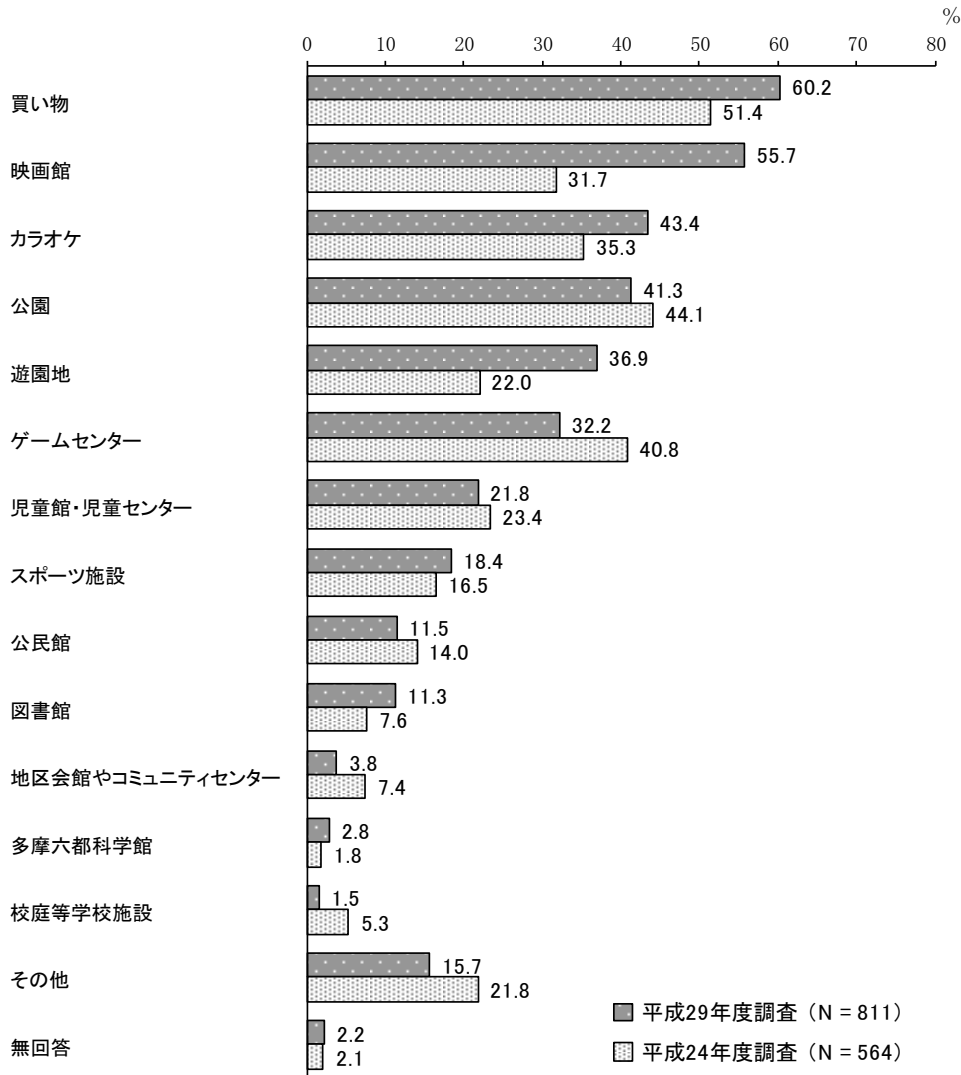
〈中学生調査〉

平日または休日に「(イ) 友だちと遊ぶ」と答えた人にたずねます。

問 26 友だち同士で外出するときは、どのようなところに行きますか。  
(○はいくつでも)

「買い物」の割合が60.2%と最も高く、次いで「映画館」の割合が55.7%、「カラオケ」の割合が43.4%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「買い物」「映画館」「カラオケ」「遊園地」の割合が増加しています。一方、「ゲームセンター」の割合が減少しています。



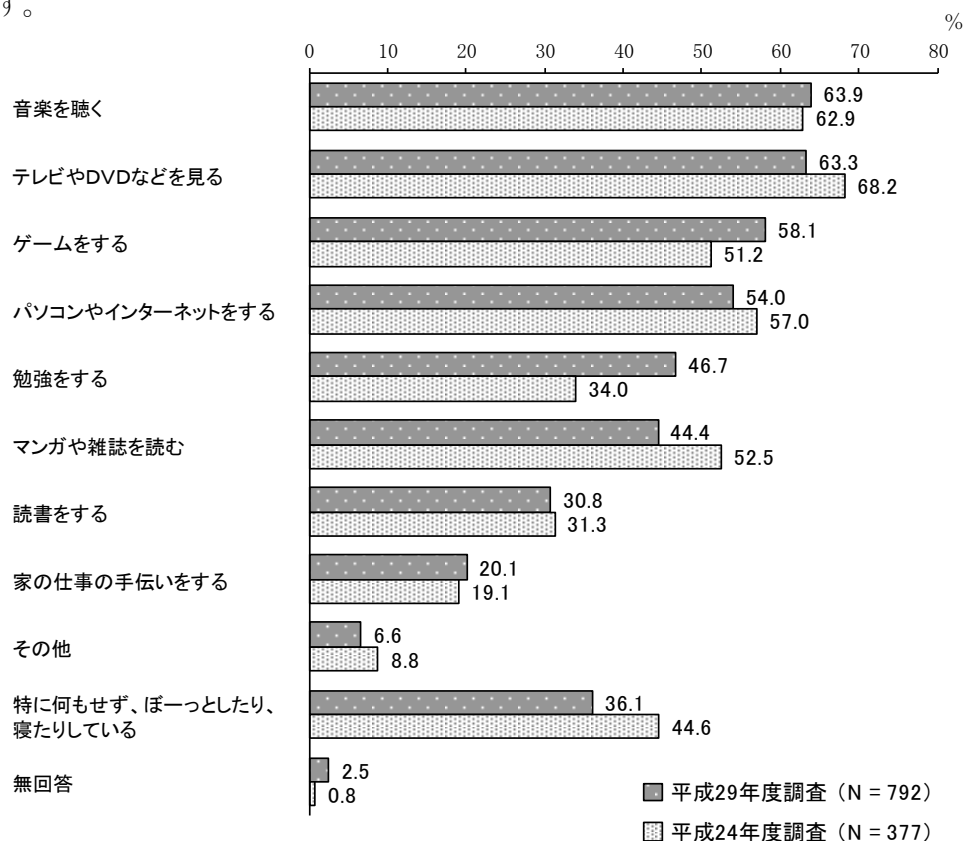


平日または休日に「(エ) 自宅でひとりで過ごす」と答えた人にたずねます。

問 27 何をして過ごしていますか。(〇はいくつでも)

「音楽を聴く」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「テレビやDVDなどを見る」の割合が 63.3%、「ゲームをする」の割合が 58.1%となっています。

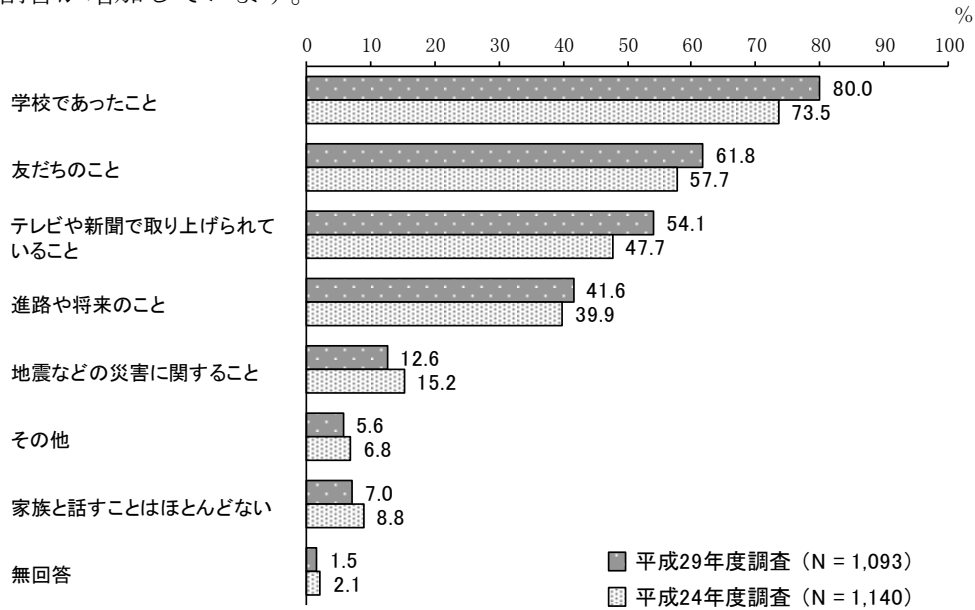
平成 24 年度調査と比較すると、「ゲームをする」「勉強をする」の割合が増加しています。一方、「マンガや雑誌を読む」「特に何もせず、ぼーっとしたり、寝たりしている」の割合が減少しています。



問 28 次のような内容について家族と話すことがありますか。(〇はいくつでも)

「学校であったこと」の割合が80.0%と最も高く、次いで「友だちのこと」の割合が61.8%、「テレビや新聞で取り上げられていること」の割合が54.1%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「学校であったこと」「テレビや新聞で取り上げられていること」の割合が増加しています。

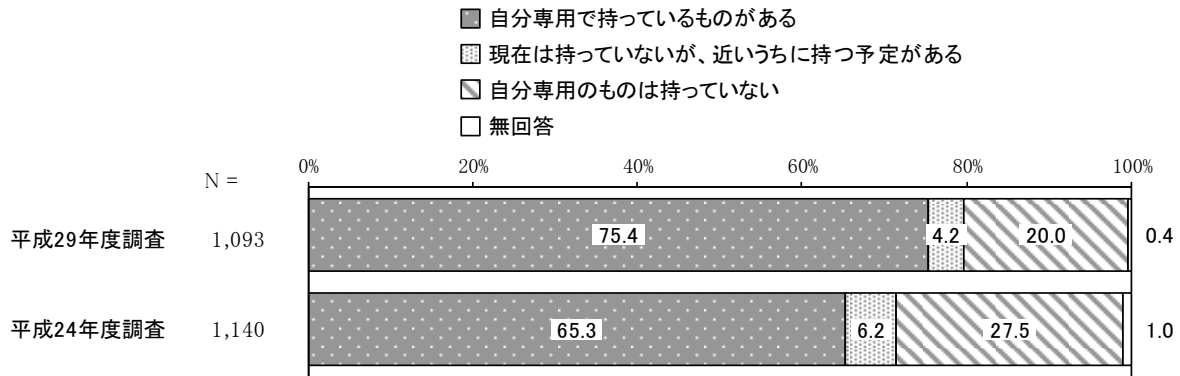


(4) 携帯電話やインターネット等について

問 29 自分専用の携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。  
(○は1つ)

「自分専用で持っているものがある」の割合が75.4%と最も高く、次いで「自分専用のもは持っていない」の割合が20.0%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「自分専用で持っているものがある」の割合が増加しています。



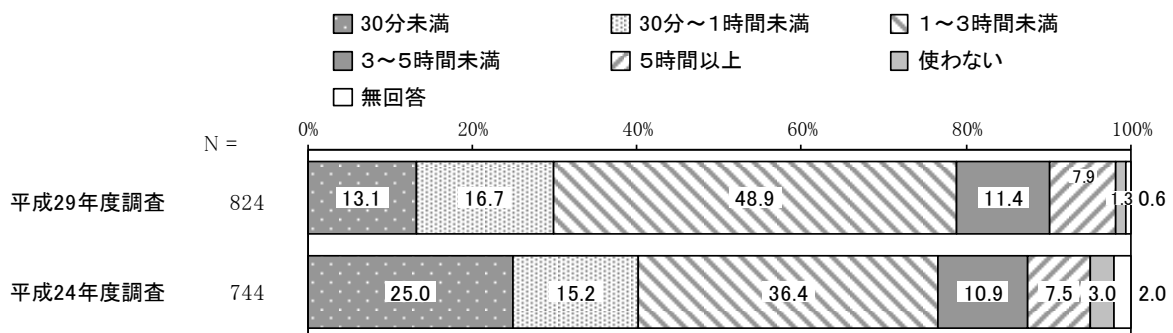
「1 自分専用で持っているものがある」と答えた人にたずねます。

問 30 1日にどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使いますか。  
「平日」「休日」それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

【平日】

「1～3時間未満」の割合が48.9%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」の割合が16.7%、「30分未満」の割合が13.1%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「1～3時間未満」の割合が増加しています。一方、「30分未満」の割合が減少しています。

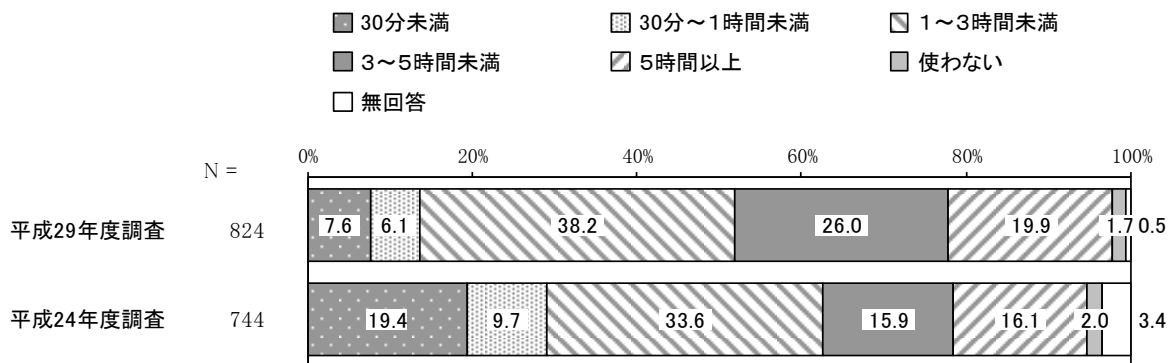


〈中学生調査〉

【休日】

「1～3時間未満」の割合が38.2%と最も高く、次いで「3～5時間未満」の割合が26.0%、「5時間以上」の割合が19.9%となっています。

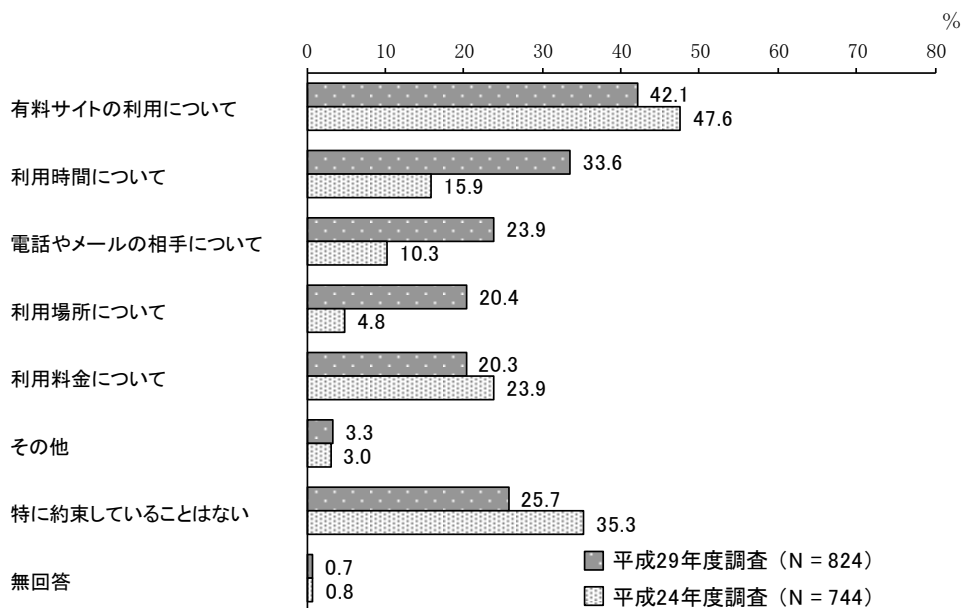
平成24年度調査と比較すると、「3～5時間未満」の割合が増加しています。一方、「30分未満」の割合が減少しています。



問31 使い方について、家族と約束をしていることはありますか。(〇はいくつでも)

「有料サイトの利用について」の割合が42.1%と最も高く、次いで「利用時間について」の割合が33.6%、「特に約束していることはない」の割合が25.7%となっています。

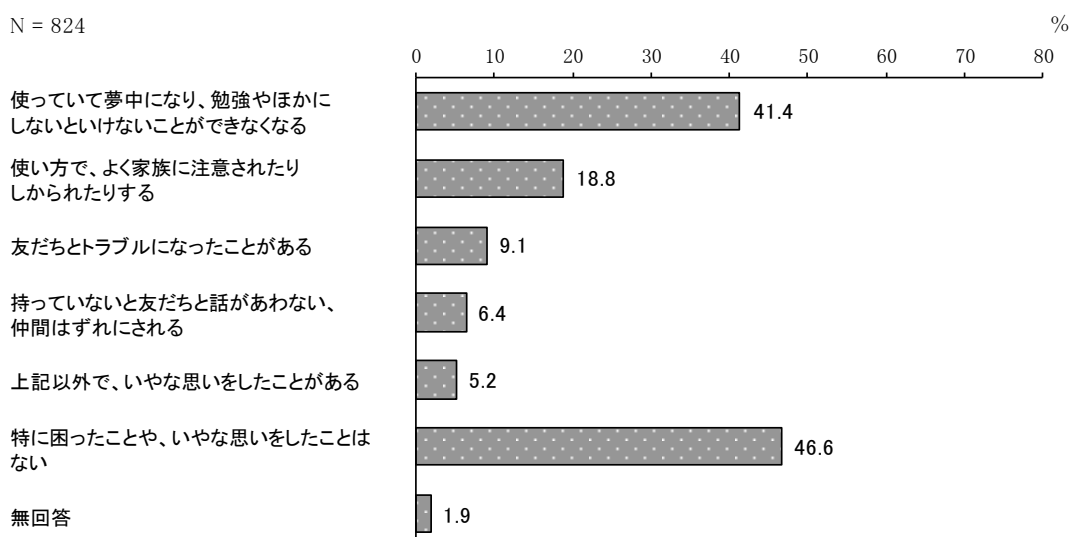
平成24年度調査と比較すると、「利用時間について」「電話やメールの相手について」「利用場所について」の割合が増加しています。一方、「有料サイトの利用について」「特に約束していることはない」の割合が減少しています。



問 32 携帯電話（スマートフォン含む）やパソコンでインターネットを利用して、次のようなことがありましたか。（○はいくつでも）

「特に困ったことや、いやな思いをしたことはない」の割合が46.6%と最も高く、次いで「使っていて夢中になり、勉強やほかにしないといけないことができなくなる」の割合が41.4%となっています。

N = 824

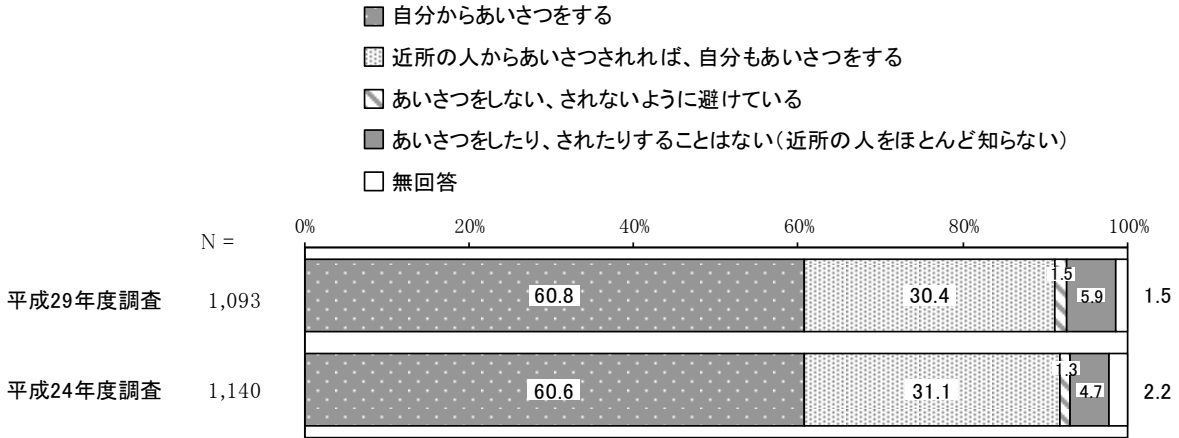


(5) 地域の方との関わり方について

問 33 ふだん、近所の人とはあいさつをしますか。(○は1つ)

「自分からあいさつをする」の割合が60.8%と最も高く、次いで「近所の人からあいさつされれば、自分もあいさつをする」の割合が30.4%となっています。

平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



参考 平成20年調査結果

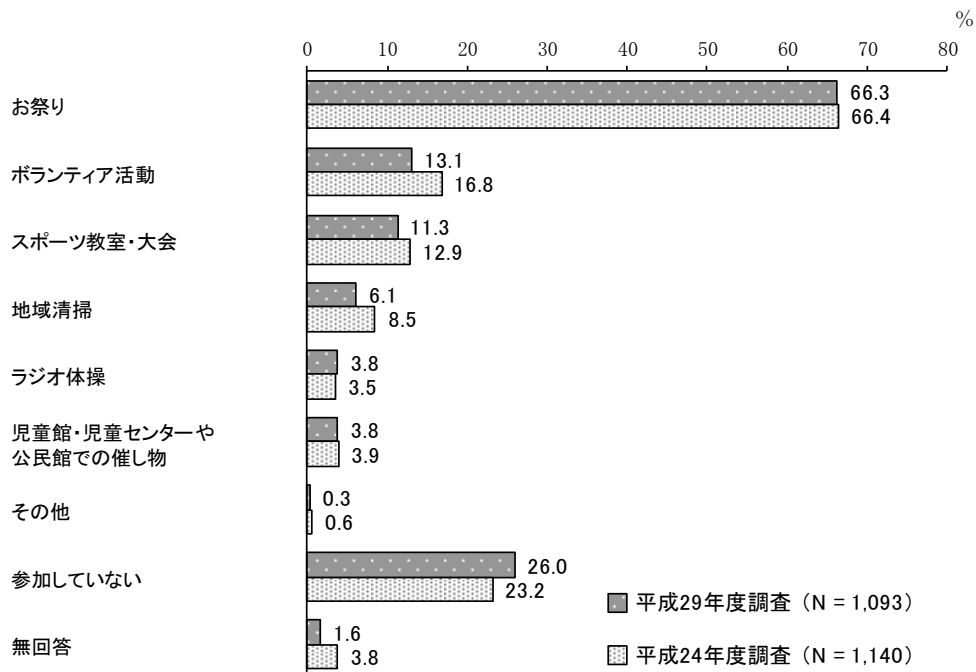
単位：%

	有効回答数 (件)	知っている人にはいつもあいさつする	あいさつをされたら返事をする	話したくないのであいさつしない	不審者が気になるのであいさつしない	知っている人がいないのであいさつしない	その他	無回答
全体	428	60.7	30.8	1.2	0.5	0.9	2.1	3.7

問 34 以下のような地域の行事などに参加していますか。(〇はいくつでも)

「お祭り」の割合が66.3%と最も高く、次いで「参加していない」の割合が26.0%、「ボランティア活動」の割合が13.1%となっています。

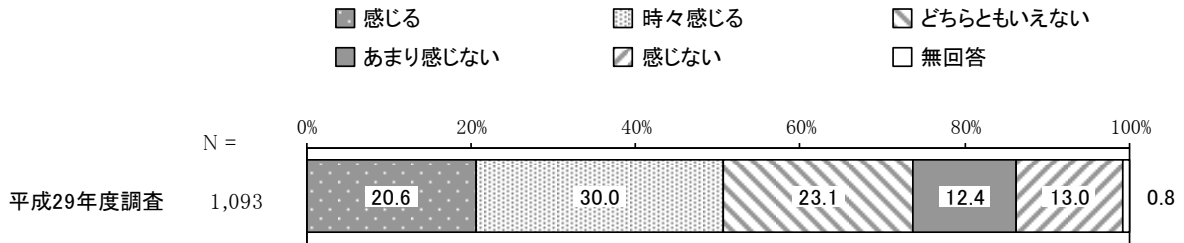
平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



〈中学生調査〉

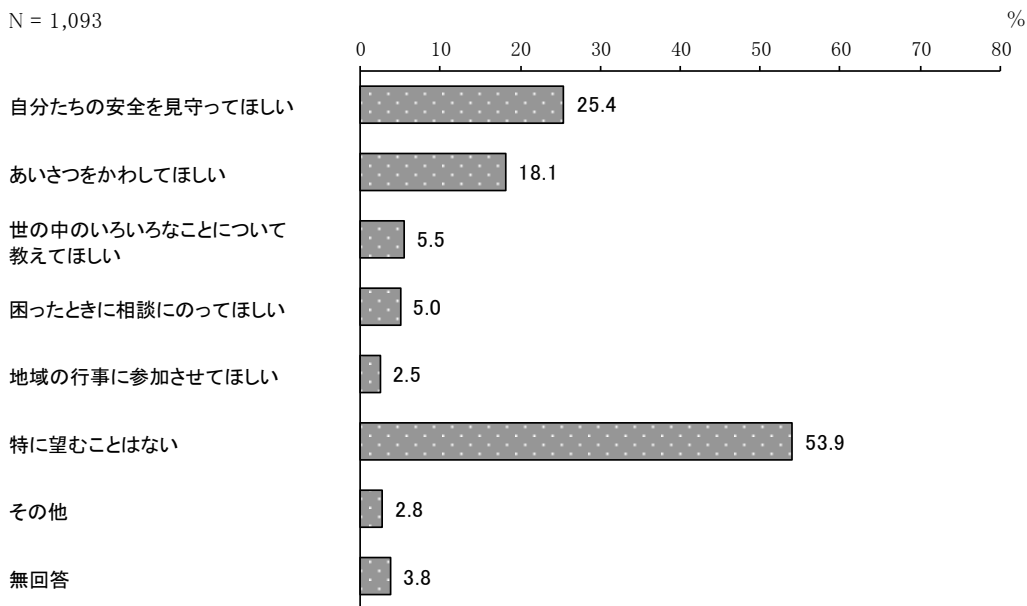
問 35 あなたの住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(〇は1つ)

「感じる」と「時々感じる」をあわせた“感じる”の割合が50.6%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が25.4%となっています。



問 36 あなたの住んでいる地域の大人に望むことは何ですか。(〇は2つ)

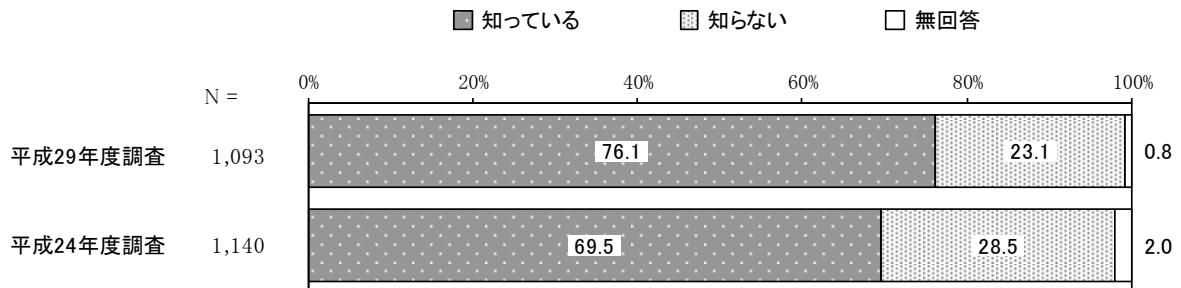
「特に望むことはない」の割合が53.9%と最も高く、次いで「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が25.4%、「あいさつをかわしてほしい」の割合が18.1%となっています。





**問 37 登下校の途中などに地震などの災害が起きたときに、どこに避難すればいいか知っていますか。(〇は1つ)**

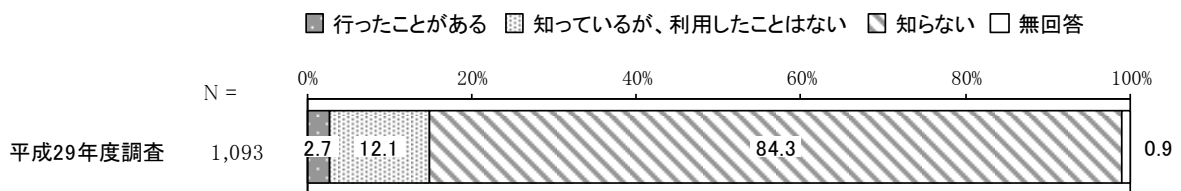
「知っている」の割合が76.1%、「知らない」の割合が23.1%となっています。  
平成24年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。



**問 38 市内には、地域の方が運営する、子どもが一人でも利用できる「子ども食堂」という取組がありますが、この取組を知っていますか。(〇は1つ)**

(しばくぼ~の、ねんりん子ども食堂、放課後キッチン・ごろごろ、飯もり山、木・々 子ども食堂、やぎさわ子ども食堂、わいわいクッキング 等 (50音順))

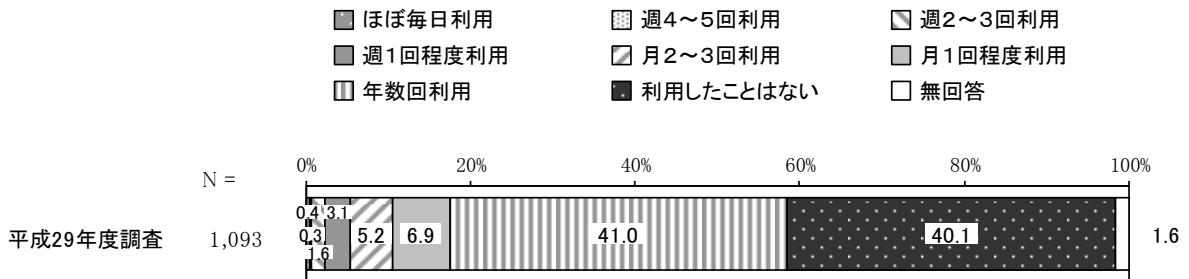
「知らない」の割合が84.3%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が12.1%となっています。



(6) 公民館と図書館について

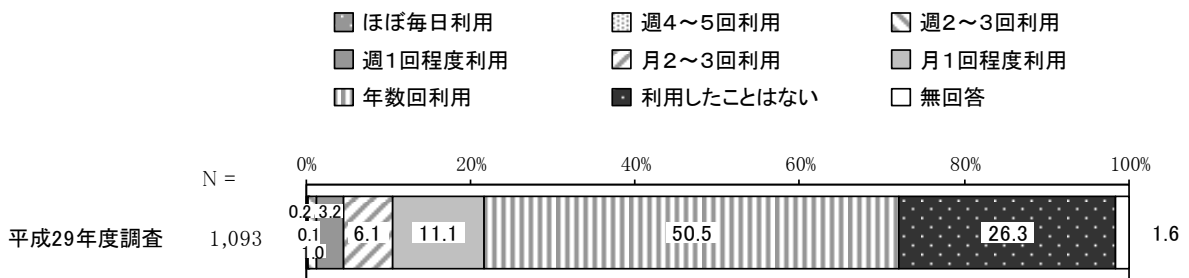
問 39 この1年間に、市の公民館を利用しましたか。また、利用した人は、どの程度利用しましたか。(〇は1つ)

「年数回利用」の割合が41.0%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が40.1%となっています。



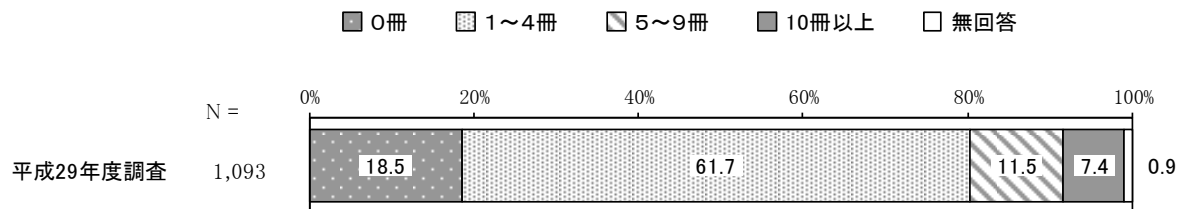
問 40 この1年間に、市の図書館を利用しましたか。また、利用した人は、どの程度利用しましたか。(〇は1つ)

「年数回利用」の割合が50.5%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が26.3%、「月1程度利用」の割合が11.1%となっています。



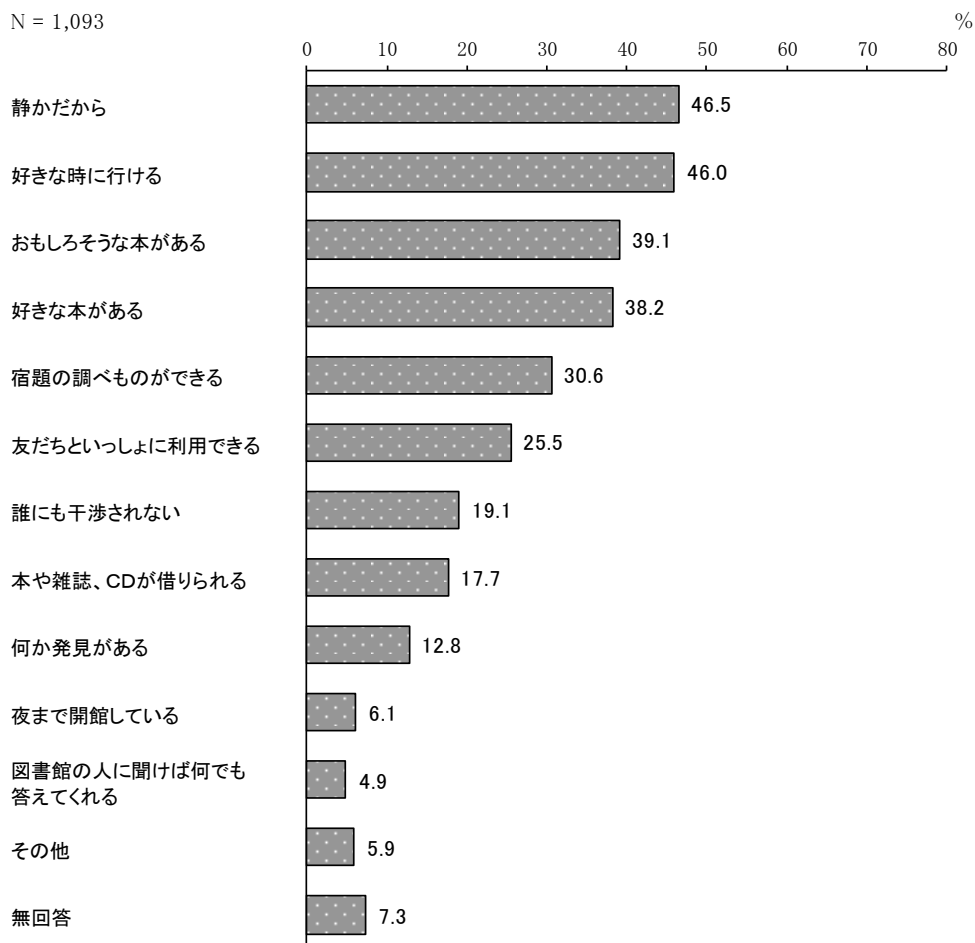
問 41 1ヶ月に平均何冊ぐらい本を読みますか。(〇は1つ)

「1~4冊」の割合が61.7%と最も高く、次いで「0冊」の割合が18.5%、「5~9冊」の割合が11.5%となっています。



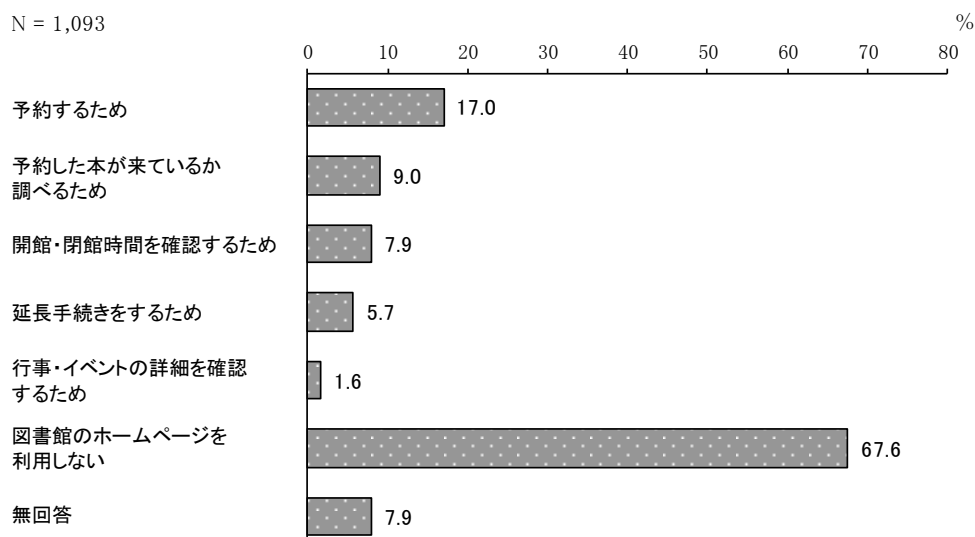
問 42 図書館のどんなところが好きですか。(〇はいくつでも)

「静かだから」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「好きな時に行ける」の割合が 46.0%、「おもしろそうな本がある」の割合が 39.1%となっています。



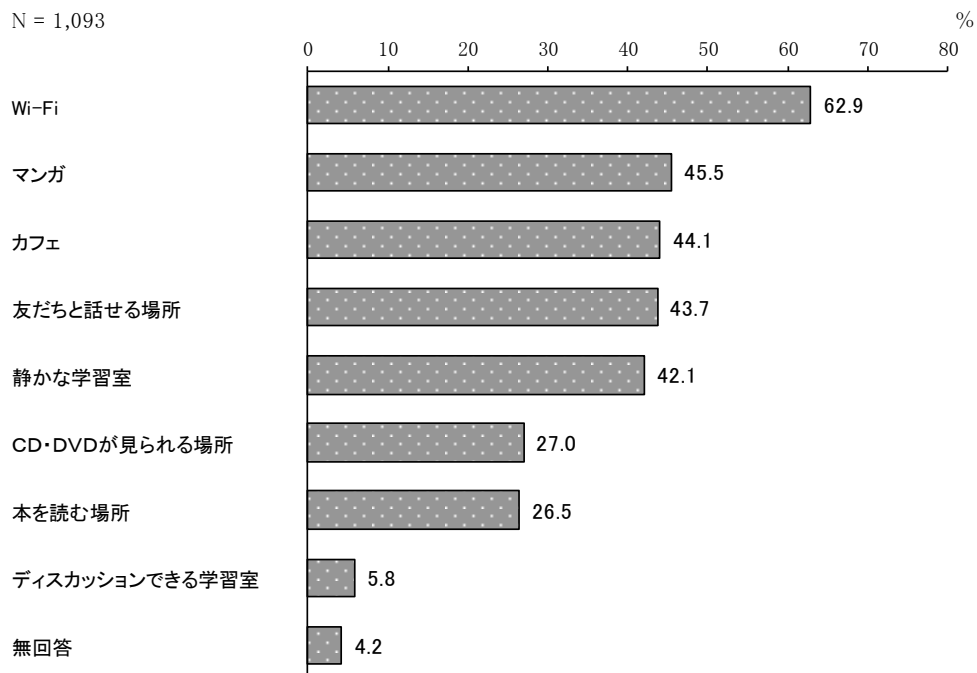
問 43 図書館のホームページを利用する目的はどれですか。(〇はいくつでも)

「図書館のホームページを利用しない」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「予約するため」の割合が 17.0%となっています。



問 44 図書館にあったらよいものは何ですか。(〇はいくつでも)

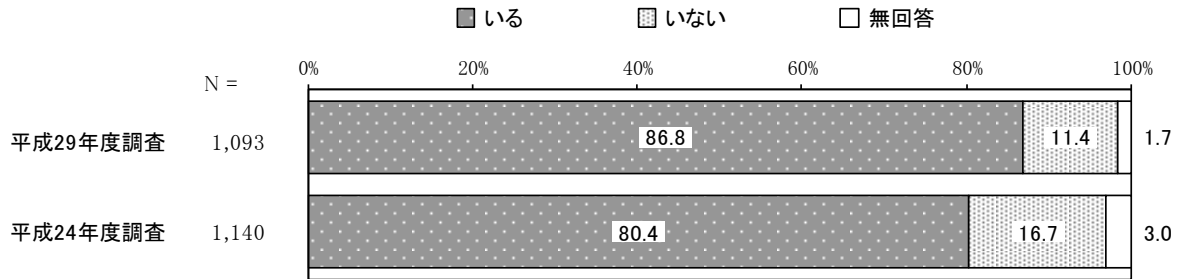
「Wi-Fi」の割合が62.9%と最も高く、次いで「マンガ」の割合が45.5%、「カフェ」の割合が44.1%となっています。



(7) あなた自身のことについて

問 45 いやなことやつらいことがあったとき、相談できる人がいますか。(○は1つ)

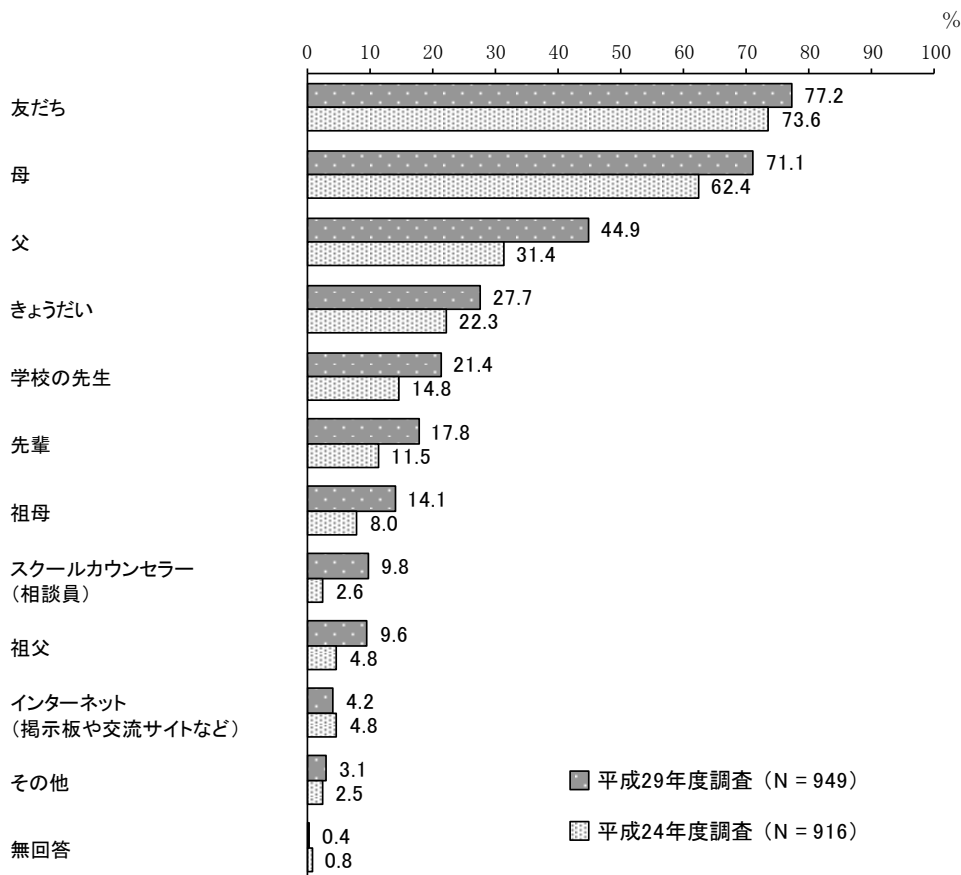
「いる」の割合が86.8%、「いない」の割合が11.4%となっています。  
 平成24年度調査と比較すると、「いる」の割合が増加しています。



「1 いる」と答えた人にたずねます。

問 46 相談できる人は誰ですか。(○はいくつでも)

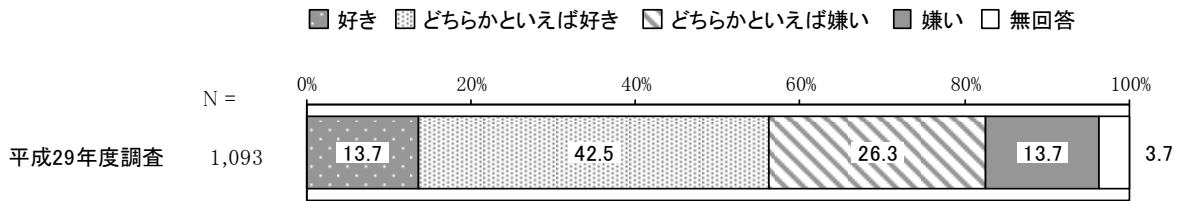
「友だち」の割合が77.2%と最も高く、次いで「母」の割合が71.1%、「父」の割合が44.9%となっています。



〈中学生調査〉

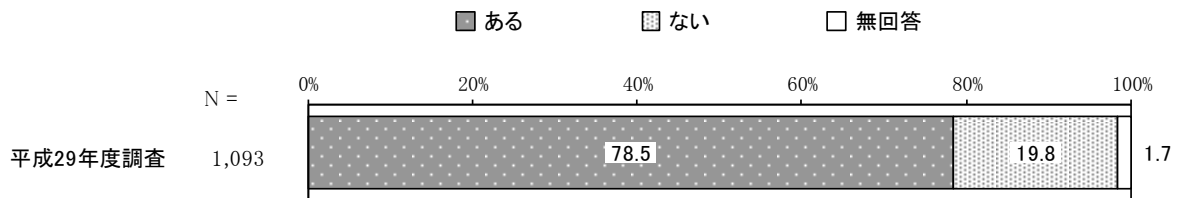
問 47 自分のことが好きですか。(○は1つ)

「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が 56.2%、「どちらかといえ  
ば嫌い」と「嫌い」をあわせた“嫌い”の割合が 40.0%となっています。



問 48 得意なことがありますか。(○は1つ)

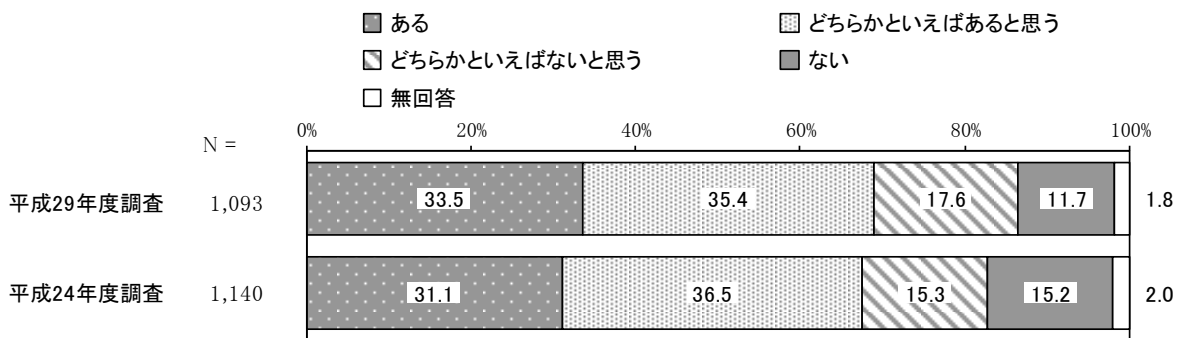
「ある」の割合が 78.5%、「ない」の割合が 19.8%となっています。



問 49 自分に自信のもてること(よいところ)はありますか。(○は1つ)

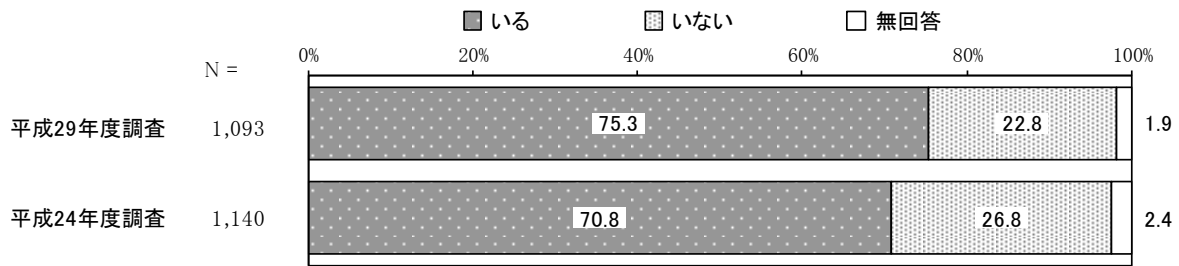
「ある」と「どちらかといえばあると思う」をあわせた“あると思う”の割合が 68.9%、「ど  
ちらかといえはないと思う」と「ない」をあわせた“ないと思う”の割合が 29.3%となっていま  
す。

平成 24 年度調査と比較すると、“あると思う”の割合が増加しています。



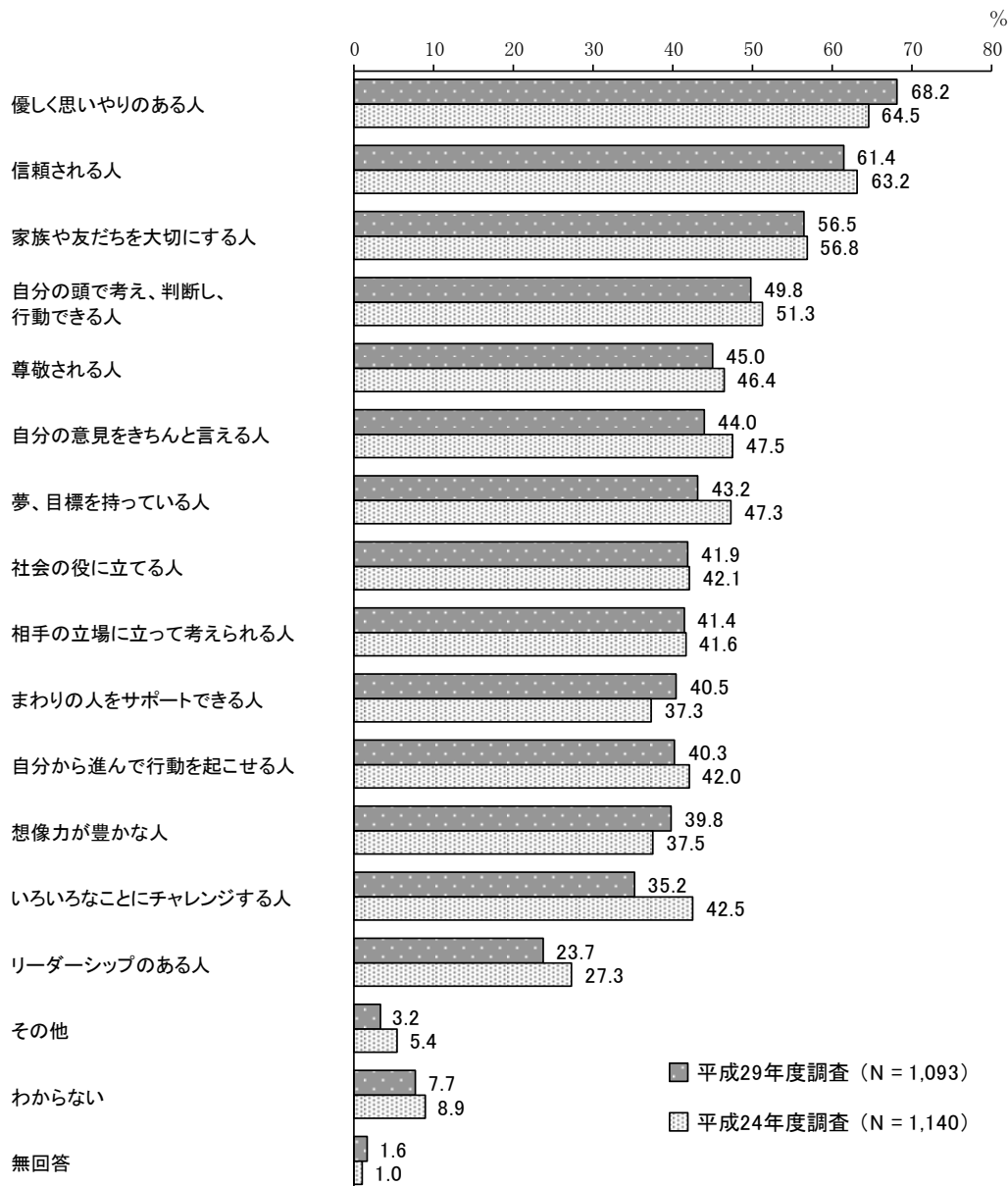
問 50 尊敬する人や目標にしている人はいますか。(○は1つ)

「いる」の割合が75.3%、「いない」の割合が22.8%となっています。  
平成24年度調査と比較すると、「いる」の割合が増加しています。



問 51 将来はどのような人になりたいですか。(○はいくつでも)

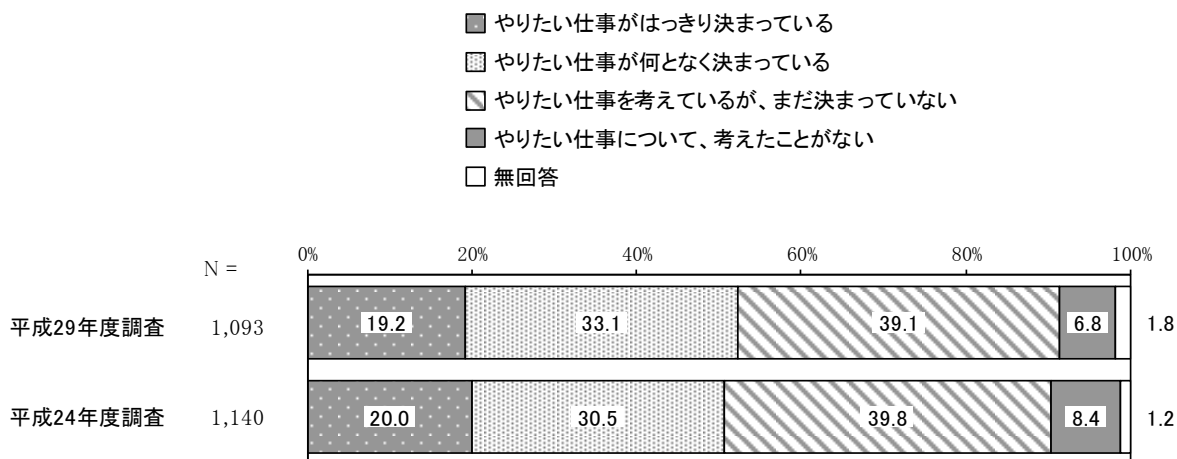
「優しく思いやりのある人」の割合が68.2%と最も高く、次いで「信頼される人」の割合が61.4%、「家族や友だちを大切にすること」の割合が56.5%となっています。



問 52 将来やりたい仕事はありますか。(○は1つ)

「やりたい仕事を考えているが、まだ決まっていない」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「やりたい仕事は何となく決まっている」の割合が 33.1%、「やりたい仕事ははっきり決まっている」の割合が 19.2%となっています。

平成 24 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。





「やりたい仕事ははっきり決まっている」「やりたい仕事は何となく決まっている」と答えた人にたずねます。

問 53 どのような仕事をしたいと考えていますか。

やりたい仕事についての自由記入欄を設けたところ、573 人の記入がありました。1 人で複数の仕事を記入している児童もいました。

スポーツ関係の仕事（サッカー・野球を除く） 47 件  
サッカー関係の仕事 21 件  
野球関係の仕事 10 件  
医療関係の仕事 56 件  
子どもに関する仕事 52 件  
学校等の先生 35 件  
漫画・アニメ・イラストに関する仕事 31 件  
デザイン、ファッション、美容・理容関係の仕事 28 件  
公務員 28 件  
動物に関する仕事 25 件  
料理や菓子づくり等に関する仕事 25 件  
建築等に関する仕事 17 件  
映像等を制作する仕事、声優、アナウンサー 17 件  
音楽関係の仕事 15 件  
学者・研究者 14 件  
航空・宇宙に関する仕事 14 件  
芸能・テレビに出演する仕事 12 件  
英語・外国語に関わる仕事 10 件  
ゲーム関係の仕事 9 件  
鉄道関係の仕事 9 件  
ダンス・劇団等に関する仕事 8 件  
エンジニア、プログラマー 7 件  
介護・福祉に関する仕事 7 件  
弁護士・検察官等 6 件  
車関係の仕事 6 件  
飲食店に関する仕事 5 件

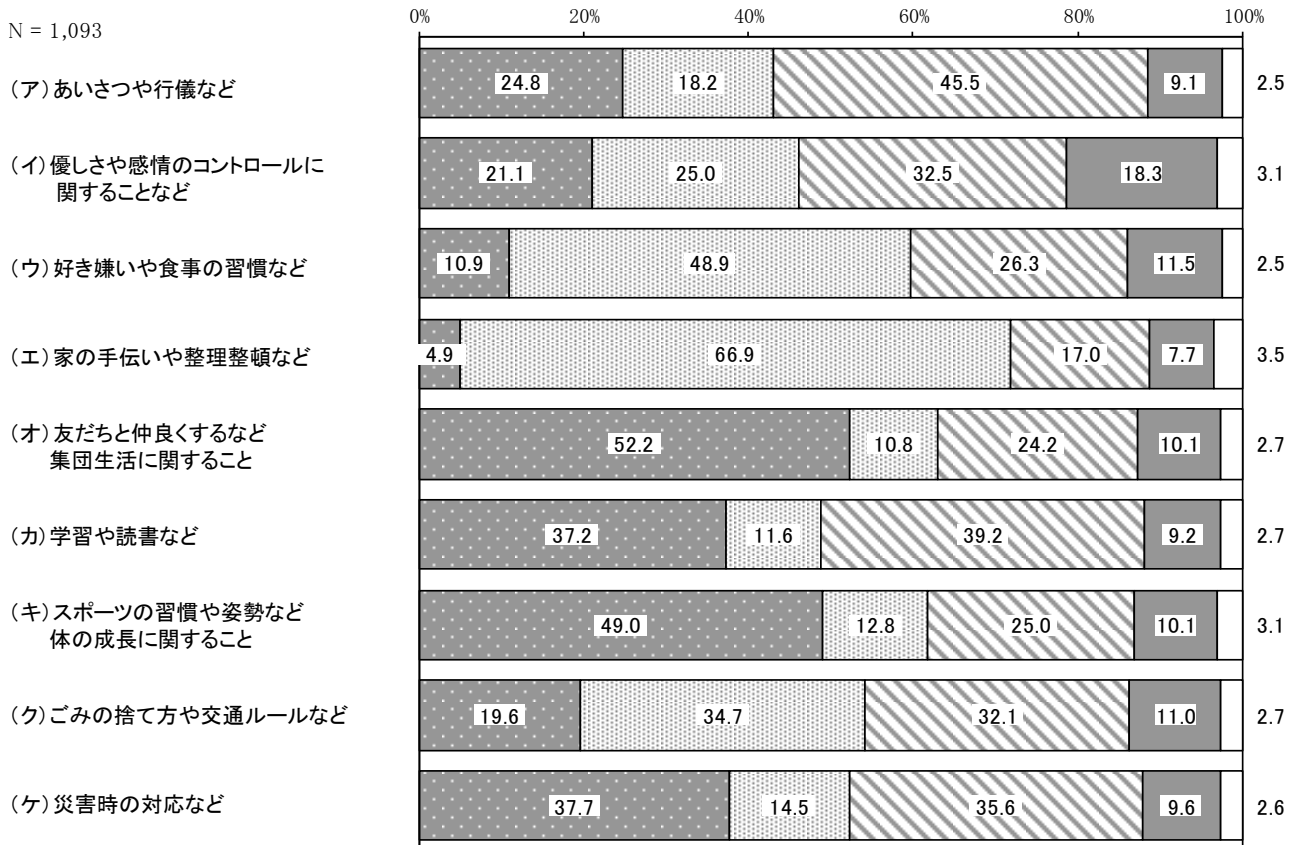
他に、具体的な仕事の内容ではありませんが、「人・社会の役に立つ仕事」「人を助ける仕事」という回答が 23 件ありました。

〈中学生調査〉

問 54 次の（ア）～（ケ）の項目はそれぞれ、学校か家庭のどちらで学んでいると思いますか（〇は（ア）～（ケ）ごとに、1つずつ）

- 学校で学んでいる
- 家庭で学んでいる
- 学校・家庭の両方で学んでいる
- わからない
- 無回答

N = 1,093



最後に、ふだんの生活について感じていることや、このアンケートの感想などがありましたら、自由に記入してください。

調査票の最後に、ふだんの生活で感じていることや、アンケートの感想などについての自由記入欄を設けたところ、398人の記入がありました。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできませんが、その一部を紹介します。(原文どおりに掲載しています。)

### 《学校での勉強について》

- 普段の生活では学習面がうまくいってなくて、テストの点数もいつも悪いから、このままいい高校に行けるか不安があります。(女子)
- テストや学校、子供の嫌がる事はしなくていいと思います。(男子)
- 勉強がとても苦手です。(男子)
- 土曜日に授業があったのに月曜からまた次の週が始まるのはつらいです。(女子)
- 放課後気軽に学校等で勉強できるようにしてほしいです。(女子)

### 《部活動のことについて》

- 部活動の日数が多く、自分のしたいことや疲れをとることが出来ない。特に学校が休みの日が多いから困っている。それから終る時間が遅い日もあるから、帰り道も暗いし、学校後にある習いごとに間に合わないときもあり嫌だ。自分のやりたいことがしたい。やめたいと思ったことも何十回ある。(女子)
- 自分たちの意見を取り入れてくれる部活がいいです。もっと技術を教えてくれるしっかりした顧問の先生がいいです。校庭のイレギュラーが多いので、もっと整備された校庭がいい。学校の設備をきれいにしたい。(女子)
- 特にないです。しいていうならば部活の顧問を変えられる制度を作してほしい。(男子)
- 外部指導がもっと部活に関われるようにしてほしい。(性別無回答)
- 部活に時間をとられすぎてつらい。(男子)
- 本気で学校で部活するときに暗くてできないからがいとうをつけてほしいです。(男子)

### 《学校での勉強・部活動以外のことについて》

- 給食のアレルギー除去食がない。教科書が毎日重くて疲れる。部活の種類が少ない。(女子)
- 給食がおいしくない。校舎が古い。校庭の水はけが悪い。(女子)
- 今の生活が楽しい。部活はうまくいかないけど頑張りたい。(女子)
- 学校をもっと楽しくしてほしい。もしくはもっとはやく帰らせてほしい。たいくつだから。(男子)
- 給食がとてもおいしいのはうれしいです。学校が古いのはみんな困っています。トイレから水漏れがしたり、トイレのカギが閉まらなかったり、雨漏りしたり(教室、廊下)していて普段の生活にも支障をおよぼしていると思います。(女子)
- 学校でもっと体育行事を増やしてほしい。(男子)

## 〈中学生調査〉

- 学校の校則が本当に厳しすぎると思う。・・・。少しゆるくして欲しい。仲間割れも激しいから、面倒くさい。周りがこまかすぎて嫌だ。自由を増やしてほしい。部活動を増やしてほしい。(女子)
- 先生はあまり休まないでほしい。休んでしまうと受験が大変だから。(女子)
- 中学(公立)にはなぜダンス部がないのでしょうか。必修なのだからあってもおかしくないと思う。講師の方もいるし、先生が踊れないのは問題ではない。場所は、音楽さえあればどこでもできる。チアでもジャズでもヒップホップでもいいからつくってほしい。(女子)

## 《いじめについて》

- 先生は自分がいじめられても相手をしてくれない。その先生達を指導してほしい。(女子)

## 《心配ごとや困りごとについて》

- 時間が足りない。1日24時間じゃあ足りない。もっと寝たい。もっと遊びたい。忙しい毎日  
は幸せだ。(男子)
- 実際に図書館のカフェなどを実現してほしい。サッカーコートを芝で西東京市内に造ってほしい。(男子)
- 悩みがある時、いざ相談しようとした時学校にカウンセリングの方がいないとつらい。(女子)
- ひとりひとりに向き合うべき。(女子)
- もういろいろ疲れてしまった。このままだとだめだと思う。(男子)
- 通級に行くのが嫌になってきた。(女子)
- 勉強がきらいだから、興味を持つ教科しかやらないから、悩んでいる。学校の規則が厳しいからたまに学校が嫌になる。(女子)
- 地域の人が外でたばこを吸う事をやめてほしい。くさいです。(女子)

## 《自分の将来について》

- もっと自由に動きたい。得意な事が何なのかを見つけないと思った。(女子)
- 将来どのような人になりたいかなど普段考えないことを考えられました。(女子)
- ぼくには夢がある。(男子)
- 将来の夢あきらめない。(笑)(女子)
- もう少し相手の身になって物事を考えられるようにしたい。周りから頼られるようになりたいと思う。(男子)
- これからの生活習慣を考え、より良く健康に過ごせるように自分からいろいろなことをする。(男子)

## 《今回のアンケートについて》

- アンケートのおかげでこれからの生活の改善点が見えた。(男子)
- 地味に答えにくい質問があった。(男子)
- このアンケートの意義がわからない。(男子)

- このアンケートをしてみて普段の自分のしている行動についてよくふり返えることができてよかった。このことを学校、家庭両方に生かせるといいです。(男子)
- このようなアンケートを月に1回してください。(男子)
- このアンケートで、言いたいことがかけて、スッキリとしました。(男子)
- 学校でもこのようなアンケートがたびたび行われていますがアンケートをするならば結果によっては意見が具体化されてほしいと思いました。よかれと思って言わせていただきました。(女子)

### 《その他》

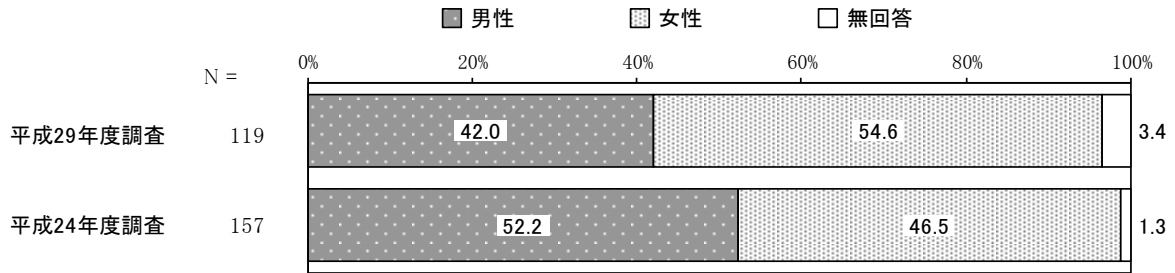
- 毎日毎日変わったことがなくて生活しておもしろくない。学校にいるとき以外やることが限られている。(男子)
- 平和って最高。(男子)
- 今何が必要なのか、どう思いたいのかを考えておくと良いと感じている。(女子)
- 大人は嫌いです。(女子)
- 疲れた。(女子)
- 図書館の小説にもっと幅広いジャンル(ライトノベルなど)の小説を加えてほしい。(男子)
- 毎日安全に過ごせているので良かったです。(女子)

### 3 青少年調査

#### (1) 回答者属性

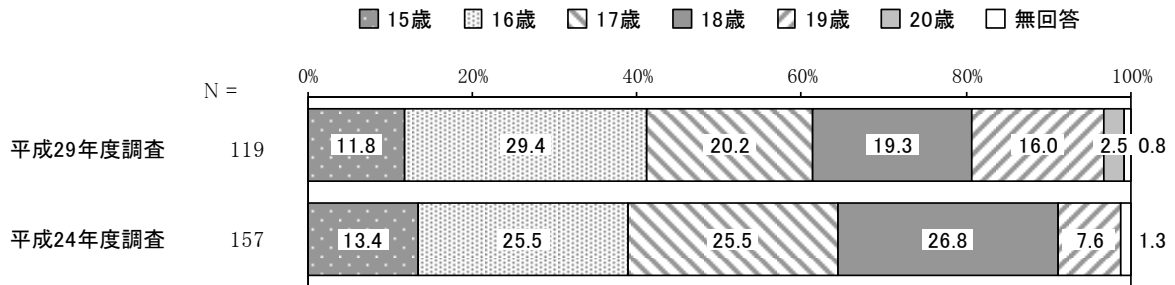
問1 性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」の割合が42.0%、「女性」の割合が54.6%となっています。



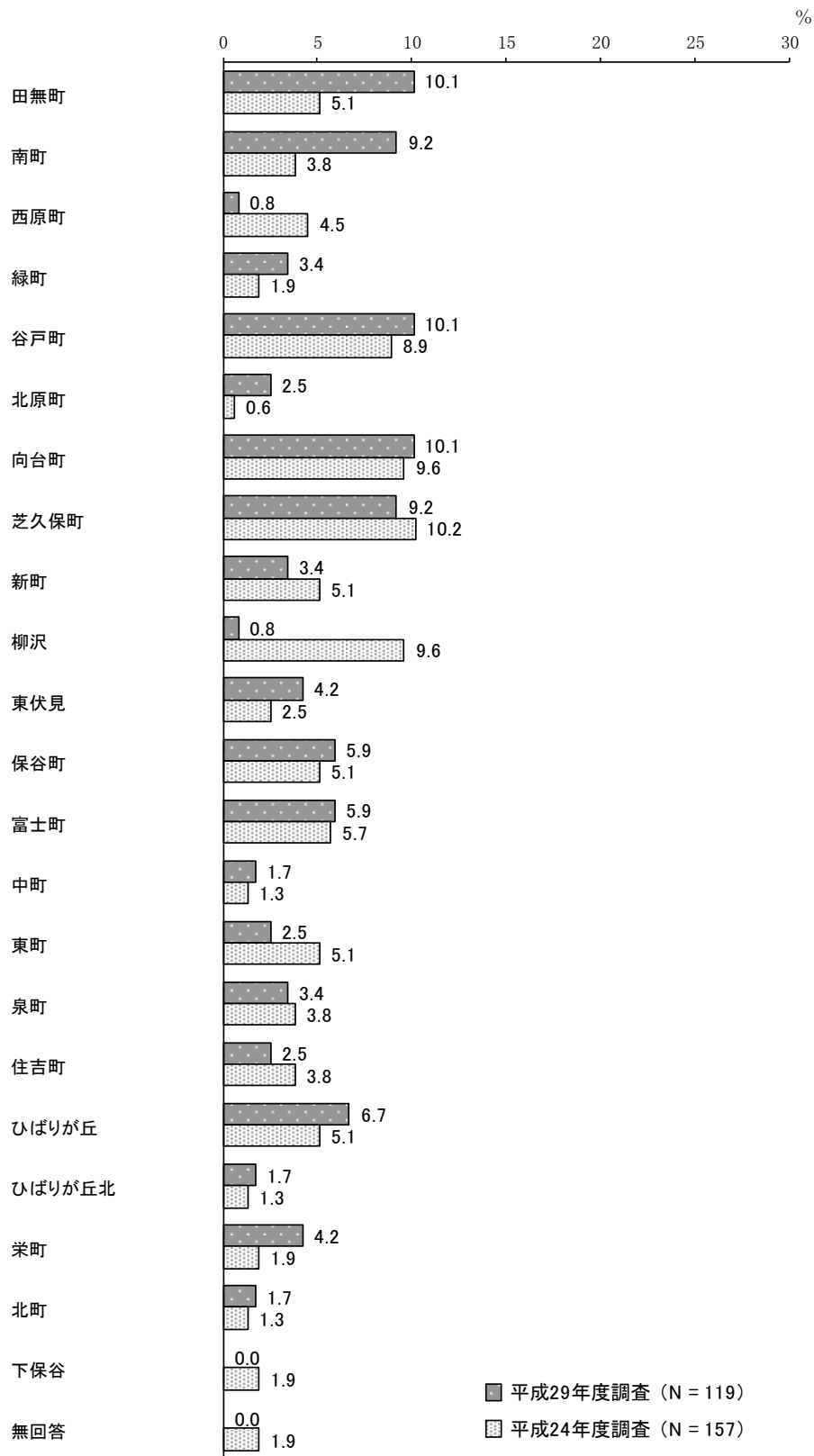
問2 年齢(平成29年9月1日現在)をお答えください。(○は1つ)

「16歳」の割合が29.4%と最も高く、次いで「17歳」の割合が20.2%、「18歳」の割合が19.3%となっています。



問3 お住まいの町はどちらですか。(○は1つ)

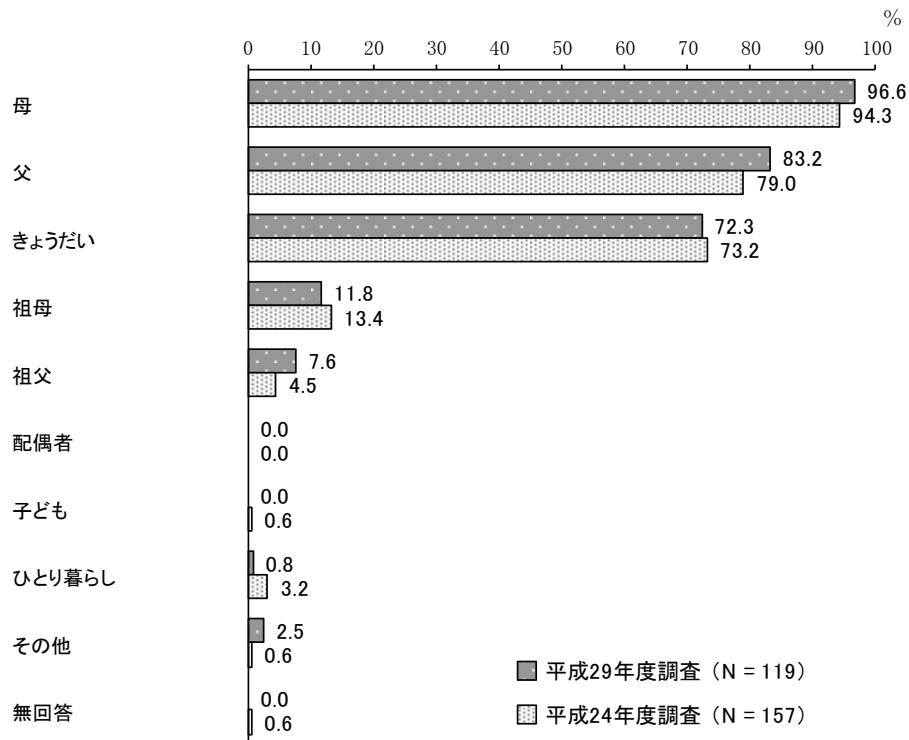
「田無町」、「谷戸町」、「向台町」の割合が10.1%と最も高くなっています。



〈青少年調査〉

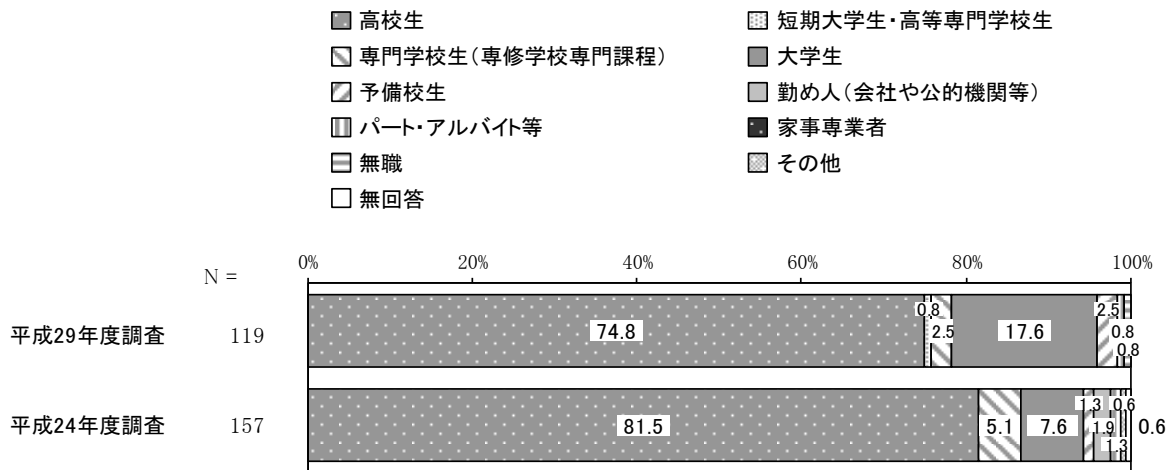
問4 現在、同居されているご家族はどなたですか。(○はいくつでも)

「母」の割合が96.6%と最も高く、次いで「父」の割合が83.2%、「きょうだい」の割合が72.3%となっています。



問5 現在の職業をお答えください。(○は1つ)

「高校生」の割合が74.8%と最も高く、次いで「大学生」の割合が17.6%となっています。





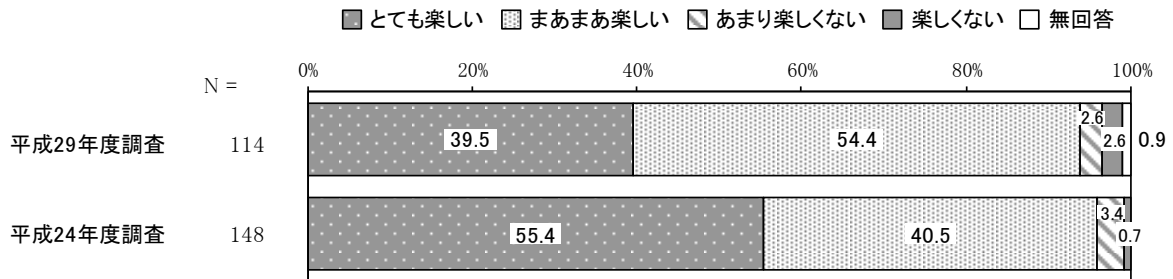
## (2) 普段の生活のことについて

「1 高校生」「2 短期大学生・高等専門学校生」「3 専門学校生（専修学校専門課程）」「4 大学生」と答えた方にお尋ねします。

### 問6 学校は楽しいですか。(○は1つ)

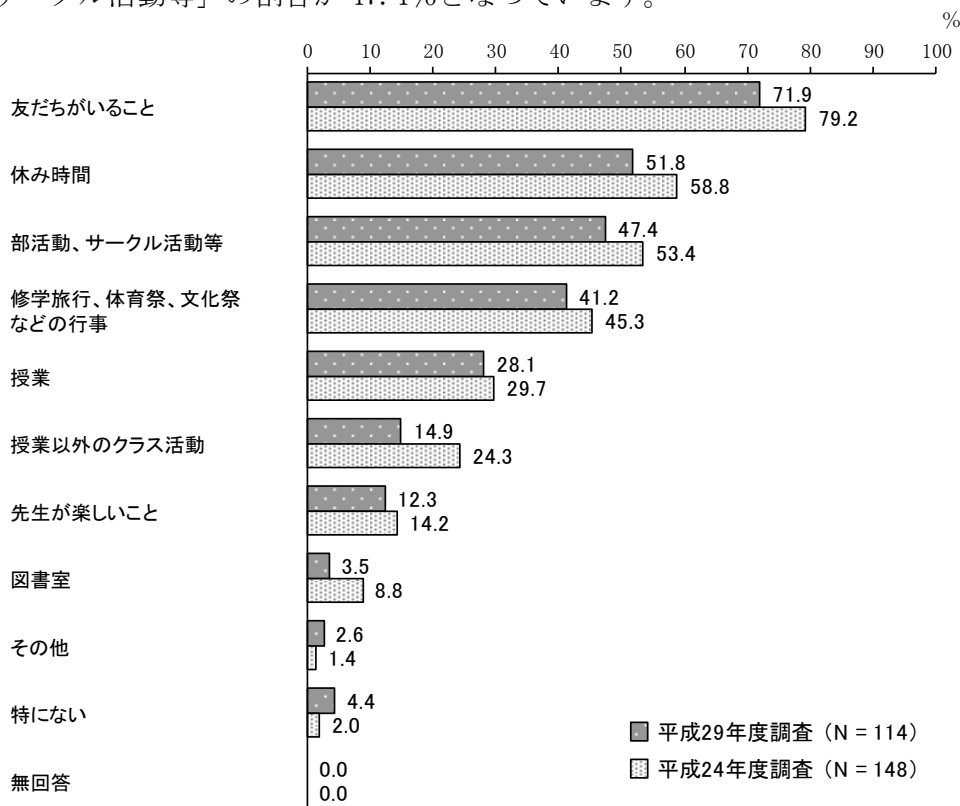
「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が93.9%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が5.2%となっています。

平成24年度調査と比較すると、“楽しい”の割合が減少しています。



### 問7 学校のどんなところが楽しいですか。(○はいくつでも)

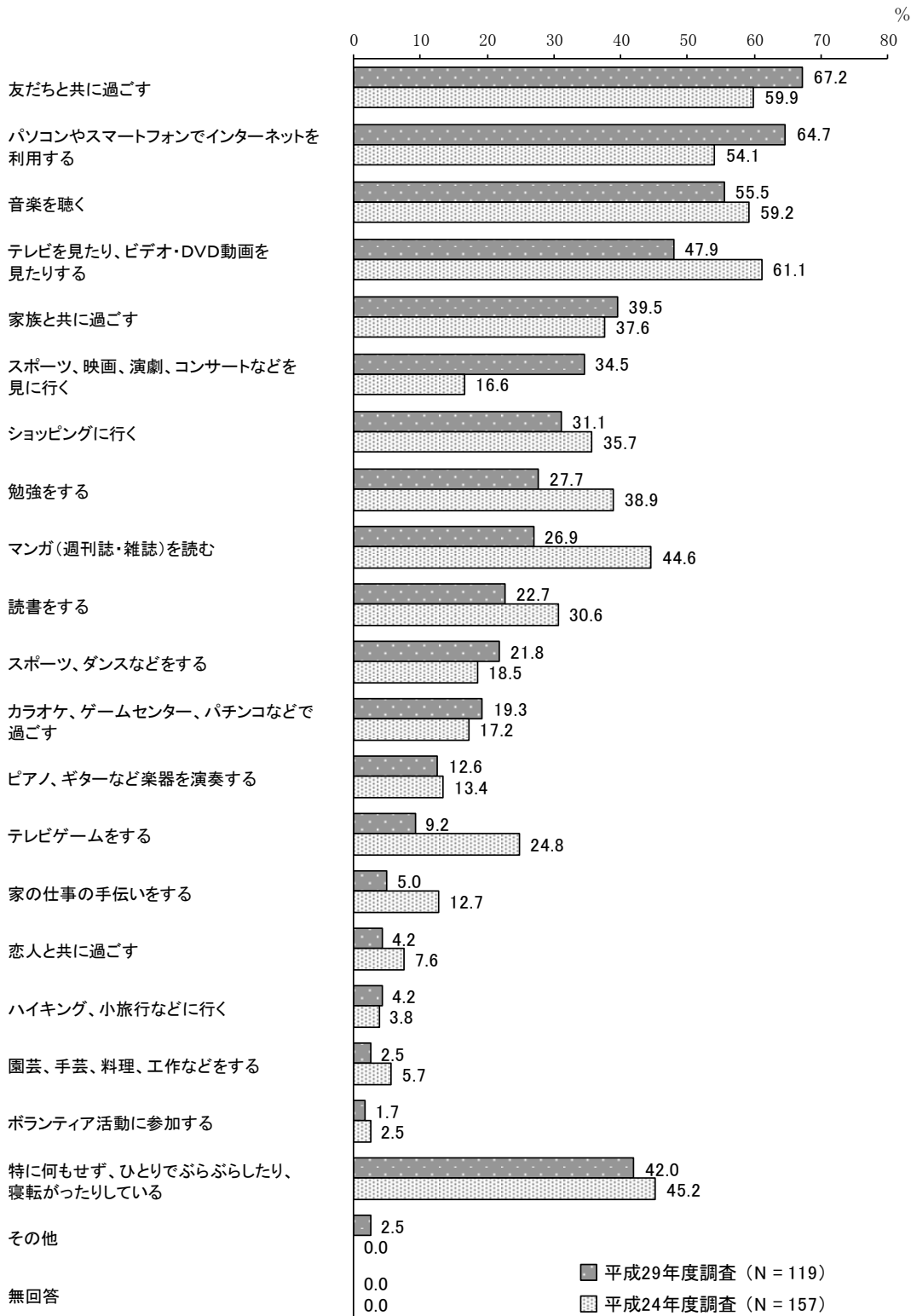
「友だちがいること」の割合が71.9%と最も高く、次いで「休み時間」の割合が51.8%、「部活動、サークル活動等」の割合が47.4%となっています。



問8 自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)

「友だちと共に過ごす」の割合が67.2%と最も高く、次いで「パソコンやスマートフォンでインターネットを利用する」の割合が64.7%、「音楽を聴く」の割合が55.5%となっています

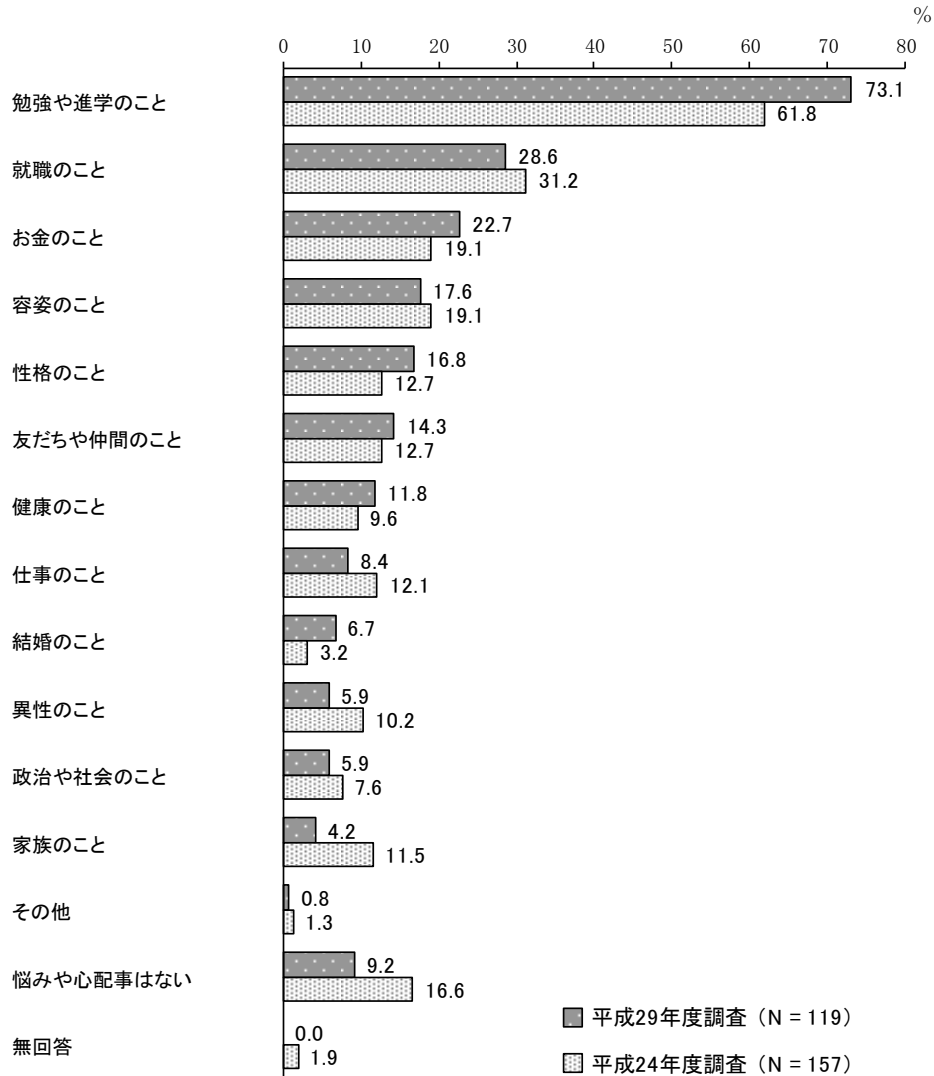
平成24年度調査と比較すると、「友だちと共に過ごす」「パソコンやスマートフォンでインターネットを利用する」「スポーツ、映画、演劇、コンサートなどを見に行く」の割合が増加しています。一方、「テレビを見たり、ビデオ・DVD動画を見たりする」「勉強をする」「マンガ(週刊誌・雑誌)を読む」「読書をする」「テレビゲームをする」「家の仕事の手伝いをする」の割合が減少しています。



問9 どんな悩みや心配事がありますか。(〇はいくつでも)

「勉強や進学のこと」の割合が73.1%と最も高く、次いで「就職のこと」の割合が28.6%、「お金のこと」の割合が22.7%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「勉強や進学のこと」の割合が増加しています。一方、「家族のこと」「悩みや心配事はない」の割合が減少しています。

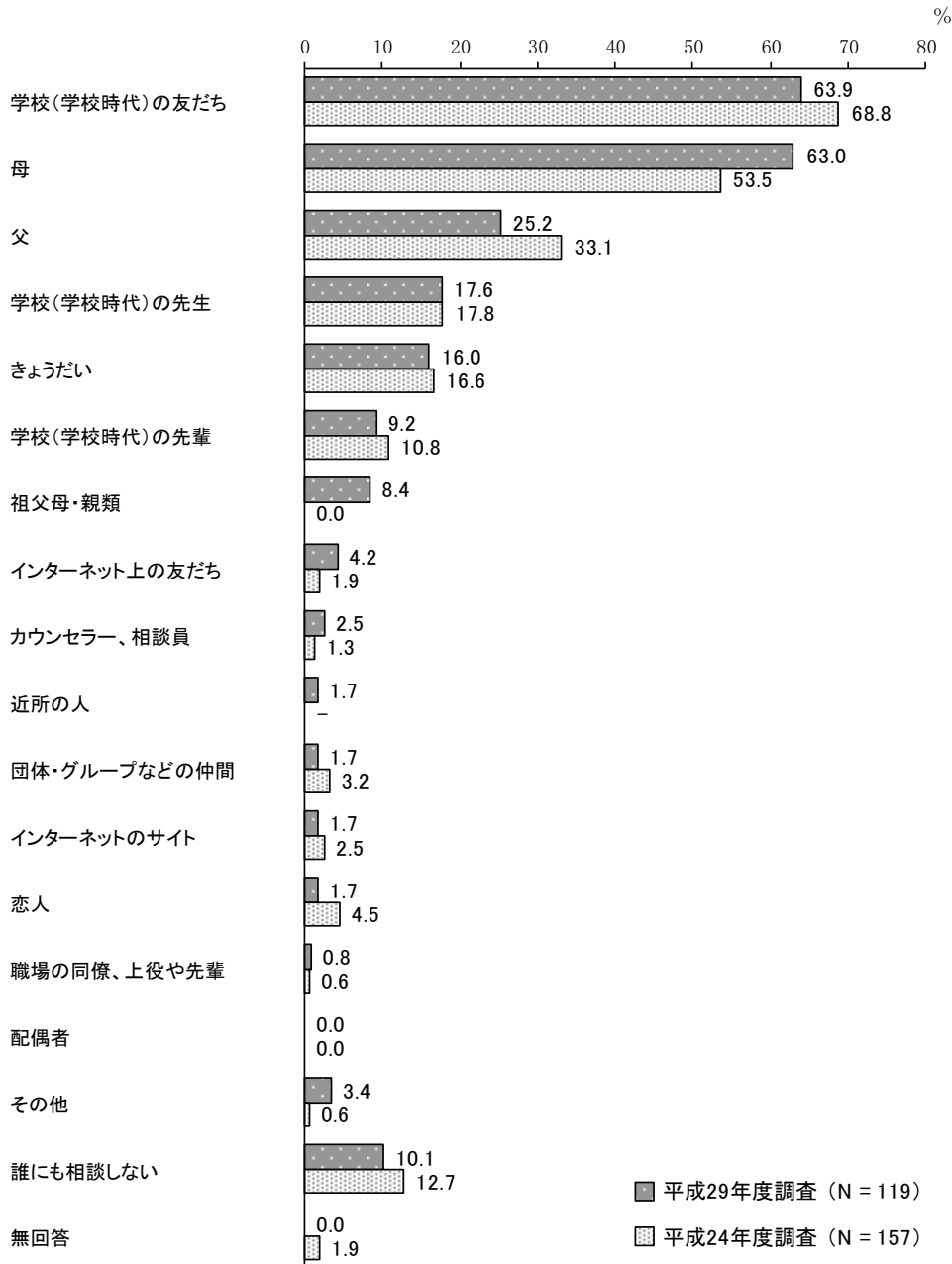


〈青少年調査〉

問 10 悩みや心配事があった場合の相談相手として、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

「学校(学校時代)の友だち」の割合が63.9%と最も高く、次いで「母」の割合が63.0%、「父」の割合が25.2%となっています。

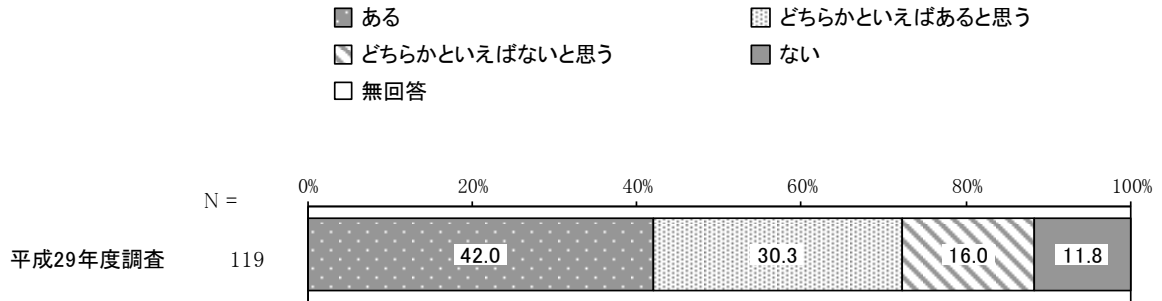
平成24年度調査と比較すると、「母」「祖父母・親類」の割合が増加しています。一方、「父」の割合が減少しています。



平成24年度調査には「近所の人」の選択肢はありません。

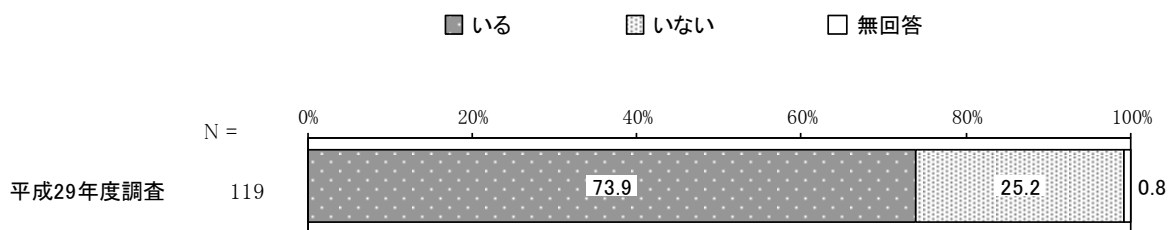
問11 自分に自信のもてること（よいところ）はありますか。（○は1つ）

「ある」と「どちらかといえばあると思う」をあわせた“あると思う”の割合が72.3%、「どちらかといえばないと思う」と「ない」をあわせた“ないと思う”の割合が27.8%となっています。



問12 尊敬する人や目標にしている人はいますか。（○は1つ）

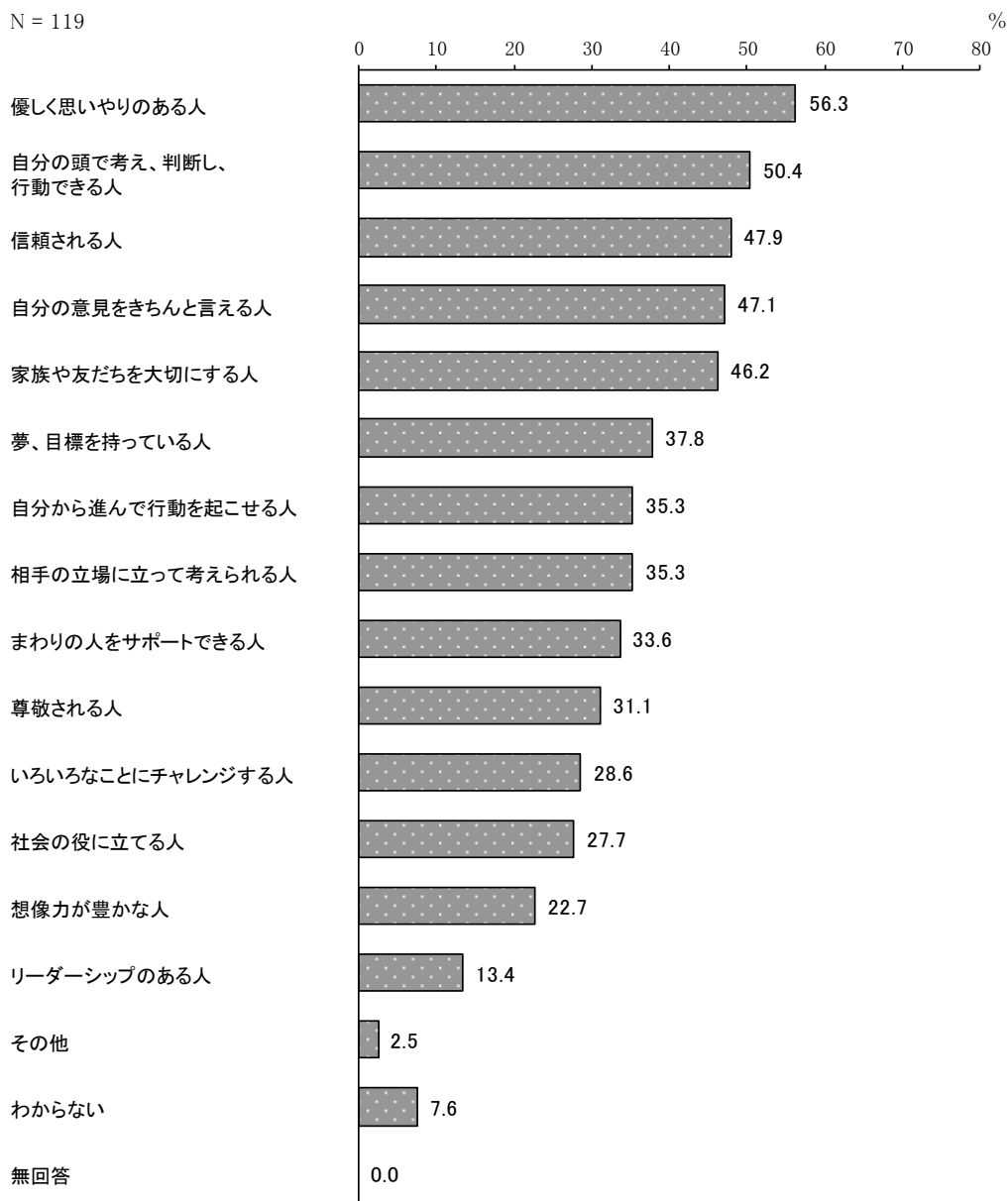
「いる」の割合が73.9%、「いない」の割合が25.2%となっています。



問 13 将来はどのような人になりたいですか。(〇はいくつでも)

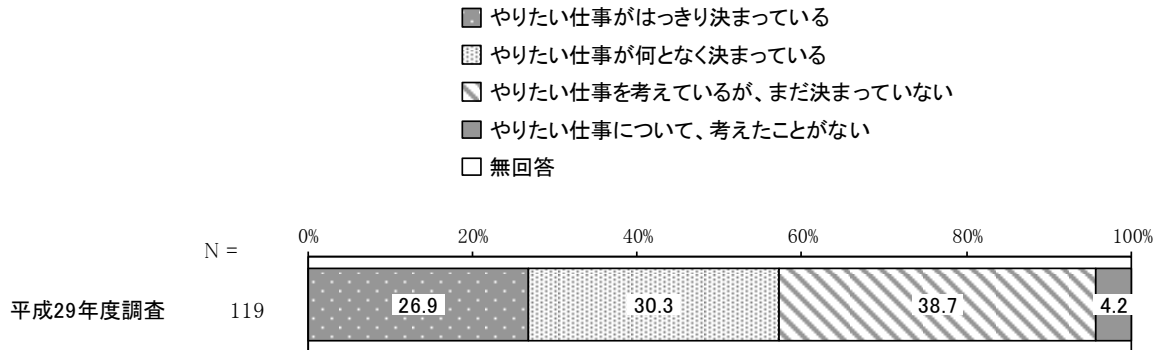
「優しく思いやりのある人」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「自分の頭で考え、判断し、行動できる人」の割合が 50.4%、「信頼される人」の割合が 47.9%となっています。

N = 119



問 14 将来やりたい仕事はありますか。(○は1つ)

「やりたい仕事を考えているが、まだ決まっていない」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「やりたい仕事は何となく決まっている」の割合が 30.3%、「やりたい仕事ははっきり決まっている」の割合が 26.9%となっています。

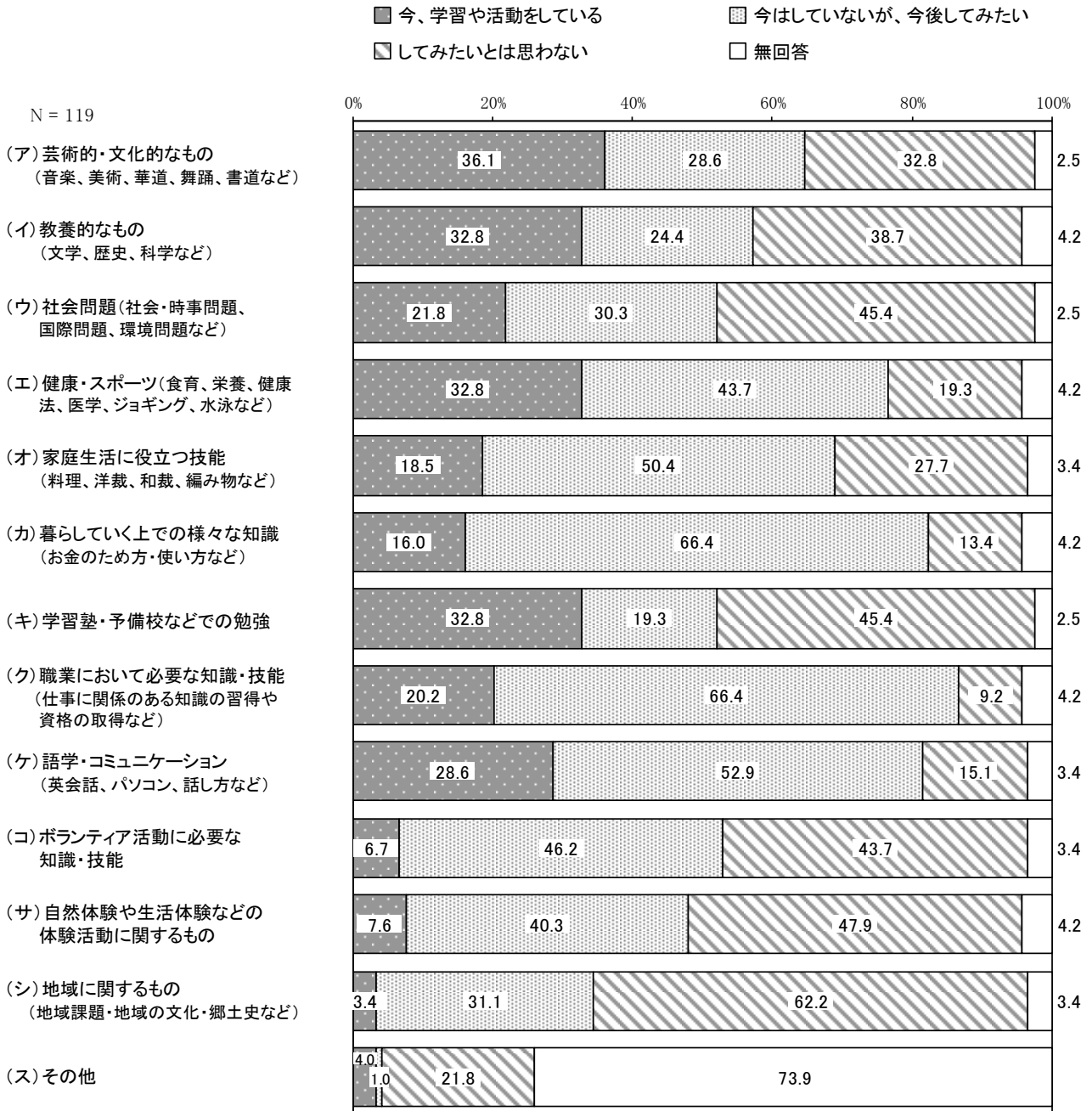


〈青少年調査〉

(3) 学校以外の学習や活動について

問16 現在、どのような学習や活動をしていますか。また、今後してみたいと思いますか。次の(ア)～(ス)のそれぞれの項目についてお答えください。  
(○は(ア)～(ス)ごとに1つずつ)

【平成29年度調査】

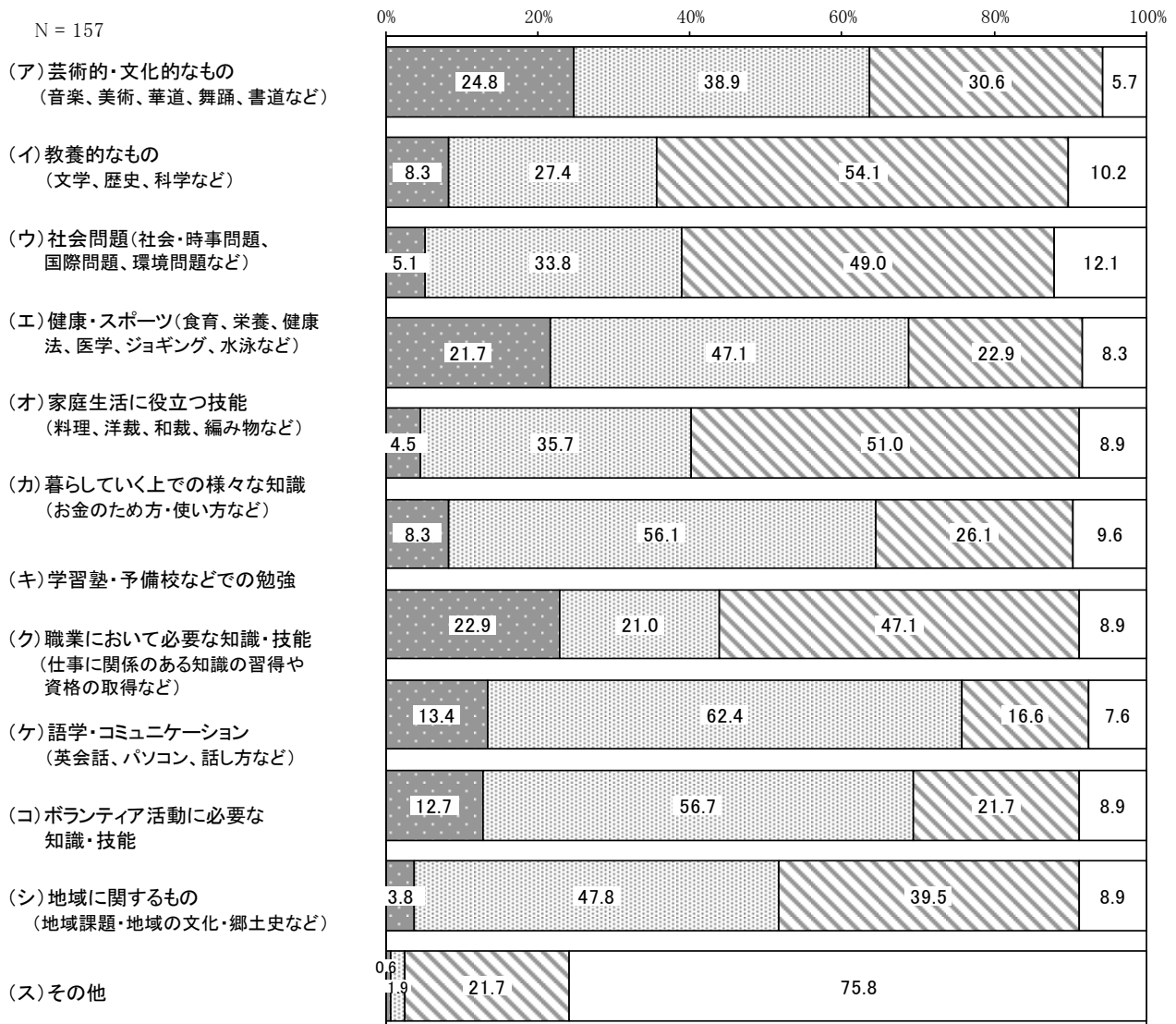




【平成 24 年度調査】

■ 今、学習や活動をしている      ■ 今はしていないが、今後してみたい  
 ■ してみたいとは思わない      □ 無回答

N = 157



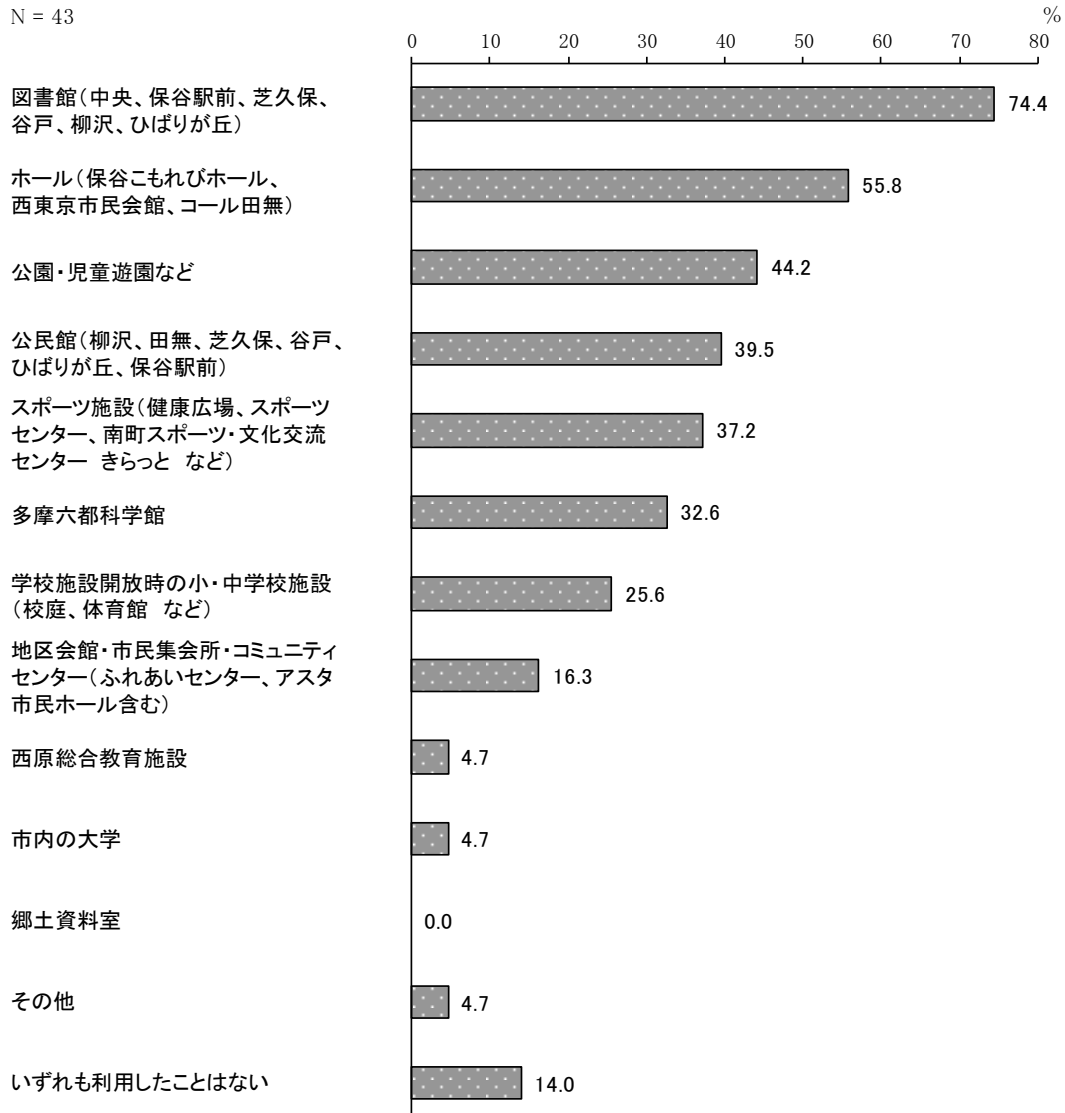
※平成 24 年度調査には「(サ) 自然体験や生活体験などの体験活動に関するもの」の項目はありません。

〈青少年調査〉

【(ア) 芸術的・文化的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

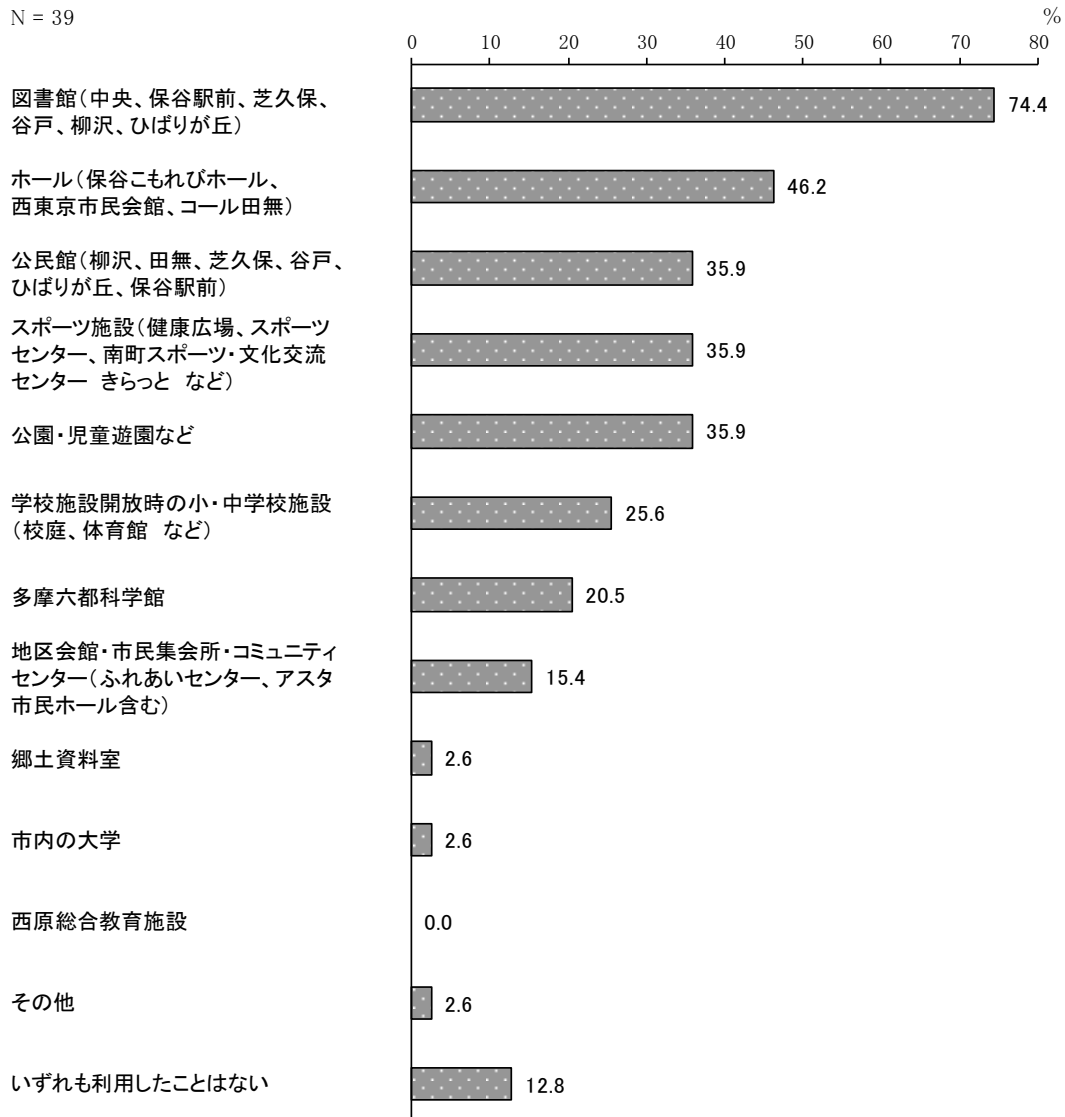
「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

N = 43



【(イ) 教養的なもの（文学、歴史、科学など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

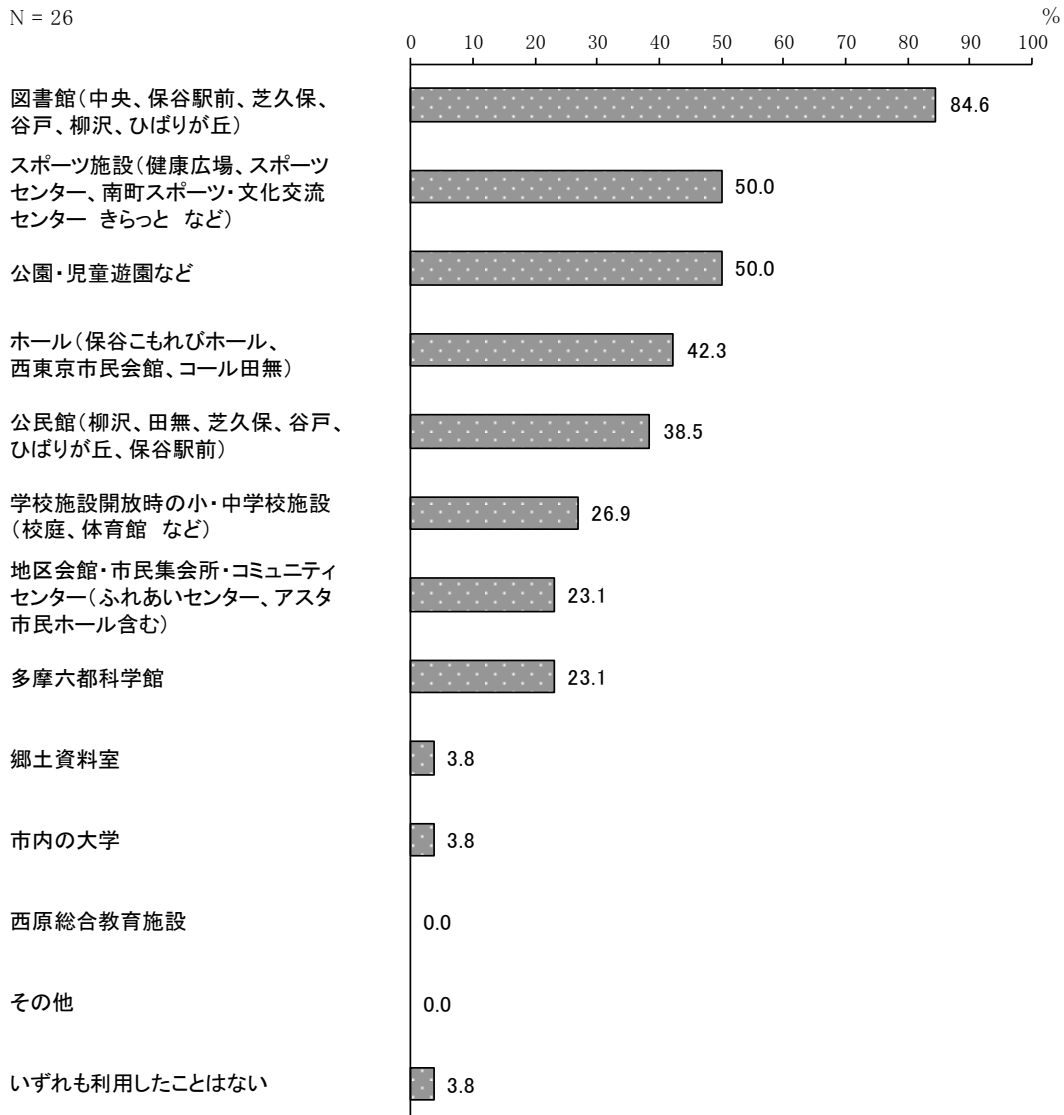


〈青少年調査〉

【(ウ) 社会問題（社会・時事問題、国際問題、環境問題など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

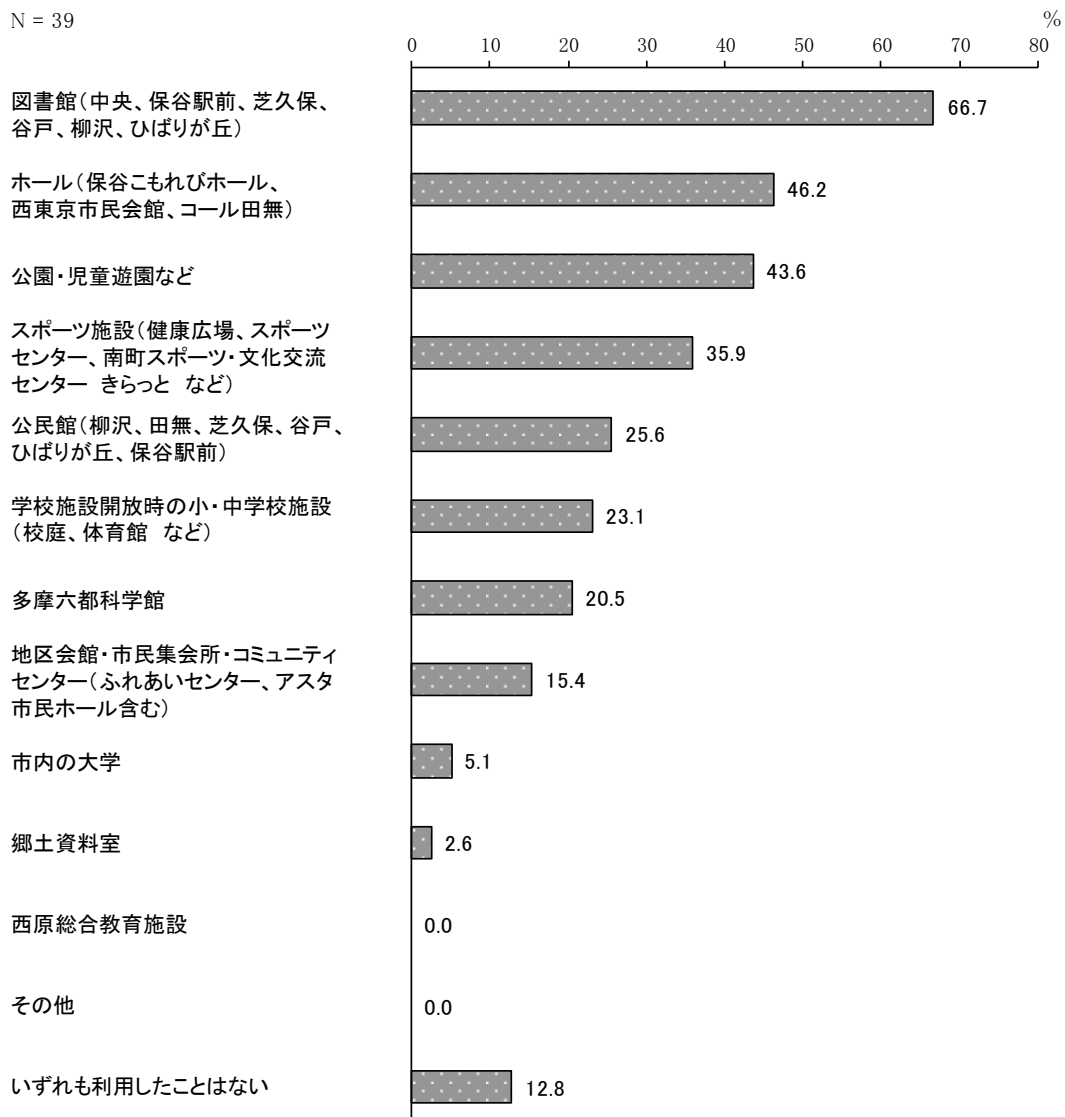
N = 26



【(エ) 健康・スポーツ（食育、栄養、健康法、医学、ジョギング、水泳など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

N = 39

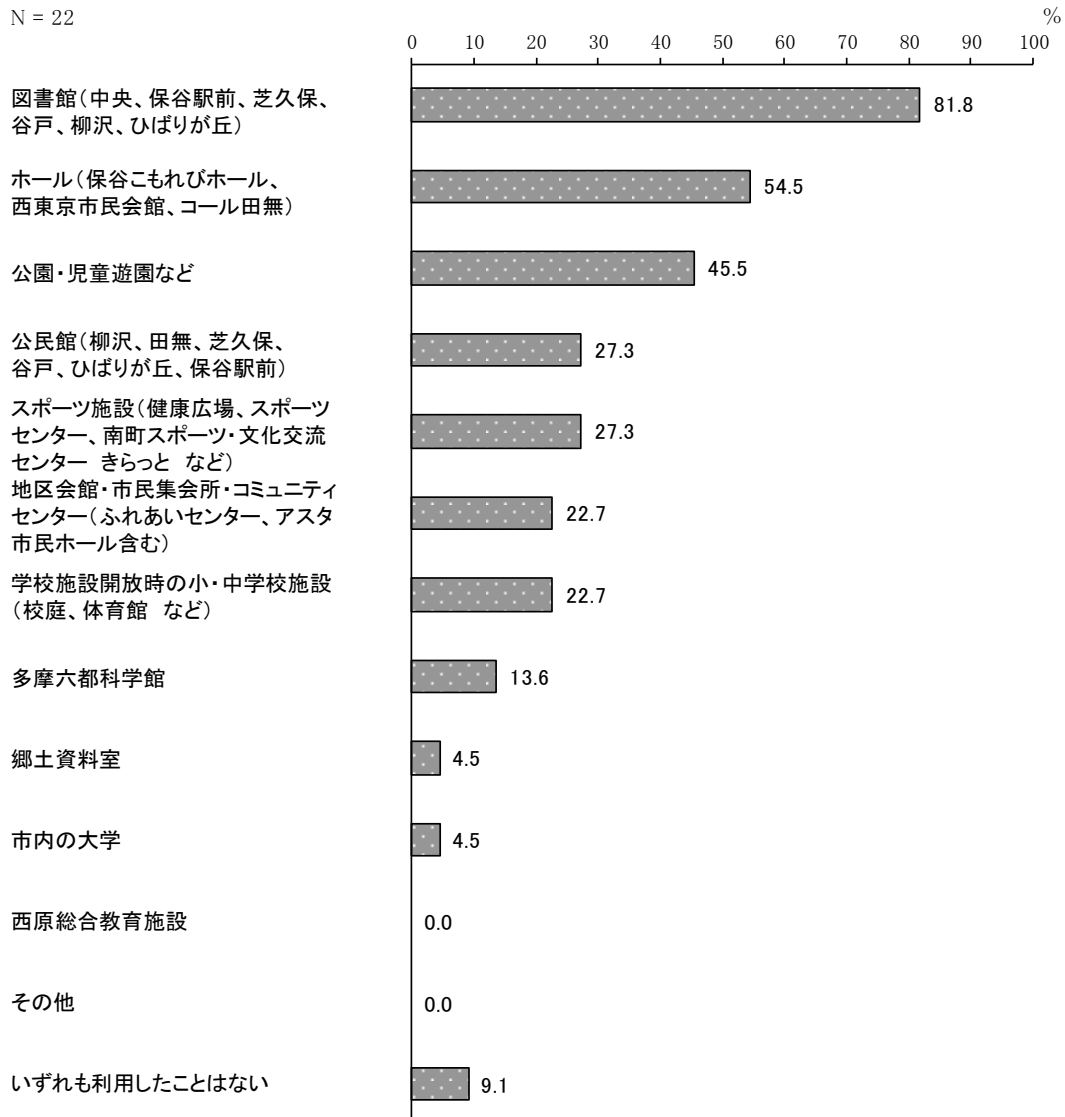


〈青少年調査〉

【(オ) 家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

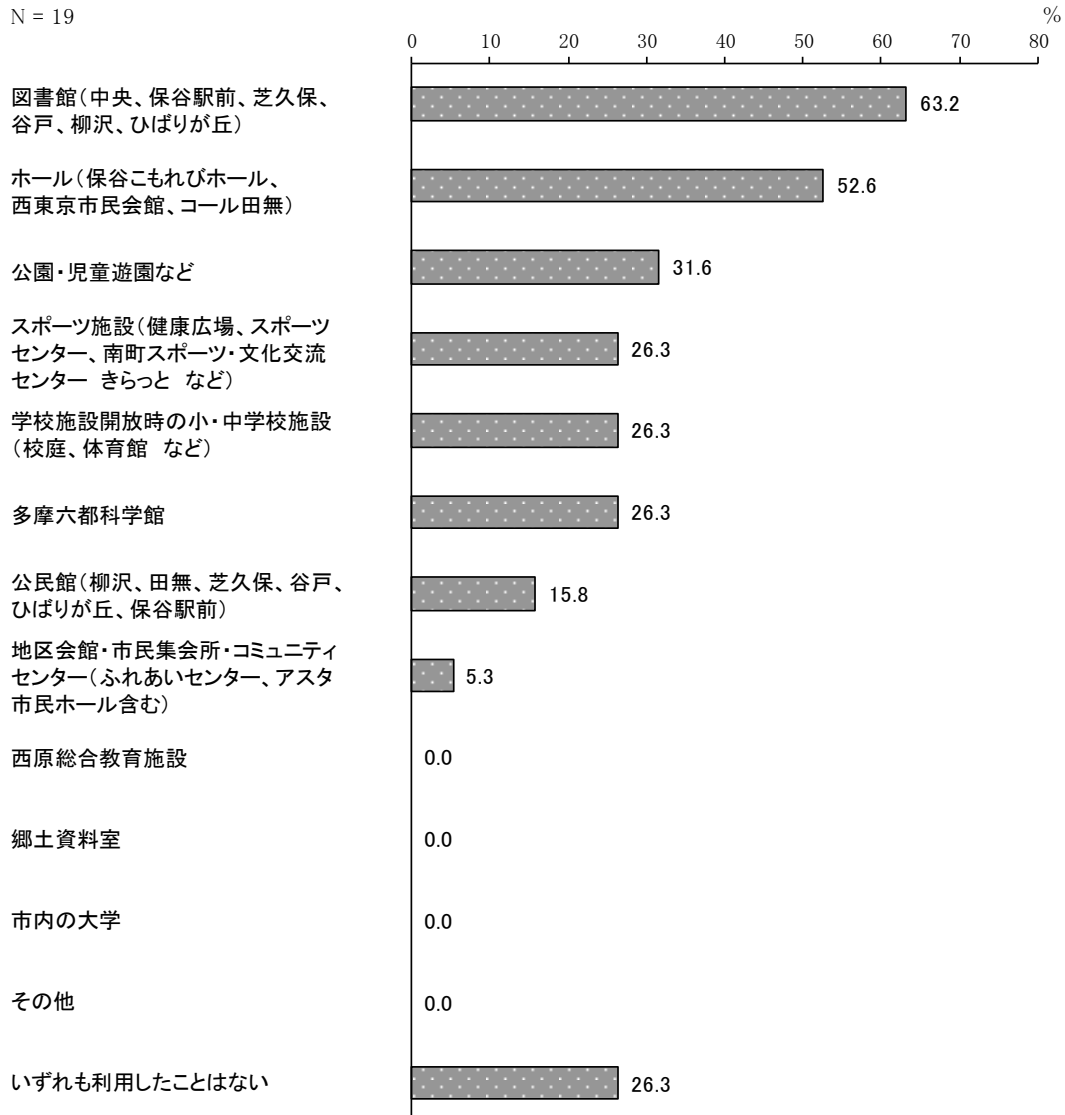
「図書館(中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘)」の割合が高くなっています。

N = 22



【(カ) 暮らしていく上での様々な知識（お金のため方・使い方など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

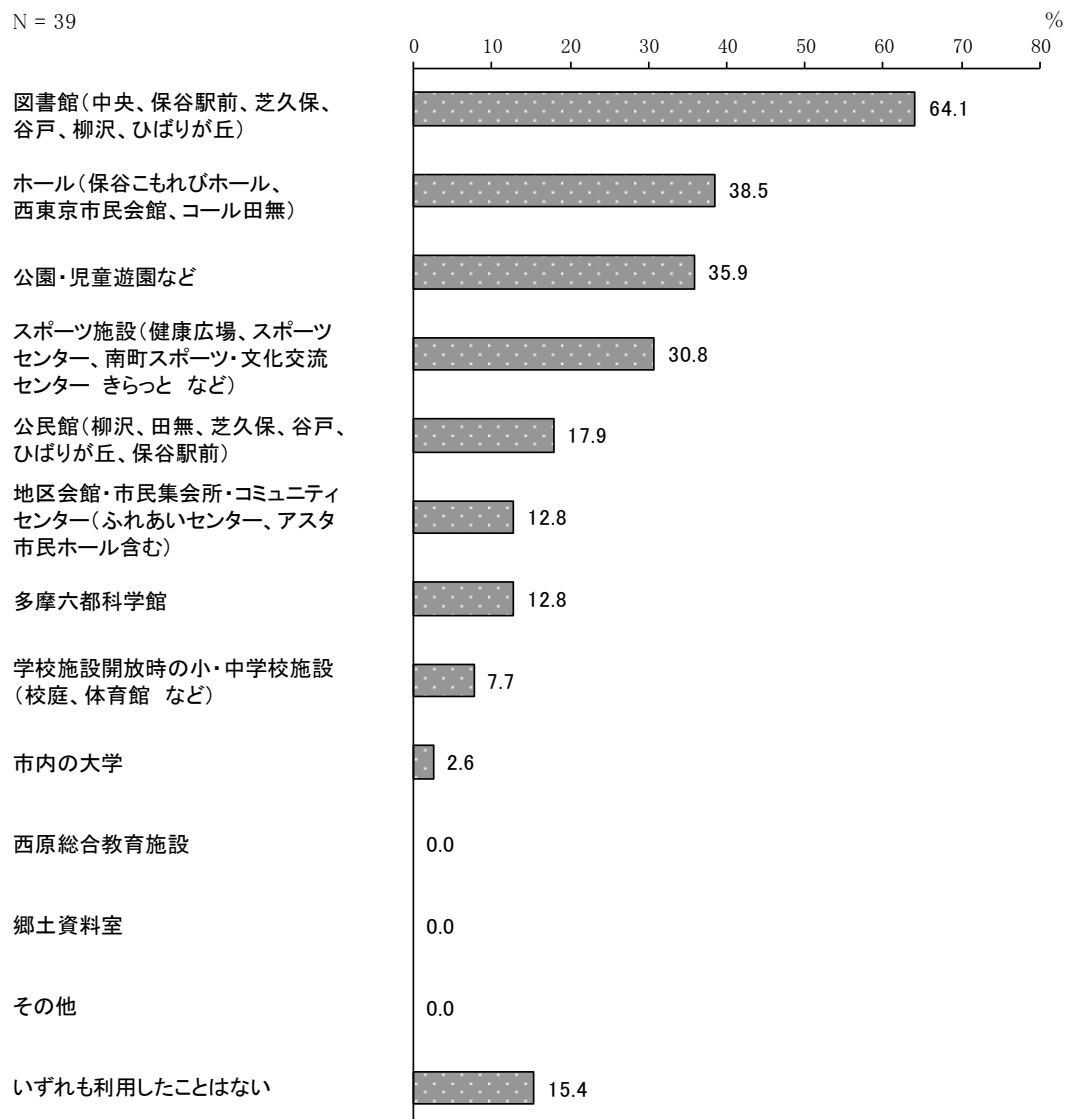
「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。



〈青少年調査〉

【(キ) 学習塾・予備校などでの勉強を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

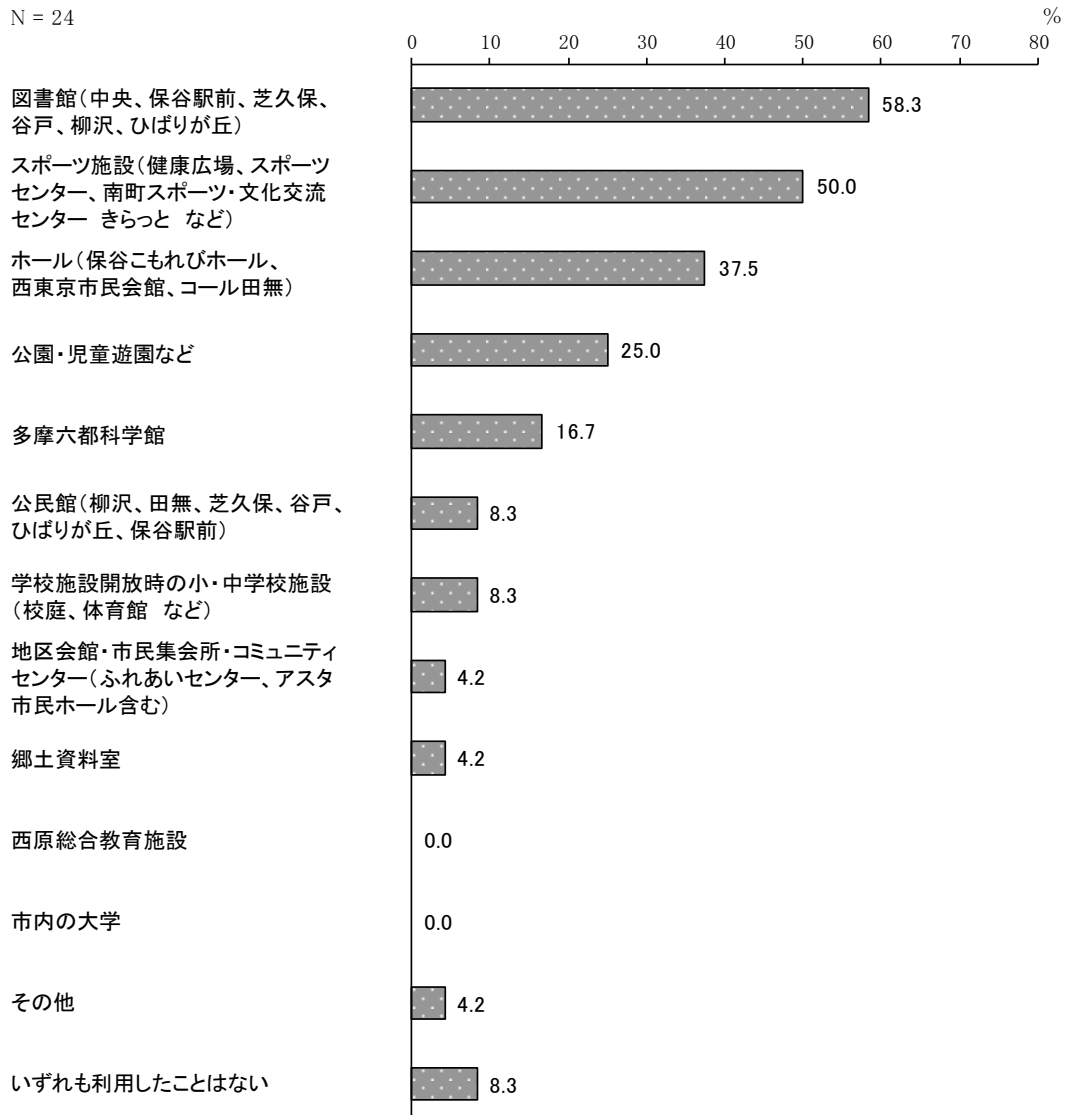




【(ク) 職業において必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

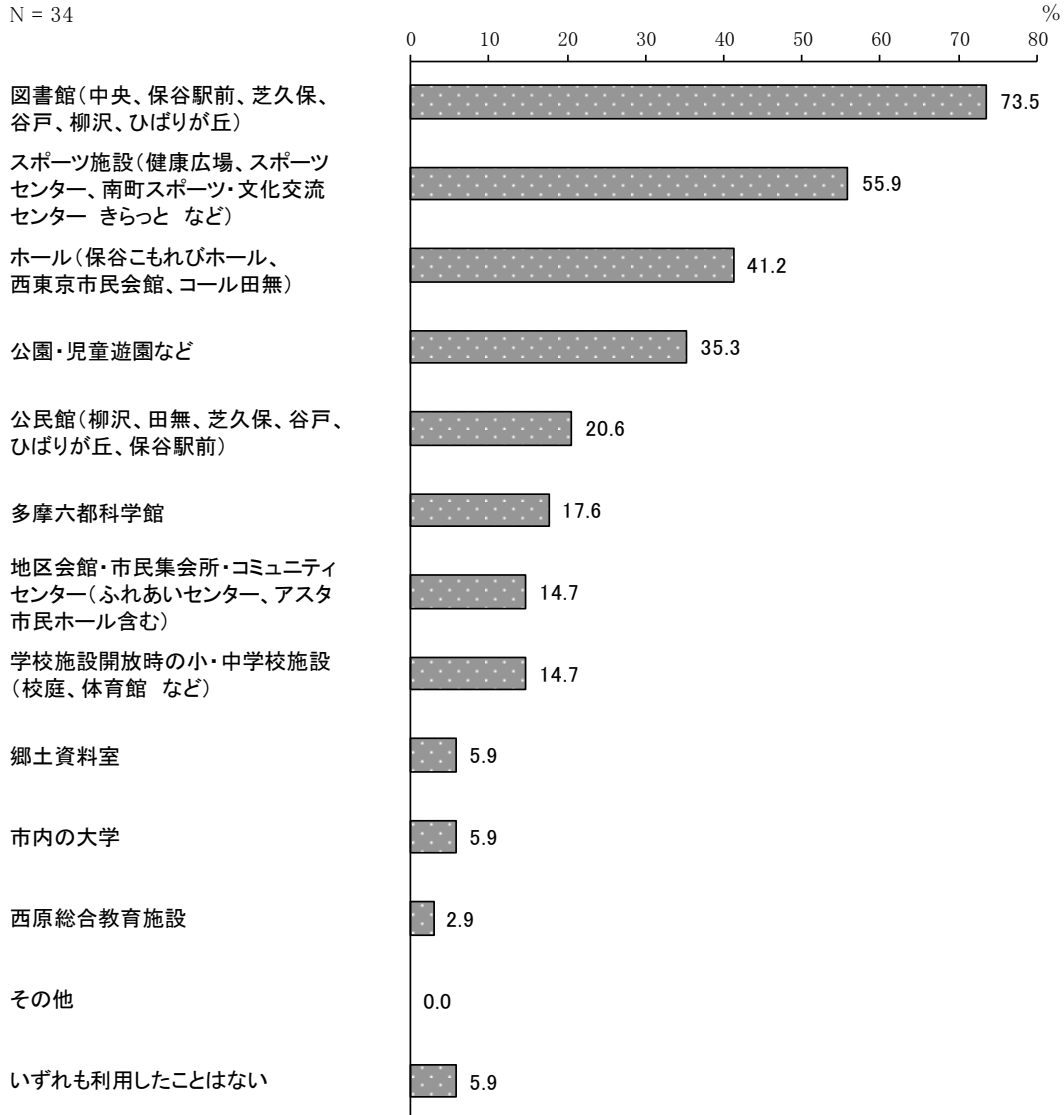
N = 24



〈青少年調査〉

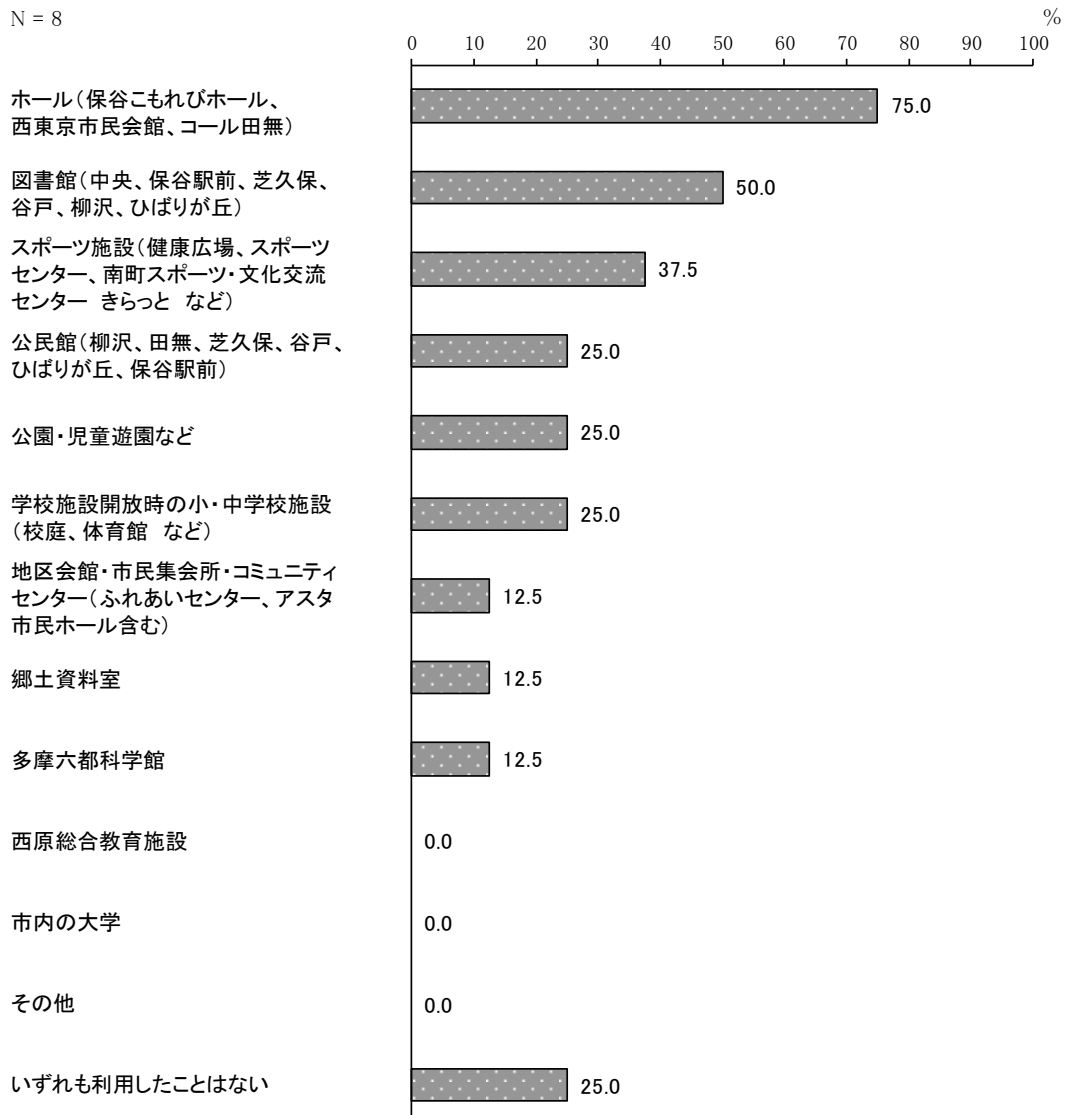
【(ケ) 語学・コミュニケーション（英会話、パソコン、話し方など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。



【(コ) ボランティア活動に必要な知識・技能を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

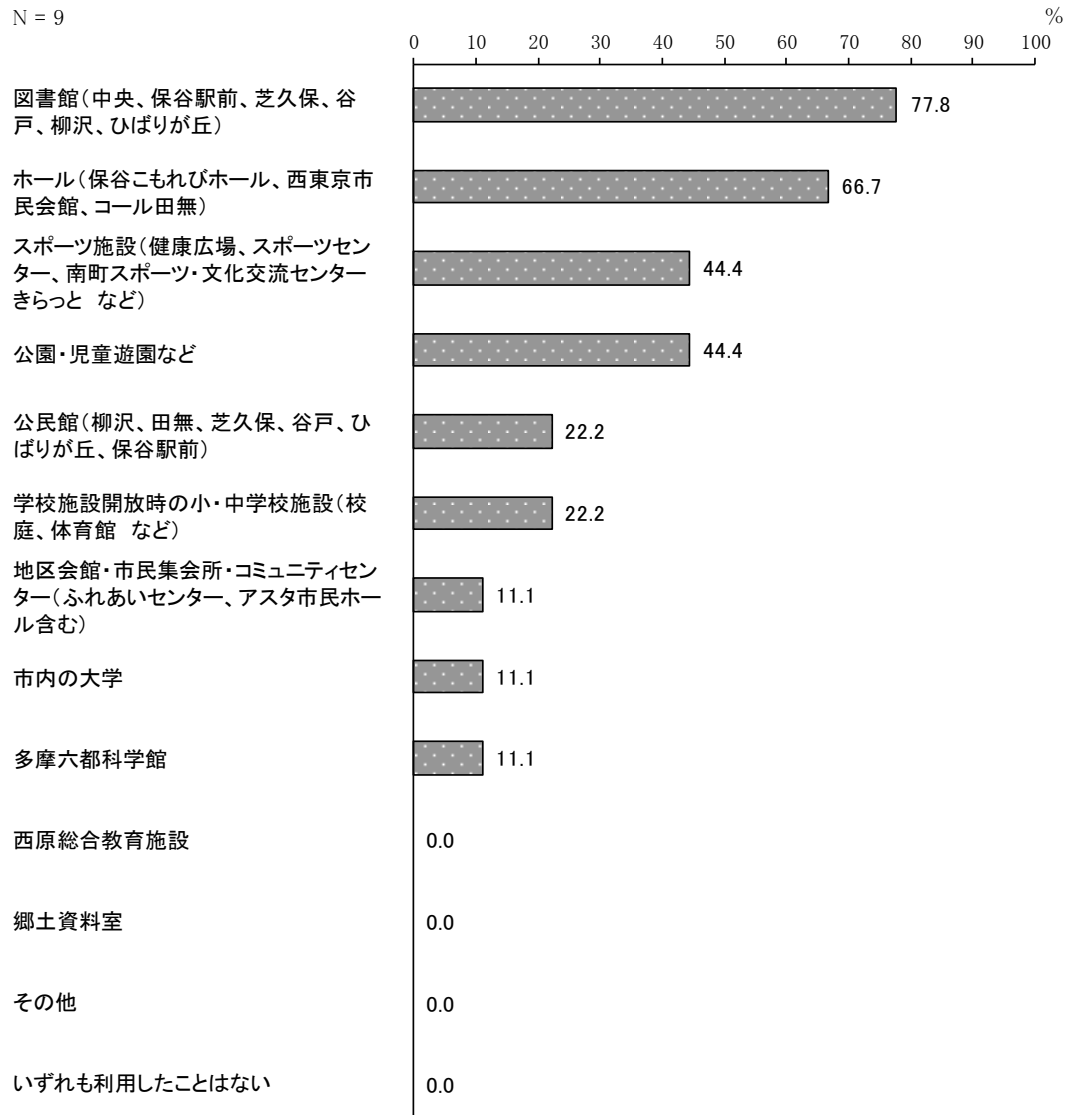
「ホール（保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無）」の割合が高くなっています。



〈青少年調査〉

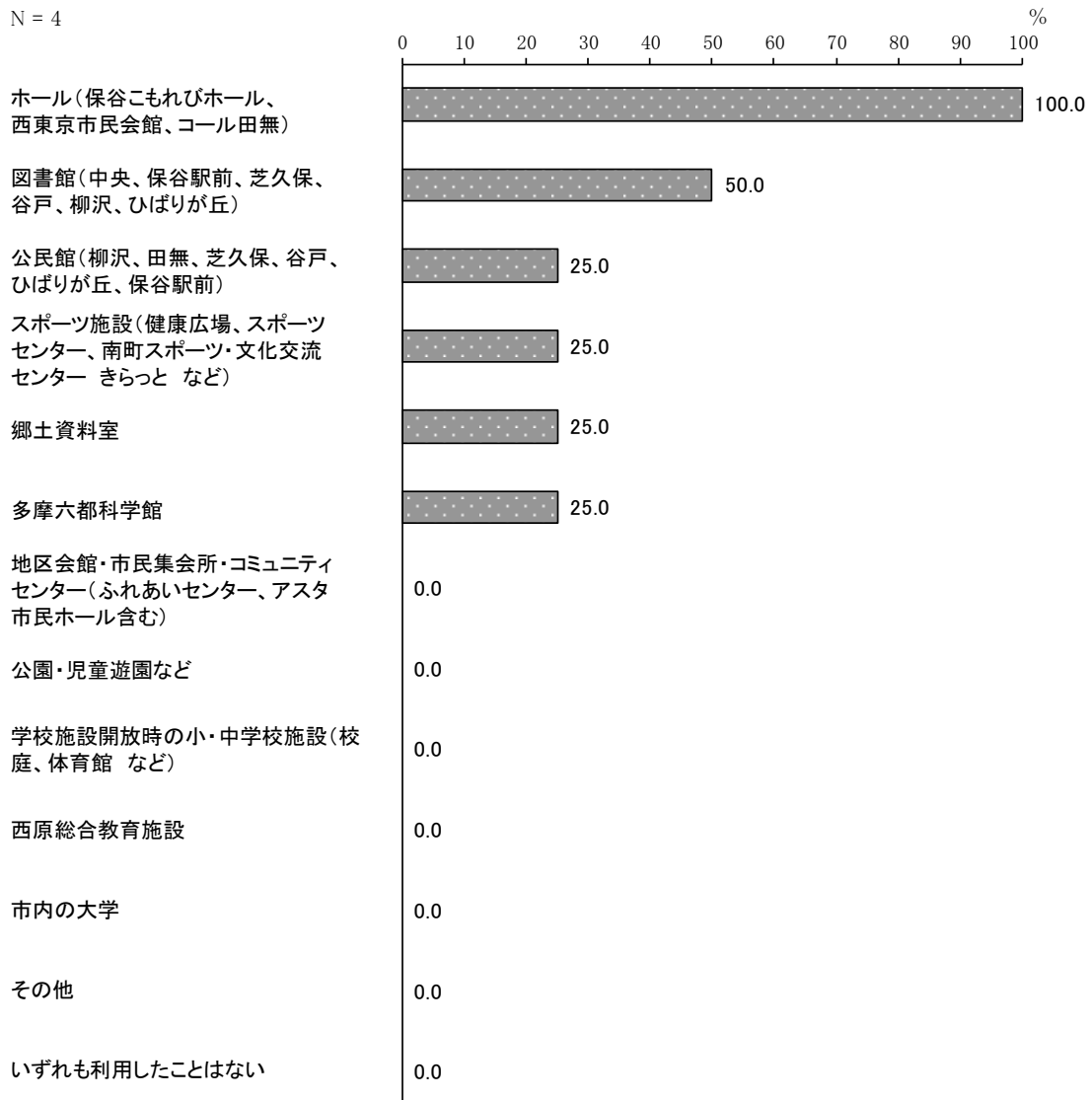
【(サ) 自然体験や生活体験などの体験活動に関するものを「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。



【(シ) 地域に関するもの(地域課題・地域の文化・郷土史など)を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「ホール(保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無)」の割合が高くなっています。

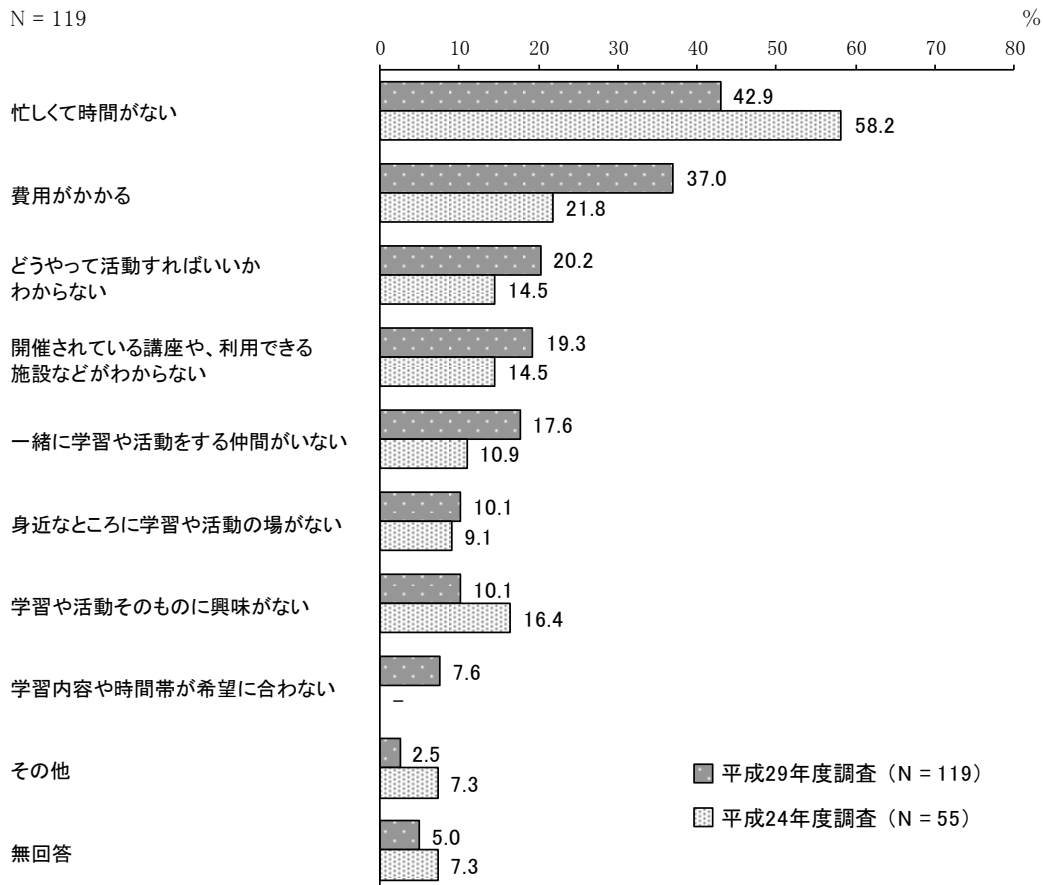


問 17 生涯学習を行うにあたってお困りの点は何ですか。次の理由の中から、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

「忙しくて時間がない」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「費用がかかる」の割合が 37.0%、「どうやって活動すればいいかわからない」の割合が 20.2%となっています。

平成 24 年度調査と比較すると、「費用がかかる」「どうやって活動すればいいかわからない」「一緒に学習や活動をする仲間がない」の割合が増加しています。一方、「忙しくて時間がない」「学習や活動そのものに興味がない」の割合が減少しています。

N = 119

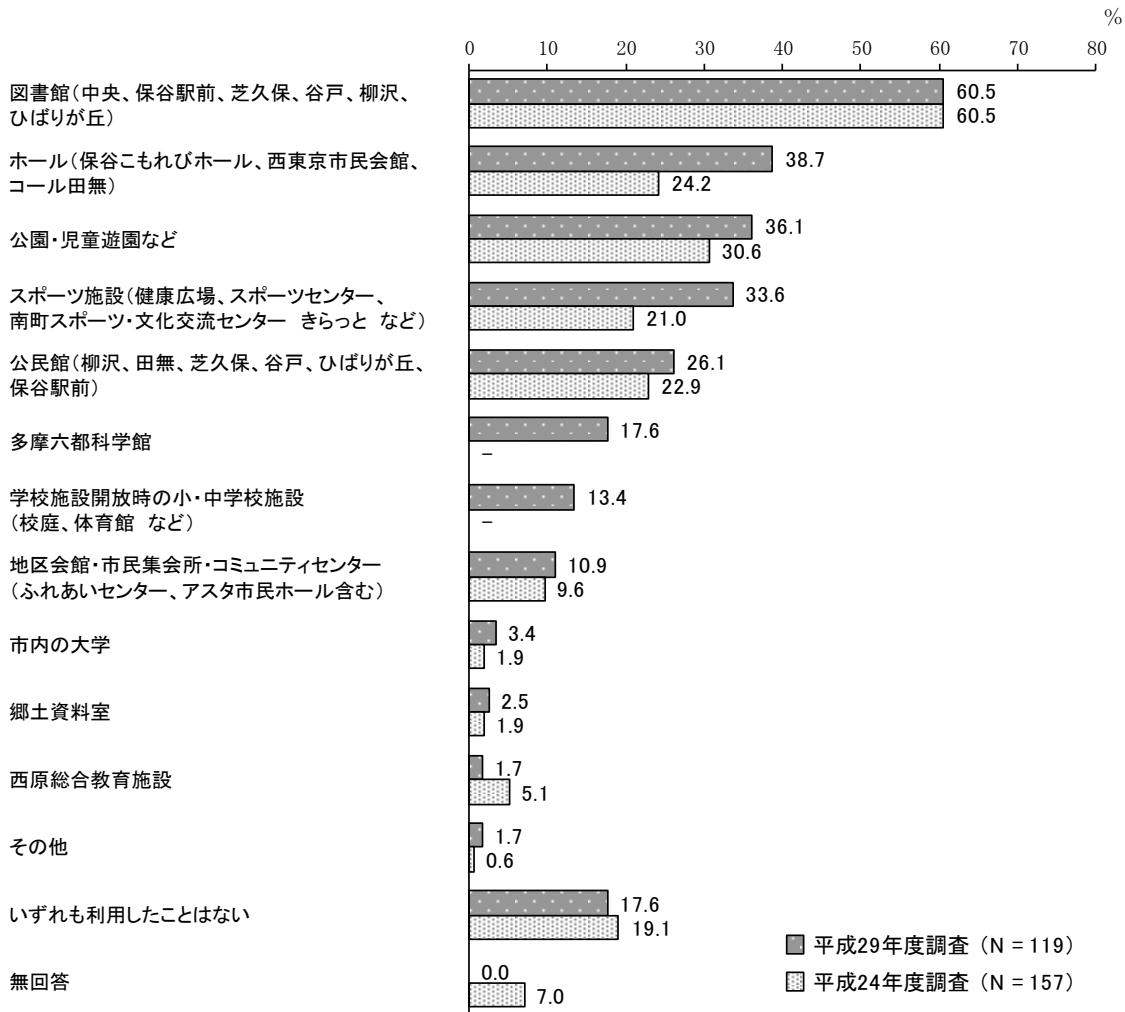


※平成 24 年度調査には「学習内容や時間帯が希望に合わない」の選択肢はありません。

問 18 この1年間で、西東京市内の次の施設を利用したことがありますか。利用したことがある施設を全てお答えください。(〇はいくつでも)

「図書館(中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘)」の割合が60.5%と最も高く、次いで「ホール(保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無)」の割合が38.7%、「公園・児童遊園など」の割合が36.1%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「ホール(保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無)」「公園・児童遊園など」「スポーツ施設(健康広場、スポーツセンター、南町スポーツ・文化交流センター きらっと など)」の割合が増加しています。

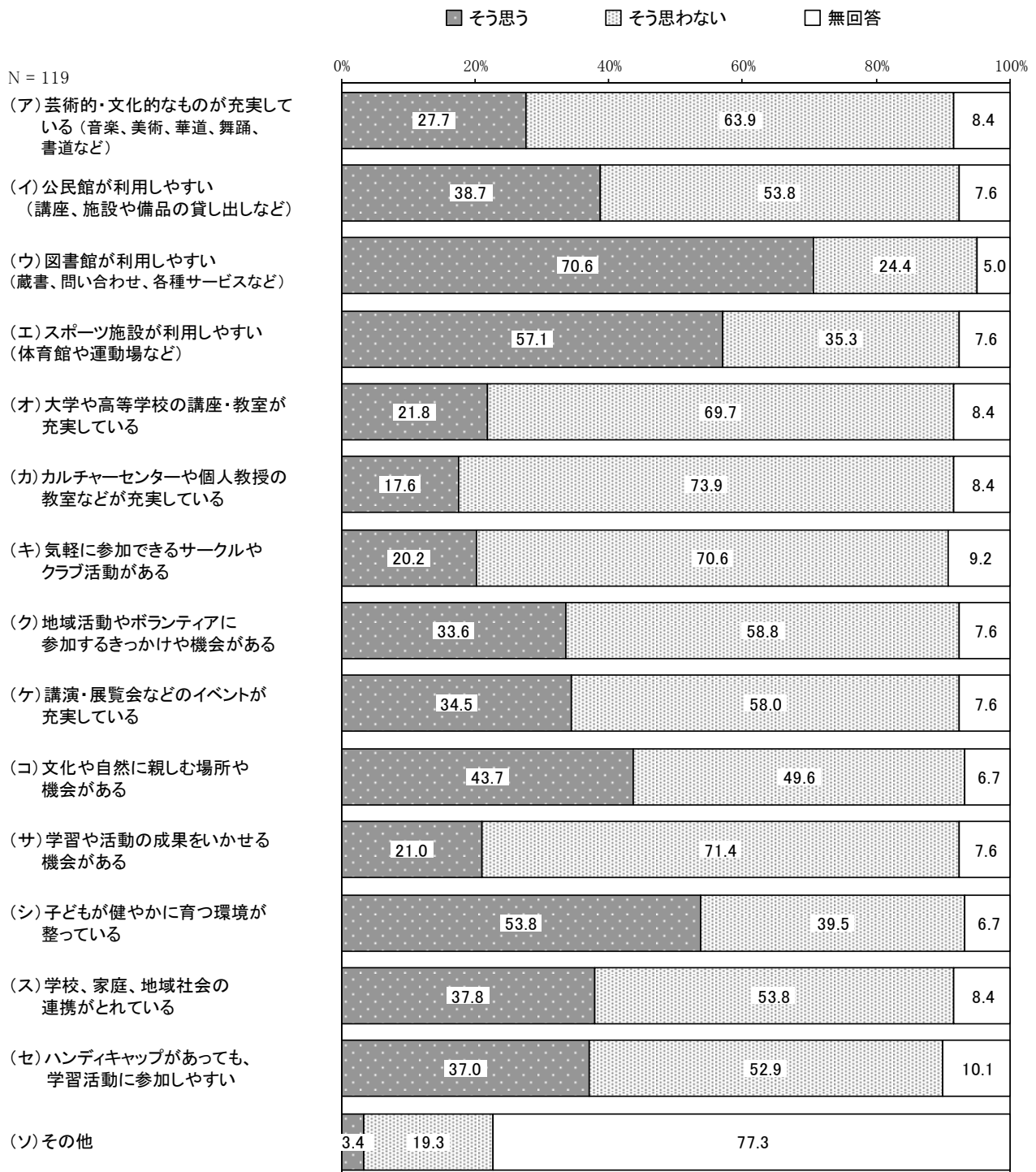


※平成24年度調査には「学校施設開放時の小・中学校施設(校庭、体育館など)」「多摩六都科学館」の選択肢はありません。

〈青少年調査〉

問 19 現在の西東京市の学習環境について、あてはまると思うものをお答えください。  
 (○は (ア) ~ (ソ) ごとに1つ)

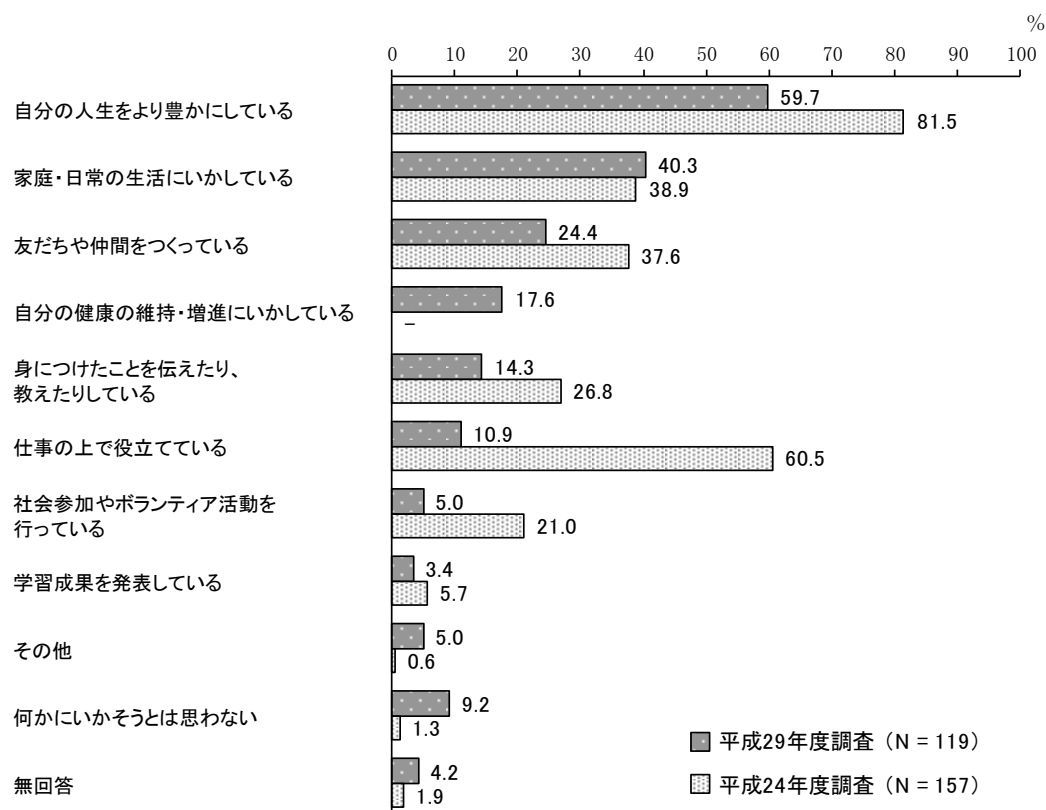
(ウ) 図書館が利用しやすい(蔵書、問い合わせ、各種サービスなど)で「そう思う」の割合が高く、70.6%となっています。また、(オ) 大学や高等学校の講座・教室が充実している、(カ) カルチャーセンターや個人教授の教室などが充実している、(キ) 気軽に参加できるサークルやクラブ活動がある、(サ) 学習や活動の成果をいかせる機会があるで「そう思わない」の割合が高く、約7割となっています。





問 20 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのようにいかしていますか。(〇はいくつでも)

「自分の人生をより豊かにしている」の割合が59.7%と最も高く、次いで「家庭・日常生活にいかしている」の割合が40.3%、「友だちや仲間をつくっている」の割合が24.4%となっています。



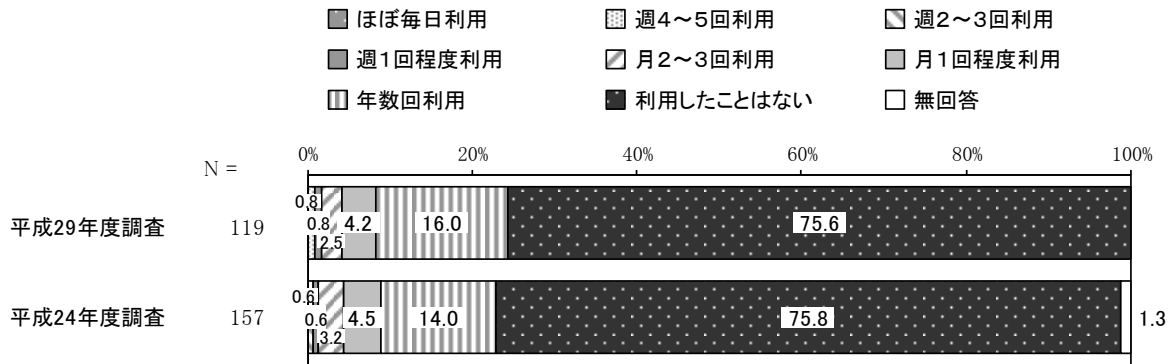
※平成 24 年度調査には「自分の健康の維持・増進にいかしている」の選択肢はありません。

(4) 公民館について

問 21 この1年間に、公民館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(〇は1つ)

「利用したことはない」の割合が75.6%と最も高く、次いで「年数回利用」の割合が16.0%となっています。

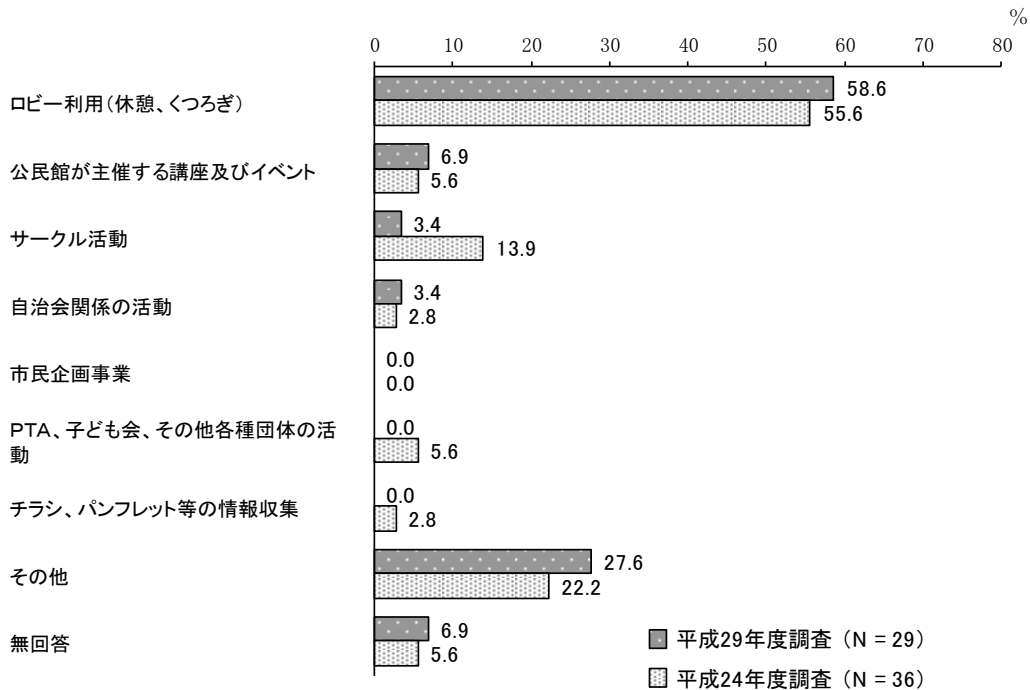
平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



この1年間に公民館を利用した方にお尋ねします。

問 22 公民館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

「ロビー利用 (休憩、くつろぎ)」の割合が58.6%と最も高くなっています。

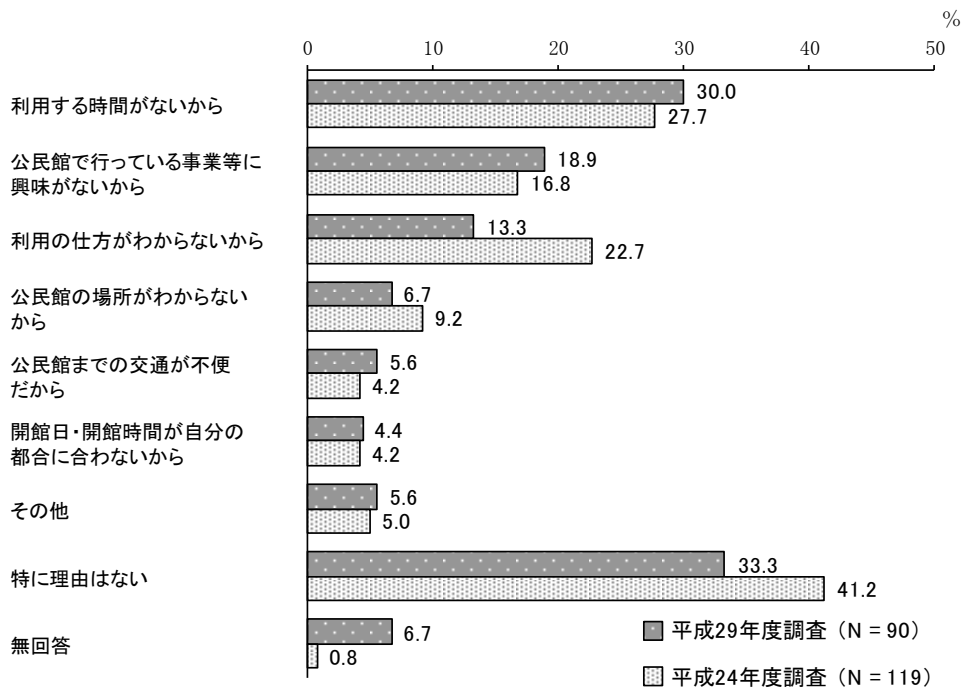


この1年間に公民館を利用したことがない方にお尋ねします。

**問 23 公民館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)**

「特に理由はない」の割合が33.3%と最も高く、次いで「利用する時間がないから」の割合が30.0%、「公民館で行っている事業等に興味がないから」の割合が18.9%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「利用の仕方がわからないから」の割合が減少しています。

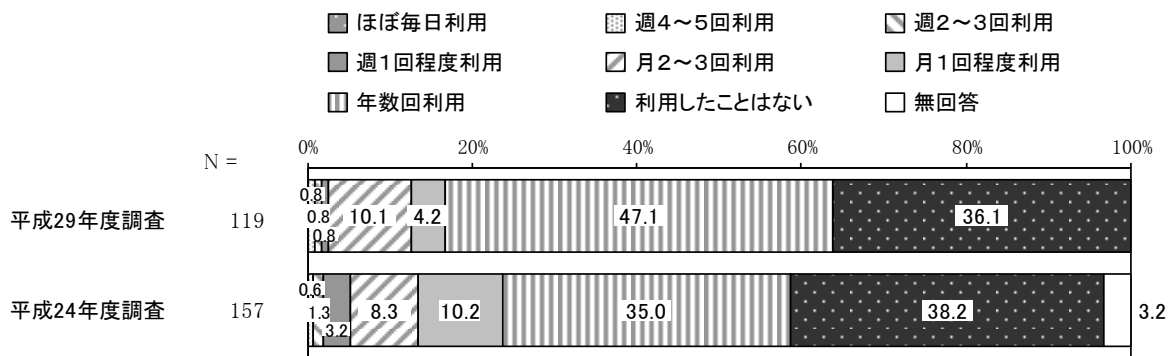


(5) 図書館について

問 24 この1年間に、市の図書館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(〇は1つ)

「年数回利用」の割合が47.1%と最も高く、次いで「利用したことはない」の割合が36.1%、「月2～3回利用」の割合が10.1%となっています。

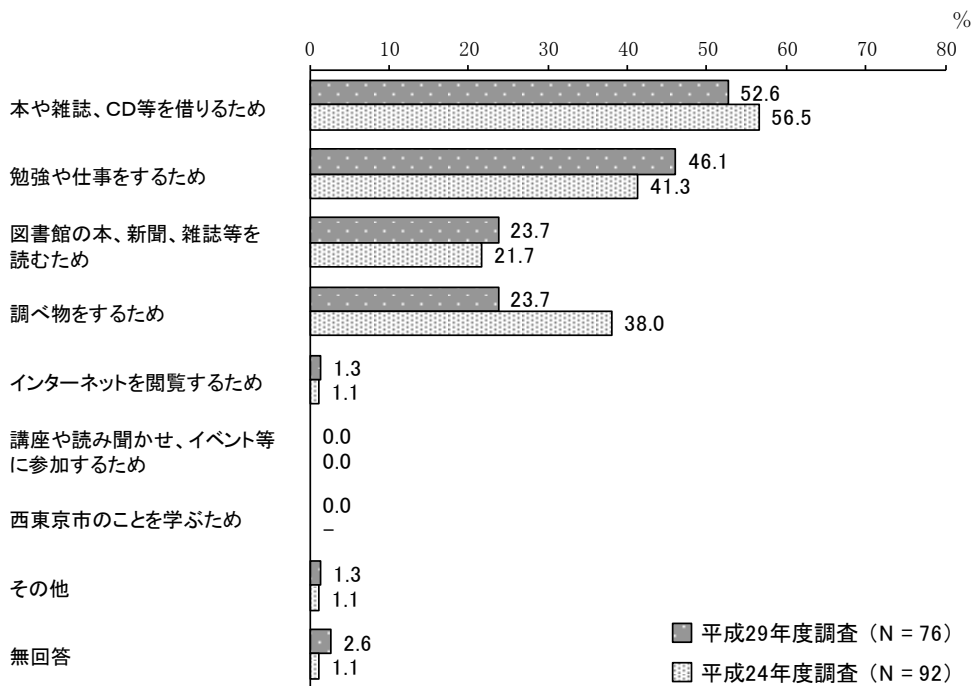
平成24年度調査と比較すると、「年数回利用」の割合が増加しています。



この1年間に図書館を利用した方にお尋ねします。

問 25 図書館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

「本や雑誌、CD等を借りるため」の割合が52.6%と最も高く、次いで「勉強や仕事をするため」の割合が46.1%、「図書館の本、新聞、雑誌等を読むため」、「調べ物をするため」の割合が23.7%となっています。



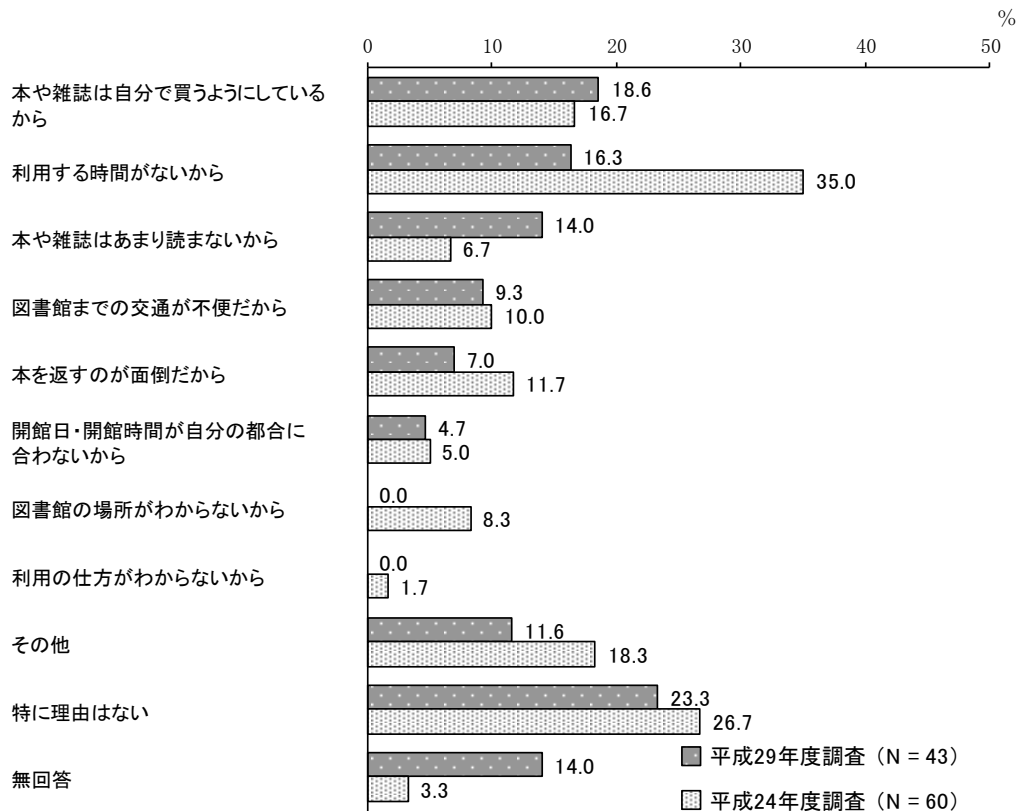
※平成24年度調査には「西東京市のことを学ぶため」の選択肢はありません。

この1年間に図書館を利用したことがない方にお尋ねします。

**問 26 図書館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)**

「特に理由はない」の割合が23.3%と最も高く、次いで「本や雑誌は自分で買うようにしているから」の割合が18.6%、「利用する時間がないから」の割合が16.3%となっています。

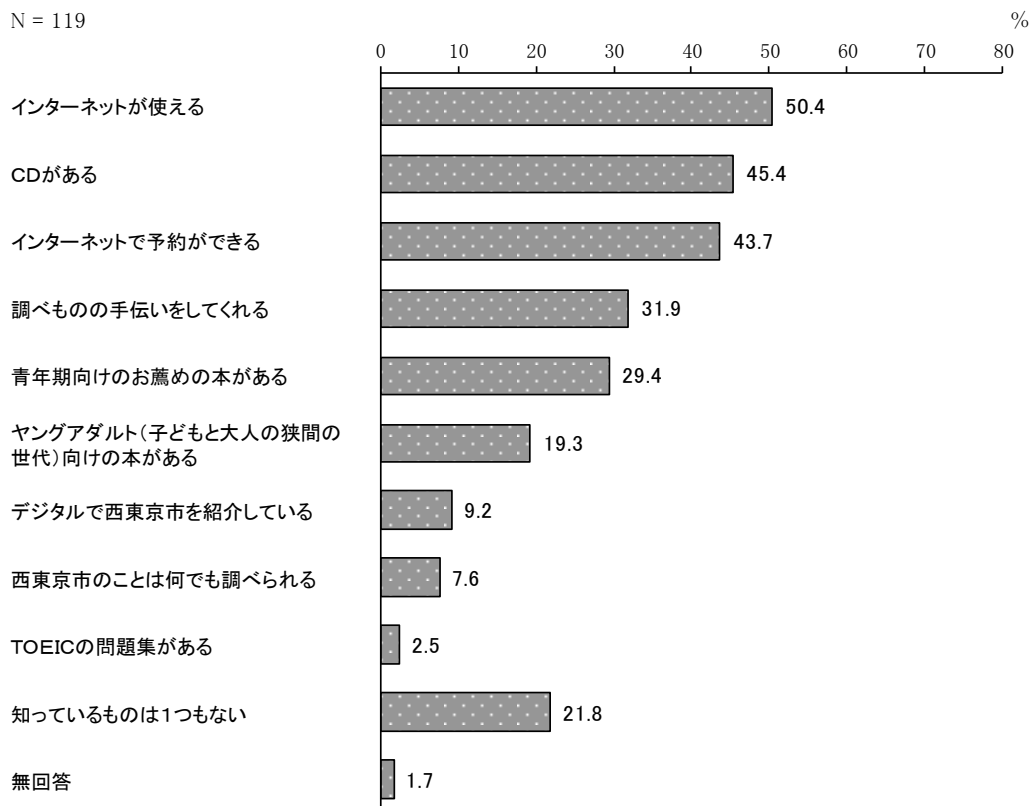
平成24年度調査と比較すると、「本や雑誌はあまり読まないから」の割合が増加しています。一方、「利用する時間がないから」「図書館の場所がわからないから」の割合が減少しています。



問 27 図書館のサービスで知っているのはどれですか。(〇はいくつでも)

「インターネットが使える」の割合が50.4%と最も高く、次いで「CDがある」の割合が45.4%、「インターネットで予約ができる」の割合が43.7%となっています。

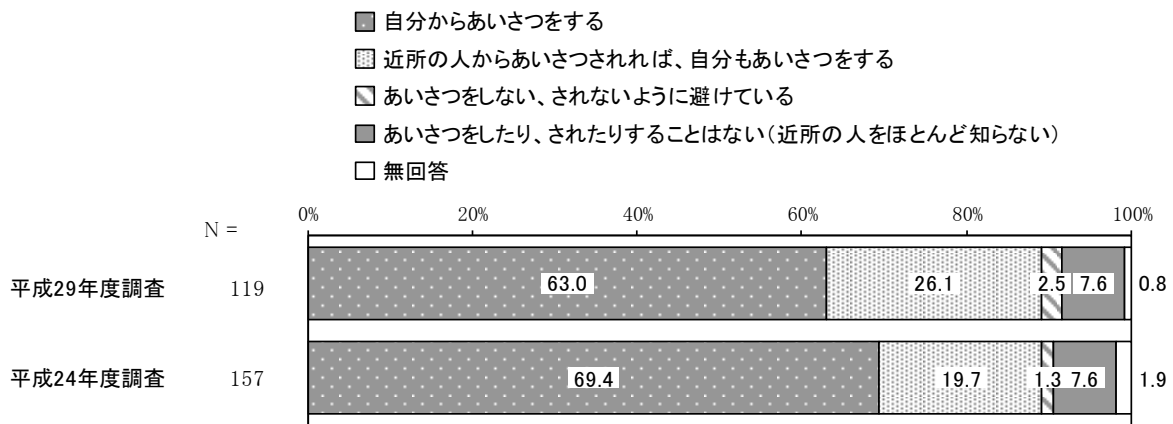
N = 119



## (6) 地域との関わりについて

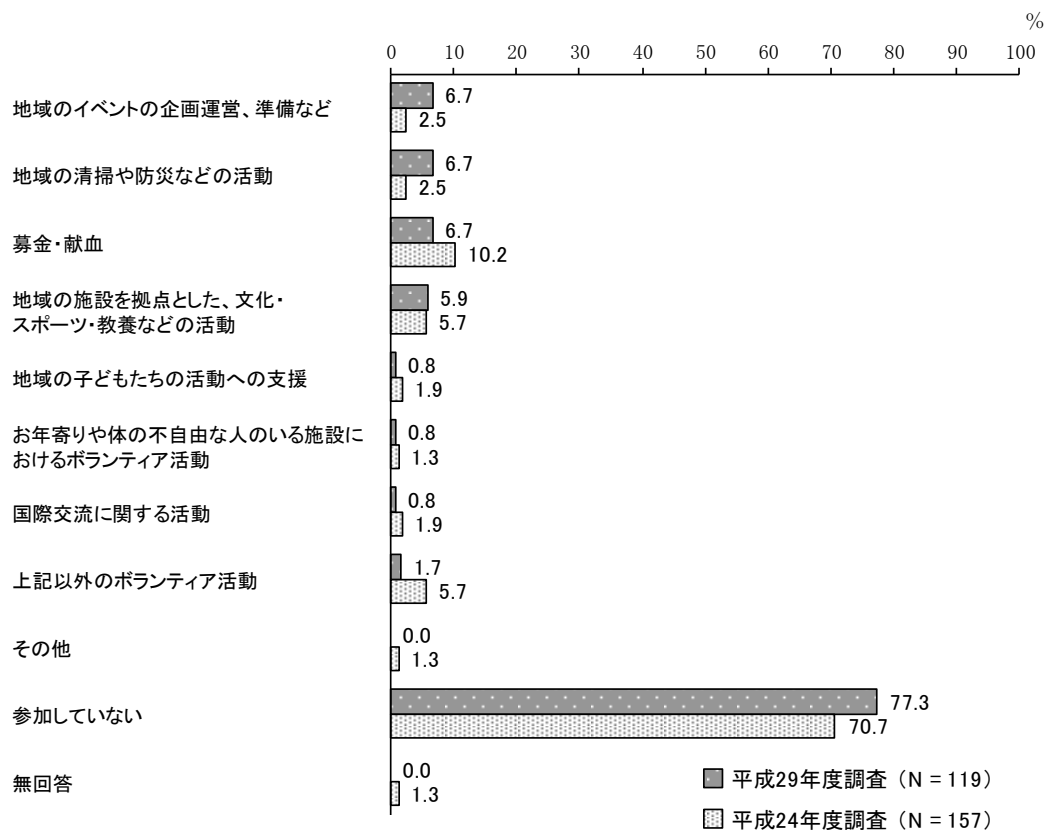
### 問 28 普段、近所の人とはあいさつをしますか。(○は1つ)

「自分からあいさつをする」の割合が63.0%と最も高く、次いで「近所の人からあいさつされれば、自分もあいさつをする」の割合が26.1%となっています。



### 問 29 最近1年間で、次のような活動に参加したり、行ったりしたことがありますか。(○はいくつでも)

「参加していない」の割合が77.3%と最も高くなっています。



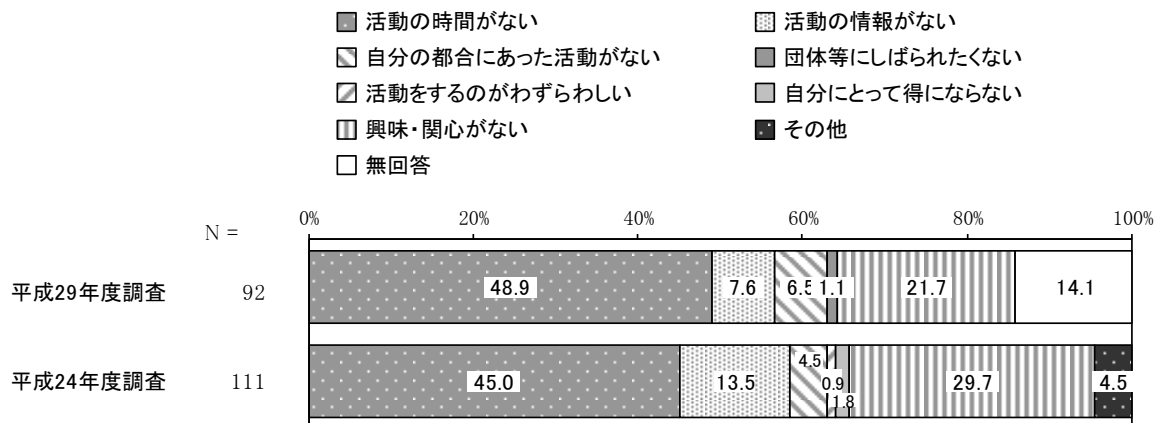
〈青少年調査〉

「10 参加していない」と答えた方にお尋ねします。

問 30 地域・社会での活動に参加しない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

「活動の時間がない」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「興味・関心がない」の割合が 21.7%となっています。

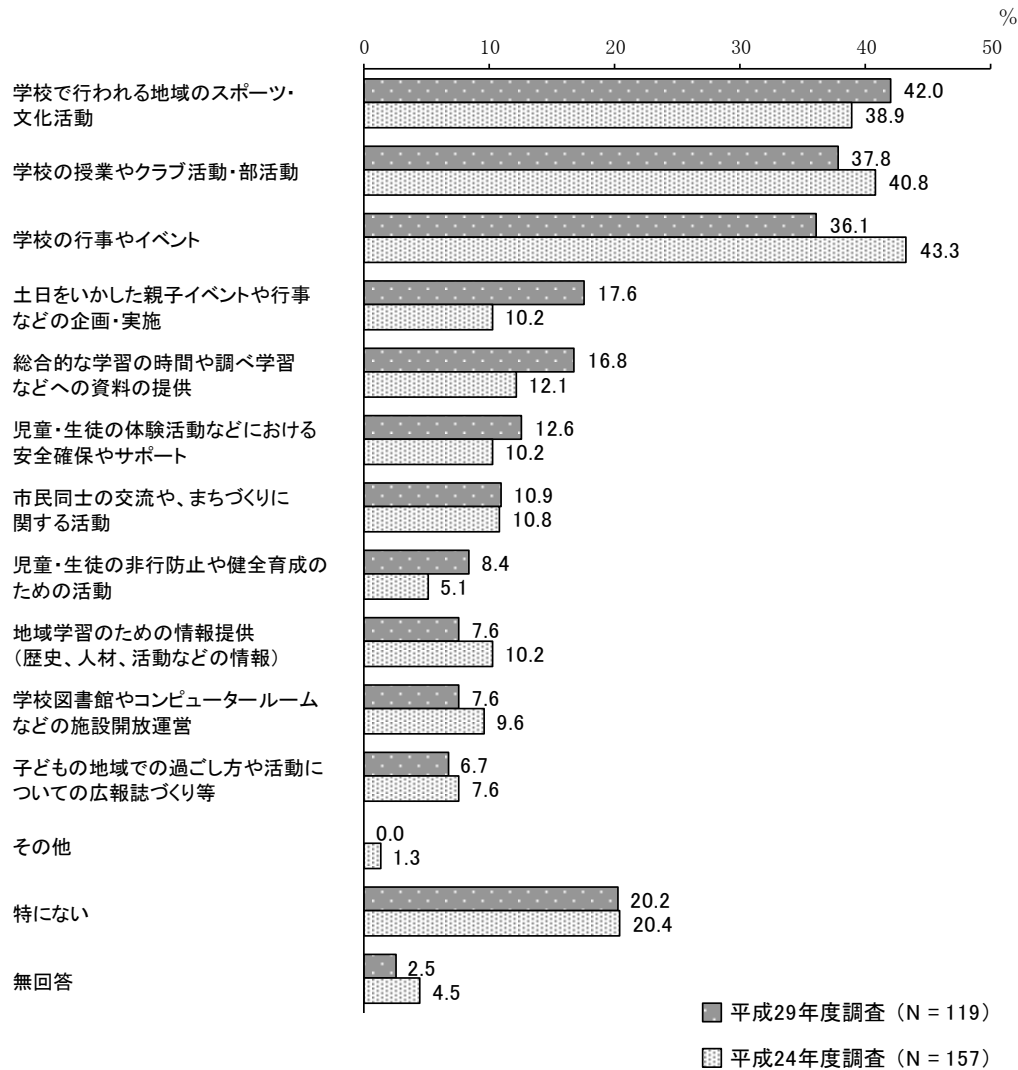
平成 24 年度調査と比較すると、「活動の情報がない」「興味・関心がない」の割合が減少しています。





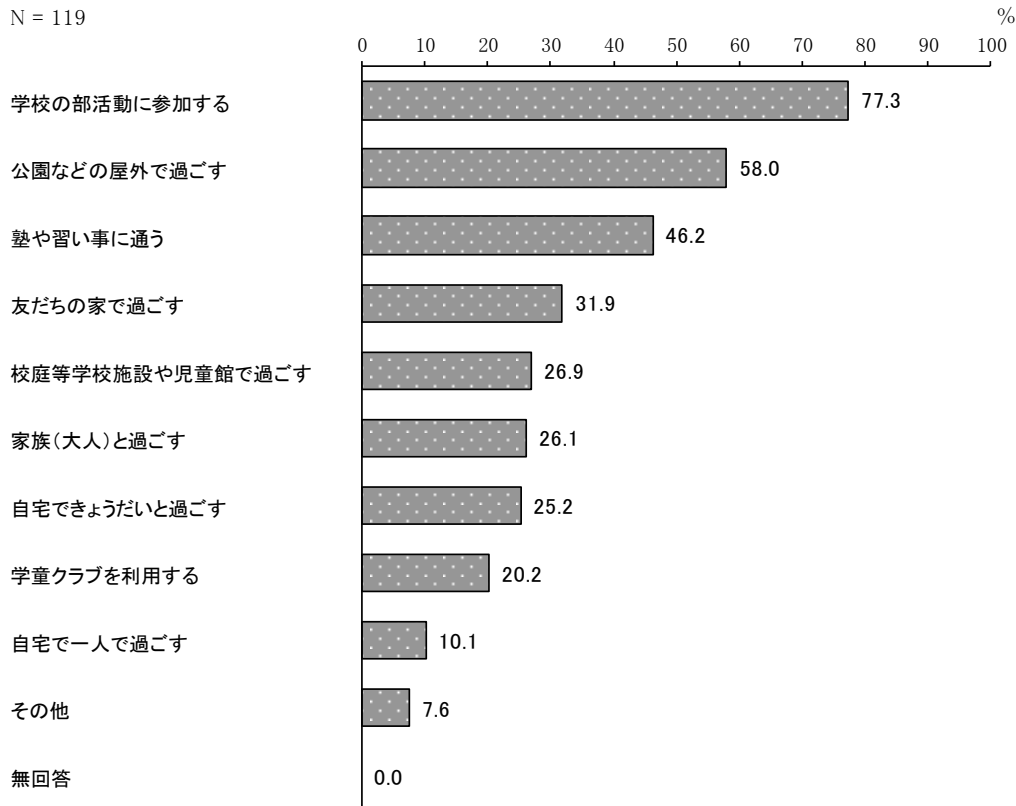
問 31 身近な小学校・中学校の取り組みやそこを拠点として行われる地域の活動について、どのようなことなら、参加・協力してもよいと思いますか。(〇はいくつでも)

「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」の割合が42.0%と最も高く、次いで「学校の授業やクラブ活動・部活動」の割合が37.8%、「学校の行事やイベント」の割合が36.1%となっています。



問 32 放課後は子どもはどのように過ごすのが望ましいと思いますか。  
(○はいくつでも)

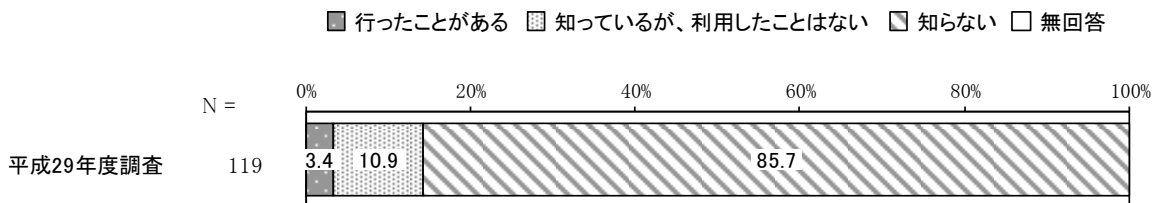
「学校の部活動に参加する」の割合が 77.3%と最も高く、次いで「公園などの屋外で過ごす」の割合が 58.0%、「塾や習い事に通う」の割合が 46.2%となっています。



問 33 市内には、地域の方が運営する、子どもが一人でも利用でき、無料又は安い値段で食事ができる「子ども食堂」という取組がありますが、この取組を知っていますか。(○は1つ)

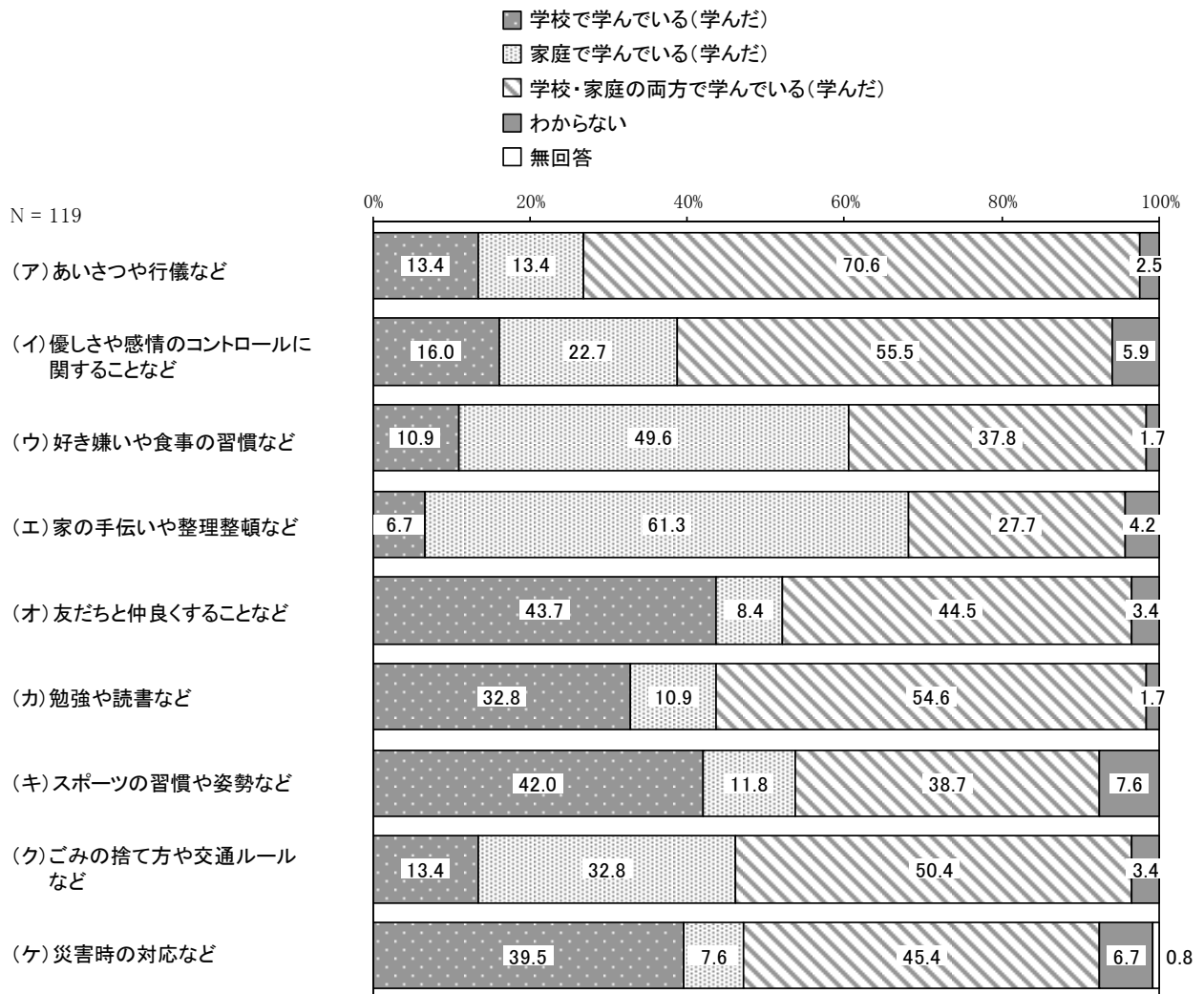
(しばくぼ~の、ねんりん子ども食堂、放課後キッチン・ごろごろ、飯もり山、木・々 子ども食堂、やぎさわ子ども食堂、わいわいクッキング 等 (50音順))

「知らない」の割合が 85.7%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が 10.9%となっています。



(7) 地域や家庭での教育について

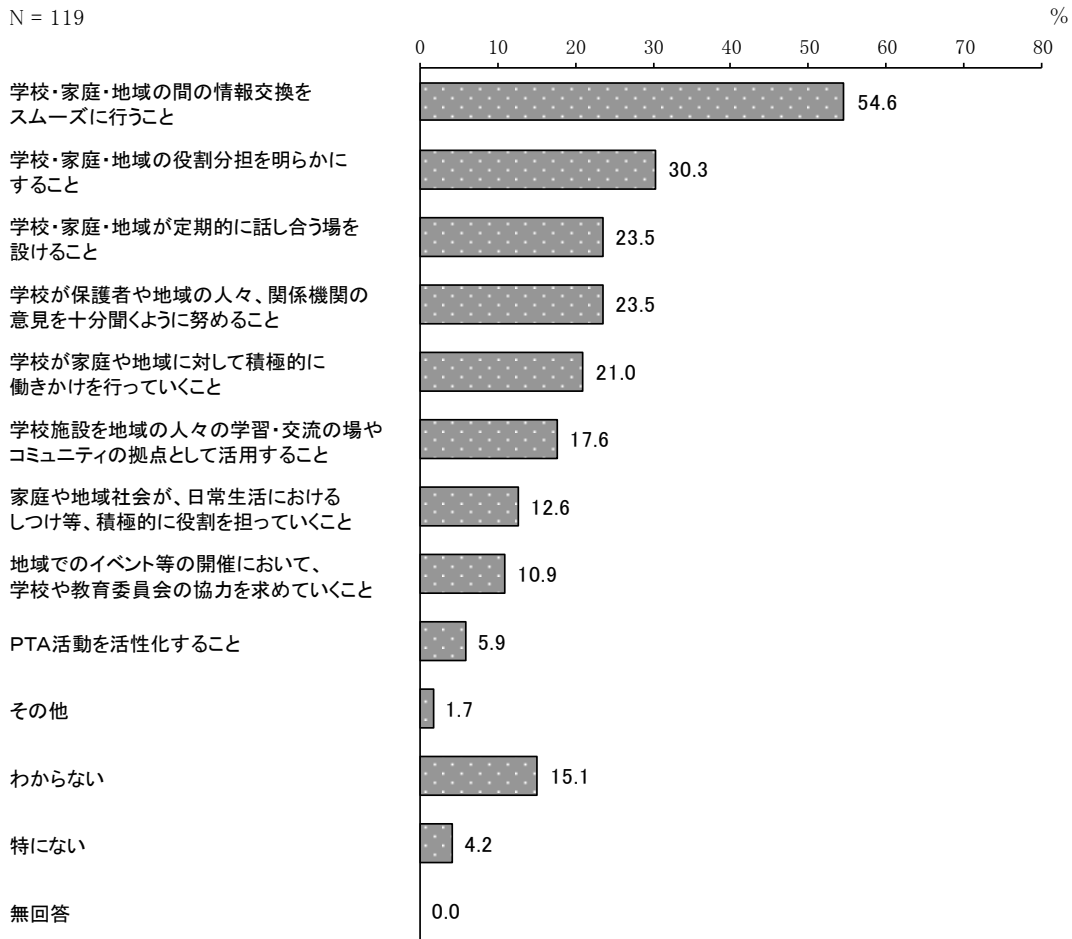
問 34 あなた自身、次の(ア)～(ケ)の項目はそれぞれ、学校か家庭のどちらで学んでいる(学んだ)と思いますか。(〇は(ア)～(ケ)ごとに1つずつ)



問 35 学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なことは何だと思  
いますか。(〇はいくつでも)

「学校・家庭・地域間の情報交換をスムーズに行うこと」の割合が 54.6%と最も高く、次いで「学校・家庭・地域の役割分担を明らかにすること」の割合が 30.3%、「学校・家庭・地域が定期的に話し合う場を設けること」、「学校が保護者や地域の人々、関係機関の意見を十分聞くように努めること」の割合が 23.5%となっています。

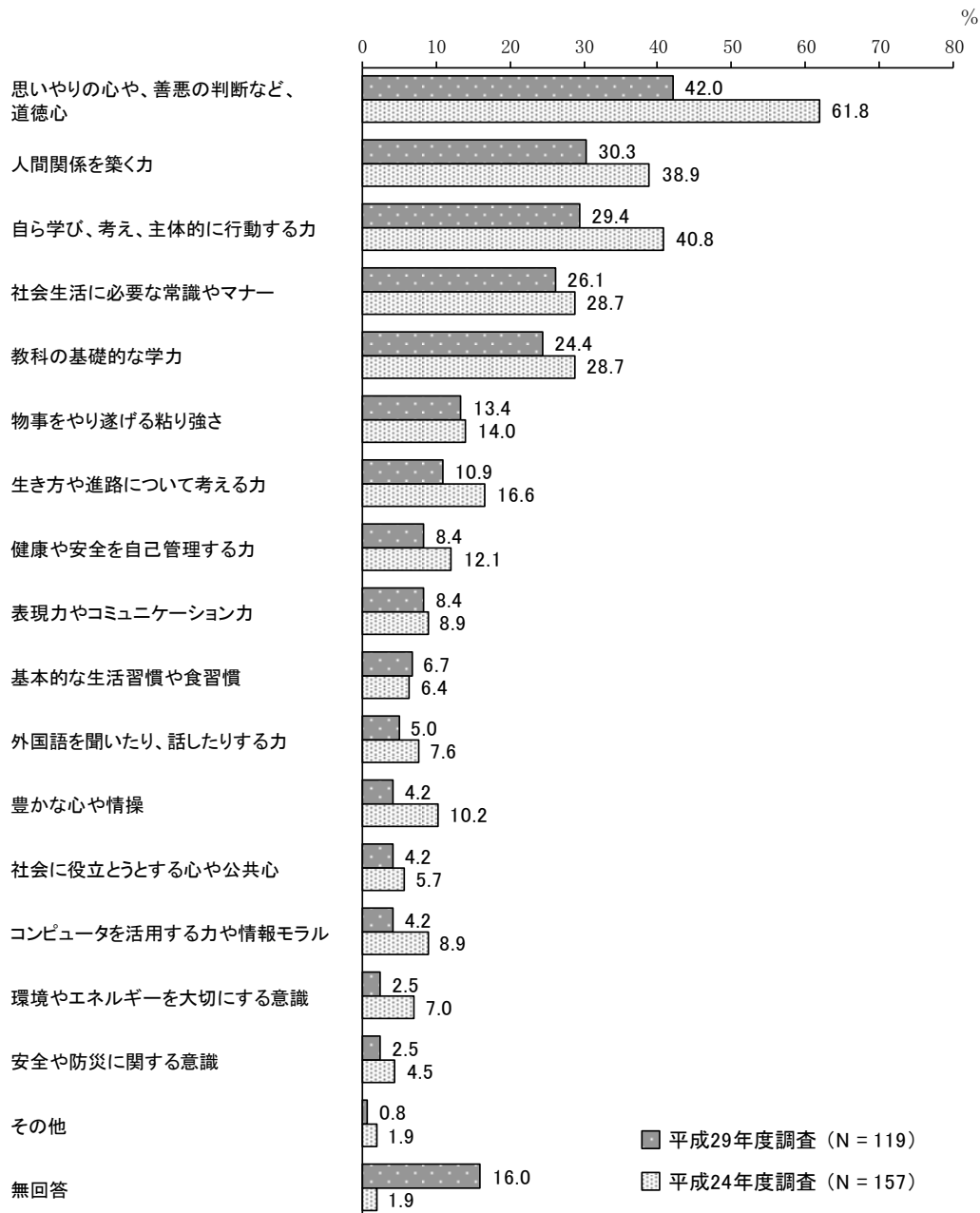
N = 119



(8) 学校のことについて

問 36 西東京市の学校教育で子どもに教えることとして、重要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

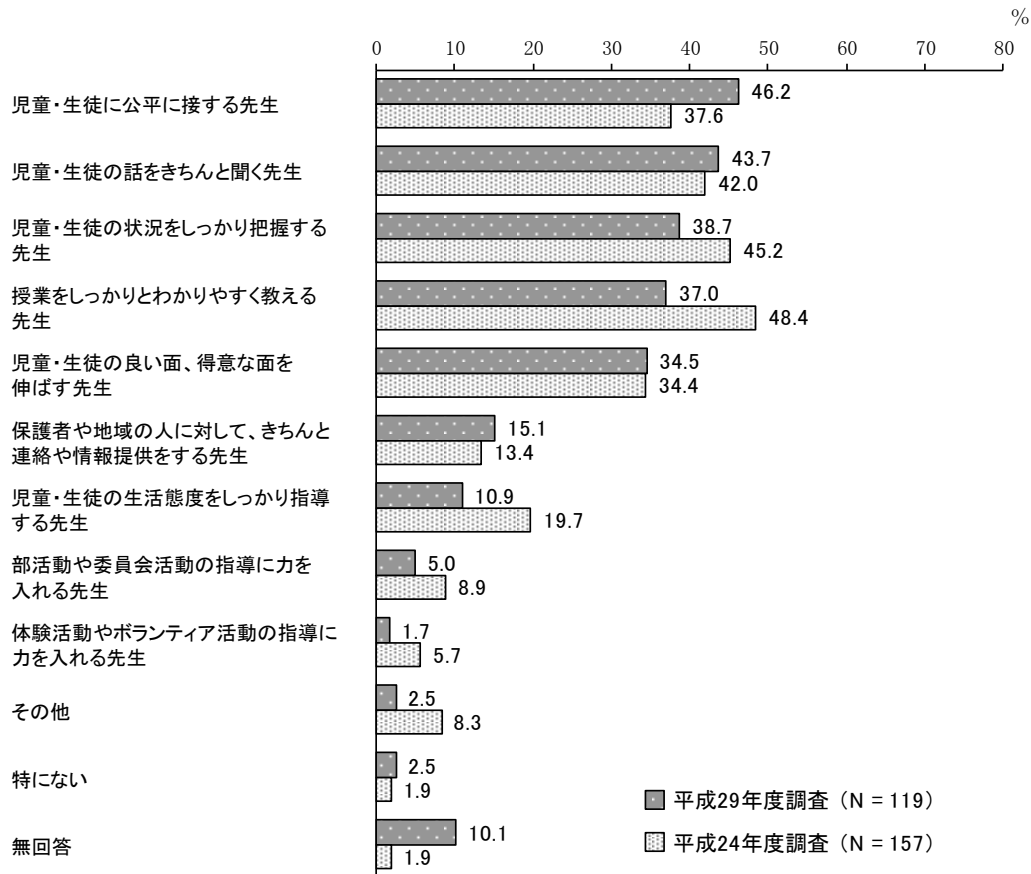
「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」の割合が42.0%と最も高く、次いで「人間関係を築く力」の割合が30.3%、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」の割合が29.4%となっています。



問 37 西東京市の小学校・中学校の先生は、どのような先生が望ましいと思いますか。  
(○は3つまで)

「児童・生徒に公平に接する先生」の割合が46.2%と最も高く、次いで「児童・生徒の話をきちんと聞く先生」の割合が43.7%、「児童・生徒の状況をしっかり把握する先生」の割合が38.7%となっています。

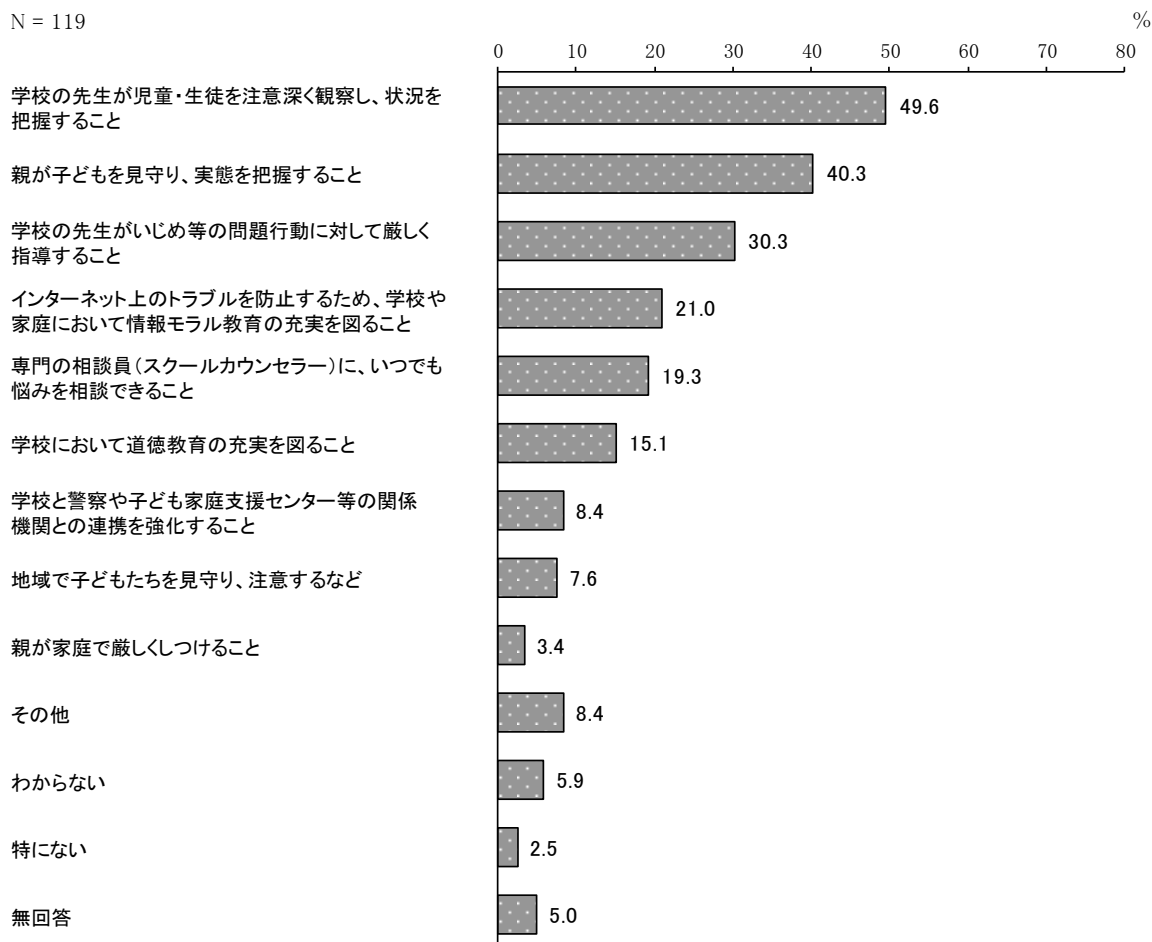
平成24年度調査と比較すると、「児童・生徒に公平に接する先生」の割合が増加しています。一方、「児童・生徒の状況をしっかり把握する先生」「授業をしっかりとわかりやすく教える先生」「児童・生徒の生活態度をしっかりと指導する先生」の割合が減少しています。



問 38 いじめや不登校などの問題を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「学校の先生が児童・生徒を注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が49.6%と最も高く、次いで「親が子どもを見守り、実態を把握すること」の割合が40.3%、「学校の先生がいじめ等の問題行動に対して厳しく指導すること」の割合が30.3%となっています。

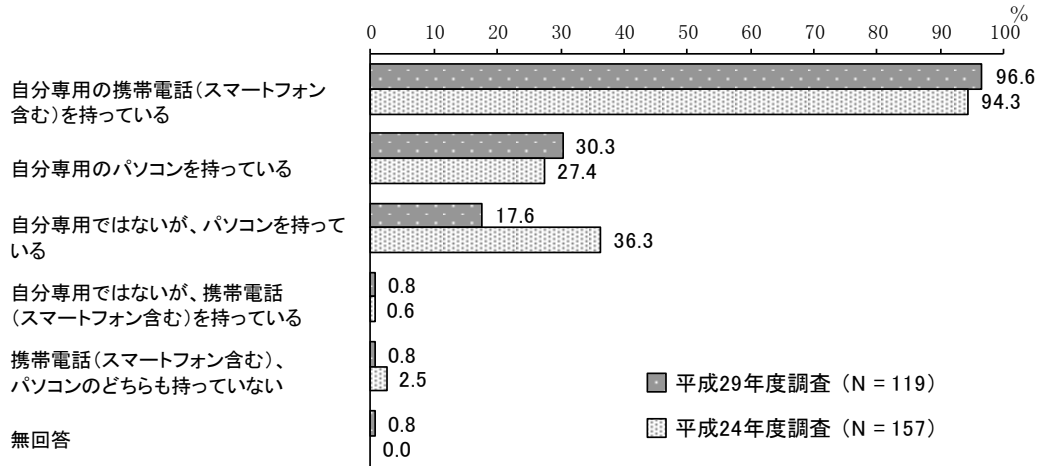
N = 119



(9) 携帯電話・パソコン等の利用について

問 39 自分専用の携帯電話（スマートフォン含む）、パソコンを持っていますか。  
（○はいくつでも）

「自分専用の携帯電話（スマートフォン含む）を持っている」の割合が 96.6%と最も高く、次いで「自分専用のパソコンを持っている」の割合が 30.3%、「自分専用ではないが、パソコンを持っている」の割合が 17.6%となっています。



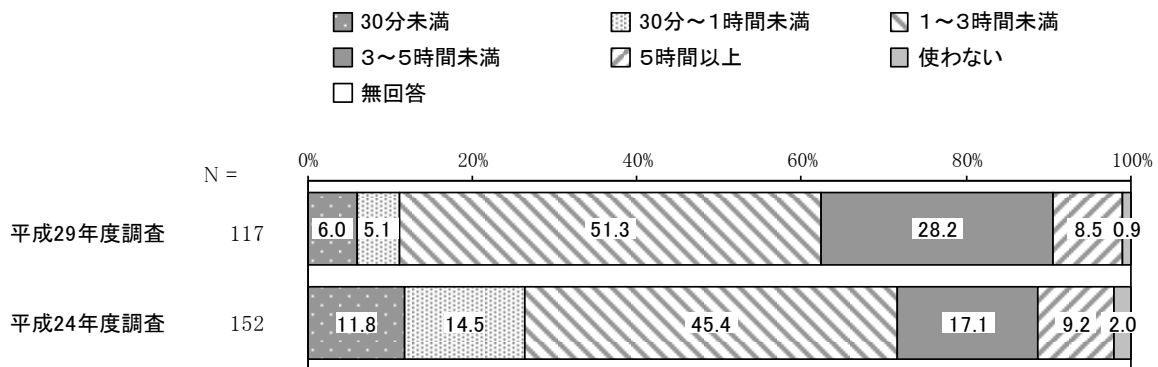
携帯電話（スマートフォン含む）、パソコンを持っている方にお尋ねします。

問 40 1日にどのくらいの時間、携帯電話（スマートフォン含む）やパソコンを使いますか。「平日」「休日」それぞれについてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

【平日】

「1～3時間未満」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「3～5時間未満」の割合が 28.2%となっています。

平成 24 年度調査と比較すると、「1～3時間未満」「3～5時間未満」の割合が増加しています。

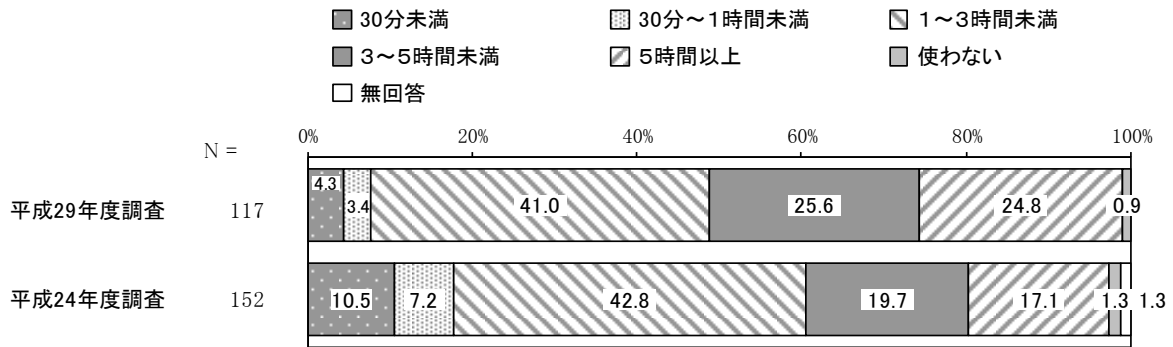




【休日】

「1～3時間未満」の割合が41.0%と最も高く、次いで「3～5時間未満」の割合が25.6%、「5時間以上」の割合が24.8%となっています。

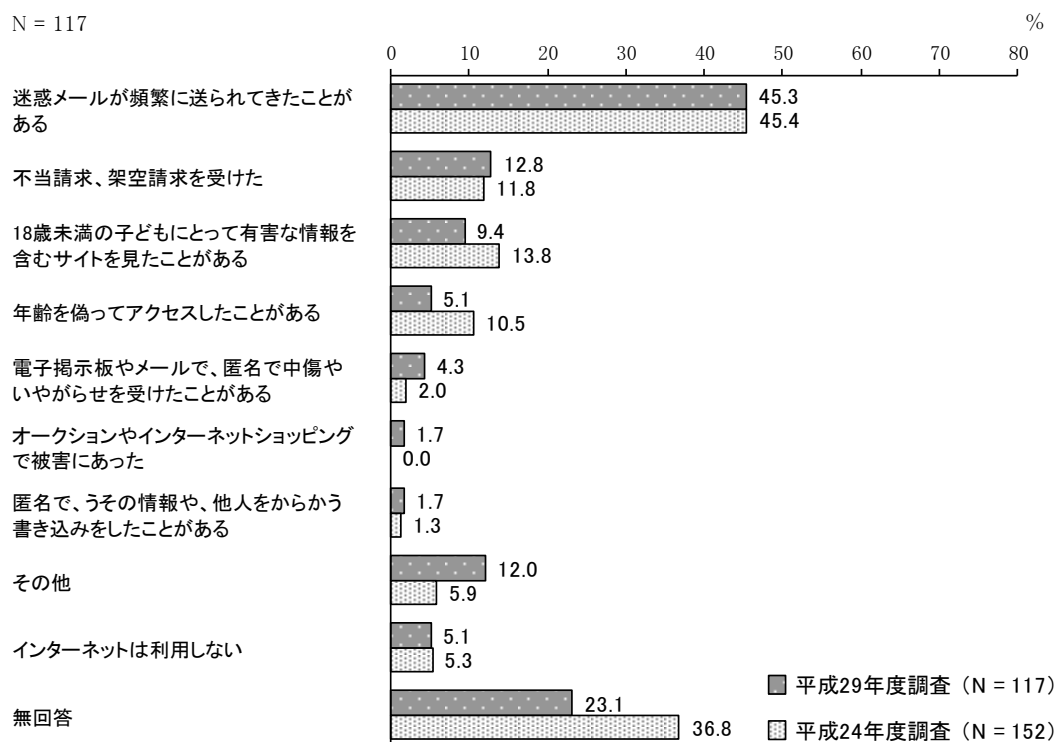
平成24年度調査と比較すると、「3～5時間未満」「5時間以上」の割合が増加しています。



問 41 携帯電話（スマートフォン含む）やパソコンでインターネットを利用して、次のようなことがありましたか。（○はいくつでも）

「迷惑メールが頻繁に送られてきたことがある」の割合が45.3%と最も高く、次いで「不当請求、架空請求を受けた」の割合が12.8%となっています。

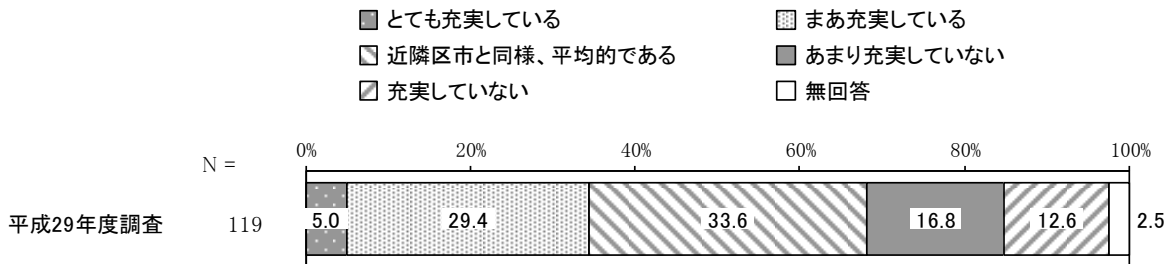
N = 117



(10) 一人ひとりに応じた支援について

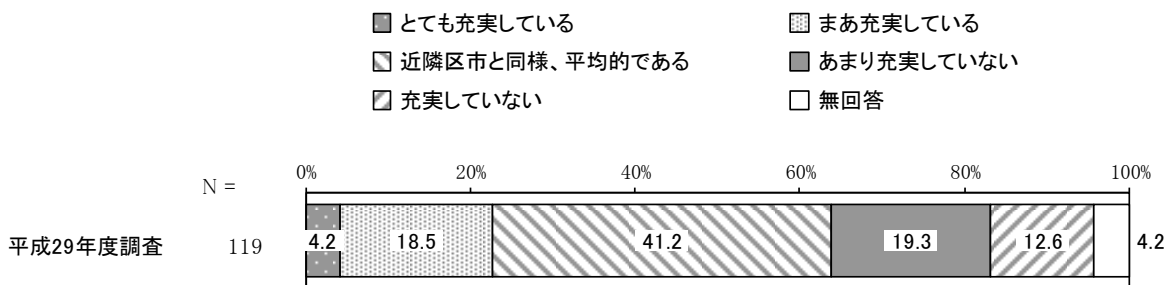
問 42 西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援について、どう思いますか。(〇は1つ)

「とても充実している」と「まあ充実している」をあわせた“充実している”の割合が 34.4%、「近隣区市と同様、平均的である」の割合が 33.6%、「あまり充実していない」と「充実していない」をあわせた“充実していない”の割合が 29.4%となっています。



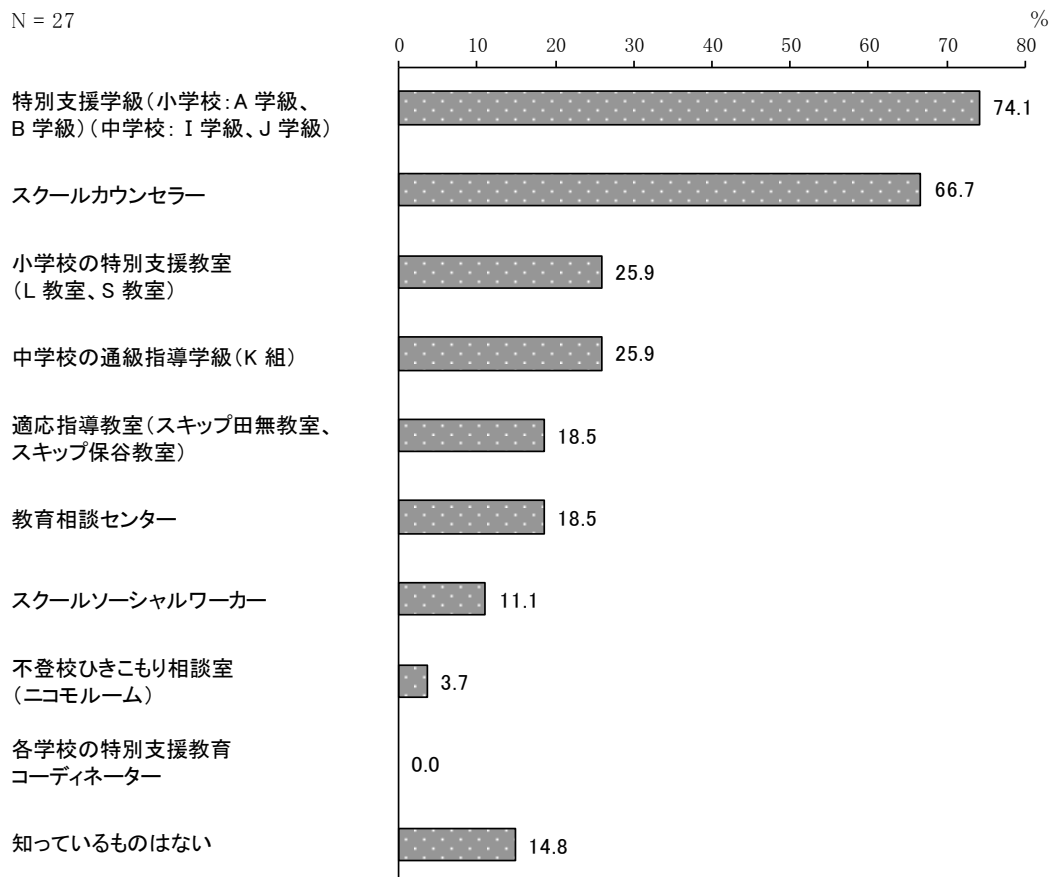
問 43 西東京市の教育委員会における教育相談について、どう思いますか。(〇は1つ)

「とても充実している」と「まあ充実している」をあわせた“充実している”の割合が 22.7%、「近隣区市と同様、平均的である」の割合が 41.2%、「あまり充実していない」と「充実していない」をあわせた“充実していない”の割合が 31.9%となっています。



【西東京市の教育委員会における教育相談が「とても充実している」「まあ充実している」と思う人が知っている施策】

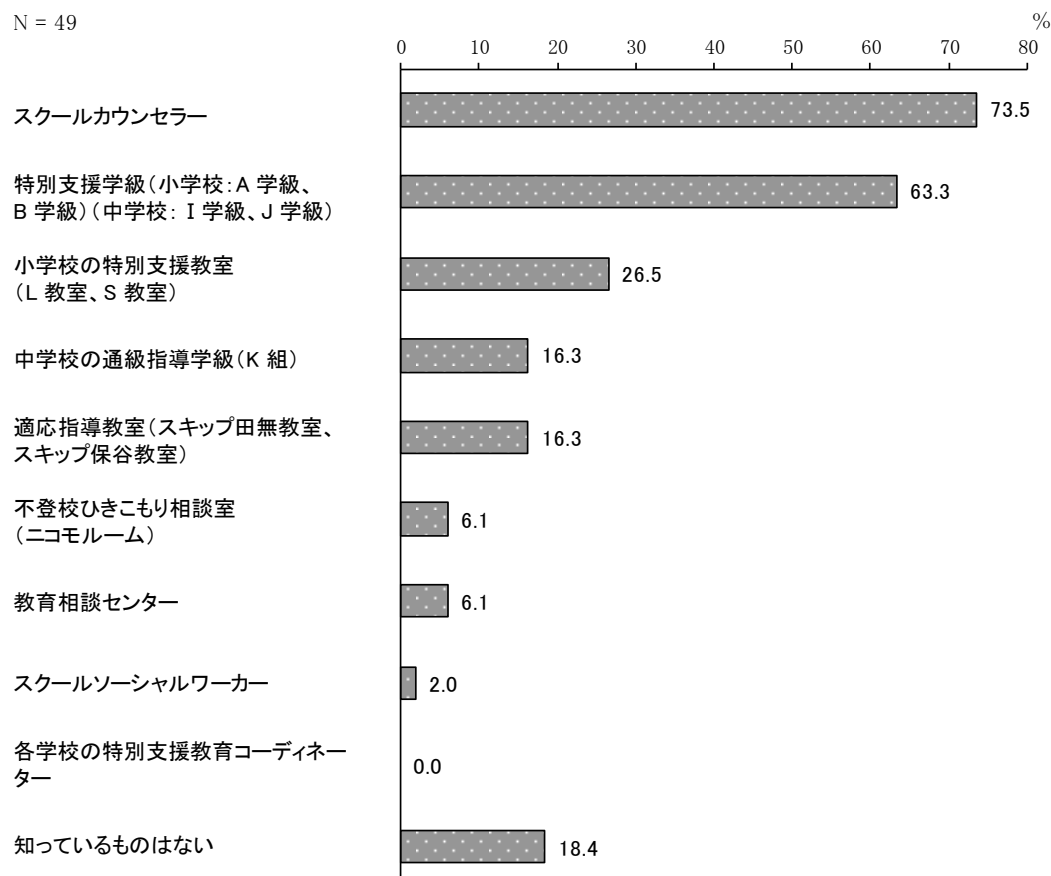
「特別支援学級（小学校：A学級、B学級）（中学校：I学級、J学級）」「スクールカウンセラー」の割合が高くなっています。



## 〈青少年調査〉

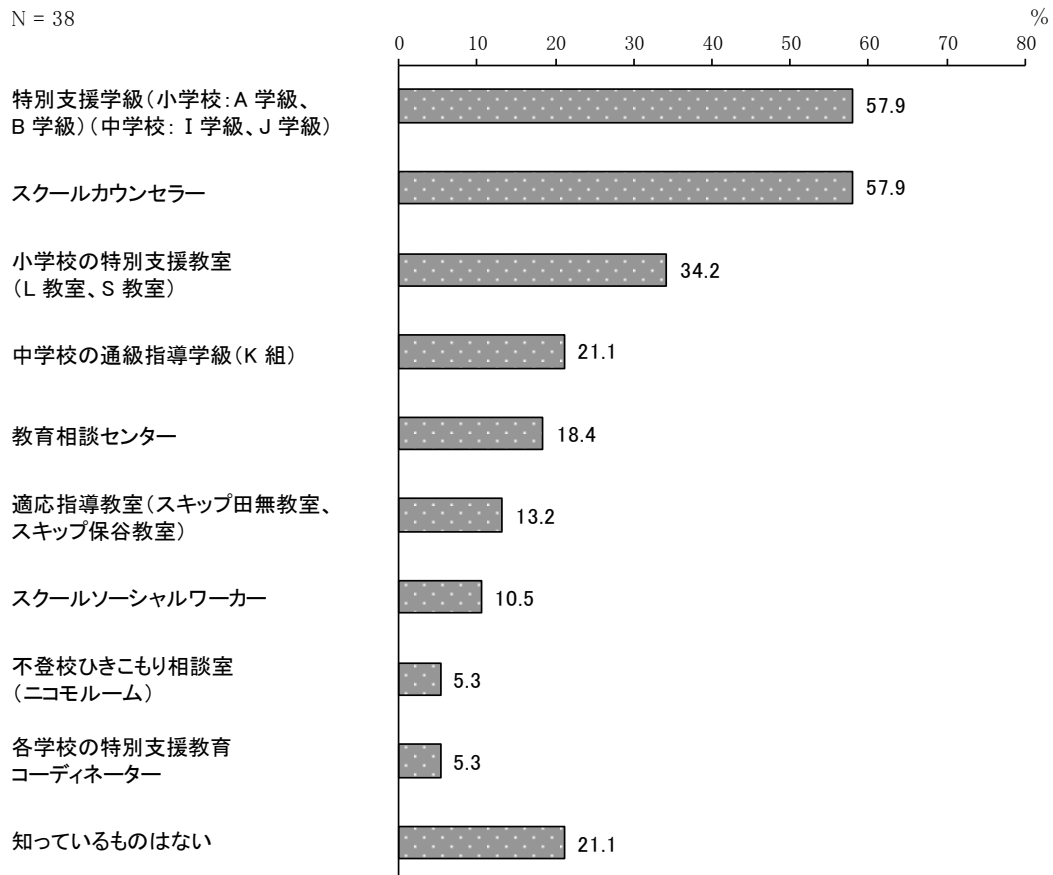
### 【西東京市の教育委員会における教育相談が「近隣区市と同様、平均的である」と思う人が知っている施策】

「スクールカウンセラー」「特別支援学級（小学校：A学級、B学級）（中学校：I学級、J学級）」の割合が高くなっています。



【西東京市の教育委員会における教育相談が「あまり充実していない」「充実していない」と思う人が知っている施策】

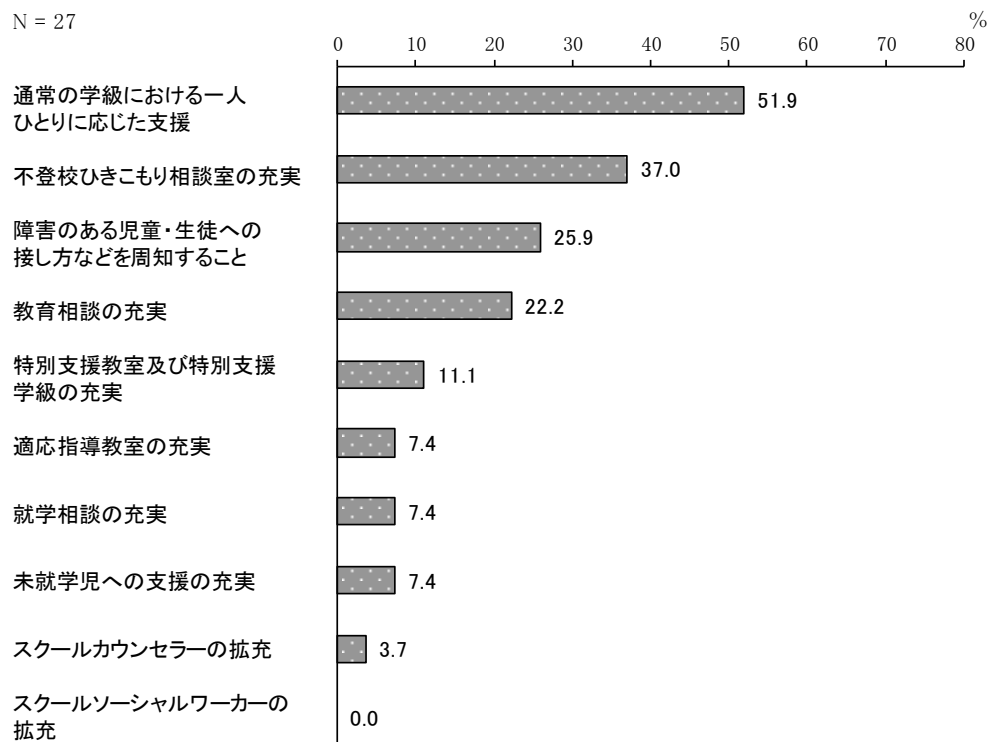
「特別支援学級（小学校：A学級、B学級）（中学校：I学級、J学級）」「スクールカウンセラー」の割合が高くなっています。



〈青少年調査〉

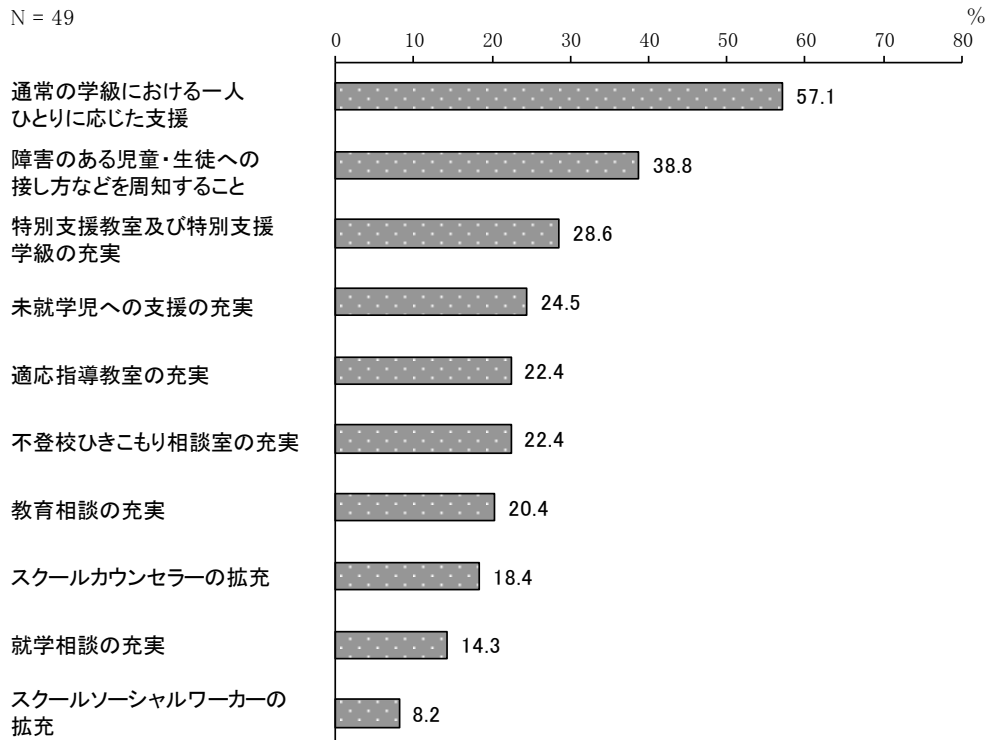
【西東京市の教育委員会における教育相談が「とても充実している」「まあ充実している」と思う人が「一人ひとりに応じた支援を行うために、必要がある」と思う施策】

「通常の学級における一人ひとりに応じた支援」の割合が高くなっています。



【西東京市の教育委員会における教育相談が「近隣区市と同様、平均的である」と思う人が「一人ひとりに応じた支援を行うために、必要がある」と思う施策】

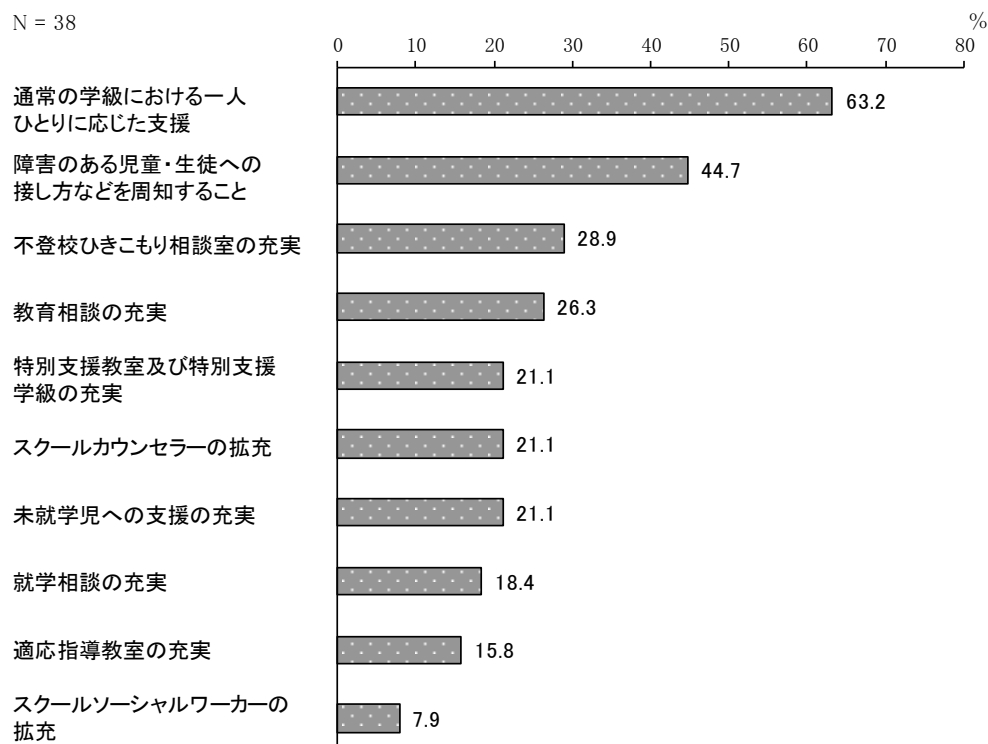
「通常の学級における一人ひとりに応じた支援」の割合が高くなっています。



〈青少年調査〉

【西東京市の教育委員会における教育相談が「あまり充実していない」「充実していない」と思う人が「一人ひとりに応じた支援を行うために、必要がある」と思う施策】

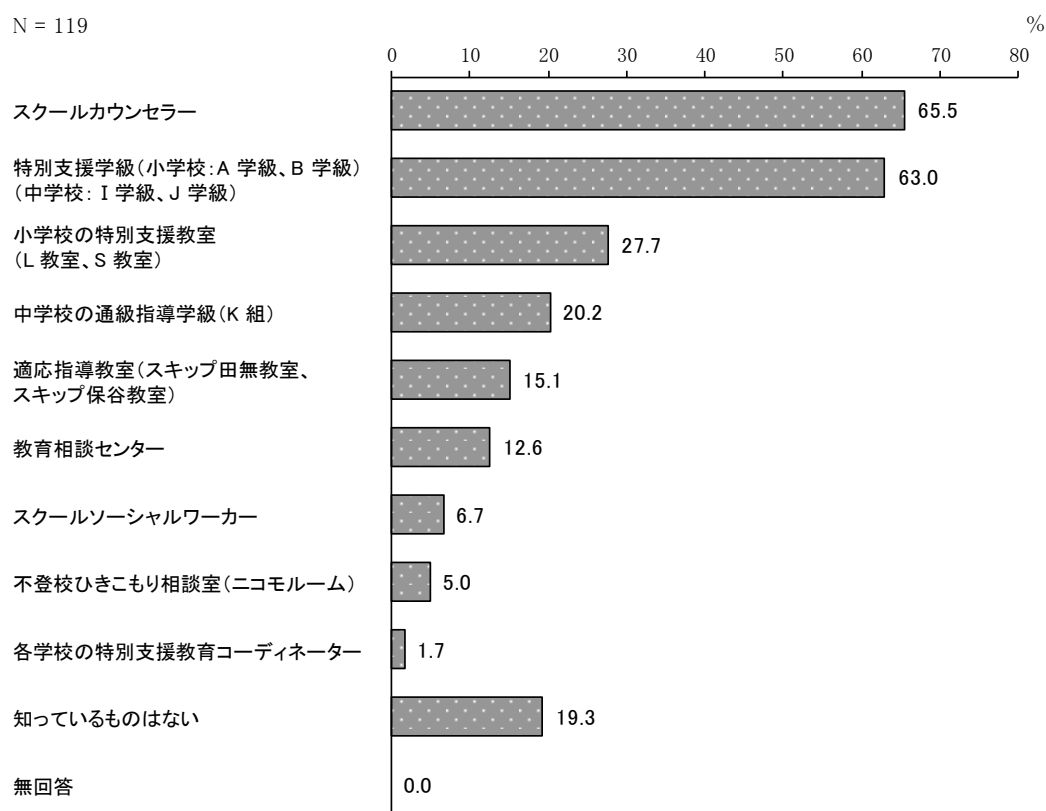
「通常の学級における一人ひとりに応じた支援」「障害のある児童・生徒への接し方などを周知すること」の割合が高くなっています。





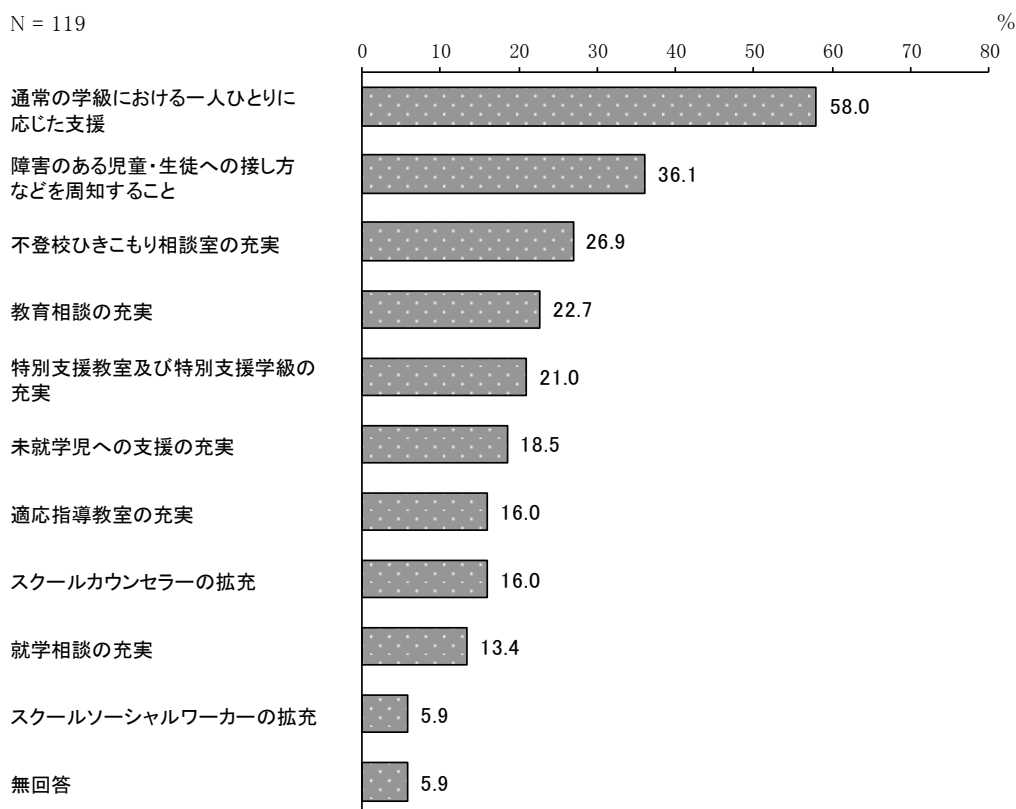
問 44 子ども一人ひとりに応じた支援として、西東京市教育委員会が設置している場所や人について、知っているものに○をつけてください。(○はいくつでも)

「スクールカウンセラー」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「特別支援学級（小学校：A 学級、B 学級）（中学校：I 学級、J 学級）」の割合が 63.0%、「小学校の特別支援教室（L 教室、S 教室）」の割合が 27.7%となっています。



問 45 子ども一人ひとりに応じた支援を行うために、西東京市教育委員会が力を入れる必要があると思われる内容に○をつけてください。(○はいくつでも)

「通常の学級における一人ひとりに応じた支援」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「障害のある児童・生徒への接し方などを周知すること」の割合が 36.1%、「不登校ひきこもり相談室の充実」の割合が 26.9%となっています。



最後に、ご自身の学習や活動、または学校教育等に関して、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

調査票の最後に、ふだんの生活で感じていることや、アンケートの感想などについての自由記入欄を設けたところ、24人の記入がありました。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできませんが、その一部を紹介します。(原文どおりに掲載しています。)

### 《学校での勉強について》

- ・ 楽しく分かりやすい授業をしてほしいです。(女性 15歳)
- ・ 小学校における英語の授業の根本的な見直し。(男性 18歳)

### 《学校での勉強以外のことについて》

- ・ 私は中学から中高一貫の私立の女子校に通っています。小学校は市内の公立でした。私立に通っていると、先生が生徒一人一人に対する目のかけ方や学習環境の充実を感じます。公立の学校に通いたいとは思わないです。皆が私立の学校に通えるようになったら良いとすら思います。公立の学校はクラスメイトにも生活環境が違う子がいるけど、特に先生にも良い人悪い人の差が激しいと思います。質の悪い先生に困ったことが何度もあったので、皆人徳があり、教育熱心な先生になれば良いと思います。(女性 18歳)
- ・ 中、高の教員はもう少し自分たちがしている仕事はサービス業であることを自覚し、教員特有の高いプライドを捨てるべきだと思う。(男性 17歳)
- ・ スクールカウンセラーの質の向上。配慮が足りない人がいる。(女性 17歳)
- ・ 学力を上げる。勉強する楽しさを学べる、感じられる教育にする。それぞれの得意なことで自分の力を発揮できる場をつくる。教師がひとりひとりをしっかりと見て、しっかりと褒める。えこひいきはしないようにする。少しの進歩でも褒めて笑顔にするような先生にする。(女性 15歳)

### 《いじめについて》

- ・ いじめを何度も見たが卒業までに解決したものはなかった。(性別無回答 17歳)

### 《心配ごとや困りごとについて》

- ・ 「死にたい」と言ったときに、「死んだらお母さんが悲しむよ」とか言うカウンセラーはいらない。理解していないスクールカウンセラーに話してもよけい死にたくなるだけ。(女性 16歳)
- ・ 普段、柳沢駅前の図書館を利用しています。しかし、施設が古く、勉強するスペースは少々狭いように感じ利用することはない。また、本は借りようと思ってもシミや汚れが目立ち借りたいと思えません。せめて本だけでも綺麗であれば行こうという気持ちになると思います。(女性 19歳)
- ・ 図書館の開館時間について。保谷駅前図書館を主に利用するのだが、休日が18時まで、というのが少し不便。もう1～2時間延ばしてほしい。(男性 15歳)

## 〈青少年調査〉

### 《今回のアンケートについて》

- アンケート内に「子ども食堂」の話題があったが、それを西東京市役所の庁舎で月に何度か開いてみるのも良いかもしれない。そうすれば学校・市役所との結びつきも強くなるのではないだろうか。(男性 19歳)
- このアンケートを受けた人は、ほとんどが高校生か大学生かと思います。このアンケートに回答する時間を学習にあてる方が良いと思います。(男性 16歳)

### 《その他》

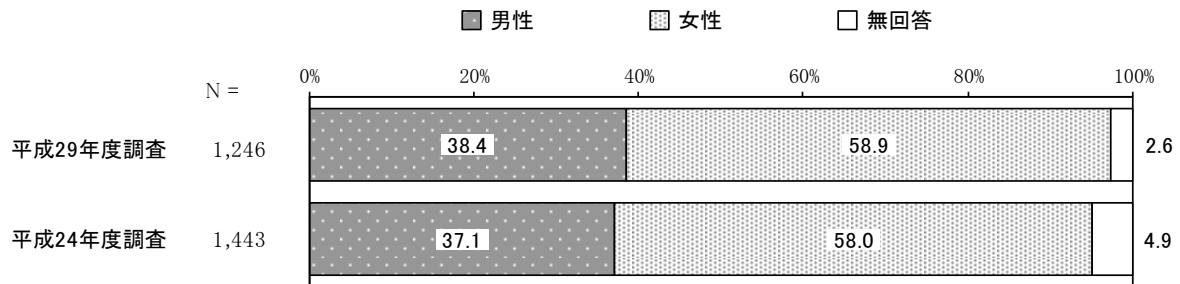
- 正直、市の活動をあまり知らないです。(女性 15歳)

## 4 一般市民調査

### (1) 回答者属性

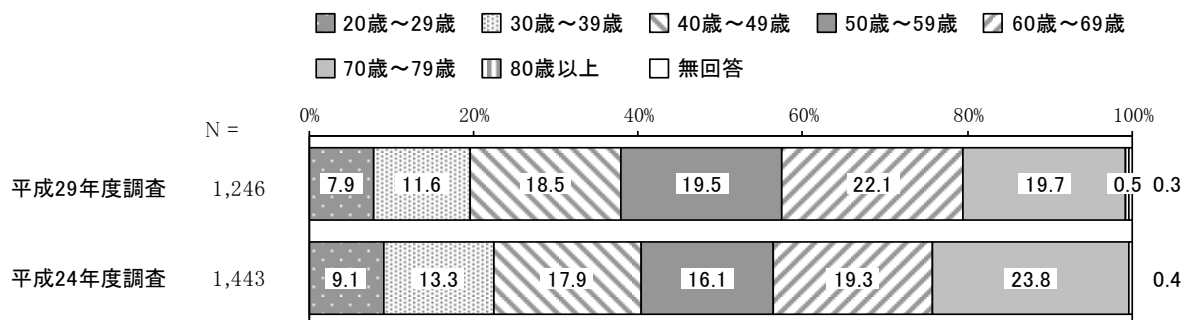
#### 問1 性別をお答えください。(○は1つ)

「男性」の割合が38.4%、「女性」の割合が58.9%となっています。



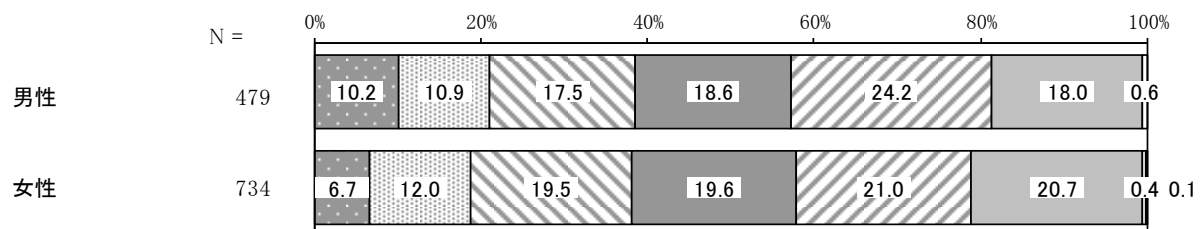
#### 問2 年齢をお答えください。(○は1つ)

「60歳～69歳」の割合が22.1%と最も高く、次いで「70歳～79歳」の割合が19.7%、「50歳～59歳」の割合が19.5%となっています。



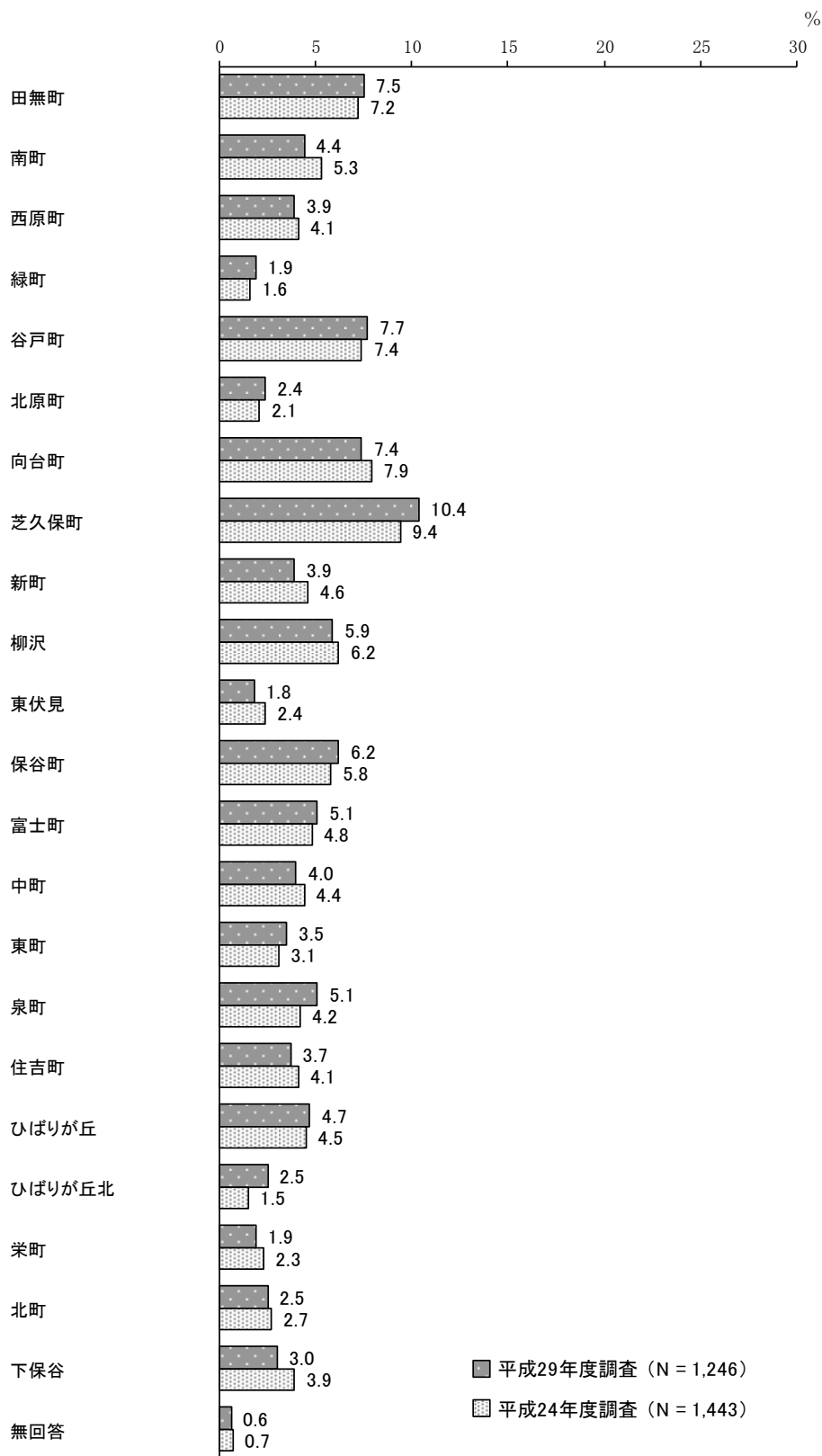
#### 【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



問3 お住まいの町はどちらですか。(〇は1つ)

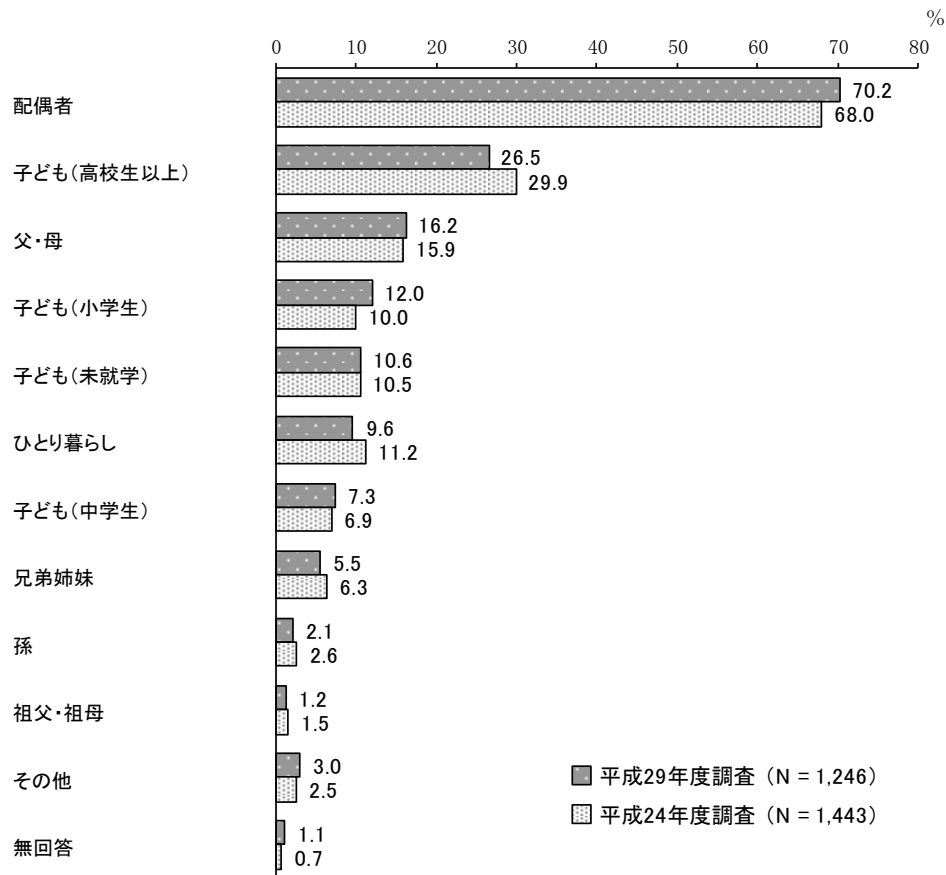
「芝久保町」の割合が10.4%と最も高くなっています。



問4 現在、同居されているご家族はどなたですか。(〇はいくつでも)

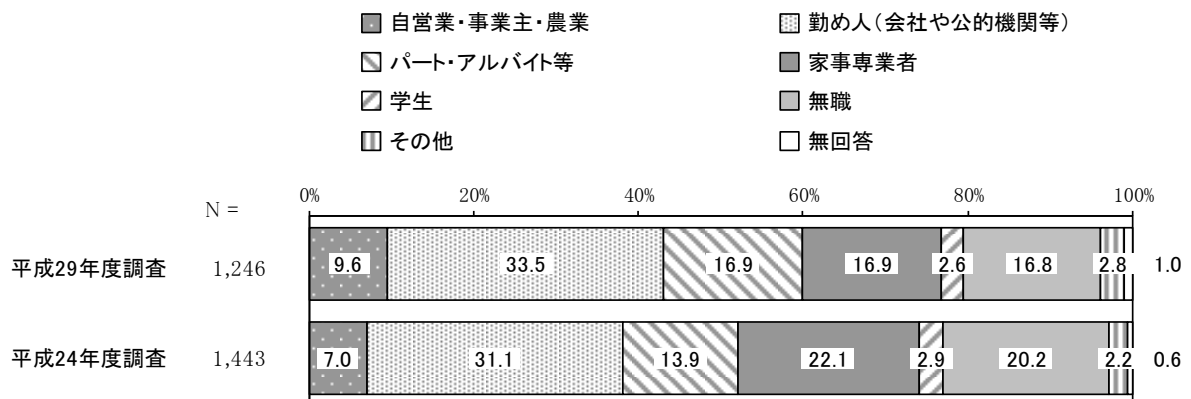
「配偶者」の割合が70.2%と最も高く、次いで「子ども(高校生以上)」の割合が26.5%、「父・母」の割合が16.2%となっています。

平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 現在の職業をお答えください。(〇は1つ)

「勤め人(会社や公的機関等)」の割合が33.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等」、「家事専業者」の割合が16.9%となっています。



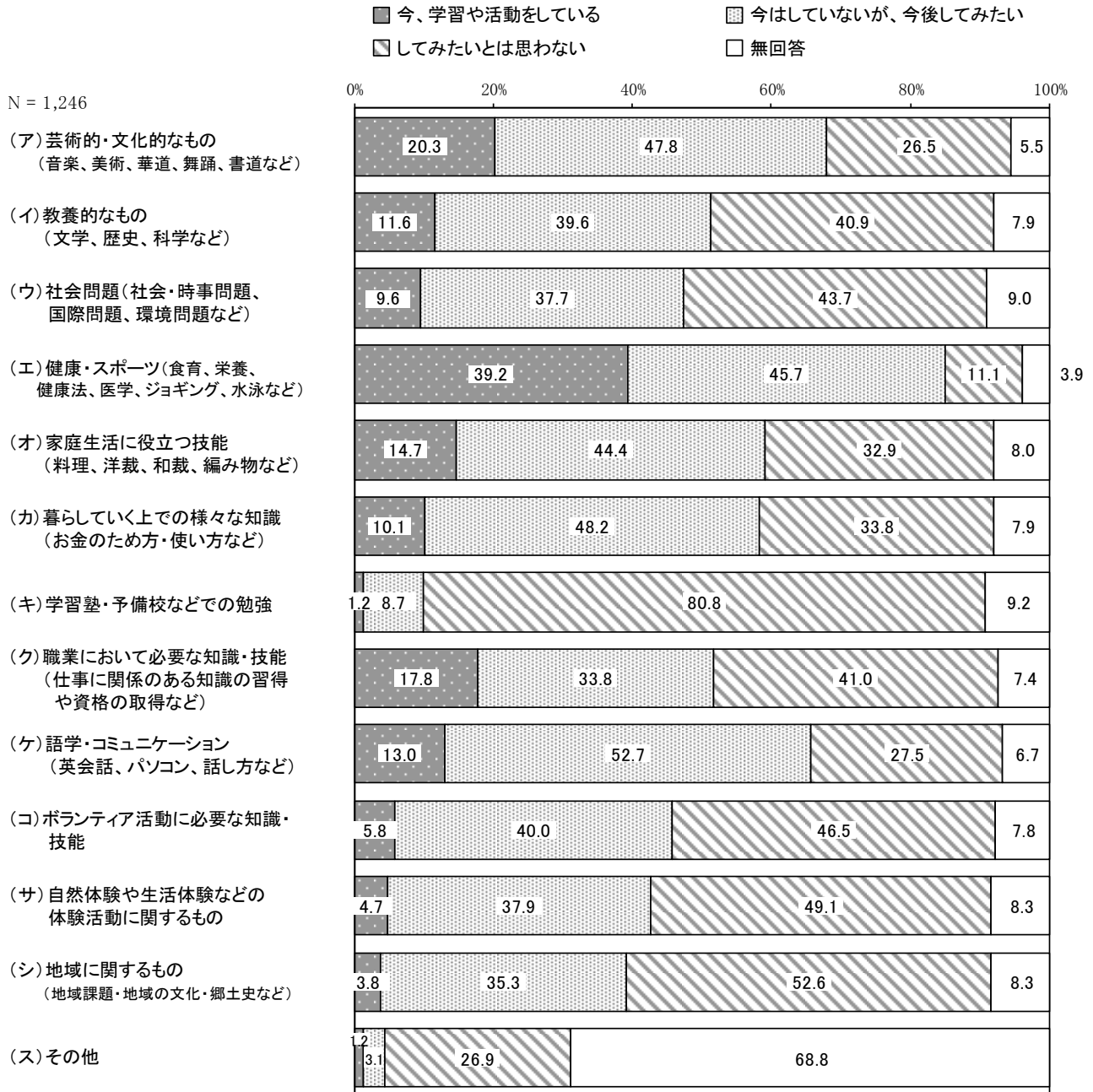
〈一般市民調査〉

(2) ご自身の学習や活動について

問6 現在、どのような学習や活動をしていますか。また、今後してみたいと思いますか。次の(ア)～(ス)のそれぞれの項目についてお答えください。  
(○は(ア)～(ス)ごとに1つずつ)

【平成29年度調査】

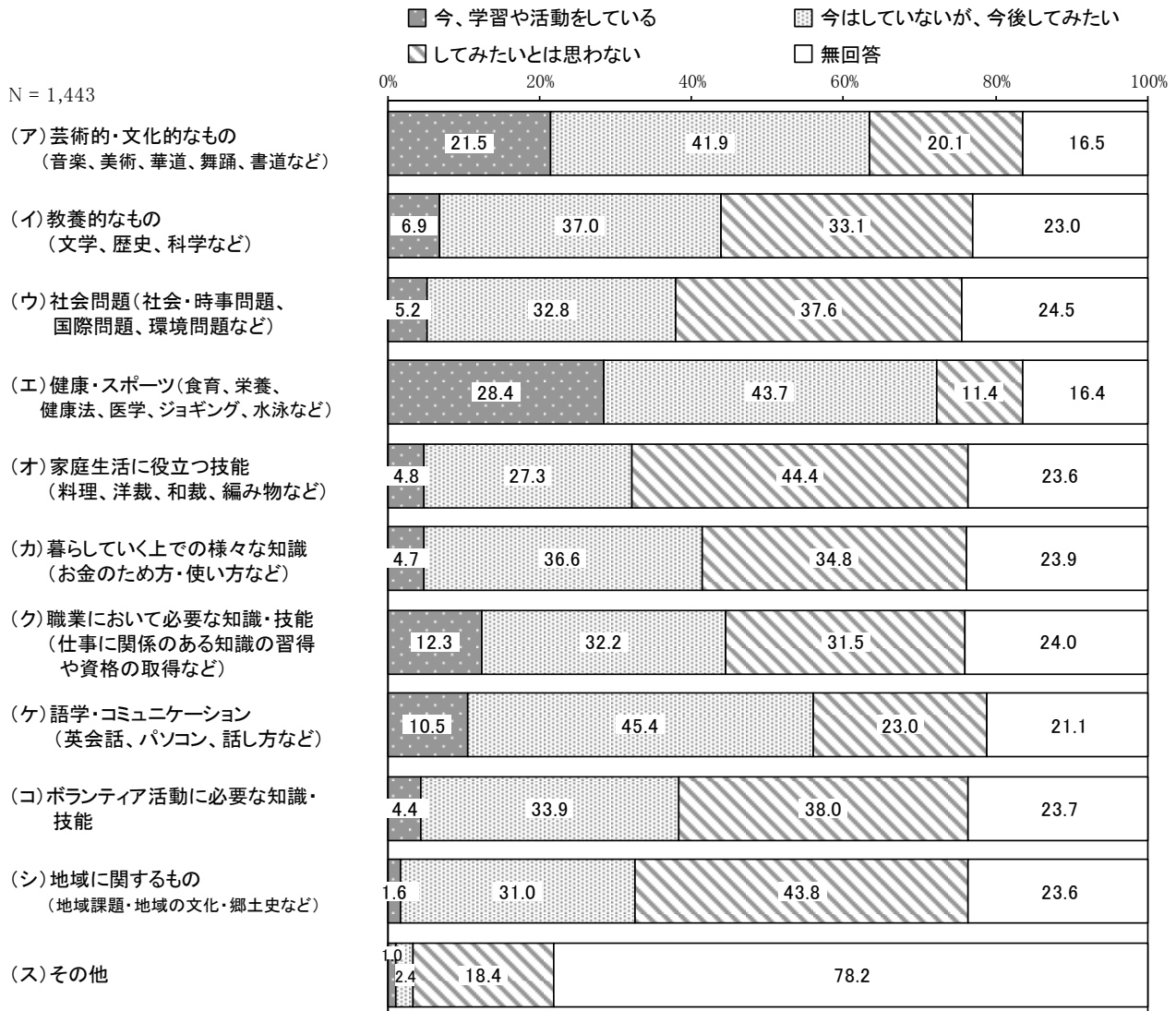
N = 1,246





【平成 24 年度調査】

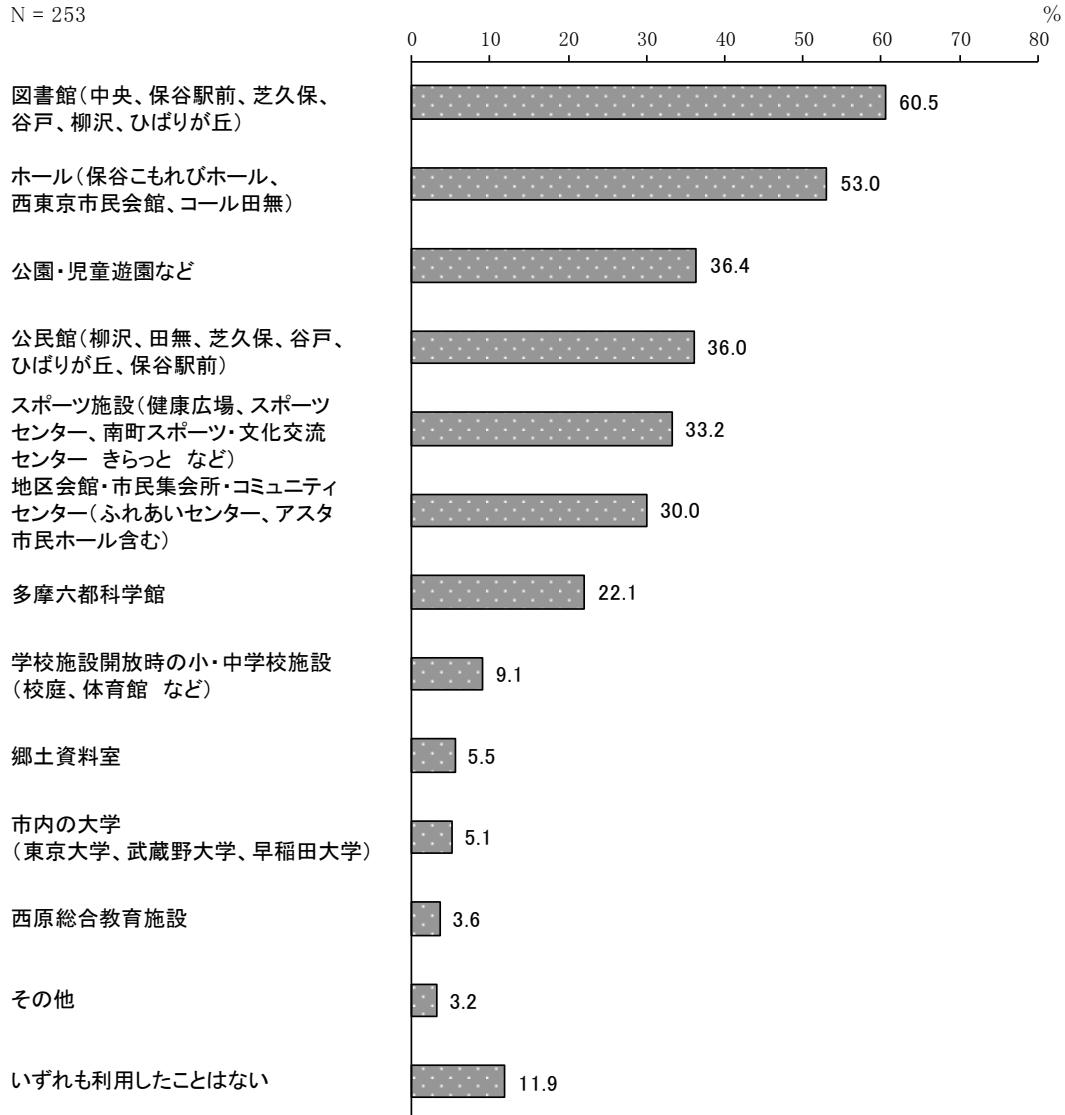
N = 1,443



〈一般市民調査〉

【(ア) 芸術的・文化的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

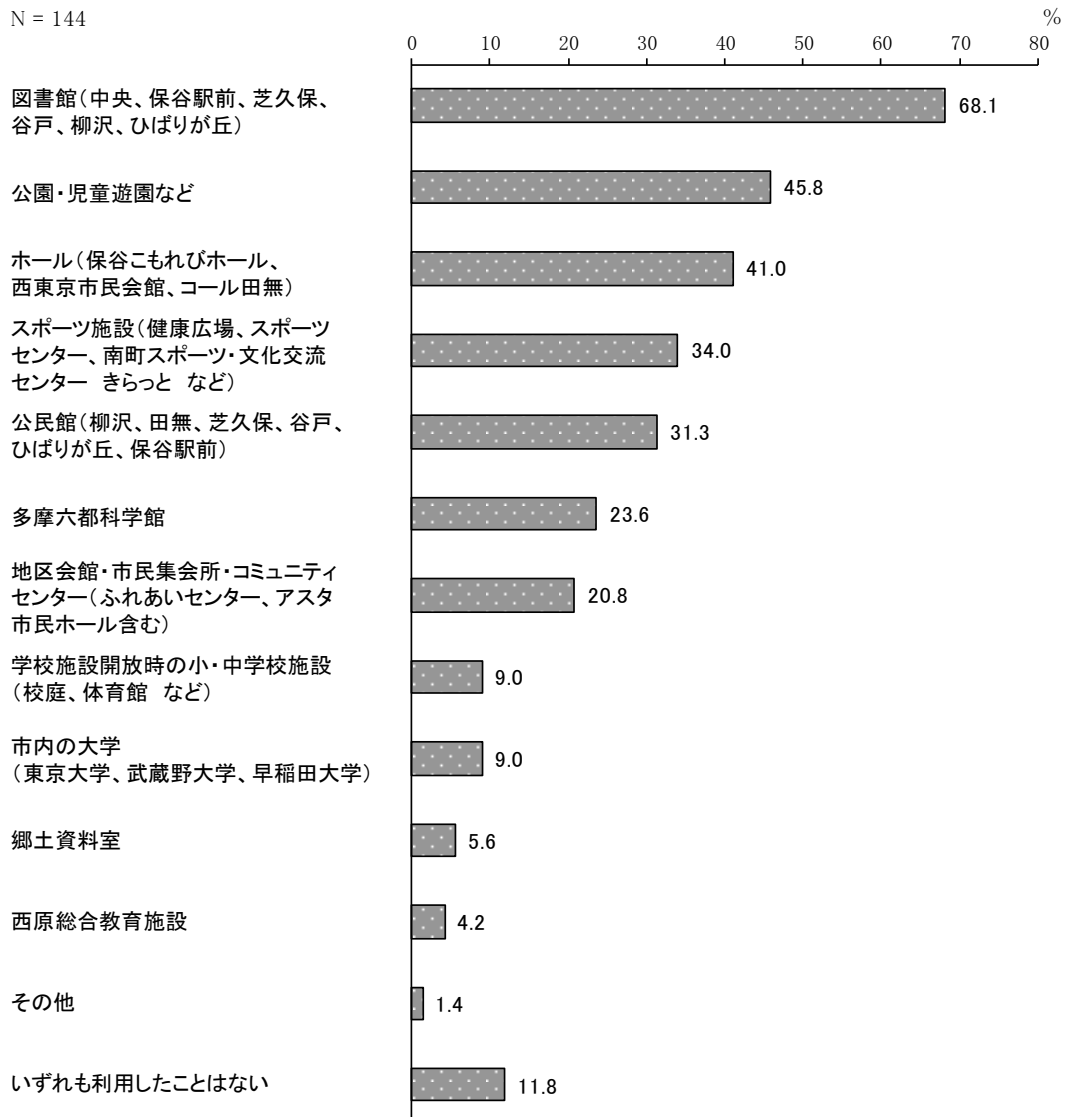
「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」「ホール（保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無）」の割合が高くなっています。



【(イ) 教養的なもの（文学、歴史、科学など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

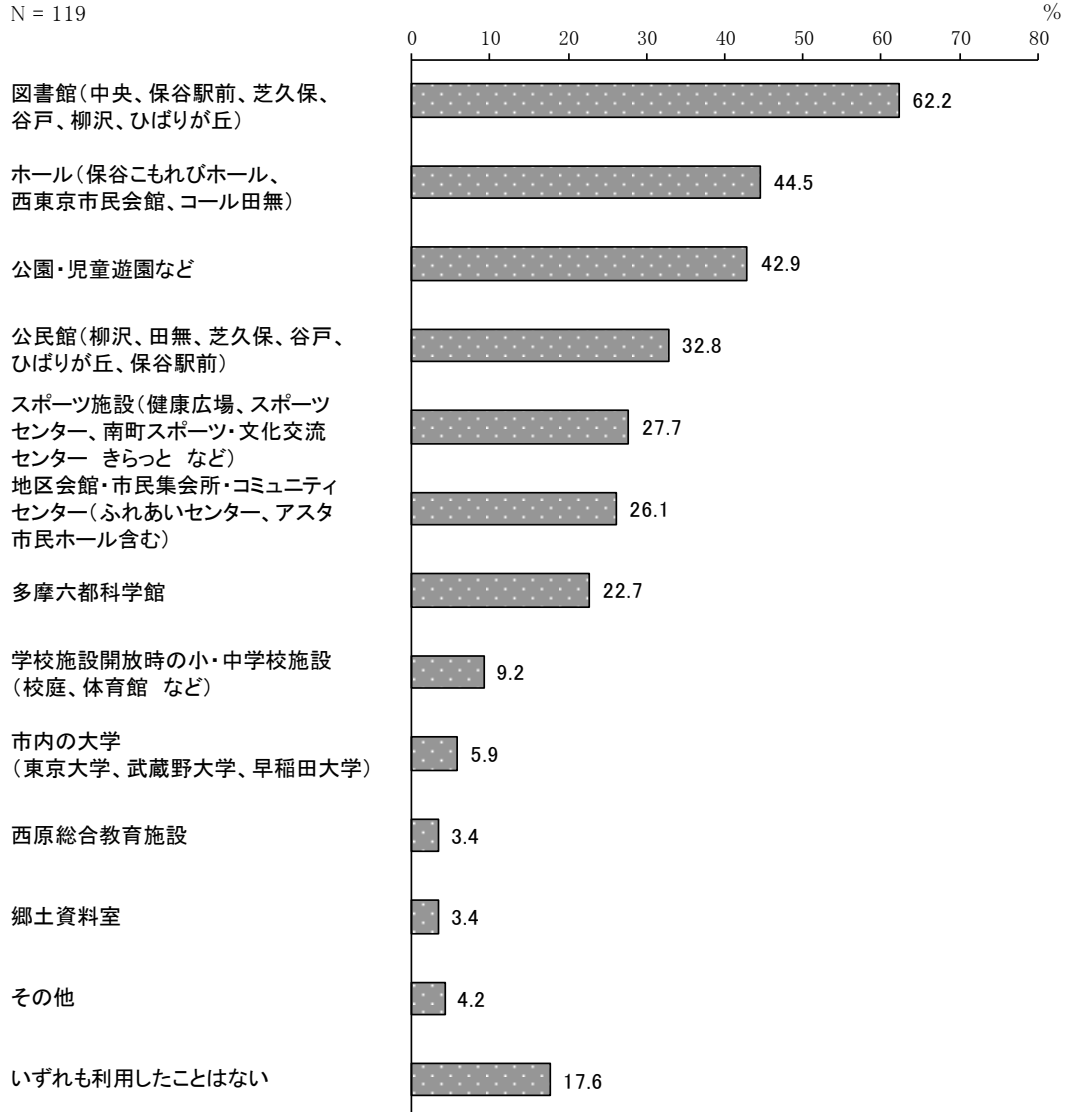
N = 144



〈一般市民調査〉

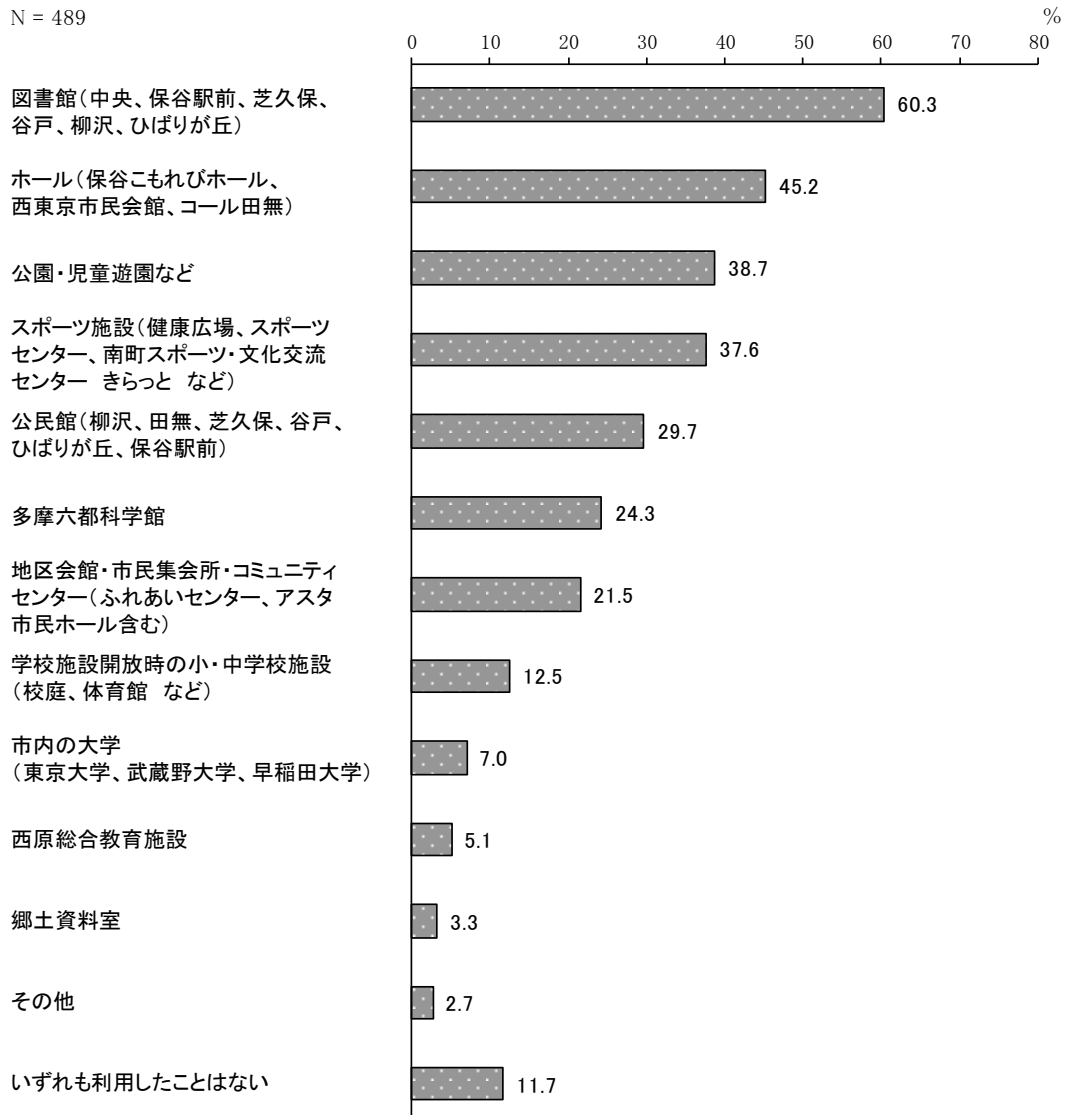
【(ウ) 社会問題（社会・時事問題、国際問題、環境問題など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。



【(エ) 健康・スポーツ（食育、栄養、健康法、医学、ジョギング、水泳など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

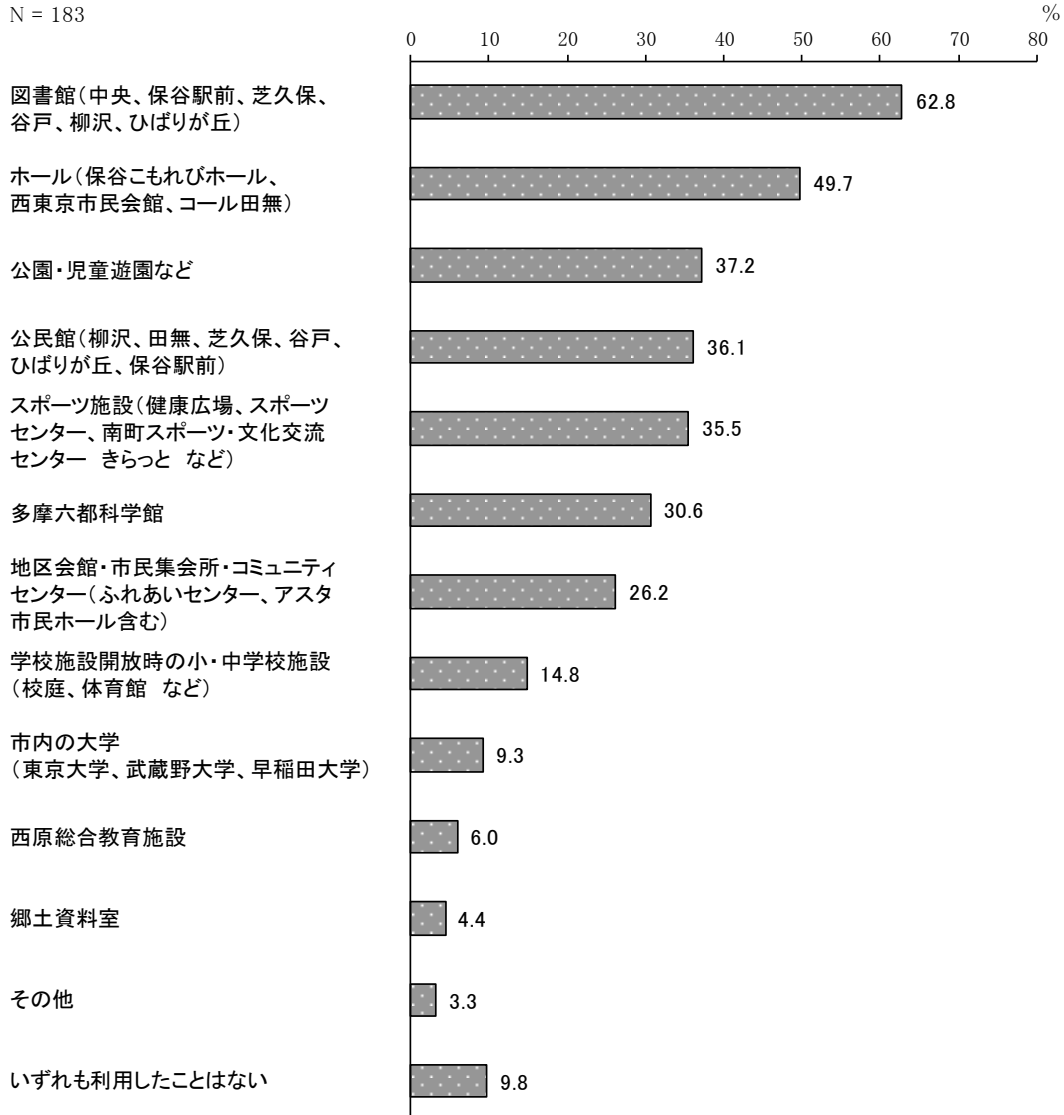


〈一般市民調査〉

【(オ) 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」「ホール（保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無）」の割合が高くなっています。

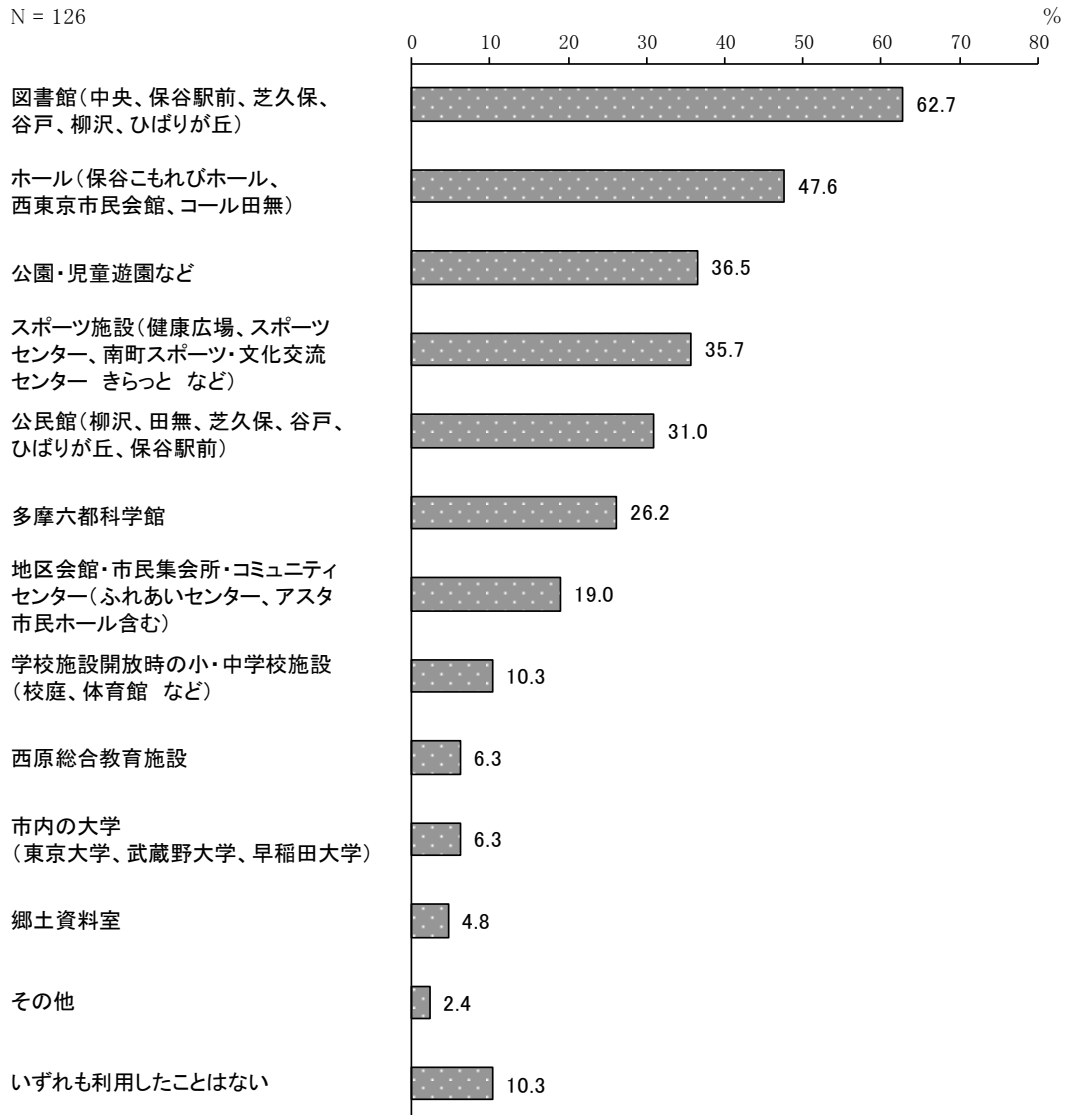
N = 183



【(カ) 暮らしていく上での様々な知識（お金のため方・使い方など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

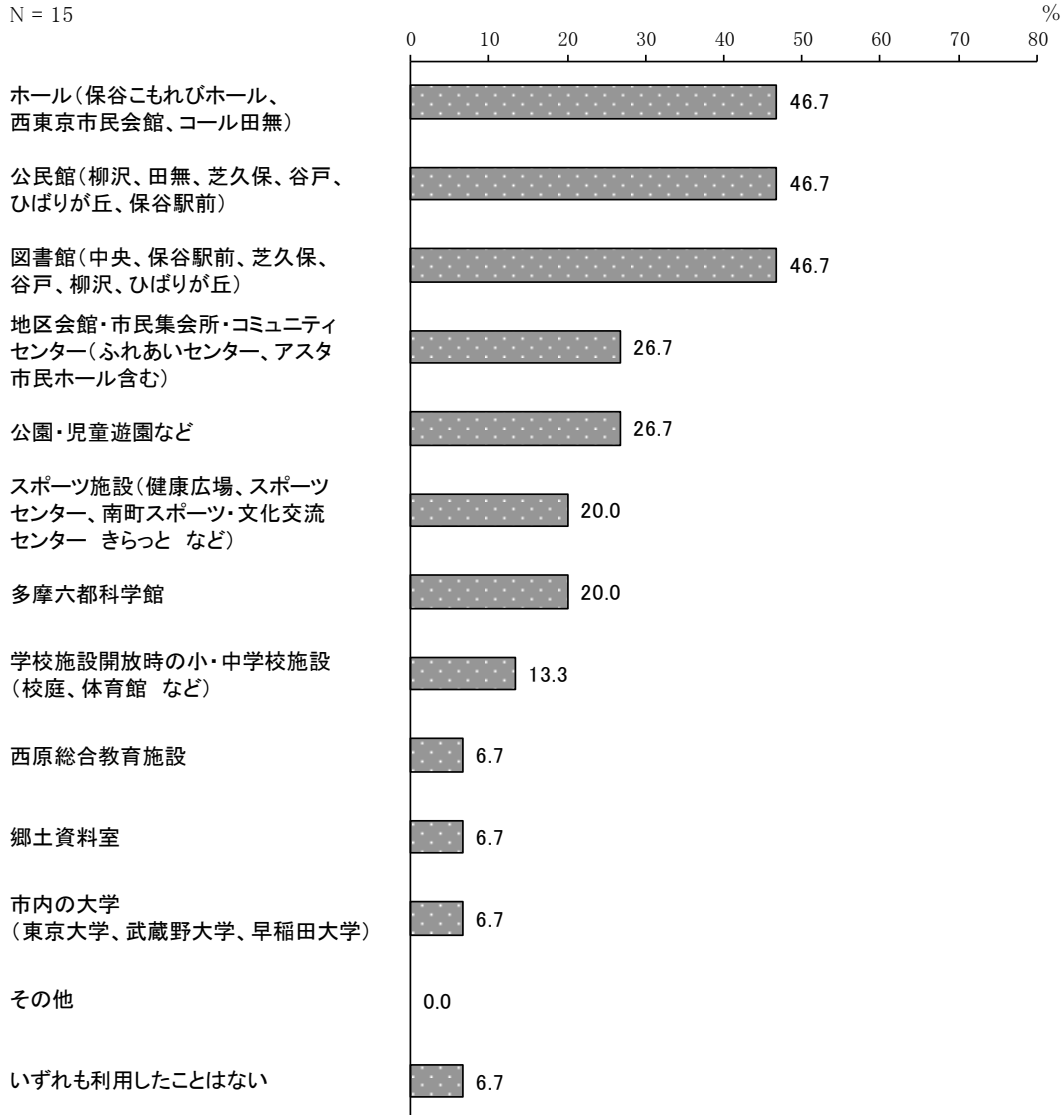
N = 126



〈一般市民調査〉

【(キ) 学習塾・予備校などでの勉強を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「ホール（保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無）」「公民館（柳沢、田無、芝久保、谷戸、ひばりが丘、保谷駅前）」「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

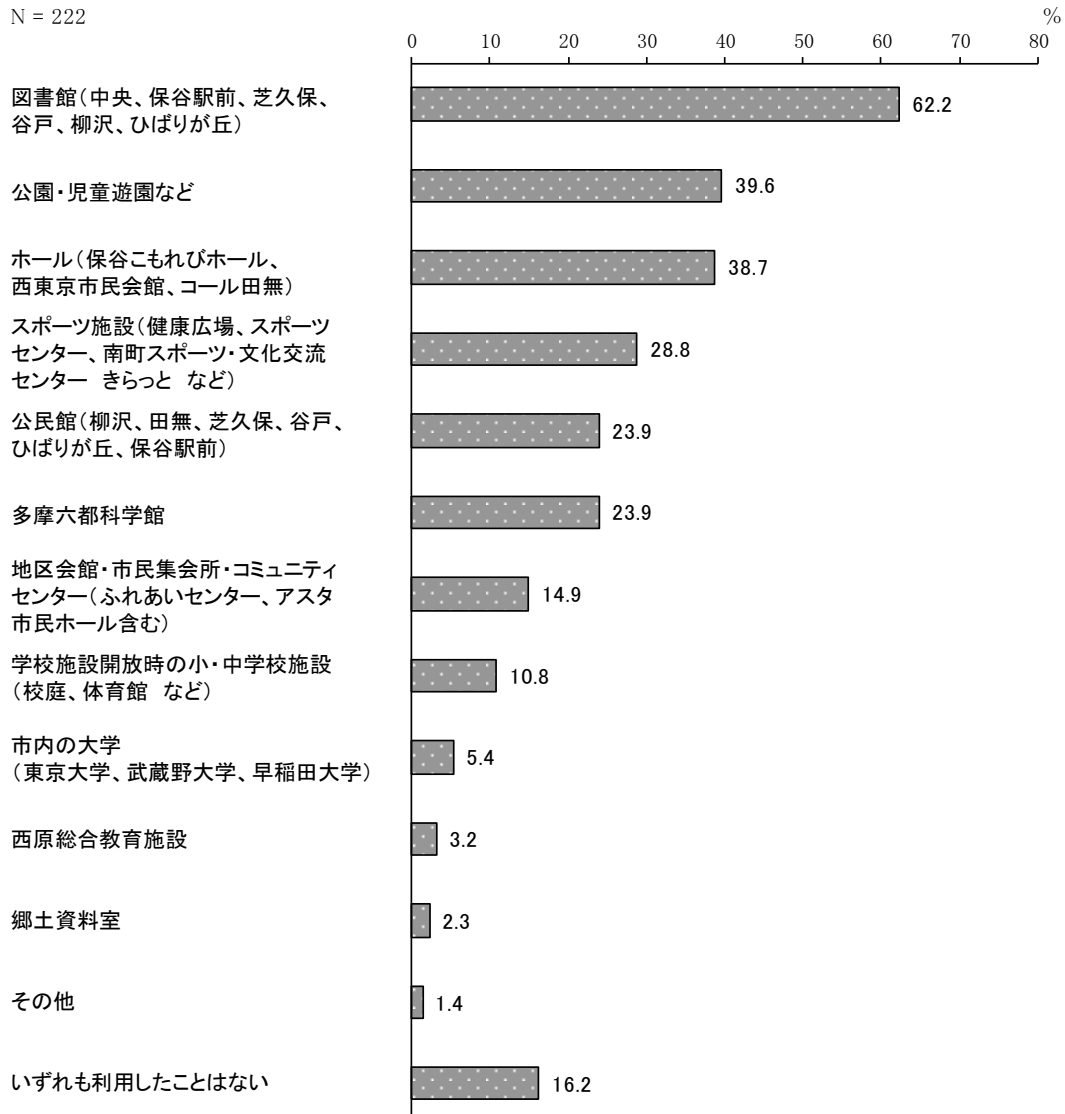




【(ク) 職業において必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。

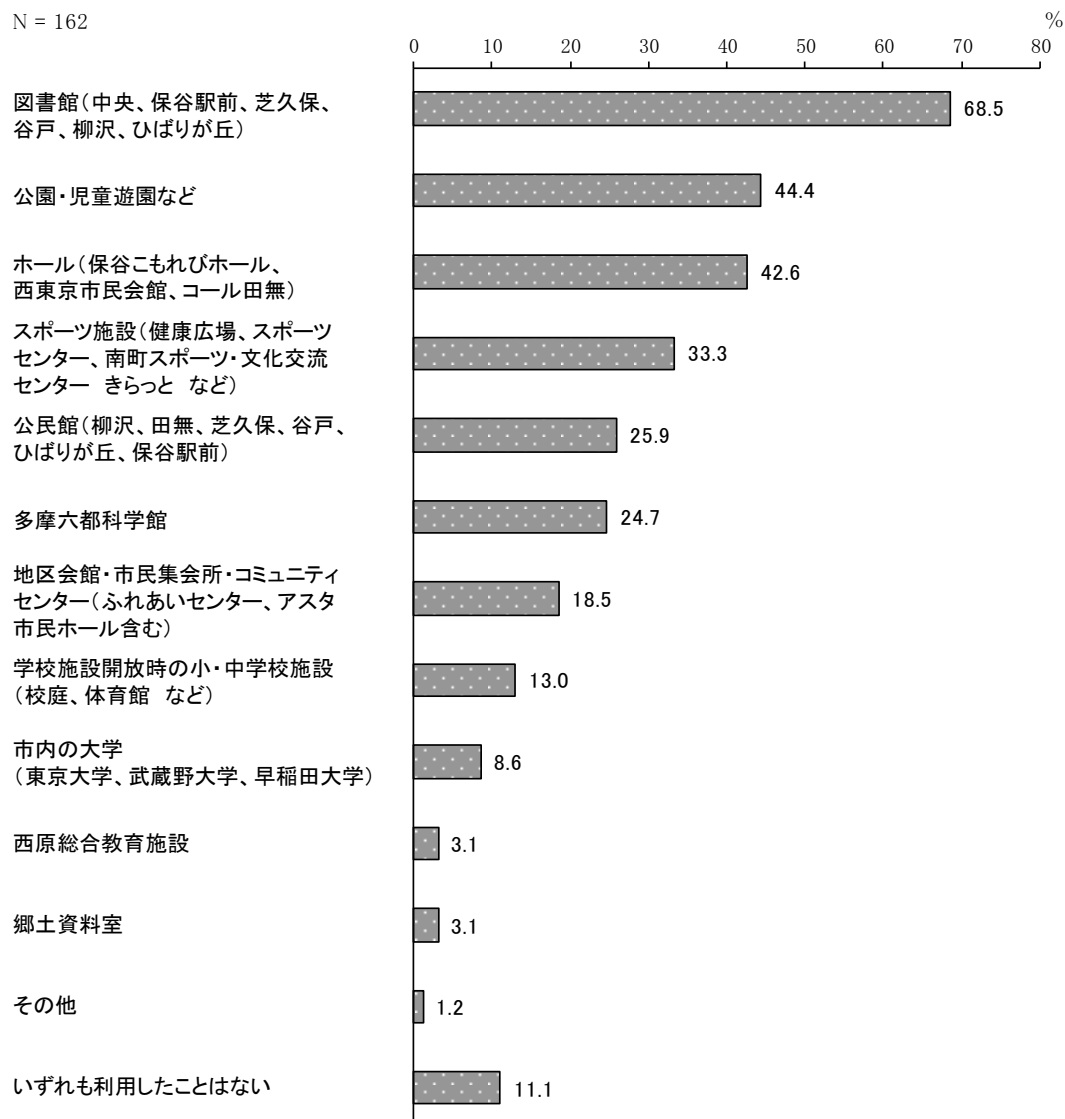
N = 222



〈一般市民調査〉

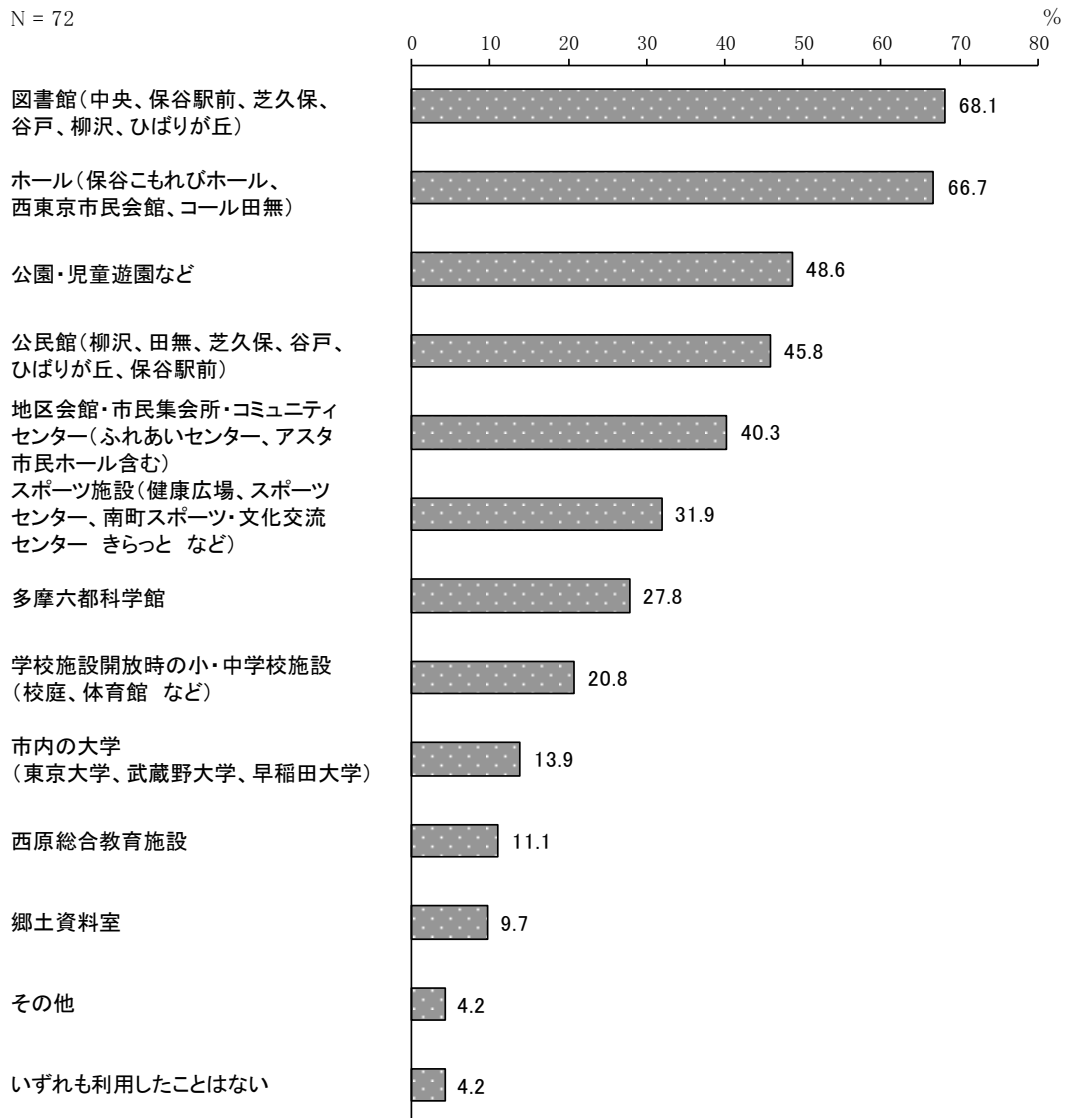
【(ケ) 語学・コミュニケーション（英会話、パソコン、話し方など）を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」の割合が高くなっています。



【(コ) ボランティア活動に必要な知識・技能を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

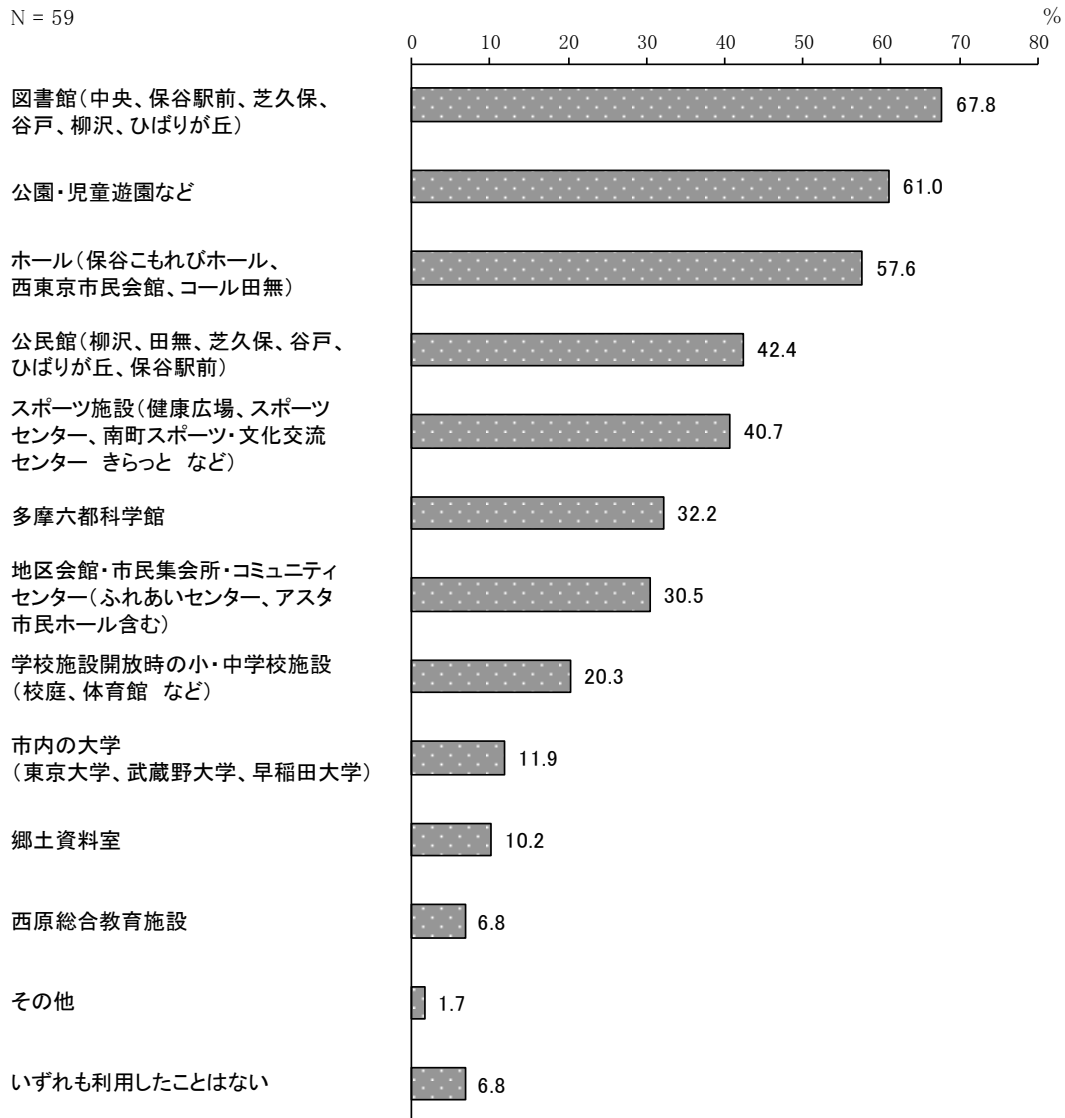
「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」「ホール（保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無）」の割合が高くなっています。



〈一般市民調査〉

【(サ) 自然体験や生活体験などの体験活動に関するものを「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

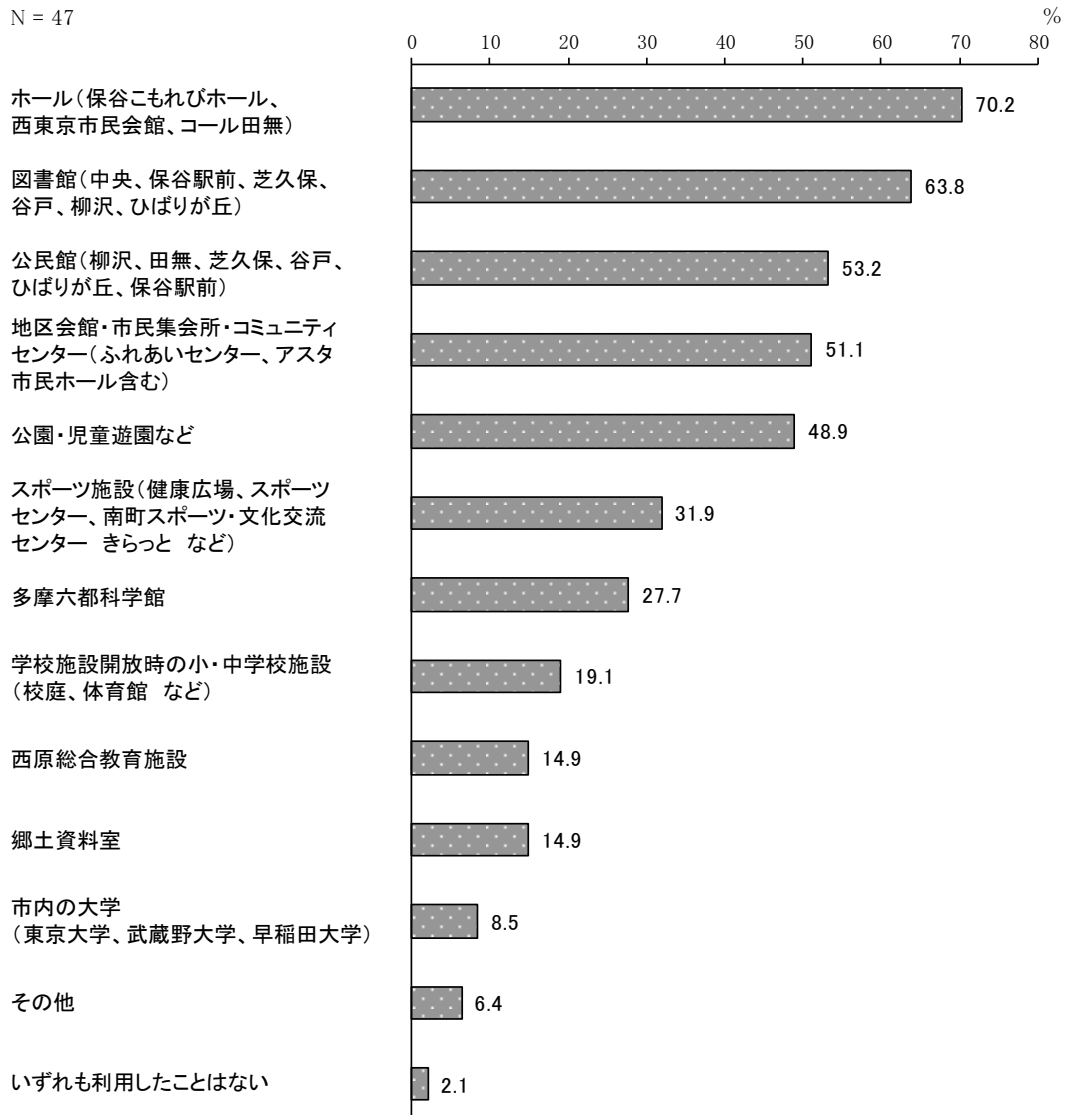
「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘）」「公園・児童遊園など」「ホール（保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無）」の割合が高くなっています。



【(シ) 地域に関するもの(地域課題・地域の文化・郷土史など)を「今、学習や活動をしている人」が、1年間で利用したことがある施設】

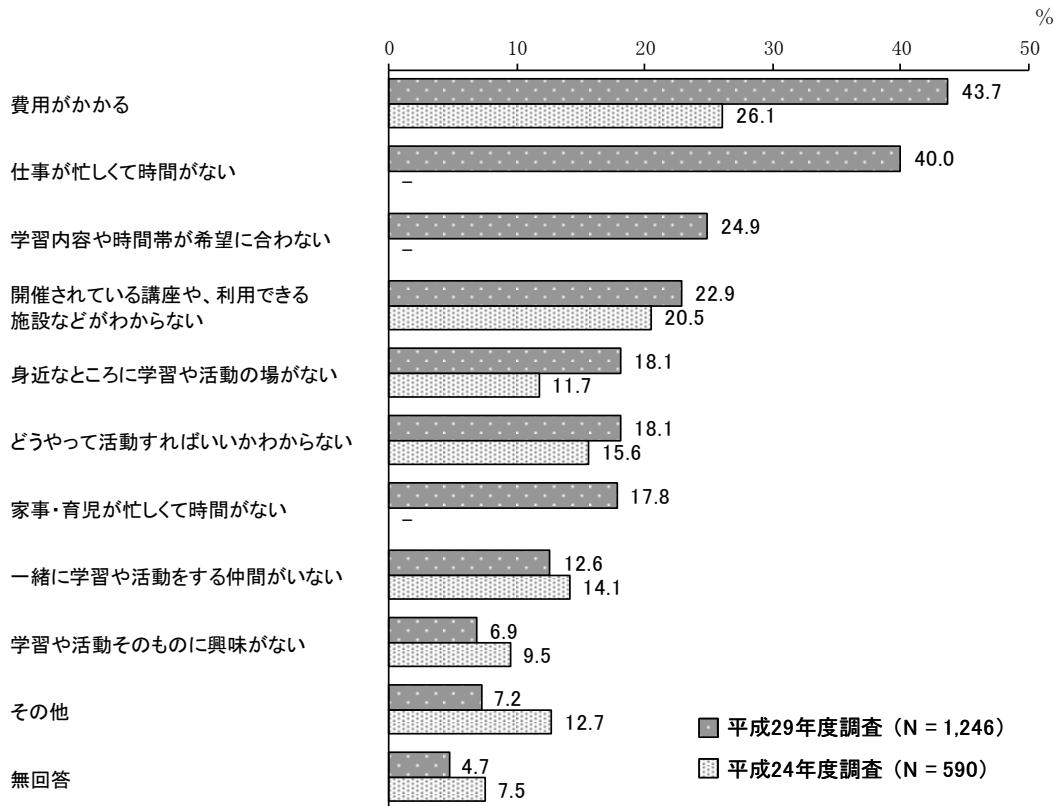
「ホール(保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無)」「図書館(中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘)」「公民館(柳沢、田無、芝久保、谷戸、ひばりが丘、保谷駅前)」「地区会館・市民集会所・コミュニティセンター(ふれあいセンター、アスタ市民ホール含む)」の割合が高くなっています。

N = 47



問7 生涯学習を行うにあたってお困りの点は何ですか。次の理由の中から、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

「費用がかかる」の割合が43.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がない」の割合が40.0%、「学習内容や時間帯が希望に合わない」の割合が24.9%となっています。



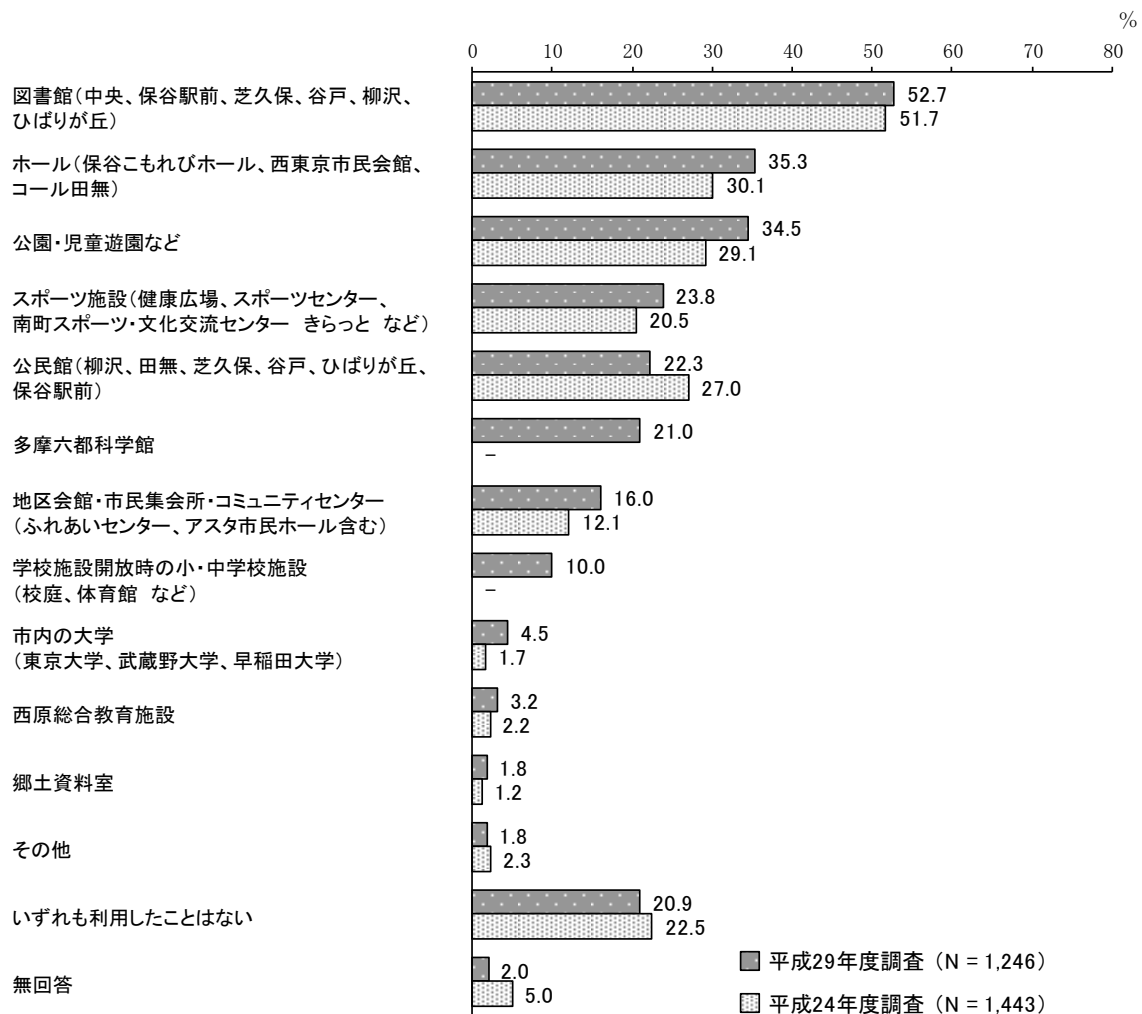
※平成24年度調査には「仕事が忙しくて時間がない」「家事・育児が忙しくて時間がない」の選択肢はありません。

また、平成24年度調査では、対象者を「今、学習や活動をしているものが1つもない」と回答した人に限定しています。

問8 この1年間で、西東京市内の次の施設を利用したことがありますか。利用したことがある施設を全てお答えください。(〇はいくつでも)

「図書館(中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘)」の割合が52.7%と最も高く、次いで「ホール(保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無)」の割合が35.3%、「公園・児童遊園など」の割合が34.5%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「ホール(保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無)」 「公園・児童遊園など」の割合が増加しています。

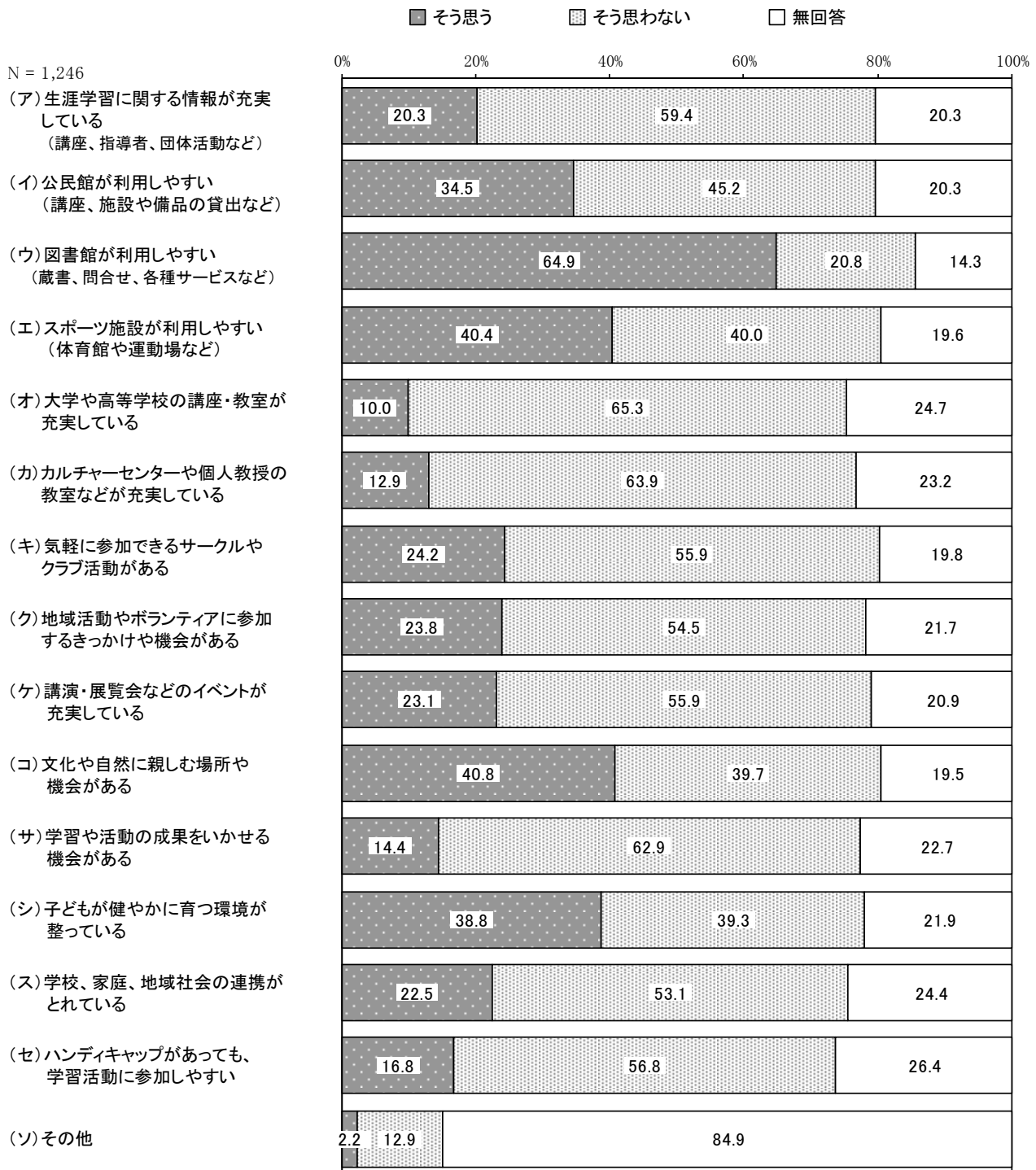


※平成24年度調査には「多摩六都科学館」「学校施設開放時の小・中学校施設(校庭、体育館 など)」の選択肢はありません。

〈一般市民調査〉

問9 現在の西東京市の学習環境について、あてはまると思うものをお答えください。  
(○は(ア)～(ソ)ごとに1つ)

(ウ) 図書館が利用しやすい(蔵書、問合せ、各種サービスなど)で「そう思う」の割合が高く、64.9%となっています。また、(オ) 大学や高等学校の講座・教室が充実している、(カ) カルチャーセンターや個人教授の教室などが充実している、(サ) 学習や活動の成果をいかせる機会があるで「そう思わない」の割合が高く、6割を超えています。

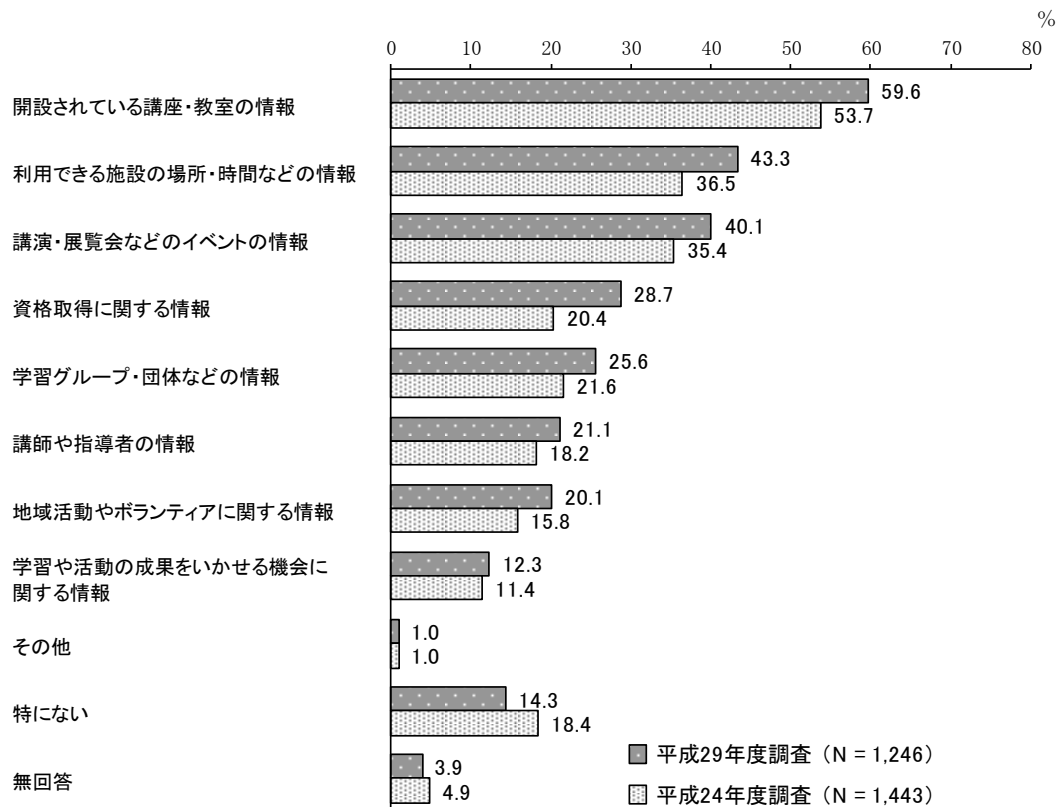




問 10 生涯学習に関して、どのような情報を知りたいと思いますか。  
(〇はいくつでも)

「開設されている講座・教室の情報」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「利用できる施設の場所・時間などの情報」の割合が 43.3%、「講演・展覧会などのイベントの情報」の割合が 40.1%となっています。

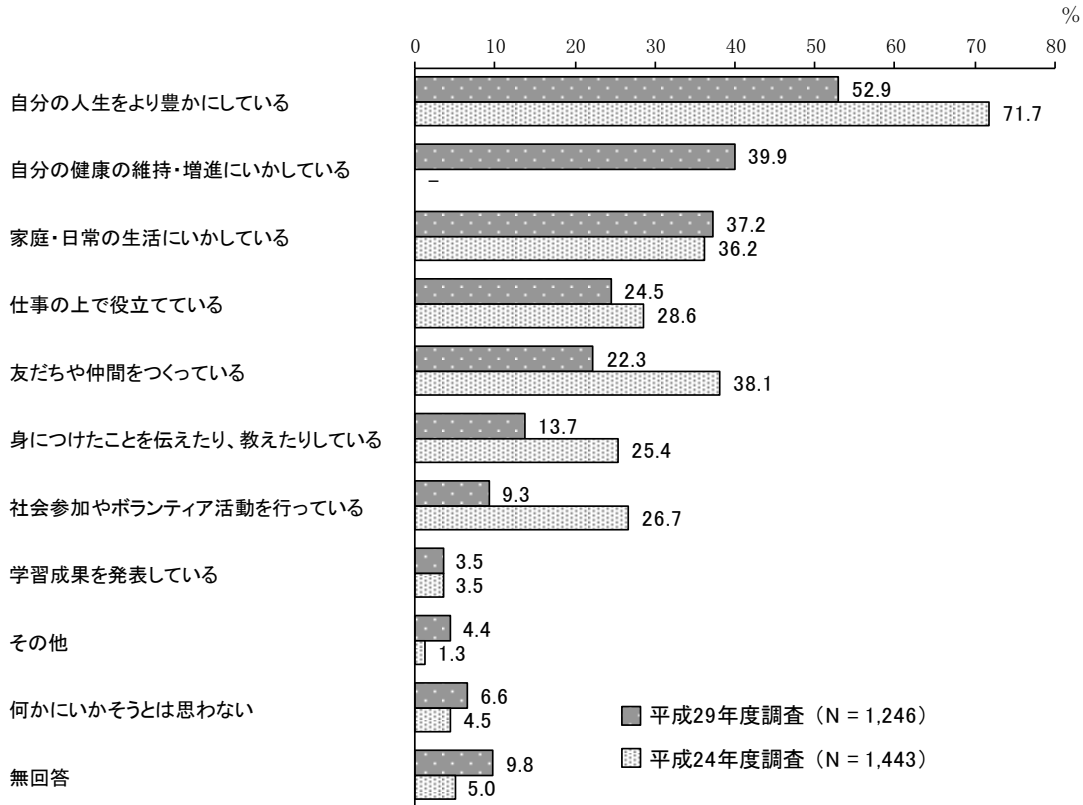
平成 24 年度調査と比較すると、「開設されている講座・教室の情報」「利用できる施設の場所・時間などの情報」「資格取得に関する情報」の割合が増加しています。



〈一般市民調査〉

問 11 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのようにいかしていますか。(〇はいくつでも)

「自分の人生をより豊かにしている」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「自分の健康の維持・増進にいかしている」の割合が 39.9%、「家庭・日常の生活にいかしている」の割合が 37.2%となっています。

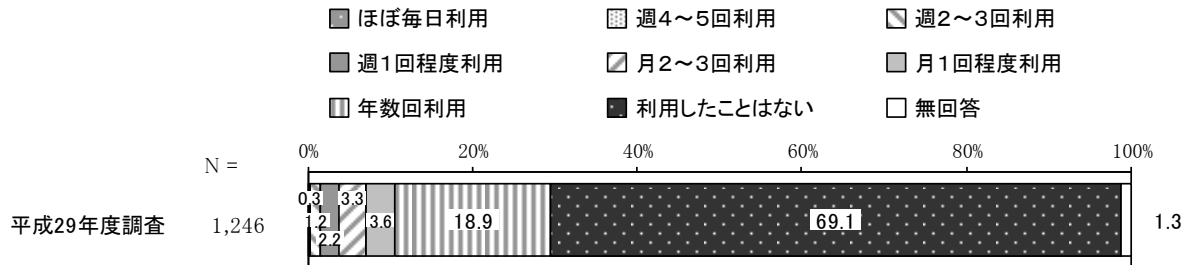


※平成 24 年度調査には「自分の健康の維持・増進にいかしている」の選択肢はありません。

### (3) 公民館について

問12 この1年間に、公民館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(〇は1つ)

「利用したことはない」の割合が69.1%と最も高く、次いで「年数回利用」の割合が18.9%となっています。

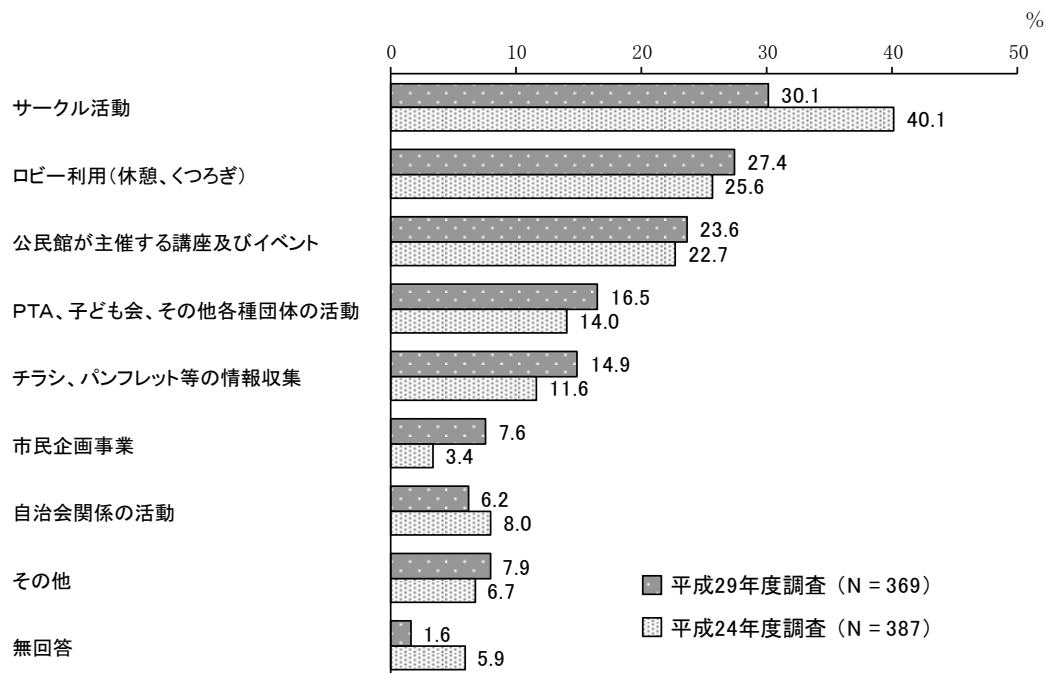


この1年間に公民館を利用した方にお尋ねします。

問13 公民館を利用する目的・内容は次のうちどれに当たりますか。(〇はいくつでも)

「サークル活動」の割合が30.1%と最も高く、次いで「ロビー利用(休憩、くつろぎ)」の割合が27.4%、「公民館が主催する講座及びイベント」の割合が23.6%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「サークル活動」の割合が減少しています。



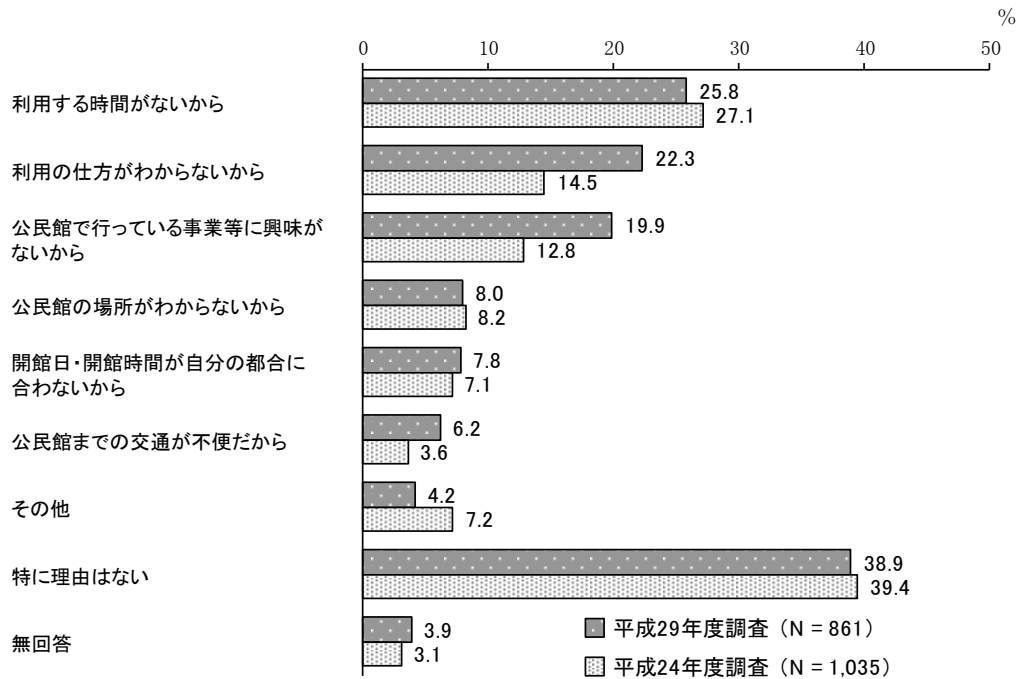
〈一般市民調査〉

この1年間に公民館を利用したことがない方にお尋ねします。

問14 公民館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「特に理由はない」の割合が38.9%と最も高く、次いで「利用する時間がないから」の割合が25.8%、「利用の仕方がわからないから」の割合が22.3%となっています。

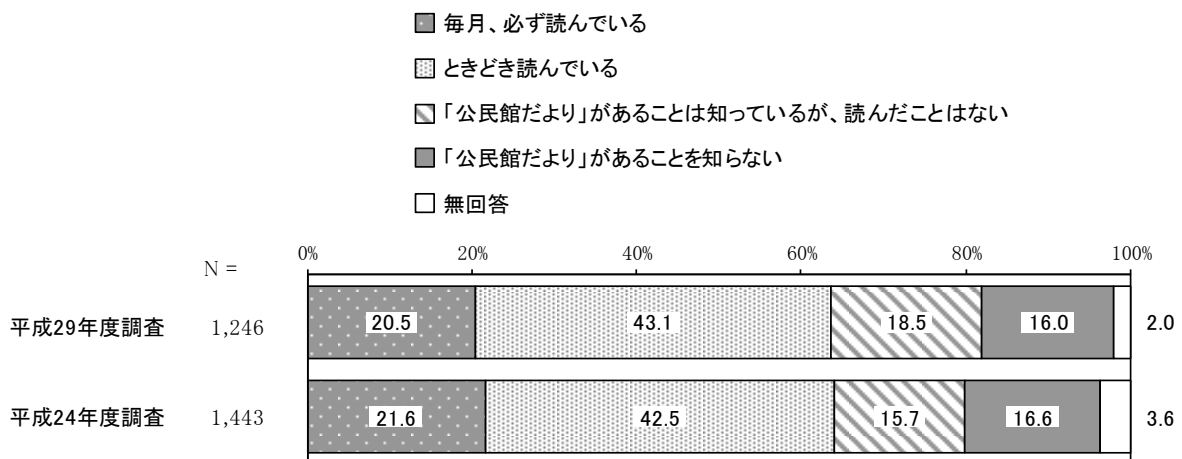
平成24年度調査と比較すると、「利用の仕方がわからないから」「公民館で行っている事業等に興味がないから」の割合が増加しています。



問15 毎月1日に全戸配布される「公民館だより」を読んでいますか。(〇は1つ)

「ときどき読んでいる」の割合が43.1%と最も高く、次いで「毎月、必ず読んでいる」の割合が20.5%、「「公民館だより」があることは知っているが、読んだことはない」の割合が18.5%となっています。

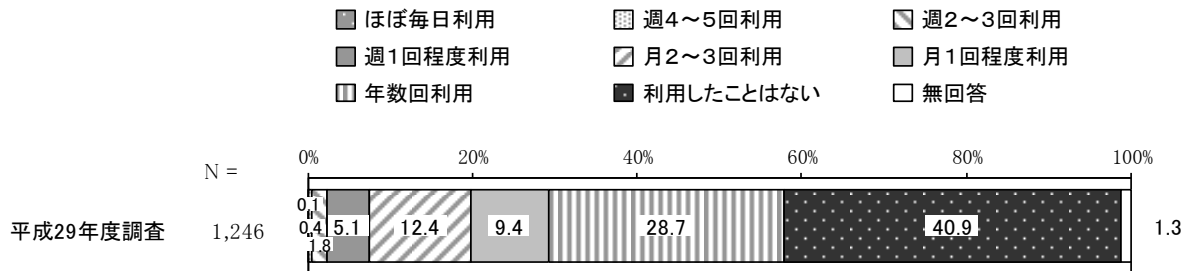
平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### (4) 図書館について

問16 この1年間に、市の図書館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(〇は1つ)

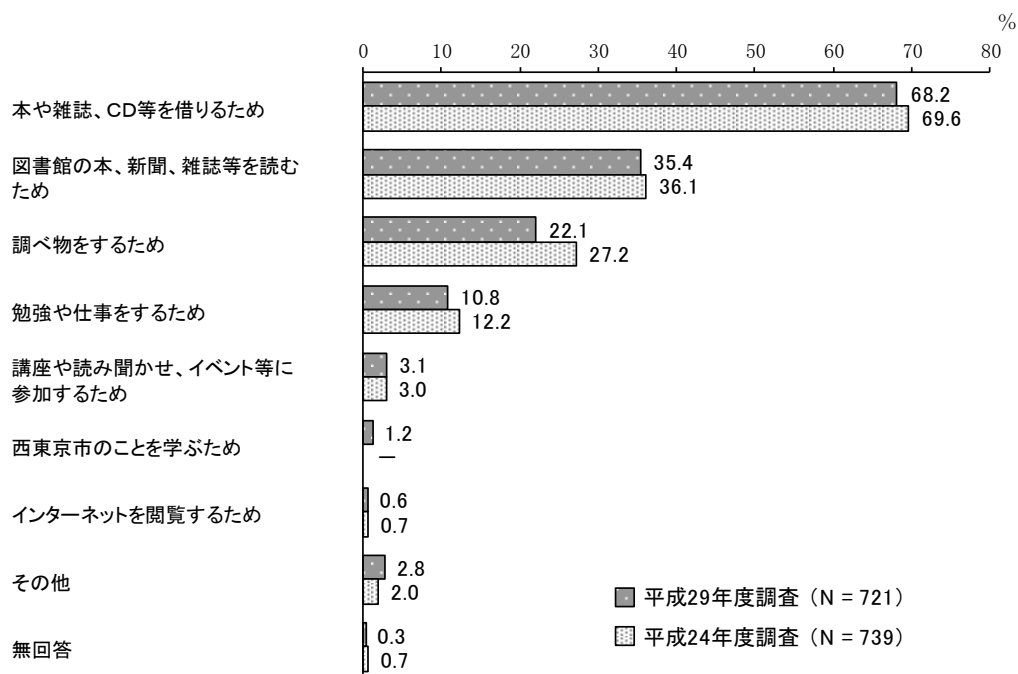
「利用したことはない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「年数回利用」の割合が28.7%、「月2～3回利用」の割合が12.4%となっています。



この1年間に図書館を利用した方にお尋ねします。

問17 図書館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

「本や雑誌、CD等を借りるため」の割合が68.2%と最も高く、次いで「図書館の本、新聞、雑誌等を読むため」の割合が35.4%、「調べ物をするため」の割合が22.1%となっています。



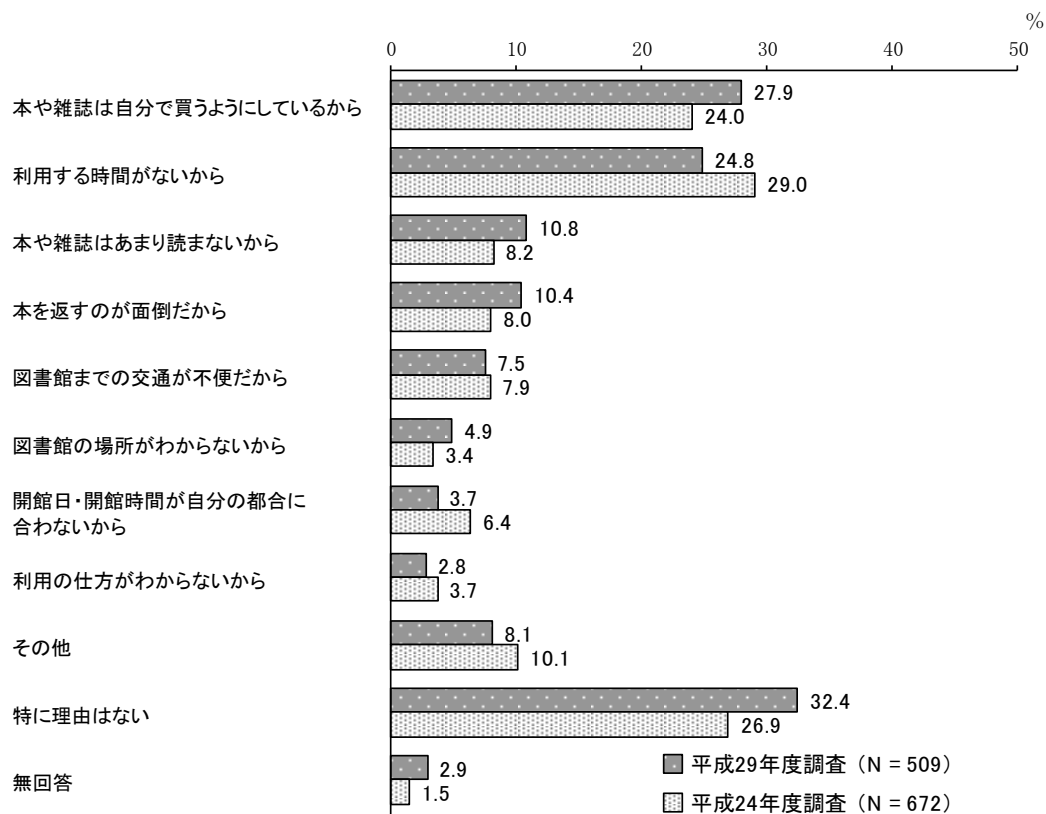
※平成24年度調査には「西東京市のことを学ぶため」の選択肢はありません。

〈一般市民調査〉

この1年間に図書館を利用したことがない方にお尋ねします。

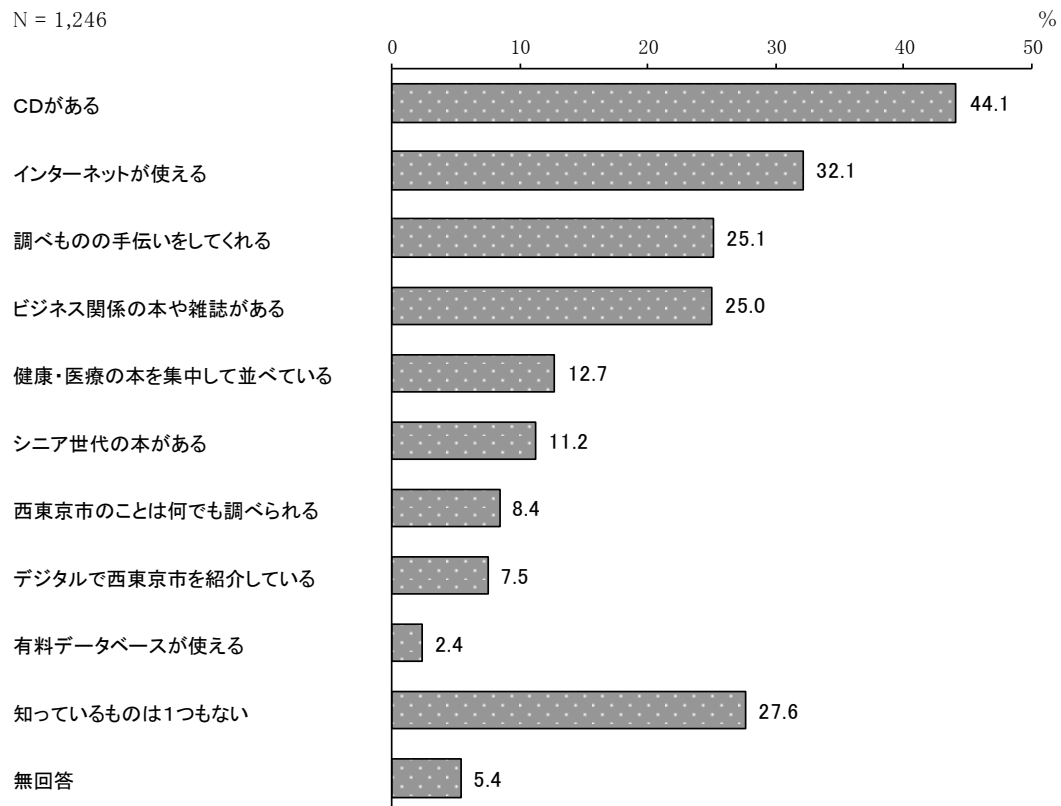
問18 図書館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「特に理由はない」の割合が32.4%と最も高く、次いで「本や雑誌は自分で買うようにしているから」の割合が27.9%、「利用する時間がないから」の割合が24.8%となっています。



問 19 図書館のサービスで知っているのはどれですか。(〇はいくつでも)

「CDがある」の割合が44.1%と最も高く、次いで「インターネットが使える」の割合が32.1%となっています。

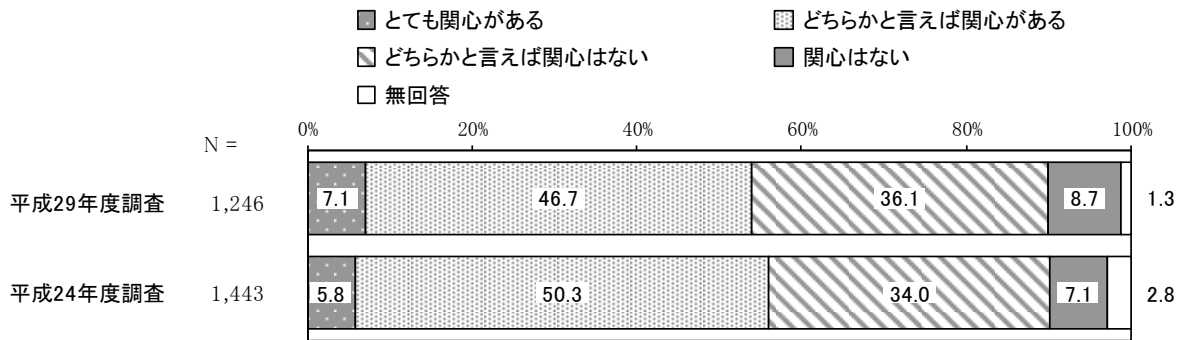


(5) 地域との関わりについて

問 20 地域に関心があるほうだと思いますか。(〇は1つ)

「とても関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が53.8%、「どちらかと言えば関心はない」と「関心はない」をあわせた“関心はない”の割合が44.8%となっています。

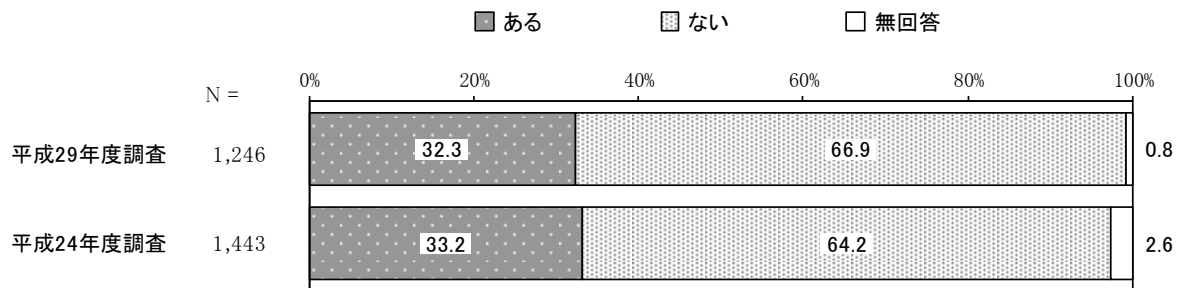
平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21 ふだん、地域の子どもたち（小・中学生）と接する機会がありますか。(〇は1つ)

「ある」の割合が32.3%、「ない」の割合が66.9%となっています。

平成24年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



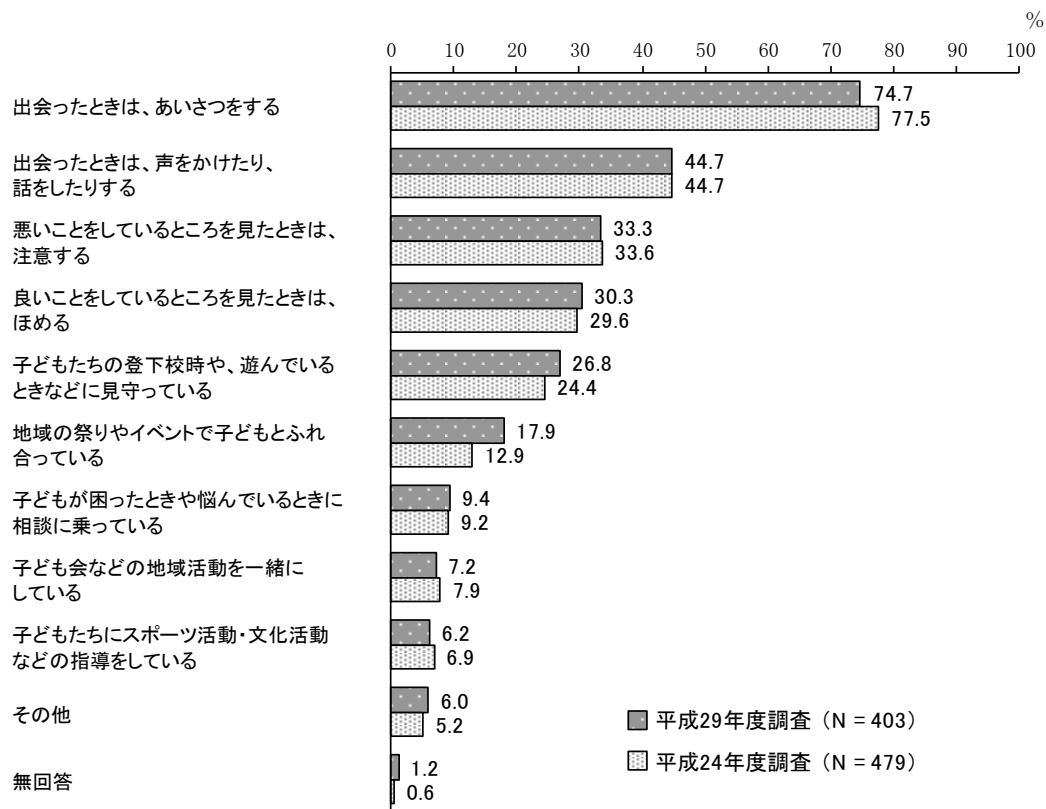


地域の子どもたちと接する機会がある方にお尋ねします。

**問 22 地域の子どもたち（小・中学生）とどのように接していますか。**  
 （〇はいくつでも）

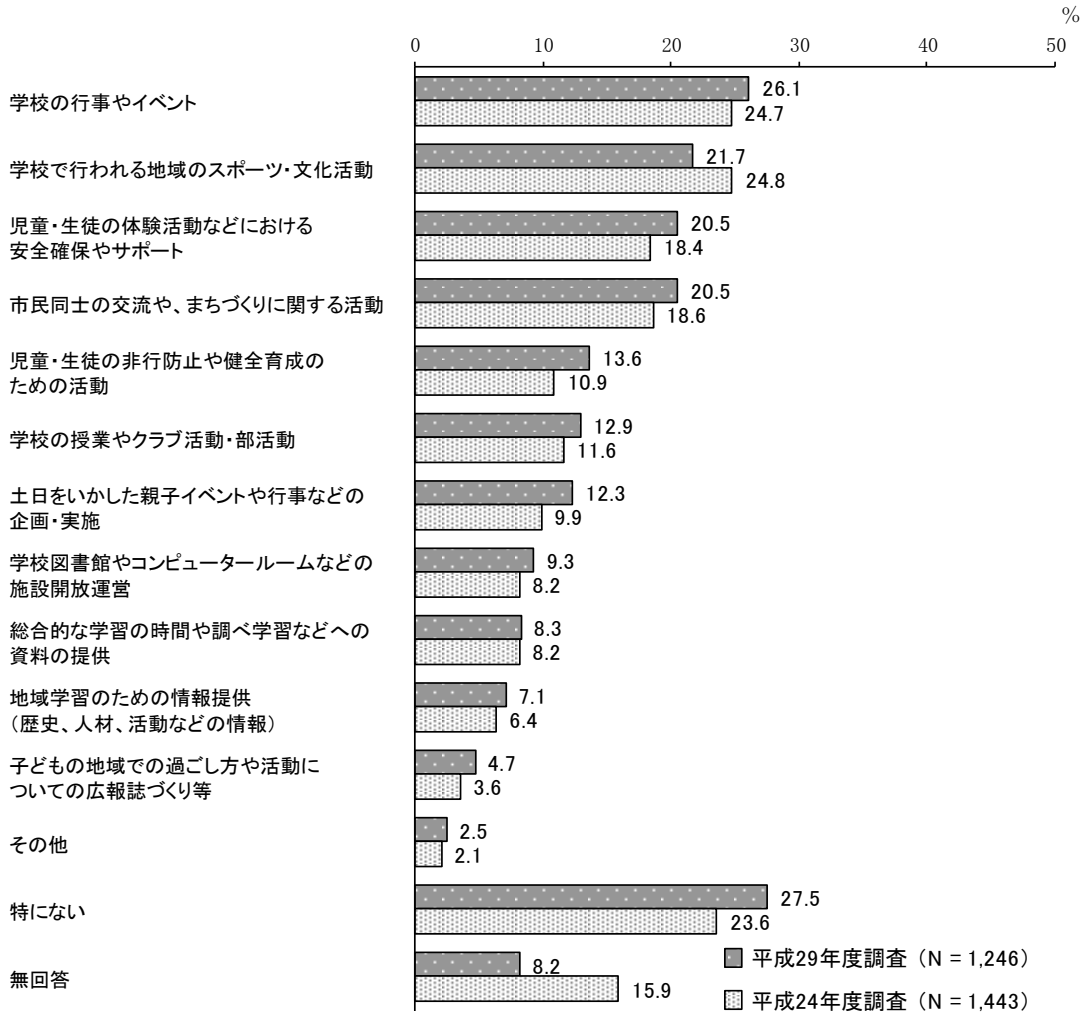
「出会ったときは、あいさつをする」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「出会ったときは、声をかけたり、話をしたりする」の割合が 44.7%、「悪いことをしているところを見たときは、注意する」の割合が 33.3%となっています。

平成 24 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



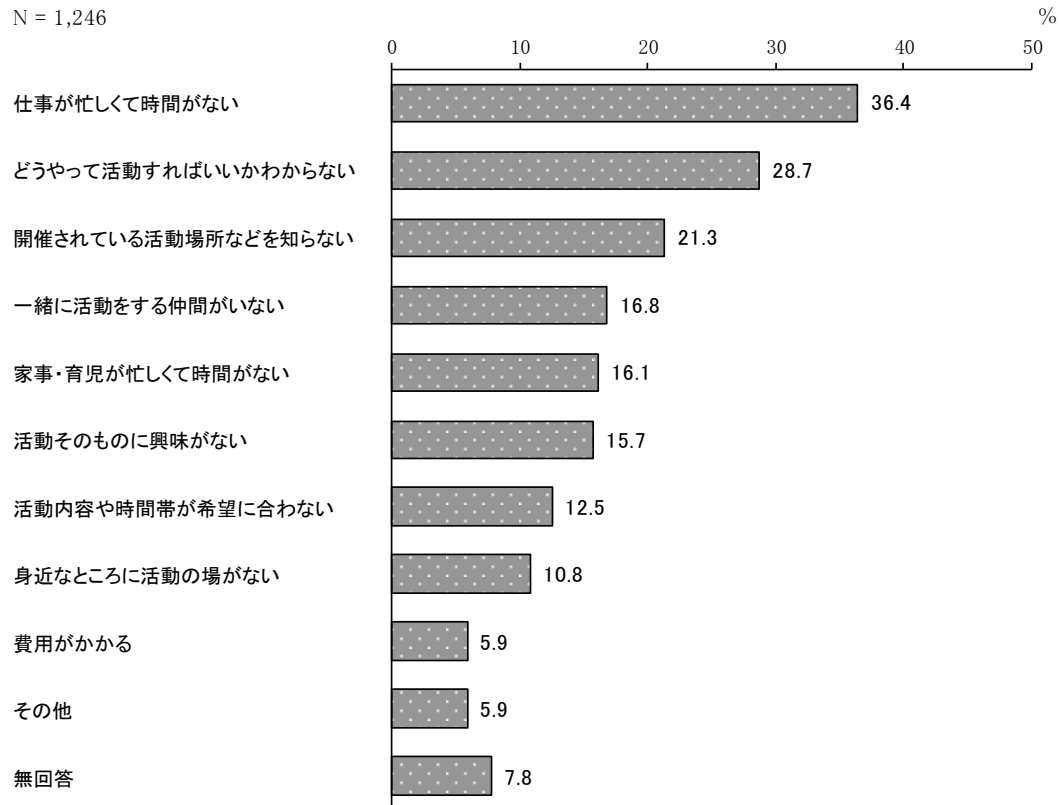
問 23 身近な小学校・中学校の取り組みやそこを拠点として行われる地域の活動について、どのようなことなら、参加・協力してもよいと思いますか。(〇はいくつでも)

「特にない」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「学校の行事やイベント」の割合が 26.1%、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」の割合が 21.7%となっています。



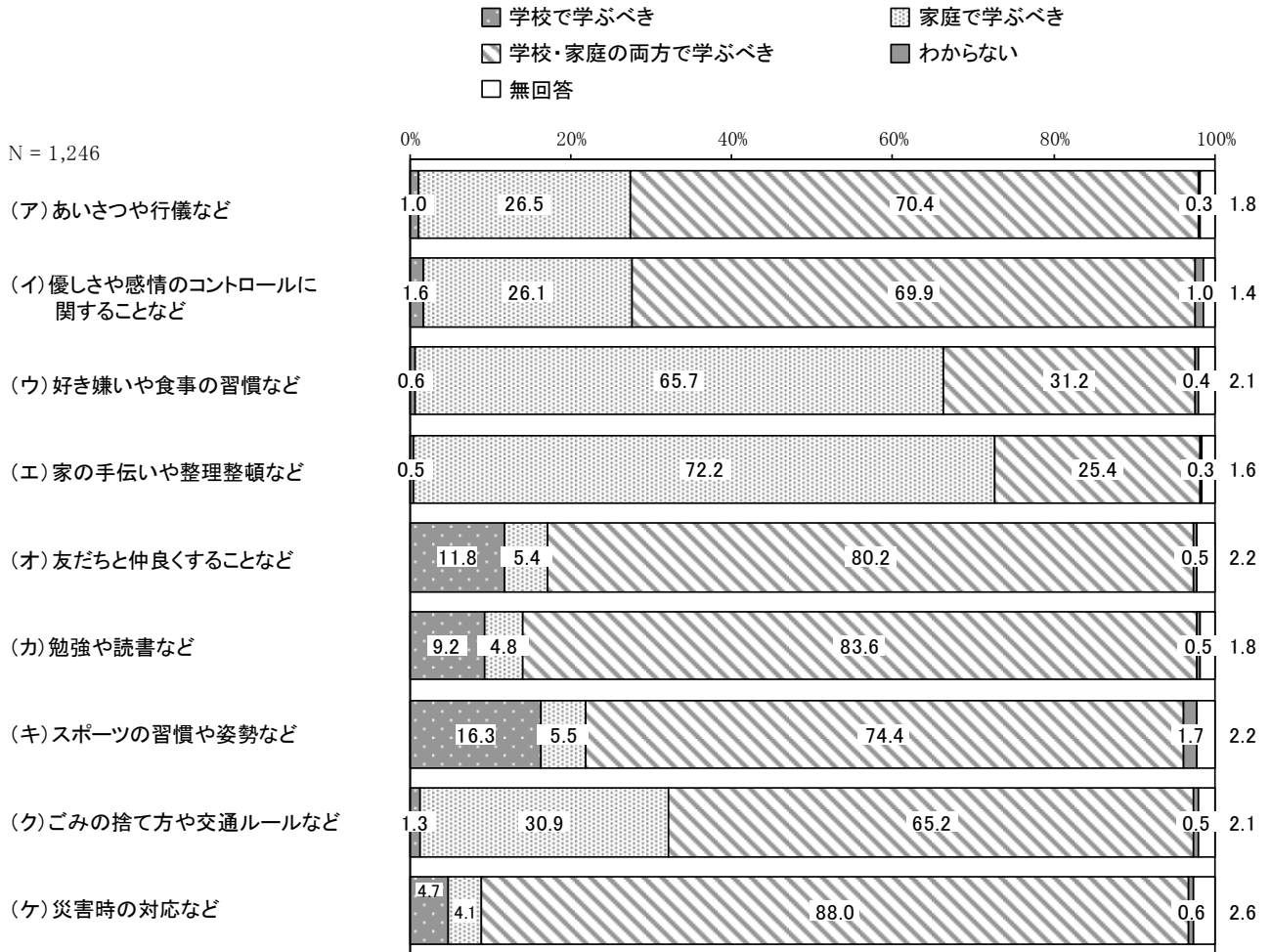
問 24 問 23 の地域の活動を行うにあたってお困りの点は何ですか。次の理由の中から、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

「仕事が忙しくて時間がない」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「どうやって活動すればいいかわからない」の割合が 28.7%、「開催されている活動場所などを知らない」の割合が 21.3%となっています。



(6) 地域や家庭での教育について

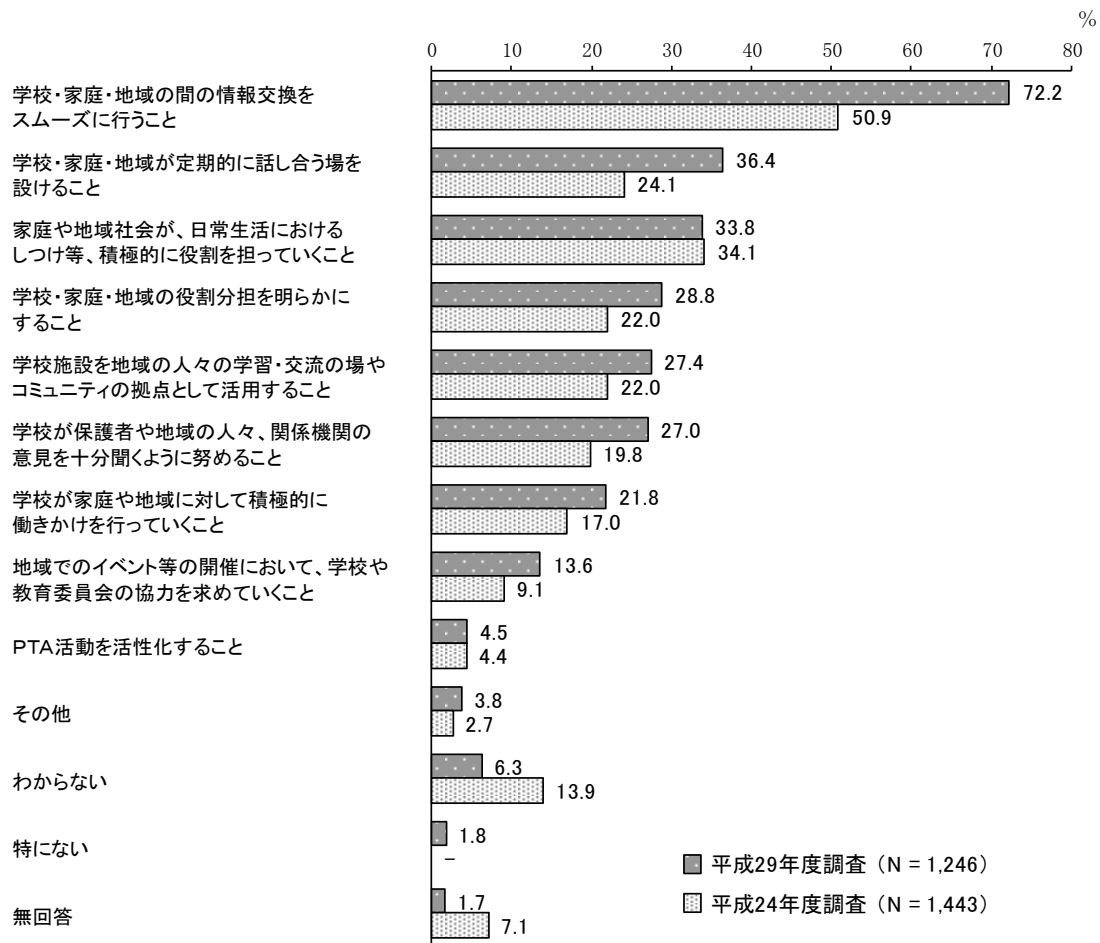
問 25 次の(ア)～(ケ)の項目はそれぞれ、学校か家庭のどちらで学んでいくべきと思いますか。(〇は(ア)～(ケ)ごとに1つずつ)



問 26 学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なことは何だと思  
いますか。(〇はいくつでも)

「学校・家庭・地域の間での情報交換をスムーズに行うこと」の割合が72.2%と最も高く、次いで「学校・家庭・地域が定期的に話し合う場を設けること」の割合が36.4%、「家庭や地域社会が、日常生活におけるしつけ等、積極的に役割を担っていくこと」の割合が33.8%となっています。

平成24年度調査と比較すると、「学校・家庭・地域の間での情報交換をスムーズに行うこと」「学校・家庭・地域が定期的に話し合う場を設けること」の割合が増加しています。

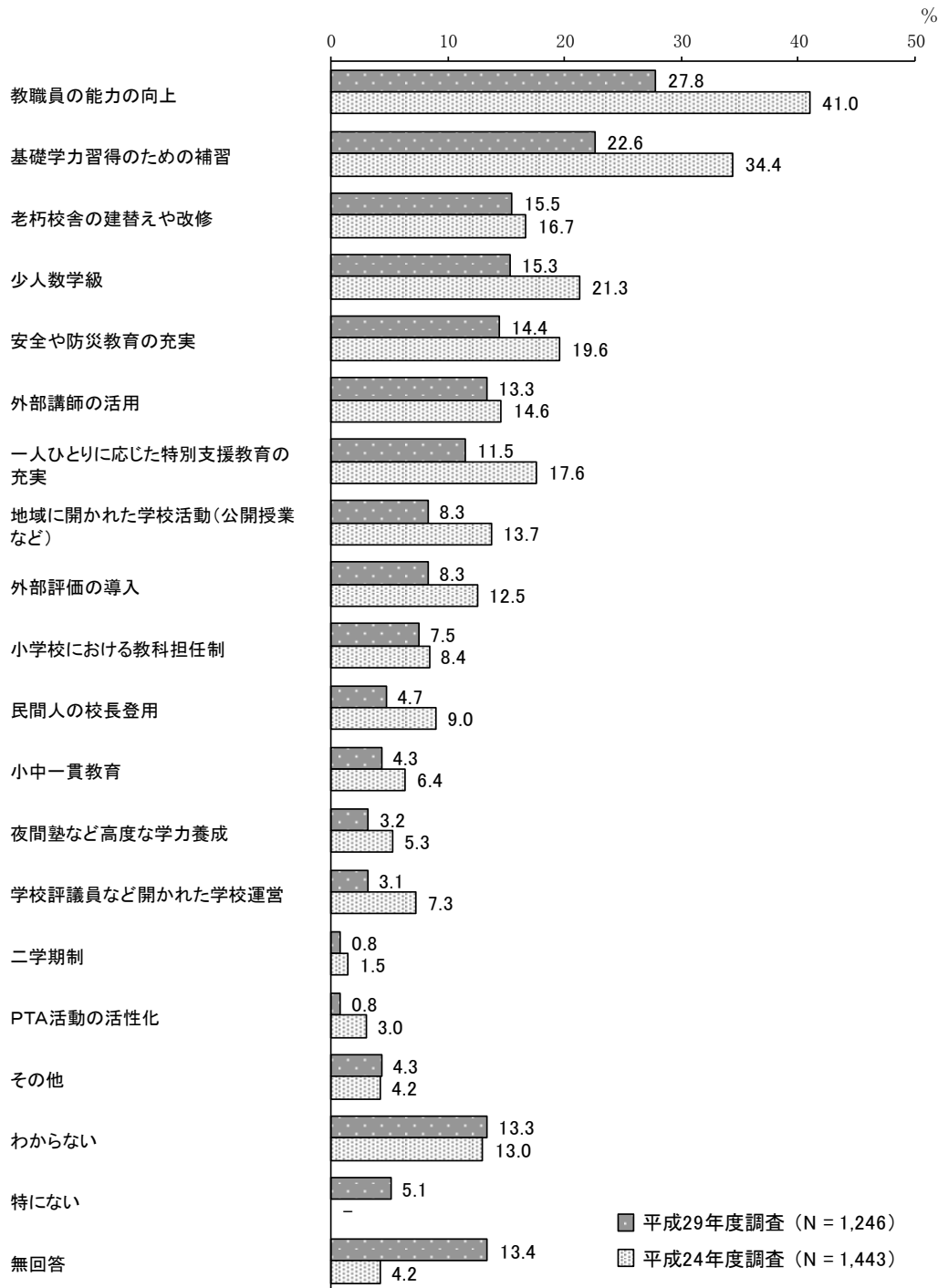


※平成24年度調査には「わからない」と「特になし」が同一の選択肢でした。

(7) 学校での教育について

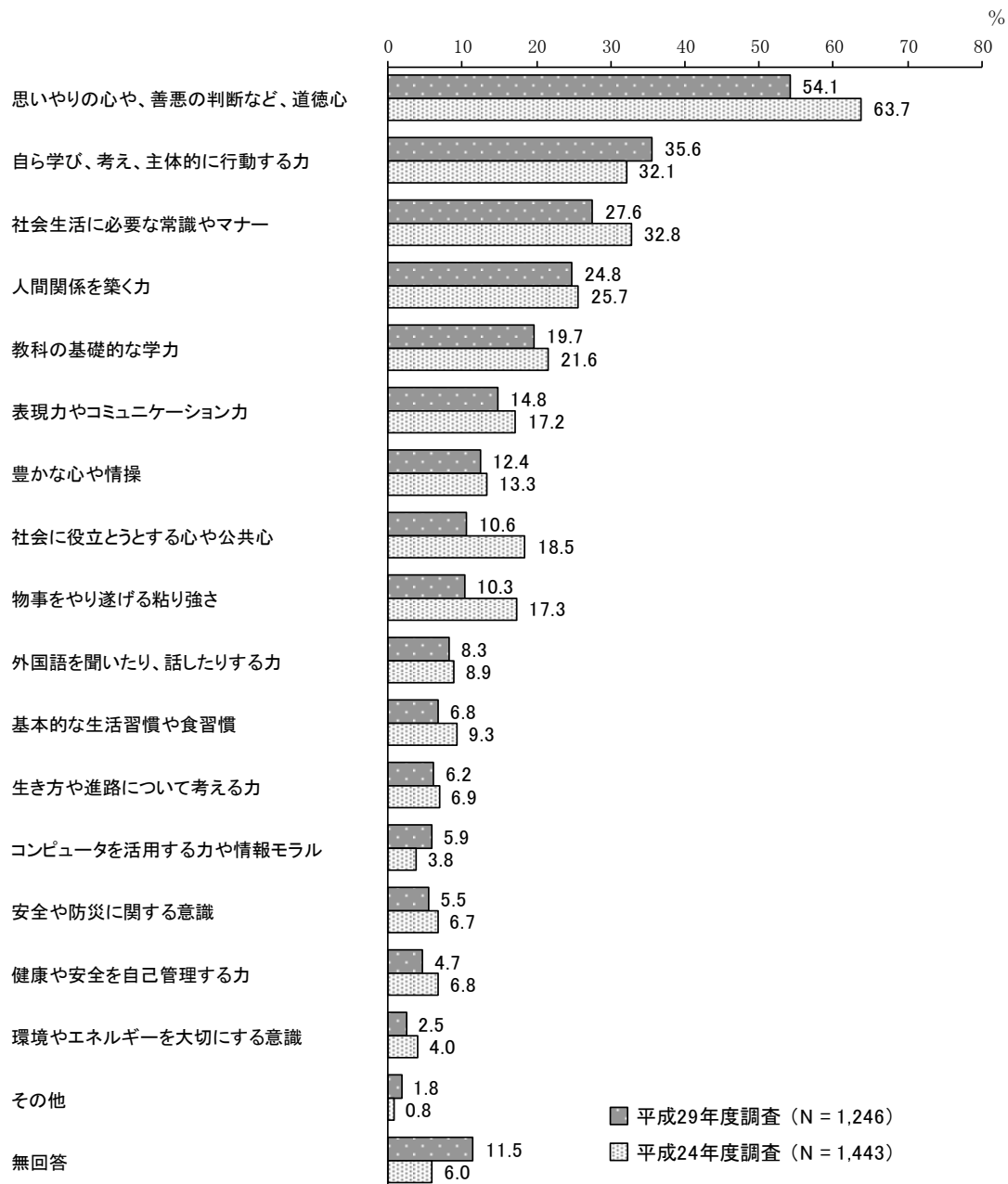
問 27 今後、西東京市の公立学校教育で取り組んでほしいことは、どれですか。  
(〇は3つまで)

「教職員の能力の向上」の割合が27.8%と最も高く、次いで「基礎学力習得のための補習」の割合が22.6%、「老朽校舎の建替えや改修」の割合が15.5%となっています。



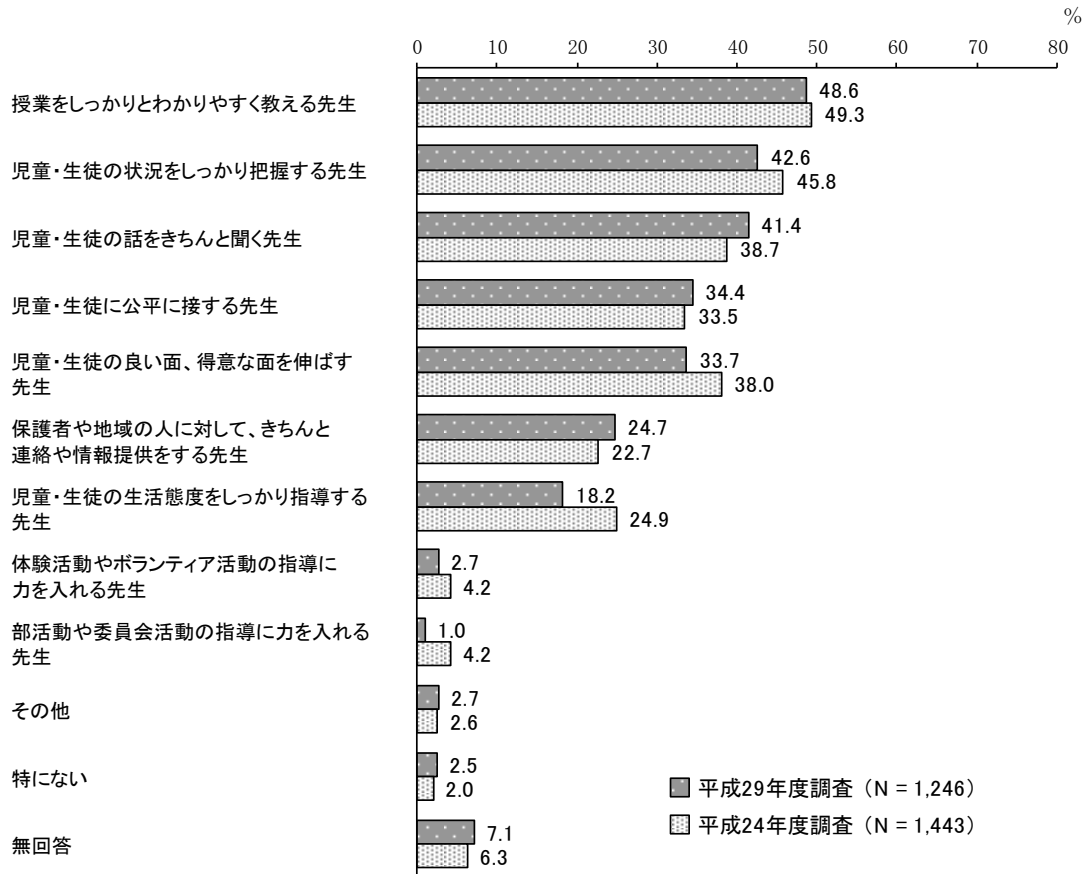
問 28 西東京市の学校教育で子どもに教えることとして、重要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」の割合が54.1%と最も高く、次いで「自ら学び、考え、主体的に行動する力」の割合が35.6%、「社会生活に必要な常識やマナー」の割合が27.6%となっています。



問 29 西東京市の小学校・中学校の先生は、どのような先生が望ましいと思いますか。  
(〇は3つまで)

「授業をしっかりとわかりやすく教える先生」の割合が48.6%と最も高く、次いで「児童・生徒の状況をしっかりと把握する先生」の割合が42.6%、「児童・生徒の話をきちんと聞く先生」の割合が41.4%となっています。

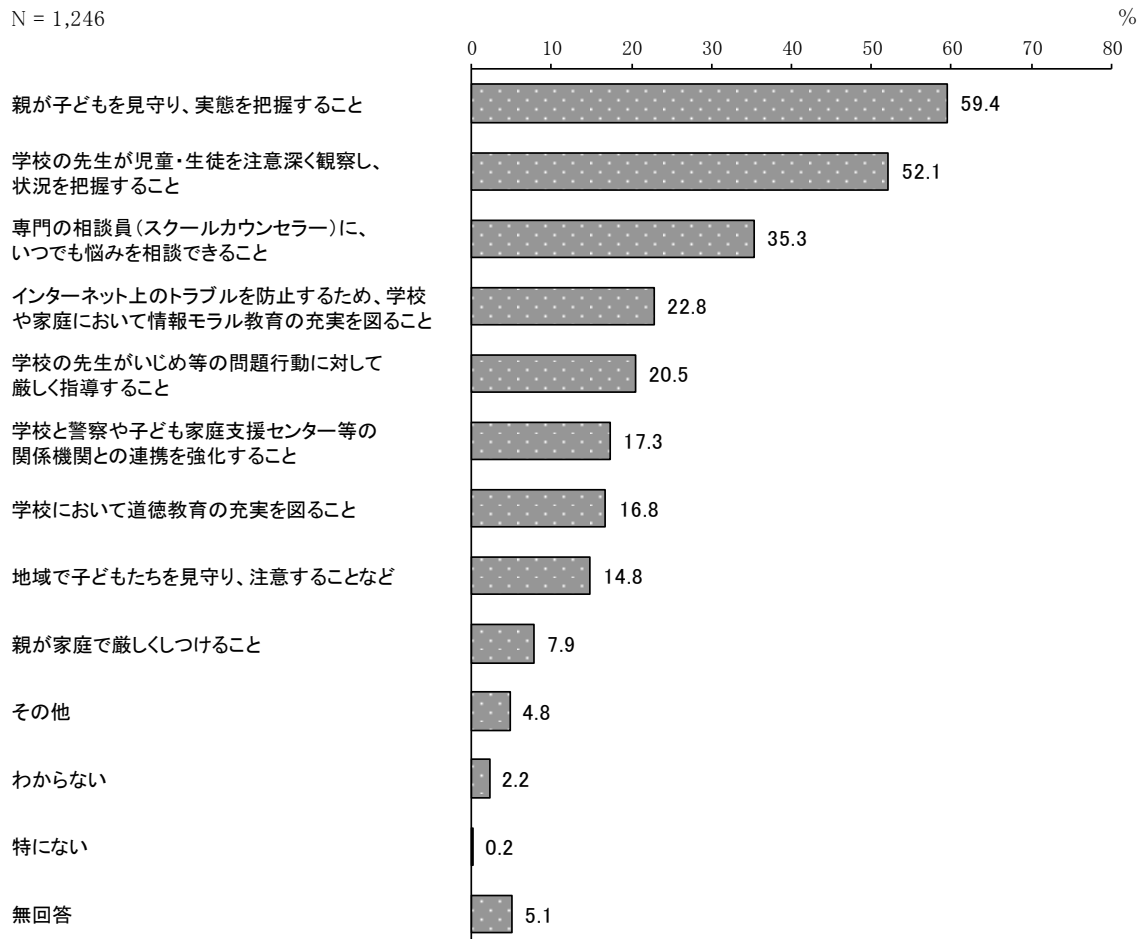




問 30 いじめや不登校などの問題を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「親が子どもを見守り、実態を把握すること」の割合が59.4%と最も高く、次いで「学校の先生が児童・生徒を注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が52.1%、「専門の相談員(スクールカウンセラー)に、いつでも悩みを相談できること」の割合が35.3%となっています。

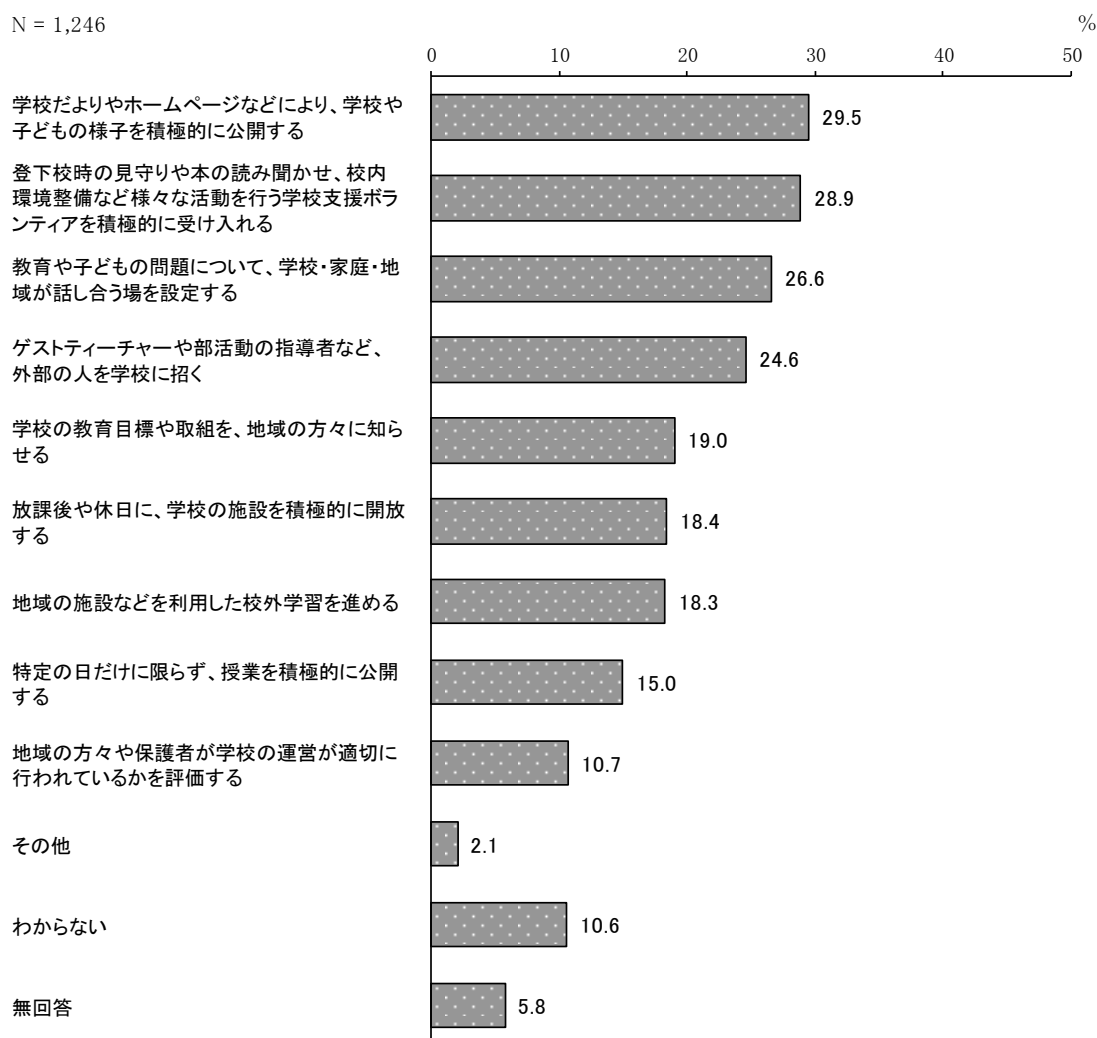
N = 1,246



問 31 地域に開かれた学校にするために、何が大切だと思いますか。(〇は3つまで)

「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が29.5%と最も高く、次いで「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が28.9%、「教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する」の割合が26.6%となっています。

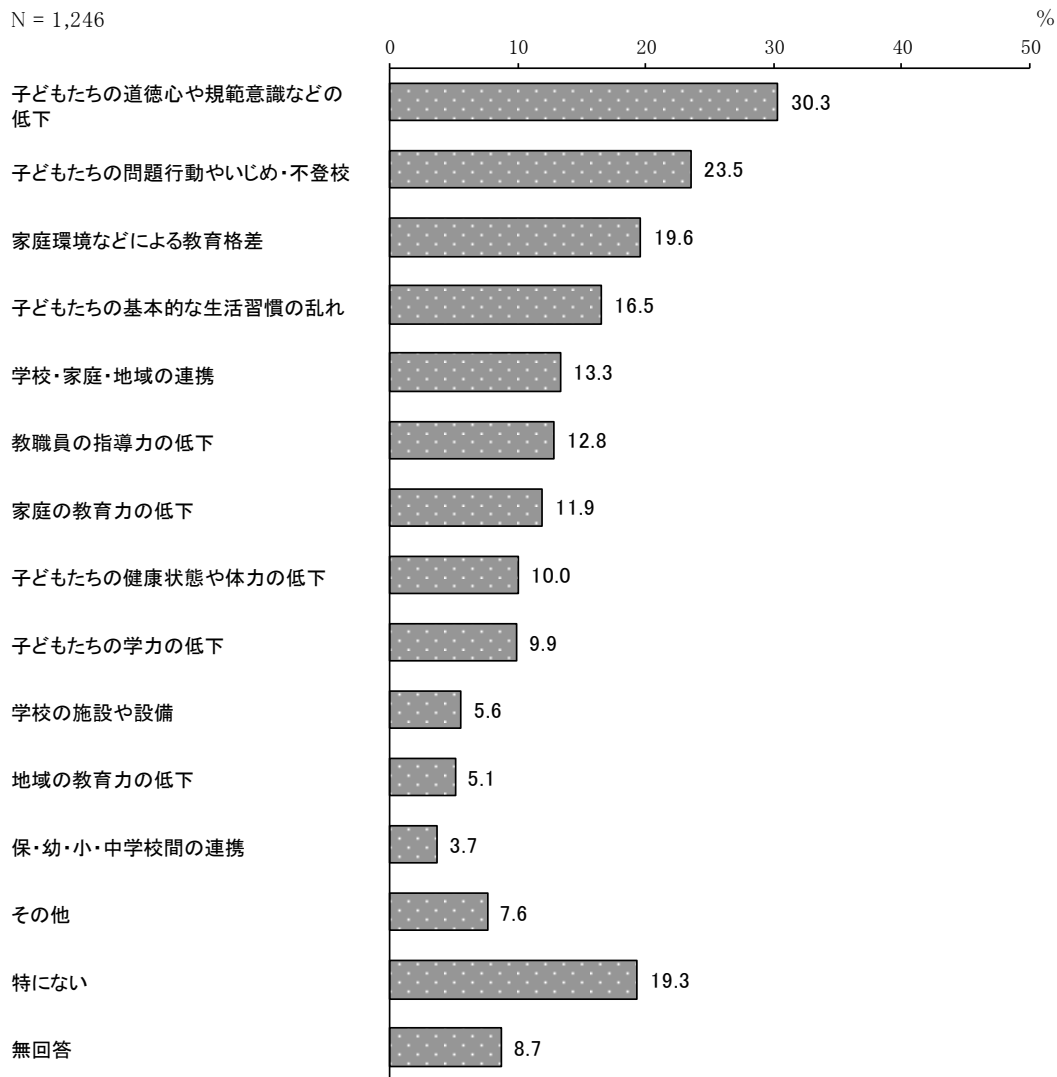
N = 1,246



問 32 西東京市の子どもたちや学校教育の現場で課題だと感じていることは何ですか。  
(〇は3つまで)

「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」の割合が30.3%と最も高く、次いで「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が23.5%、「家庭環境などによる教育格差」の割合が19.6%となっています。

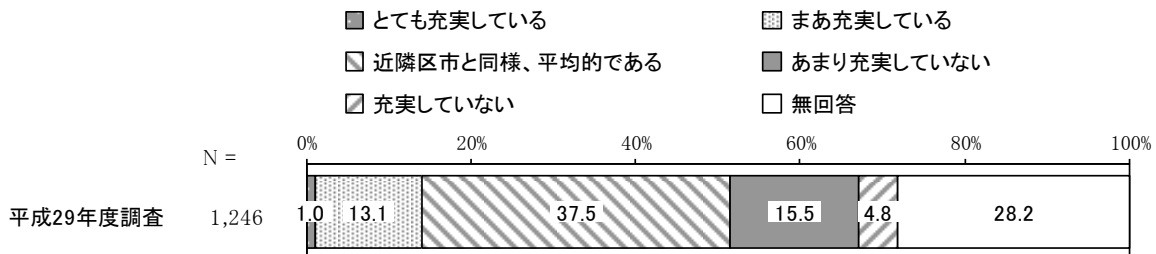
N = 1,246



(8) 一人ひとりに応じた支援について

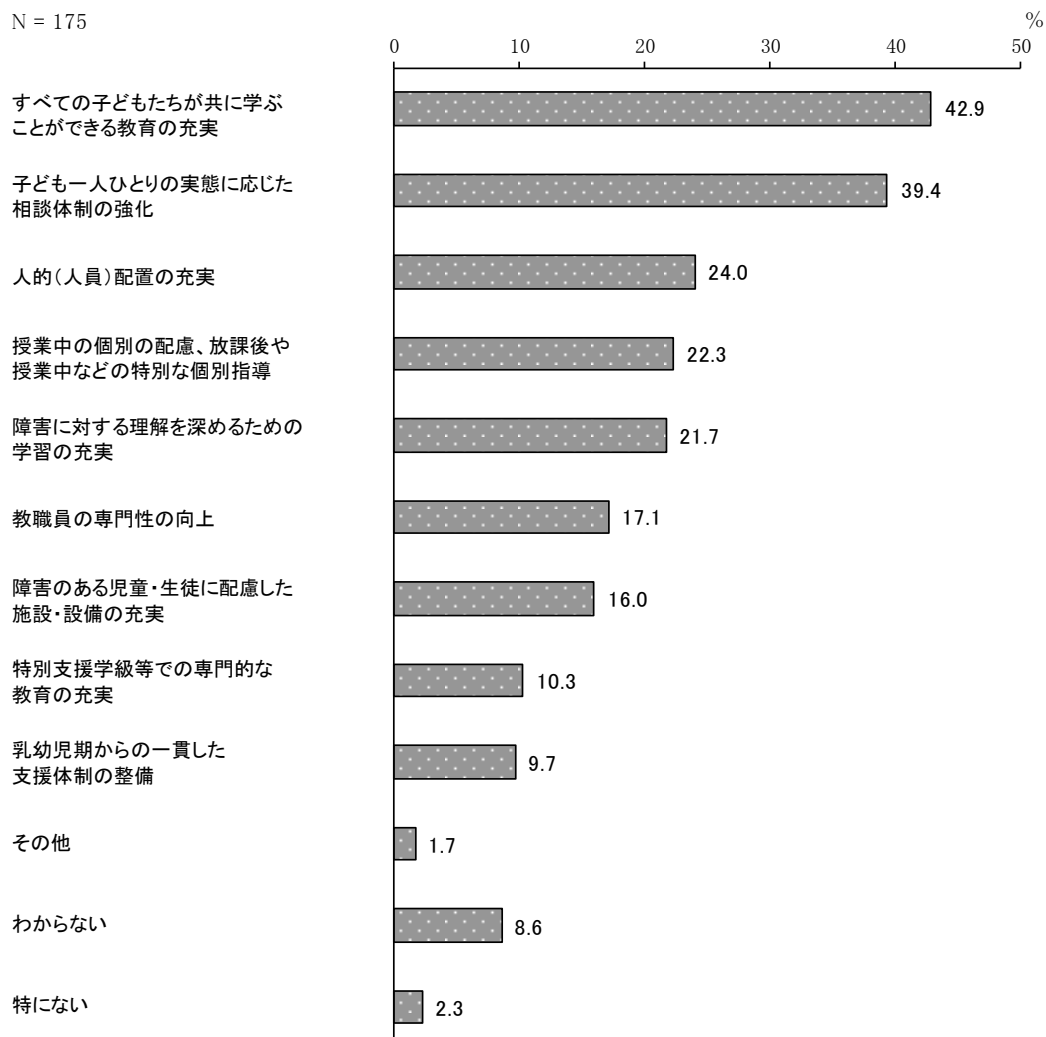
問 33 西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援について、どう思いますか。(〇は1つ)

「とても充実している」と「まあ充実している」をあわせた“充実している”の割合が 14.1%、「近隣区市と同様、平均的である」の割合が 37.5%、「あまり充実していない」と「充実していない」をあわせた“充実していない”の割合が 20.3%となっています。



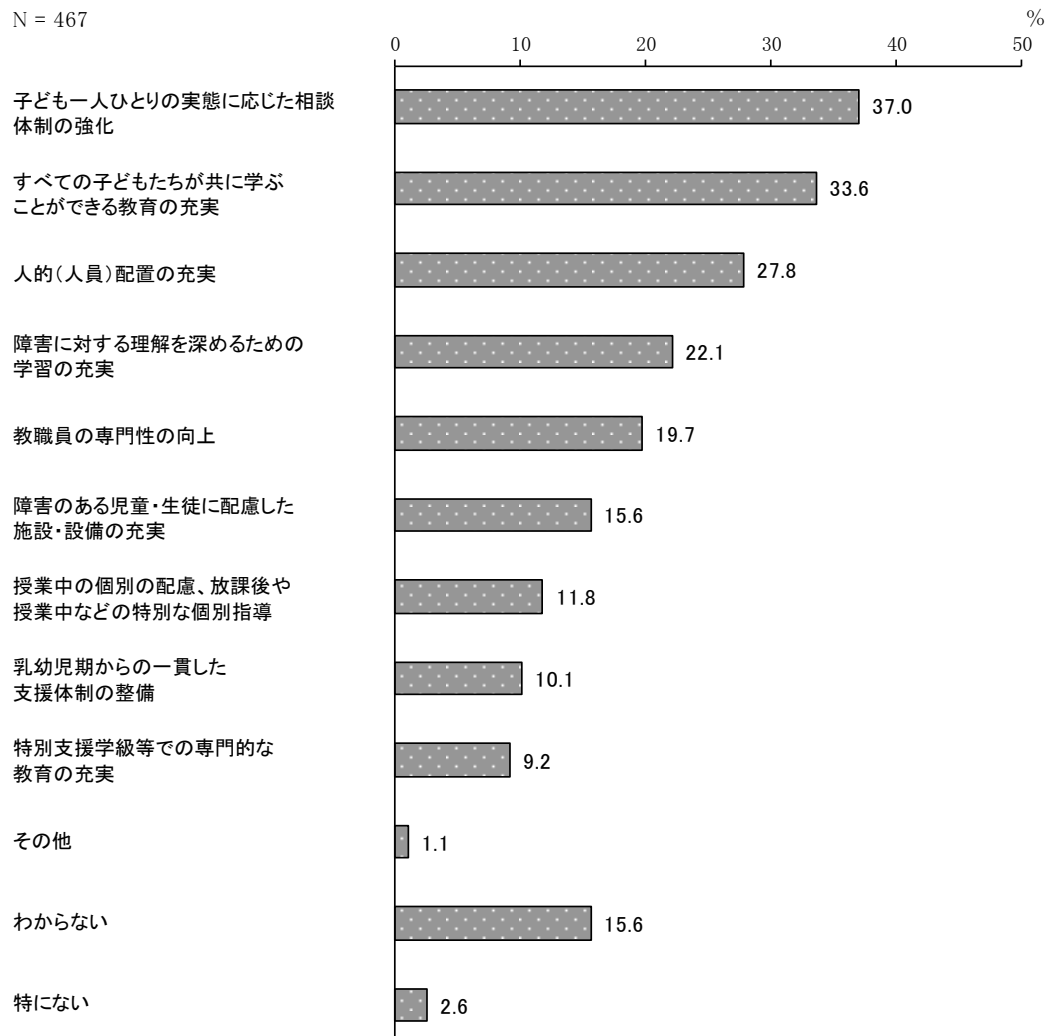
【西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援が「とても充実している」「まあ充実している」と思っている人が必要だと感じている取組】

「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」「子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化」の割合が高くなっています。



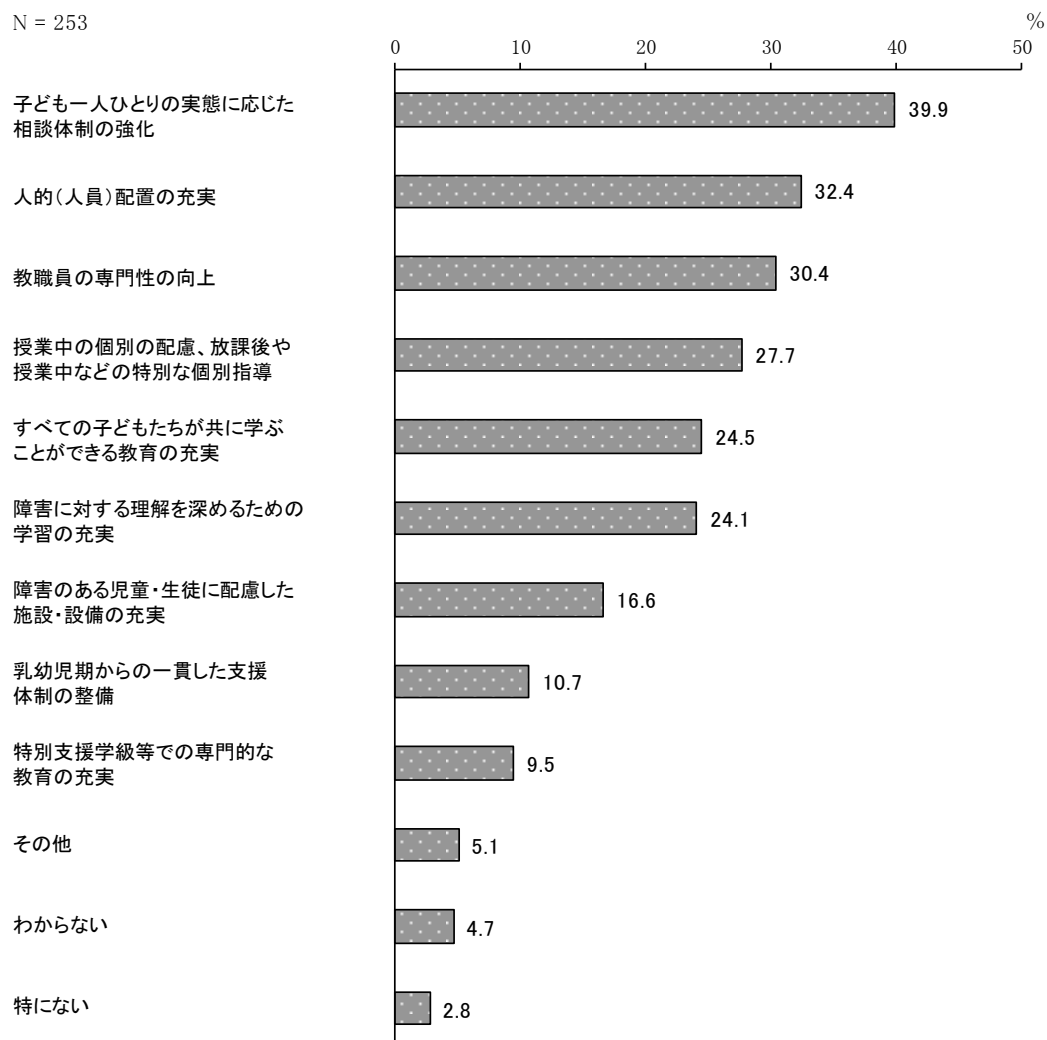
【西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援が「近隣区市と同様、平均的である」と思っている人が必要だと感じている取組】

「子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化」「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」の割合が高くなっています。



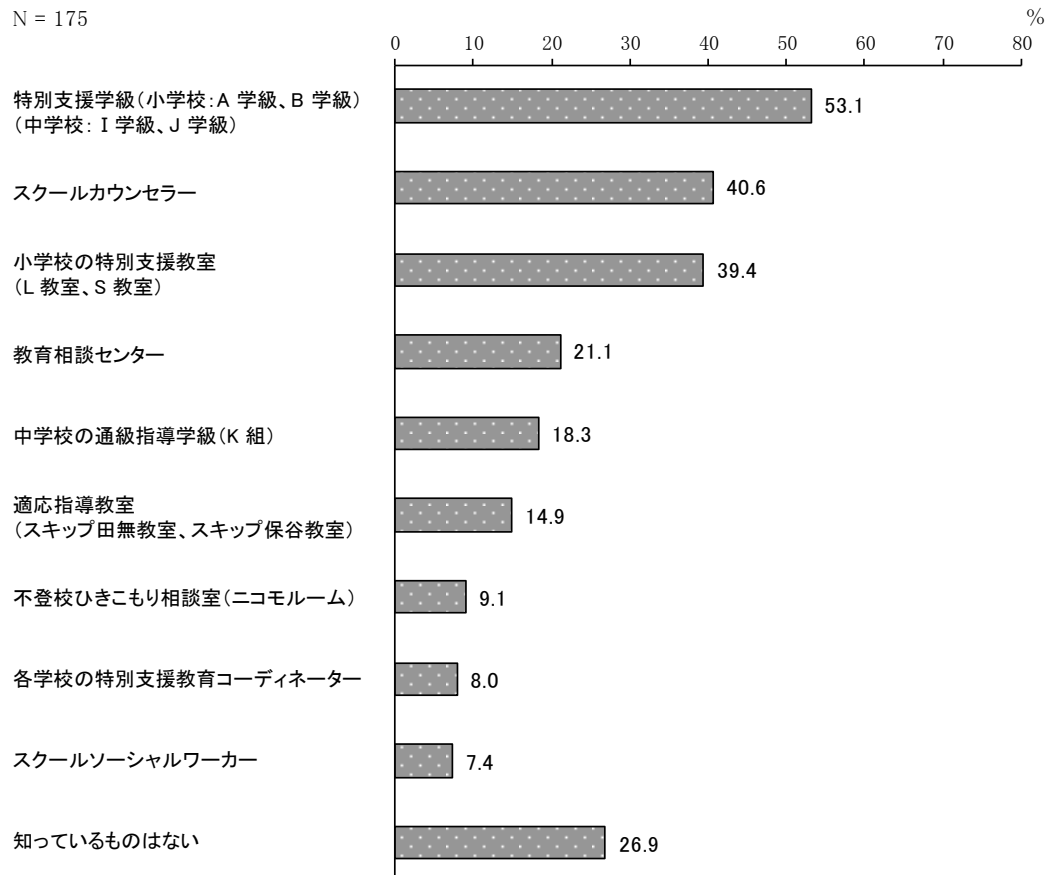
【西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援が「あまり充実していない」「充実していない」と思っている人が必要だと感じている取組】

「子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化」「人的（人員）配置の充実」「教職員の専門性の向上」の割合が高くなっています。



【西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援が「とても充実している」「まあ充実している」と思っている人が知っている施策】

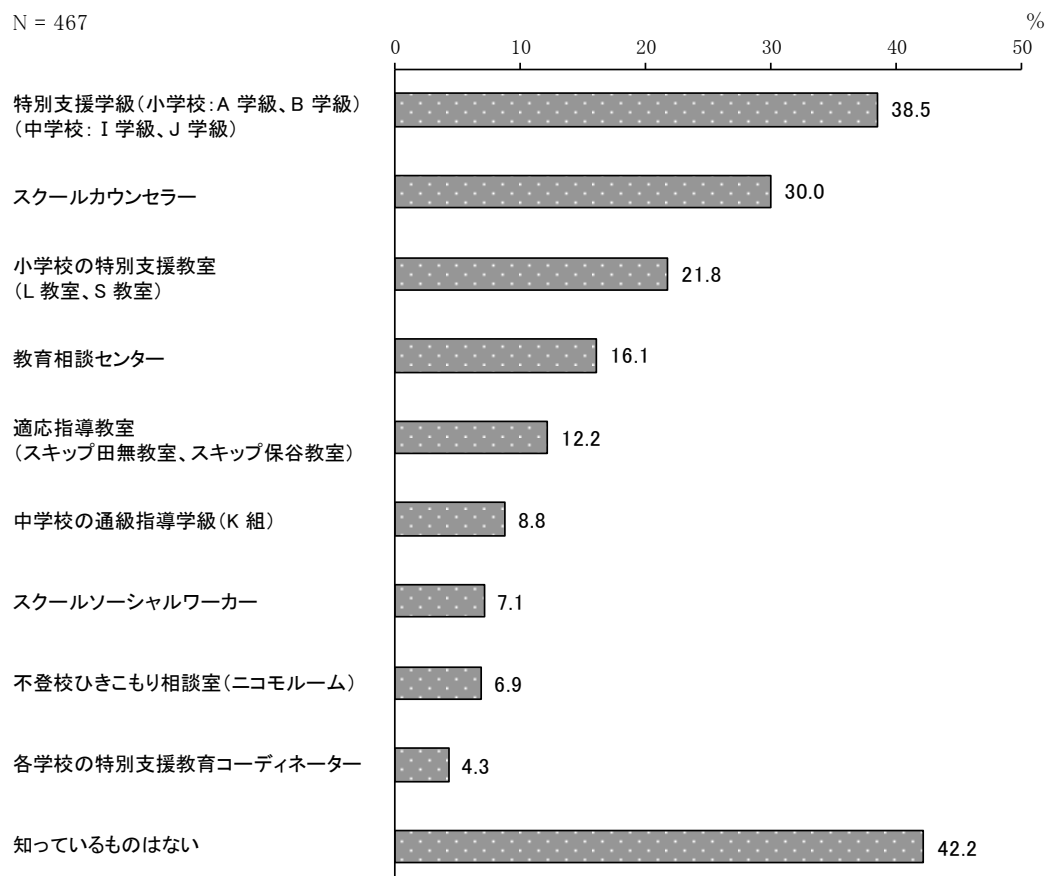
「特別支援学級（小学校：A学級、B学級）（中学校：I学級、J学級）」の割合が高くなっています。



〈一般市民調査〉

【西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援が「近隣区市と同様、平均的である」と思っている人が知っている施策】

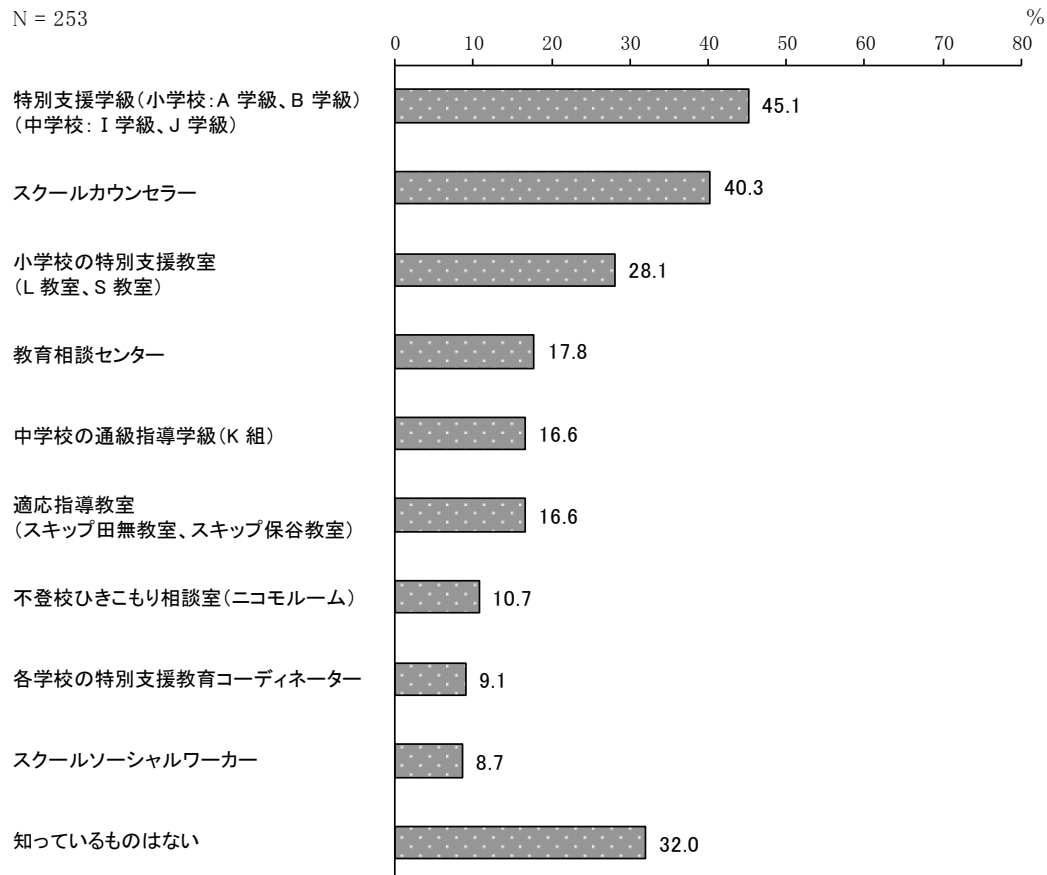
「知っているものはない」「特別支援学級（小学校：A学級、B学級）（中学校：I学級、J学級）」「スクールカウンセラー」の割合が高くなっています。





【西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援が「あまり充実していない」「充実していない」と思っている人が知っている施策】

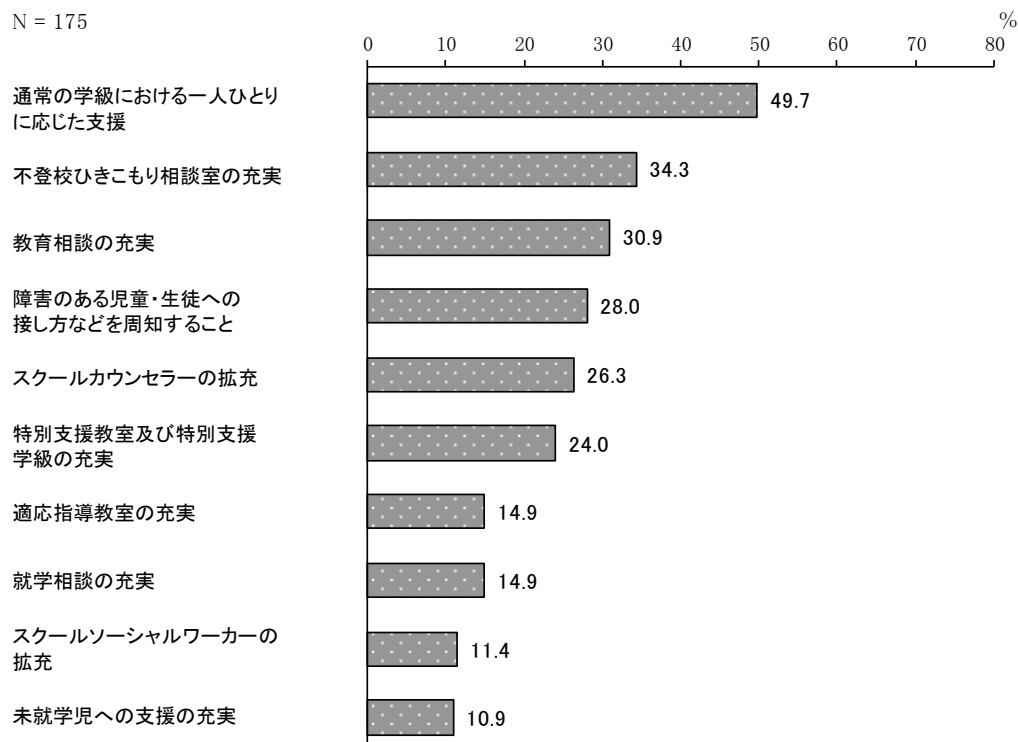
「特別支援学級（小学校：A学級、B学級）（中学校：I学級、J学級）」「スクールカウンセラー」の割合が高くなっています。



〈一般市民調査〉

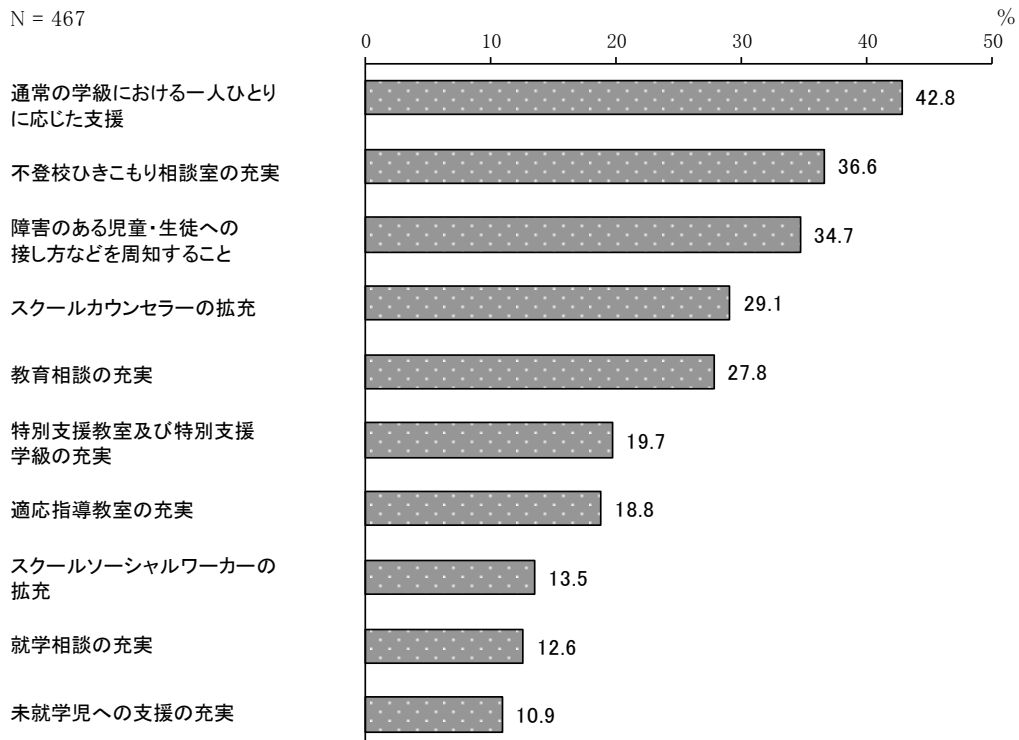
【西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援が「とても充実している」「まあ充実している」と思う人が「一人ひとりに応じた支援を行うために、必要がある」と思う施策】

「通常の学級における一人ひとりに応じた支援」の割合が高くなっています。



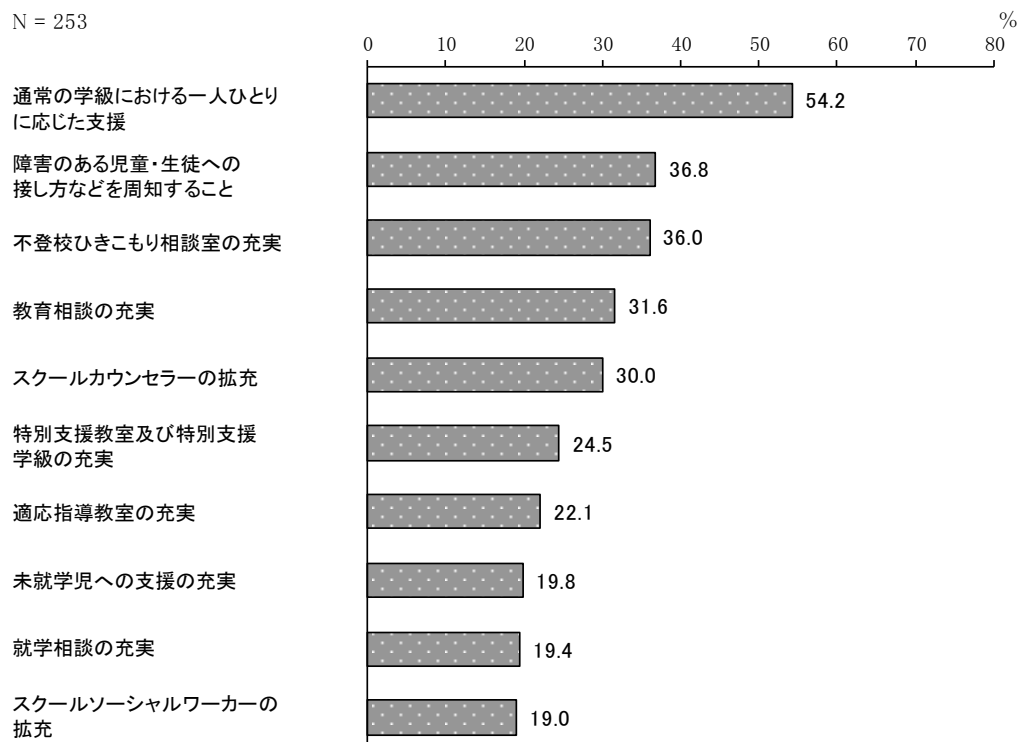
【西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援が「近隣区市と同様、平均的である」と思う人が「一人ひとりに応じた支援を行うために、必要がある」と思う施策】

「通常の学級における一人ひとりに応じた支援」「不登校ひきこもり相談室の充実」「障害のある児童・生徒への接し方などを周知すること」の割合が高くなっています。



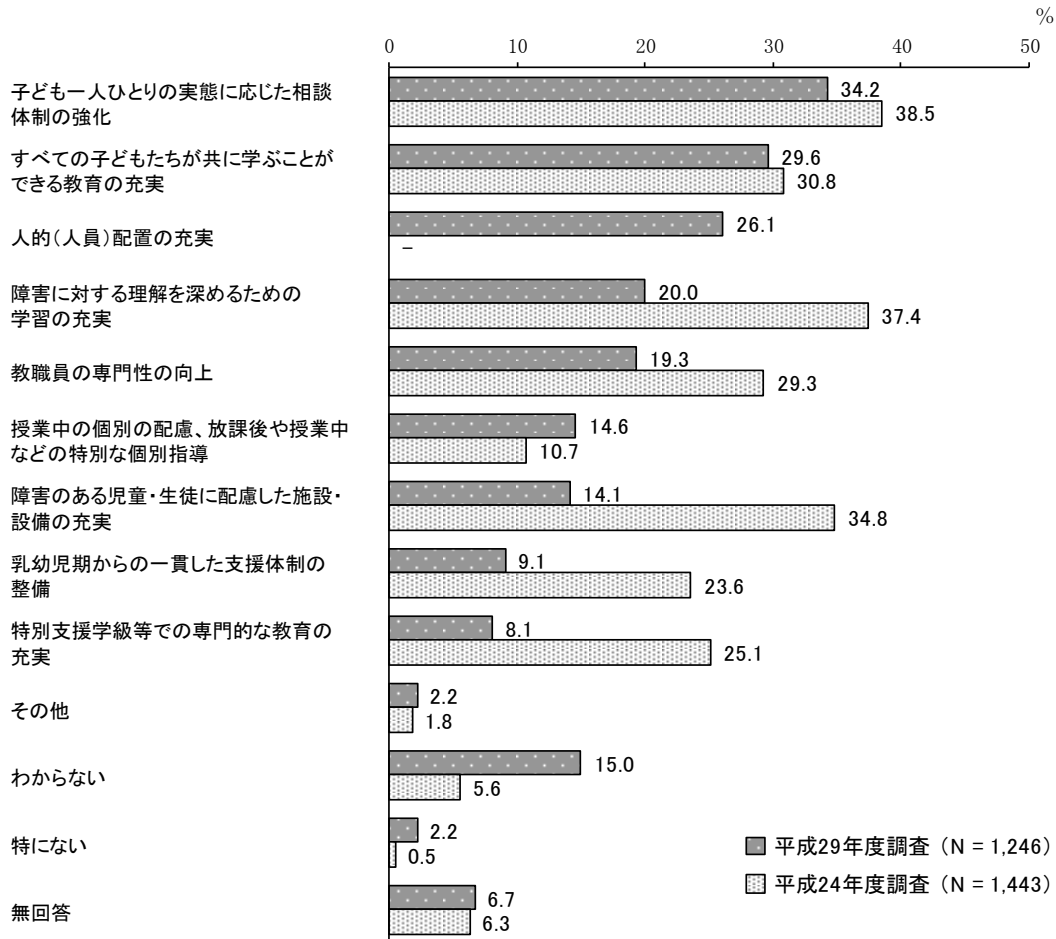
〈一般市民調査〉

【西東京市立小学校・中学校における、一人ひとりに応じた支援が「あまり充実していない」「充実していない」と思う人が「一人ひとりに応じた支援を行うために、必要がある」と思う施策】  
「通常の学級における一人ひとりに応じた支援」の割合が高くなっています。



問 34 一人ひとりに応じた支援の充実のために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」の割合が 29.6%、「人的（人員）配置の充実」の割合が 26.1%となっています。

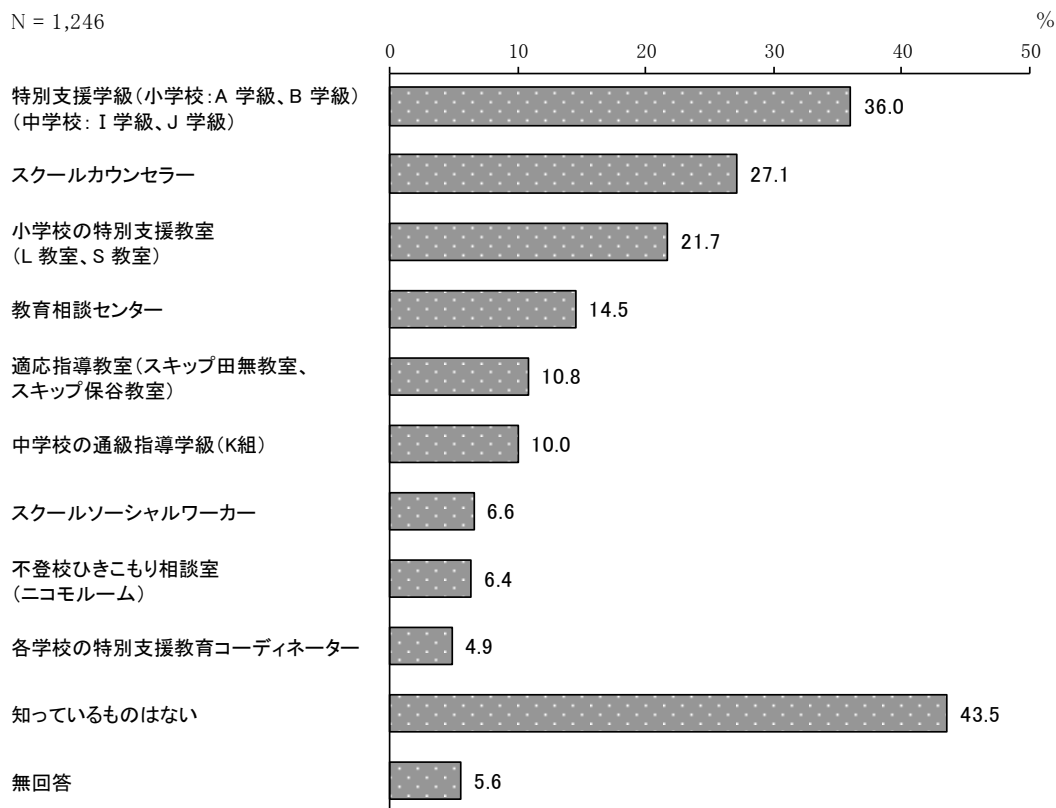


※平成 24 年度調査には「人的（人員）配置の充実」の選択肢はありません。

問 35 子ども一人ひとりに応じた支援として、西東京市教育委員会が設置している場所や人について、知っているものに○をつけてください。(○はいくつでも)

「知っているものはない」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「特別支援学級（小学校：A学級、B学級）（中学校：I学級、J学級）」の割合が 36.0%、「スクールカウンセラー」の割合が 27.1%となっています。

N = 1,246



【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳～39歳、40歳～49歳で「小学校の特別支援教室（L教室、S教室）」の割合が、40歳～49歳で「特別支援学級（小学校：A学級、B学級）（中学校：I学級、J学級）」「スクールカウンセラー」の割合が高くなっています。

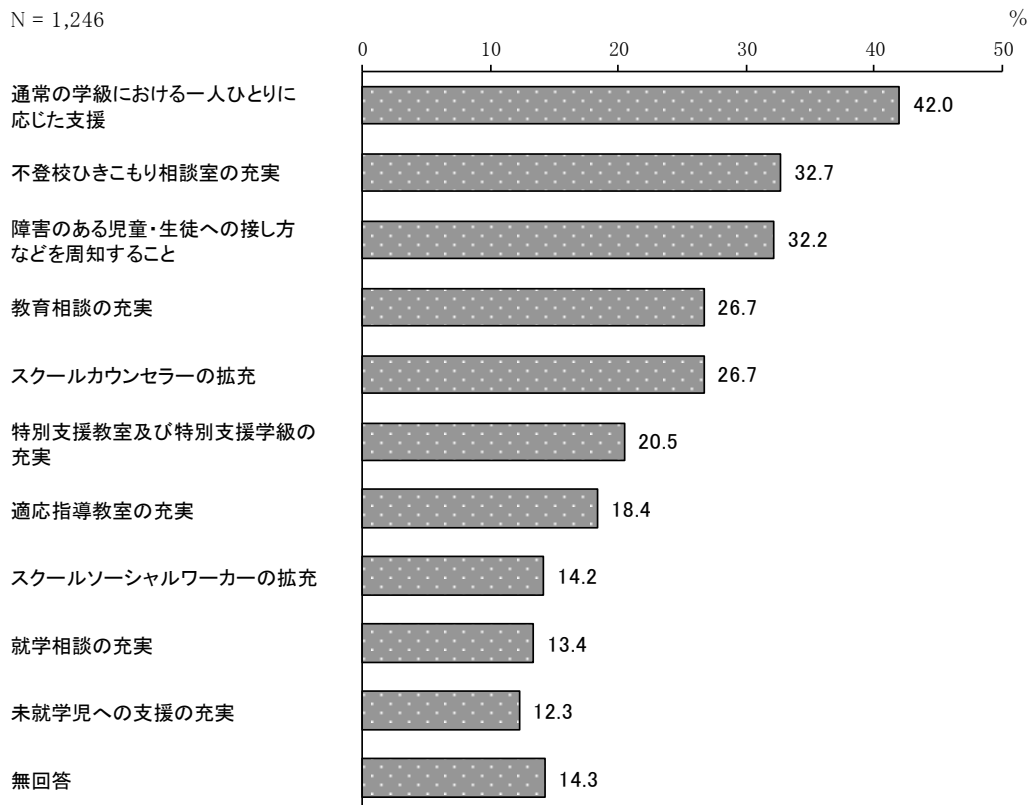
単位：％

区分	有効回答数（件）	特別支援学級（小学校：A学級、B学級）（中学校：I学級、J学級）	小学校の特別支援教室（L教室、S教室）	中学校の通級指導学級（K組）	適応指導教室（スキップ田無教室、スキップ保谷教室）	不登校ひきこもり相談室（ニコモルーム）	教育相談センター	スクールカウンセラー	スクールソーシャルワーカー	各学校の特別支援教育コーディネーター	知っているものはない	無回答
20歳～29歳	99	38.4	20.2	10.1	13.1	7.1	17.2	32.3	10.1	9.1	41.4	1.0
30歳～39歳	144	36.8	30.6	16.0	11.1	3.5	12.5	27.8	11.1	9.0	45.1	2.8
40歳～49歳	230	49.6	37.8	17.4	13.9	8.3	13.5	45.7	5.7	6.5	32.6	3.0
50歳～59歳	243	38.3	20.2	12.8	15.6	9.5	14.4	35.8	10.3	5.3	42.4	3.3
60歳～69歳	275	31.3	14.9	4.7	8.4	4.4	15.6	16.7	4.0	1.1	47.3	5.1
70歳～79歳	245	25.3	11.8	3.3	4.5	5.7	14.3	10.6	2.9	3.3	50.2	13.9
80歳以上	6	16.7	—	—	16.7	—	16.7	—	—	—	50.0	33.3

問 36 子ども一人ひとりに応じた支援を行うために、西東京市教育委員会が力を入れる必要があると思われる内容に○をつけてください。(○はいくつでも)

「通常の学級における一人ひとりに応じた支援」の割合が42.0%と最も高く、次いで「不登校ひきこもり相談室の充実」の割合が32.7%、「障害のある児童・生徒への接し方などを周知すること」の割合が32.2%となっています。

N = 1,246

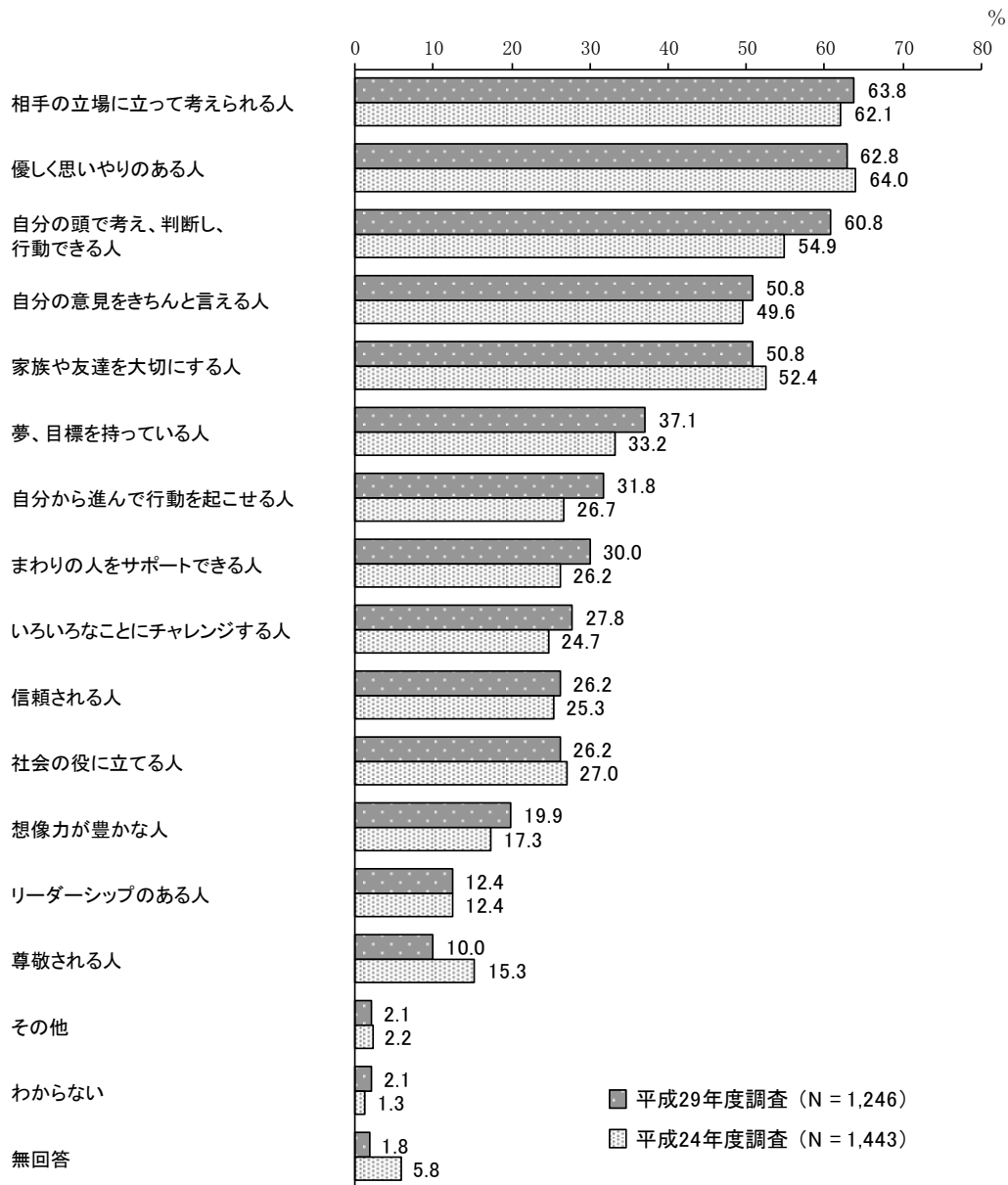




(9) 西東京市のことについて

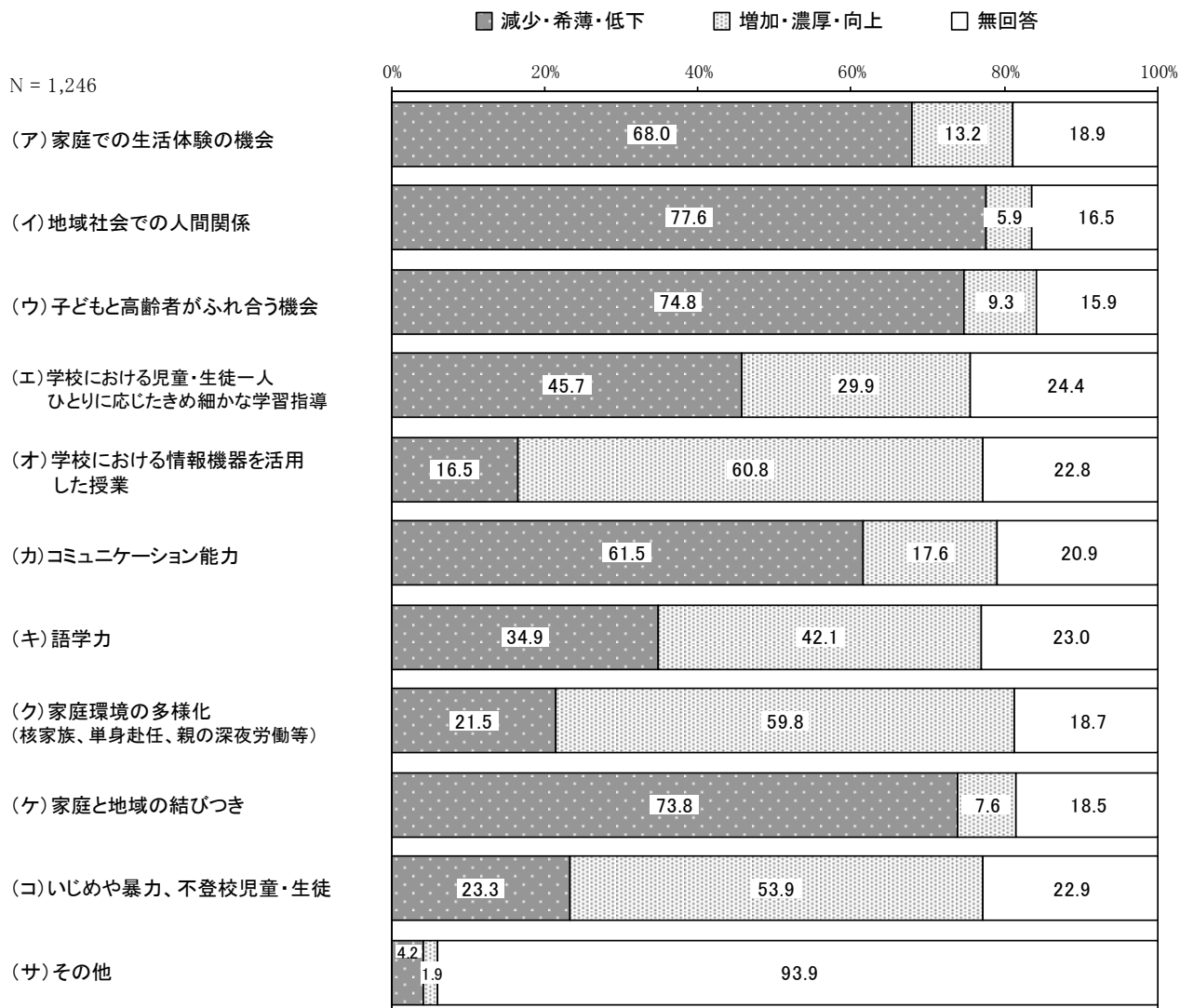
問 37 西東京市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。  
(○はいくつでも)

「相手の立場に立って考えられる人」の割合が63.8%と最も高く、次いで「優しく思いやりのある人」の割合が62.8%、「自分の頭で考え、判断し、行動できる人」の割合が60.8%となっています。



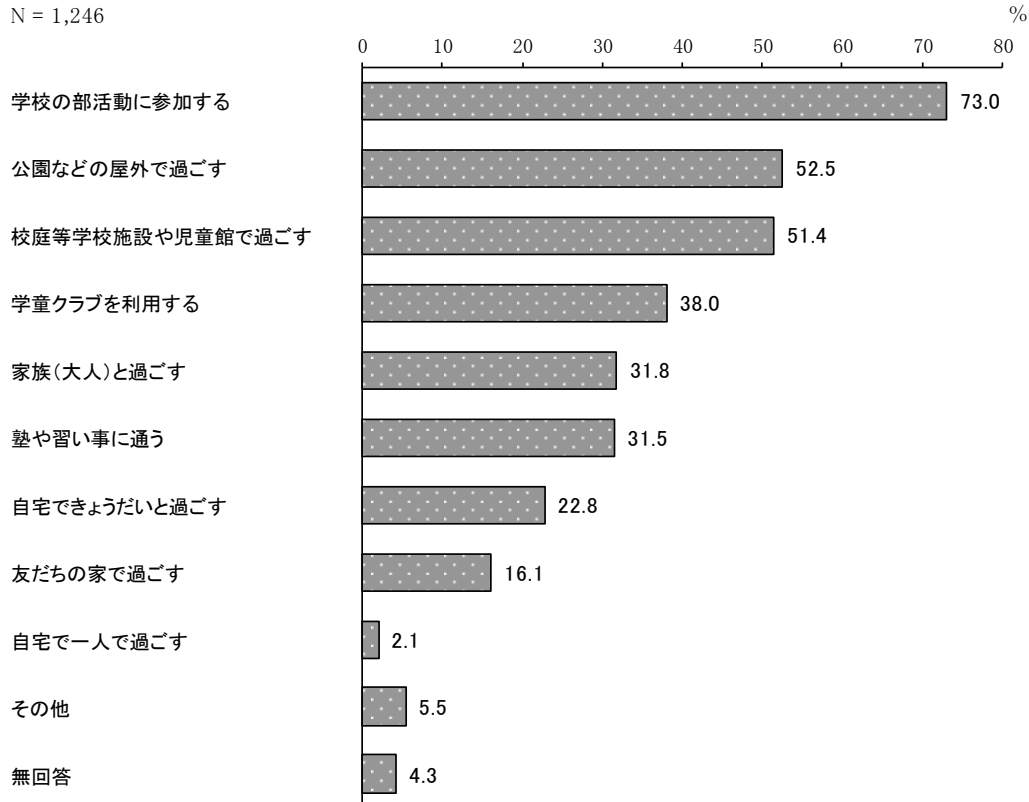
〈一般市民調査〉

問 38 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(〇は(ア)～(サ)ごとに1つ)



**問 39 放課後は子どもはどのように過ごすのが望ましいと思いますか。**  
(○はいくつでも)

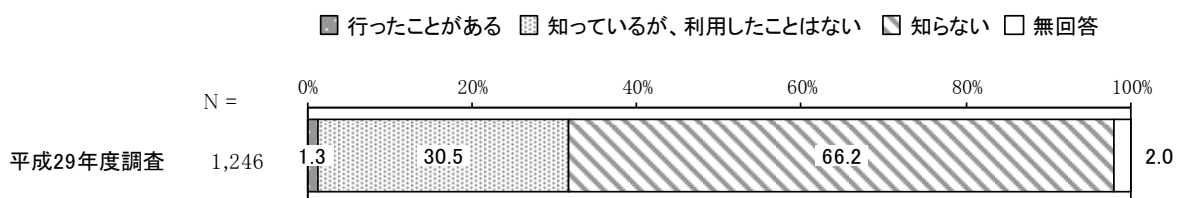
「学校の部活動に参加する」の割合が73.0%と最も高く、次いで「公園などの屋外で過ごす」の割合が52.5%、「校庭等学校施設や児童館で過ごす」の割合が51.4%となっています。



**問 40 市内には、地域の人が運営する、子どもが一人でも利用でき、無料又は安い値段で食事ができる「子ども食堂」という取組がありますが、この取組を知っていますか。**(○は1つ)

(しばくぼ~の、ねんりん子ども食堂、放課後キッチン・ごろごろ、飯もり山、木・々 子ども食堂、やぎさわ子ども食堂、わいわいクッキング 等 (50音順))

「知らない」の割合が66.2%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」の割合が30.5%となっています。



最後に、ご自身の学習や活動、または学校教育等に関して、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

調査票の最後に、ふだんの生活で感じていることや、アンケートの感想などについての自由記入欄を設けたところ、429人の記入がありました。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできませんが、その一部を紹介します。(原文どおりに掲載しています。)

## 《学習や活動について》

- 学校の活動の中に生徒が主体的に行うようなことを定期的にした方が良いと思います。言葉では伝わらないこと、自分が動かなければどうにもならないという体験を増やした方が人としての成長が見込めると思っています。それを行うにあたり感じてもらいたいことは、自分を前に出すという行為です。今の児童や中学生に社会に出たら大変だなんて時間を多くかけて話してもそれを十分に理解することは難しいです。話を聞いて頭の中だけで理解しても行動できない。行動を起こせるような人物へと学校の先生方がそれとなく導いてあげれば良い。そして、前へ踏み出しやすい環境を作ってあげられたら良いと思います。学校の中では生徒が主役です。勉強するのも行事を楽しみ、成功させるのも生徒自身だと思います。その生徒の多くが前に踏み出せるような人物なら学校という場所はもっと良い環境へと生徒自身が作り上げていけると思います。ですから主体的に行える事を増やし、先生方は生徒が困ったときにほんの少し手助けして導いてあげられるようにしてあげたらと思います。正直、先生方がどのように学校に従事しているか良くは分かっていません。多感な子ども達が集まっているので思い通りに出来ないことが多いかもしれませんが、それでも子ども達にとって良い道へと導いてあげられるように頑張ってください。(男性 20代)
- 平日仕事のあるビジネスパーソンが活動できる機会がもっと増えるとよい。物理的に参加できることが難しくても、インターネットなどを使うことで学習や交流はできると思う。学校施設は、私立と比べて見劣りするるので拡充しないと社会の変化においつけない。(男性 50代)
- 年令的に地域の学習活動に接する機会がないので実感がない。(男性 70代)
- 教育とは、人が社会の中で豊かに生きて行く方法を教えることである。自分の存在の意義を感じられるように、目標を持たせ、自信を失わないように指導し居場所を提供して行くことが教育の役割だと思います。(男性 60代)
- 時間があってもやることのない高齢者の中で希望する方が学童保育のような場に参加できる機会をつくる。(女性 40代)
- 教育の充実のために、地域のボランティアやPTAの力を使おうとするのはよくないと思います。きちんと予算をつけて専門のスタッフを配置してほしいです。大人の学習(生涯学習)については、既に充実した施設やプログラムがあると思うので、小・中学生の教育に力を入れてほしいです。(女性 30代)
- 人はいくつになっても、学びたいという欲求を持っているものです。どの年令層にもその欲求を満たしてくれる場というもの設けてくれること切望します。(女性 70代)
- 格差社会となり、子供たちも家庭環境で将来までも決まってしまうそうです。市内には能力・体力のある高齢者も多くいると思われるので、その力を借りて学習など不足している生徒を指導してもらったら良いと思います。お金を使わなくても出来る事を実行してほしい。(女性 60代)

- 市民会館の学習室を学習の場として利用しています。夫婦2人世帯なので、地域の子どもや地域活動と接する機会が少ないと感じています。子どもにつくりたてのおいしい給食を提供し続け、食育に力を入れてほしいです。草花、虫などいきものと日々の生活の中でふれあえる場が大切だと思う。なんでも人工物ではなく、自然を生かした地域づくりをしてほしい。それが、豊かな心を育むのだと思う。例えば、自転車道が土からアスファルトに変わってしまった。自転車、散歩する人、子どもなどさまざまな人が自然にふれながらゆったりいきかう場の1つが人工物になってしまい、残念だ。公園などで昔のようにボール遊びや花火など、のびのびと子どもが遊べるようにしてほしい。(男性 40代)

## 《学習や活動に関する情報について》

- 西東京市に住んで10年以上になりますが、正直ほとんど何も分かっていません。積極的に知ろうとしない心がけがないことも原因ですが、もっと知りたい、と思わせるキッカケをつくれるようにPRする等駅前にポスターなどすればいいのかなと考えました。(女性 20代)
- 学校の公開授業日を市民に知らせてほしい(広報などで)。ぜひとも一般市民も授業見学をしたい。(男性 20代)
- インターネット上でわかりやすくどのような学習や活動があるか、表記されればもっと利用しやすくなるのではないのでしょうか。(女性 60代)
- 未就学児の子どもがいるので、市の教室を主に利用させて頂いています。託児付きの教室もあり、母親として、リフレッシュできる時間があることが有難いです。また、保育園へ入所しておらず、育児でいきづまったりする時に、日々のちょっとした疑問、心配事などを託児付きの教室でお世話になっている保育士さんと話す時間がほんの少しの時間ですが、貴重な時間です。市の小学校・中学校教育は、関わる機会がまだないので、どのように行われているのかわかりませんが、学校・家庭・地域が協力して、人間力を育む環境をソフト面・ハード面で築いて欲しいです。(女性 30代)
- 郷土資料室のwebページの更新をまめに行い、活動について知ってもらうなど地域の文化、歴史に触れる機会づくりを行ったらよいと思う。(男性 20代)

## 《公民館について》

- 田無公民館を時々利用しています。駅から近く(移転の話があるそうですが)ぜひ、そのままの場所で残してほしいと思います。現在団体で無料で使用していますが、受益者負担の考え方で少し払ってもよいのではと思います。1回2~300円ではかえって管理のための人件費がかかってしまうのでしょうか。公民館が充実する方向へお願いします。子どもたちの問題が何でも学校へとならないようにしてほしいです。学校はまず学力を伸ばす場所として基本に戻り、先生方にも、勉強を教えることに専念できるようにしてほしいので、あれこれ導入して忙しくならないように配慮して下さい。(女性 60代)
- 社会教育活動や公民館活動は熱心に色々と開かれてとても有難く参加させて頂いております。しかし、いつも残念に思うのはボランティア活動に参加しているのですがその会合に使う会場がないことです。地域によって異なるのですが保谷町はありません。保谷町集会所はあるにはあるのですが急こうばいの階段。ころげ落ちる危険大で困っています。せめて一階のポロ空き家に一寸手をいれて地区活動が出来るように改良して頂けないでしょうか。これができれば教育活動ももっと充実できるのではないかと思います。(女性 70代)
- サークルでの場所等に閉校した学校の空教室等を使用出来たらと思います。公民館では足りない時があります。(女性 70代)

## 《図書館について》

- 図書館を利用したいのですが、席をとって寝ている男性が多く、いびきがうるさくとても本を読む状況ではありませんでした。近隣の市の方が、設備が充実していたり、きれいなので、わざわざバスでそちらを利用しに出かけます。利用者のモラルもありますが、図書館の充実をして欲しいです。(女性 60代)
- 武蔵野市の図書館を利用しています。新町付近に図書館があると良いと思います。(女性 60代)
- 会社勤めをしていたため、ほとんど地域の状況を知りません。また、普段利用する路線が中央線のため、中央図書館等の利用も不便で、どういう取り組みをされているのかもわかりませんし、近隣の学校も武蔵野市なので、アンケートにほとんど回答できず、申し訳ありません。(女性 60代)

## 《学校での教育について》

- 学校、先生に求められる事があまりにも多くなってきている様に感じている。先生の数を増やし、先生の資質向上、自己研鑽の時間がとれるようにすることが大事なのではと思う。(男性 60代)
- 下校時でも子供達の笑顔がない(少ないと思う)。(男性 70代)
- 登下校時の通学路(特に小学生)が良くわかりませんので一人で歩いていて子供を良くみかけ声をかける(いってらっしゃい、おかえり等)のですが知らん振りされます。何度あっても右方面から来たり左方面から来たりするのです。今は登校(通学路)が決まっていないのですか、心配です(学童の子供かも知れません)。金曜日の荷物持ち帰り、とっても子供が大変そうです(背中ランドセル両手に荷物)。ころんだら大変だと思います。ちょっと気になりましたので…。(女性 70代)
- 学校から帰って、宿題をいやながらにやる子どもを無理やりやらせることに日々苦勞している。特に低学年では基礎的なことが大事だと思います。たのしい学習であることを先に植えつけておいて、進んで宿題ができるようになった方が良いと思います。勉強はすべて学校で終わるようになったらと思うけど。(女性 40代)
- 英語教育のさらなる充実を希望します。(女性 50代)
- インターネット利用で、かなりの調べ物はできてしまう。教育では、単純な調べ物レベルではない、応用力や考える力をつける方法、人とのかかわり方など、直接その場において実施しなければならない事は何かを考えて実施して下さい。(男性 50代)
- 特に小学校低学年は1クラスの人数を25名前後にして頂きたい。30名を超えると、1人1人に対応するのは難しいように思います。(女性 30代)
- 我が子が小学校に通っているのですが、今現在担任の先生の指導・教育が、他のクラスに比べて質が悪いように感じています。先生1人1人に個性があるのは悪いことではないのですが、あまりにもギャップがあると子どもにどう言えばよいのかわからない時があり、悩んでおります。せめて同学年では、ある程度同じように指導していただきたいと感じています。(女性 40代)

- 子どもたちは、学力の進みが早く、ついていくのが大変だと感じます。落ちこぼれないように、先生たちご指導してほしいです。勉強が好きになるようにしてほしい。中学生になると、勉強できる子どもとできない子どもの差があるように思います。できない子どもをもっと学力が伸びるように、補習などしてほしいです。3年生になり、高校進学を前にして勉強のやり方など進みが早く、苦勞している子どもがいます。塾任せではなく、学校でしっかり高校まで合格するようにしてほしいです。(女性 60代)

## 《家庭での教育・しつけについて》

- 家庭でのしつけが低下している。学校や地域にまかせず親が責任をもってほしい。(女性 50代)
- 私は学校の通学路に住んでいます。常に気になるのは、登下校の際の規則を守らない児童が目立ちます。注意をしますと素直に守るこどもの少ないのがっかりします。(女性 70代)
- 自由とは何か、しっかり教えて下さい。わがまま、自分勝手、自分さえ良ければ、これが今のパパ、ママ、子供の考え方。パパやママはもうどうしようもないけれどこれからの子供に教えていかないと日本は大変な事になる気付く大人がいないのが今の日本。アンケート取って仕事やったと思っている職員。そこから先が仕事になるにつなげるのだよ。理解できる。しっかり仕事をしよう。役所はヒマをつぶす所ではないのだよ。(女性 60代)
- 基本的に道徳モラルが低下しているのは、社会の変化に供っていると思うが、家庭での教育は勿論ですが、学校(教師)と親の連携が密接にとられていない場合が多々見られる。(女性 70代)
- 社会人十数年になり、いろいろな新入社員を見てきたが、基本であるあいさつをできる子が少ない。人に関心がなく、自分で考えて行動する能力が年々低下しているように感じる。朝、登校中の小学生たちとすれ違いますが、知り合いの子でも元気に姿が見られないのが残念です。本来なら家庭で教えるべきだが、子を育てている親自体がゆとり世代なのかと感じる。学校でも教育の一環として、きちんと教えていってほしい。(男性 30代)
- 世間では、学校依存の姿勢がどんどん強まっていると思います。本来家庭で行うべきしつけや規範意識など、学校任せにして、何か問題が起こるとすぐに学校が悪い、と責任をなすりつける傾向があると思う。もちろん学校は、学校としての役割や責任があるが、家庭・地域もそれぞれの役割と責任を負っているはず。休日の公園での出来事、夜の公民館での行動なども、学校に通報して対応してもらっているそうである。どう考えても、家庭や地域の出番ではないでしょうか。教育委員会は、学校の姿勢や取り組みをしっかりと見守っていただき、必要なときは適切な指導をお願いしたいが、逆に、学校の負担になっている不条理な状況から、学校を守る立場としても力を発揮していただきたいです。よろしくお願ひいたします。(男性 50代)

## 《地域との関わりについて》

- 早く大人になりたいと思うように大人が子供の手本となる場を与えることが必要ではないでしょうか。今の子供は早く大人になりたいと思う気持ちが揺らいでいるのではないかと思います。(男性 50代)
- 学校、家庭、地域の連携と指導力の向上が重要だと思う。子供の好奇心や学習意欲を伸ばしていきたい。(男性 40代)

## 〈一般市民調査〉

- いつの時代も困難は有ったと思いますが、今、子供達を取り巻く環境は、さまざまな格差、情報の多さやそのスピード、変化に生き難い時代なのかもしれません。世の中がめまぐるしく変化しても、体の健康、心の健康を保ち、生き抜く力が必要だと思います。様々な生活体験を通し、他者を思いやる想像力、人と違う発想力を育み、自分の頭で考え、行動出来る教育が大切だと思います。学校、家庭だけで無く、地域（大人）皆が、国の宝、地域の宝である子供達の教育に、愛情を持ち、協力していく事も必要だと思っています。（女性 60代）
- 地域の小、中学校の運動会、学習発表会等見学ができたらと思うことがありますが、父母、祖父母以外の入場は色々な問題があり難しいと思います。最近の小中学校の成長を知っておきたいという望みはあるのですが。（女性 60代）
- 最近子供が公園で遊んでいても「うるさい」「めいわく」と言った言葉が聞こえてくる様になってビックリしております。今も昔も子供達が外で元気に遊ぼうとしているのは変わらないと思いますが、周囲の大人達がその場を取りあげてしまっていることには残念でした。（女性 40代）
- サークル活動で、公民館、および地区会館をいつも利用させて頂いております。大変ありがとうございます。子育ても終わり、孫たちも遠くで生活しているため、子供たちや学校教育の現場を詳しく知りません。ただ何となく感じるのは、学校が中心（場所）となって、地域とのつながりが出来る様にしたら良いと思います。セキュリティの問題も多々ありますが、地域全体で、人を育てて行くのが良いと思います。（学校の先生だけに押しつけるのではなく。）（女性 50代）
- 外国人家庭が急速に増えています。こういう方達を地域社会として温かく迎え入れる為には公教育の場で、まず日本のかつ基本的マナーや道徳を身につけて頂きたいと思います。アンケートの実施など熱意に感謝申し上げます。（女性 50代）
- 普段多忙なため、教育活動に関わっていませんが子ども達の色々な事件、事故を耳、目にする度に胸が痛みます。学校教育に力を貸すことは出来ませんが地域の子供達のお手伝いは出来るものはしたいと思っています。特に「子ども食堂」については可能なら応援したいと思います。生きるために食べる事は大切な日常のことです。健やかに育つため、又その上で意欲も出て、力をつけられるのではないかと思います。どこにどんな食堂があるか知りませんでした。シルバーの方に聞いても分かりませんでした。掲示板などで周知がありますか。気付かなかったのかもしれませんが…（学校の現状を見ている訳ではありませんので的外れや、矛盾した解答になっているのかもしれませんが。お許しを。）（女性 70代）
- 今回のアンケートで子ども食堂を知りました。そして、あまりにも多い事に驚きました。それだけ、共働きや、低所得世帯が多いのだと思います。同じ子をもつ親としては、心が痛いです。運営する団体の方々の方々のやさしさ、思いやりには、すばらしいと思います。子ども達も救われているのではないのでしょうか。（女性 50代）
- 子供達とふれあいたいと思うのですが、子供に声をかけると犯罪者扱いとなるようなご時世です。声をかけるのをはばかれるのが残念です。（男性 60代）

## 《いじめや不登校について》

- 教育現場では問題を本当に社会（地域）に知らせているのだろうか。現実的には良くわからないのが現実です。自分達の身を守るために、いじめや自殺について大きなおおいをかぶせ、東東京全体や社会問題として発しんしているのでしょうか。何となく風の便りで聞こえるつぶやきは、西東京の職員がうまく問題を隠しているのか、とも思われる。黒いくもが流れています。その様な時にこのアンケートで何も期待することができないと思っています。（女性 60代）



- かくれ不登校の子どもたちがいます。学校は朝少し顔をみせただけでも早退ということだと欠席扱いにはしません。一定の日数の欠席があると不登校とみなされるからです。様々な状況の子どもたちがいることを見落とさないでほしいです。(女性 40代)
- 特に思う事は、小学生等はまだまだ子供なのに、人をきずつける様ないじめをしてしまうのか？心を傷つけて平気である、なんだろう。これは先生の中にも、少なからず居ますが、一番問題なのは、親や先生、回りの大人であると思います。大人が子供を守っていかなければならないのに、大人がしっかりしなければ、変わらないでしょう。(性別無回答 40代)
- 小学校時代いじめにあっていました。とてもイヤな思い出です。(男性 20代)
- 教育者、学校の先生方は子供達、生徒に対し一丸となっていじめ、暴力は絶対に許さないという姿勢で当たり、そして不登校に関しては的確で思いやりのある指導を望みます。(女性 70代)

## 《障害のある子供への対応について》

- 障害のある子がいる場がない。昼の居場所、土、日、祝日の居場所。身体障害の子も知的障害の子もグレーゾーンの子もいられる場所。普通級ではキツイ子、だけど障害者学級ではもの足りない子の学習の場など。PTAはそろそろ運営の仕方に変化を。生産性のないあの場に、今は働く母達が増える中、いこうと思えるか。なぜあんなに避けられる活動なのか。役員決めのめめ方は半端ない。(男性 30代)
- 特別学級に通っているお子さんへの支援はよく分かりますが、通常クラスでの一人ひとりに応じた支援というのはあるのでしょうか。いつもそこが分かりません。担任1人でそんな事ができるのか…です。(女性 40代)
- 地域で何かをすることは、交流が少なくなったため難しく感じる。又、共働きだと日中地域で過ごす時間も少ないため具体的に何かをすることは難しい。特別支援教育に対しては、丁寧に取り組んで下さっている印象はあるが中学、高校、就労につなげた時に、どうなるのかが見えにくい。義務教育でなくなった後のサポートも考え、フォローしてほしい。(女性 30代)
- 障害のある子への理解と、手助けを、授業の中に組み入れて欲しい。※小、中と地域の学校へ交流が出来なかった学区の公立高校へ依頼をしても何も連絡もくれなかったので、小1の時に交流はあきらめました。校長先生や他の先生の協力がとても無く、理解されなかったのが残念でした。(女性 40代)
- ダイバーシティをめざすなら、障がい児を隔離せず普通学校と一緒に学習させるべき。その為に必要な専門的知識を持つ人的配置を増やせばよい。(女性 40代)
- 支援学級、適応指導教室を必要とする子どもの増加に伴い、新施設設置には対応策ができています。私の周りには、現在小・中学校の不登校ひきこもりのお子さんが数多くいます。このようなお子さん、また保護者（特に母親）に対する相談室の充実には、さらに力を注ぐべきだと考えます。特にスクールカウンセラーの質の向上。子どもと母親それぞれの立場に立ち、親身になり耳を傾けていただけることを期待しております。市・学校・家庭それぞれの立場があり、たいへん難しい問題だと認識していますが、困っていらっしゃる方々のために尽力をお願いいたします。(女性 50代)

## 《その他》

- 現在の子ども達は積極性や自分で考えて遊び行動する道徳心が少なくなっているなど思っています。これは学校だけの問題ではなく親の考え方も変化しているからと考えています。子供だけではなく、子を育てる親への教育が必要なのかなと思います。西東京市だけではないですが、今後子どもたちだけでなく親へのサポートをしていただけるといい地域になるのではないかと思います。(男性 30代)
- 公共施設がどこも、古く、利用しづらい。学校も個人個人をきちんと把握しているのか、あやしく、行かせるが不安。PTAは不要。負担ばかりで、用をなしていない。(性別無回答 30代)
- 市内中学校施設、老朽化、耐震等とても不安がある。入学してから知ったので本当に早く知っていれば公立に入れなかったと思った。児童生徒が長時間すごすのに、「市はいつも対応してくれない」と副校長先生も話していらっしゃいました。せめてトイレはどの学校もきれいにしてほしい。(配管が古くととても臭い箇所がある)安全安心して学校生活をおくらせたい。中学の部活、テスト期間も関係なく、夏休みもいくら高温でも野外で活動させるのはいきすぎだと思う。先生も大変だし、方針をかえるべきだ。中学の先生の独断と偏見でクラス委員を決めてしまう方がいます。(投票結果は関係なく)。民主主義とは何でしょうか、生徒に投票させる意味はあるのでしょうか。(女性 40代)
- 保育園は増えているのに学童保育の充実さが全くない。小学校に入ったとたん、子ども1人の時間が増えて、西東京市に住みながら共働きをするのが難しいと感じる。例えば、夏休み等の長期休みが学童保育の始まる時間が遅い。平日も、学校が始まる前の7:00頃からあいている学童がない。他の市区町村ではすでに行っている学童時間の拡大が西東京市では全くおこなわれていない。公立小中学校の学力の低下。23区より学校の授業の充実度は低い気がします。(女性 30代)
- 私は西東京市が、とても大好きです。未来に生きる子供達や、その御家ぞくの皆様、それから西東京市に住んでいらっしゃる皆様にとって、素敵な住みやすい場所となりますようお願い致します。(女性 60代)
- ドラックの知識、危険な環境との関わりをもたないもちたくないと思わせる教育が必要。(男性 30代)
- 話し合いの場を設けても、参加するのは熱心な親、時間に余裕のある親。本当に話し合いの必要な人ほど接触が難しい。(女性 40代)